

真香雜記

鈴木正司
自序

全

增5
543





門 卷 543

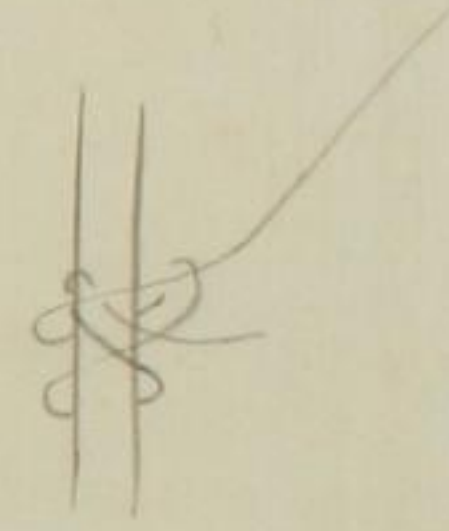
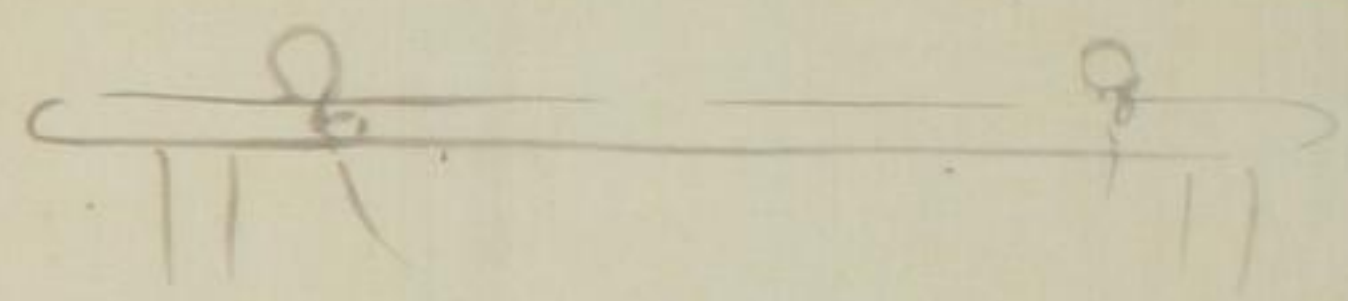
543

嚴櫻類典

嚴櫻抄

上代の
温紙

神祇官年預無位穂積甚真香



新田今井右衛門太郎源愛氏

今居藏

新田今井合人源愛氏

今井藏

穂積使主真香



初日... 一條殿

三川記 初記

菅子曰... 則... 傲...

信... 大...

治清... 音...

今井藏



鈴木...

穂積重兼

新田今井合人

源愛氏

五島太郎

末羅真澄

友原通真

上野国
新田一族

新田 山名 大館 堀 今井 一井 服部 里見 田中
竹林 中沢 大島 鳥山 大井田 太田 得川 世良田 額田
江田 荒井 細谷

下野国

足利一派
足利 長連川 佃川 鳥山 仁木 荒川 清川 石室
一色 上肥 小侯 加古 柳井 岩杉 田中 村田

那波一族

那波 那波 福永 千守 伊王野

新田

大関 大田

新田

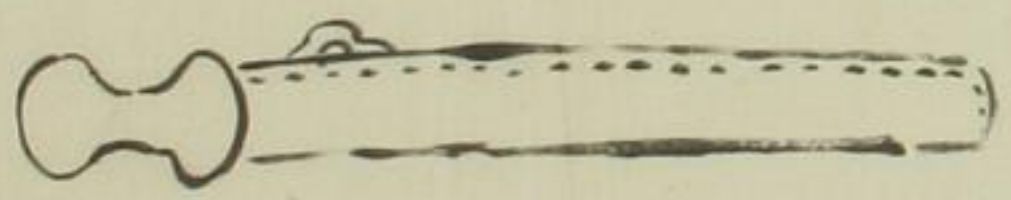
吉良 今川 東支

大和口

石川 宇肥 柳津 沼田 成田 乃井 大寺 十郎 杉地 河尾
大友 土方 宇川 福永 唐洲

信乃口

小笠原 伴地 大井 大倉 赤曾 麻績 丸毛 山中 江原 幸盤



何物 度全不手帳

禮記 饗玉固

御子 日丁坤玉固

長門 國防

小地一畫玉固

丹江畫玉固

中法玉固

宇佐玉固

山崎 鴨野玉固

日奉身文

法皇墨記

信乃 中皇不手帳

陸皇 甲斐 三村身文

山崎 惟主玉固

伊予 延喜身不手帳

信乃 海地身玉固

身取 清玉玉固

石乙 掃卒玉固

野乃 大宅身玉固

世乃 伊香身文

山崎 大申身玉固

抄原 津守玉固

山崎 河守玉固

首前 大花玉固

身取 他口送身玉固

世乃 十五玉固

上野 長徳身玉固

身取 大津玉固

良華玉固

山崎 寺公不手帳

身取 身不手帳

拍身玉固

古神身玉固

身取 身不手帳

身取 身不手帳

丹江玉固

小摺玉固

若身玉固

古乃 法皇 中皇

三礼目錄

的 切玉 切玉 切玉

奉射的 一事

九度 弓

草鹿 弓

丸物 弓

伎物 弓

三九 弓

振 弓

对搦 弓

圍的 弓

百手 弓

三的 弓

射物 弓

射揚 弓

神前の 弓

未正的 弓

明鏡 弓

新斬的 弓

目不視兔在肝

耳不聞指在腎

舌不聲神在心

鼻不香魄在肺

四肢不節意在解

五者相與混融化為一氣

聚之固名曰鉛汞一但身中

求之不必求於他處也

此乃

依之乃

此乃

此乃

此乃

矢披 / 一

八的 / 一

流鏑馬 / 一

笠樹 / 一

犬追物 / 一

弓具 / 一

古將服 / 一

流鏑服 / 一

袴 / 一

鞆 / 一

胡録 / 一

弩冰 / 一

矢籠 / 一

百大皇 / 一

石矢箱 / 一

調度掛 / 一

矢屏風 / 一

箭筒 / 一

征矢 / 一

的矢 / 一

野矢 / 一

一手神頭 / 一

福矢 / 一

一子四目 / 一

引目 / 一

笠掛引目犬射引目 / 一

神矢鏑 / 一

鞆 / 一

一具鞆 / 一

弓矢手 / 一

行騰 / 一

綾圍笠 / 一

敷はし
 刀敷
 軍礼
 征伐
 進巻
 節度
 陣所陣取
 陣場
 戰場
 陣
 備
 手分
 手組
 自死
 合印合詞
 先登

之陣
 一昔業
 水攻
 火攻
 夜軍
 夜討
 夜込
 地鏡
 燒御
 籠城
 防野
 加勢
 後詰
 後巻
 折巻
 折巻
 付城

附主戦客戦

城ヲ攻崩トテ
城ヲ攻破トテ
日東取トテ
日帝トテ
大舟候トテ
中舟候トテ
紫舟候トテ
一野舟候トテ
甲乙大備トテ
送り舟候トテ
迎備トテ
遊軍トテ
天文トテ
伏勢トテ
蟻トテ
同見トテ

見分トテ
尺切トテ
一番鎧トテ
二番鎧トテ
注根ノカドトテ
注下トテ
場中高名トテ
モリ返ストテ
小返トテ
崩降トテ
後口ノ高岩トテ
討首トテ
屍拂トテ
殿後トテ
剥取トテ
分礼トテ
身ノ衆トテ
盈者トテ

一 但打トテ
一 助太刀トテ

軍法

一 相討トテ

一 出陣者トテ

一 歩隊者トテ

一 白旗隊者トテ

一 素肌隊者トテ

一 軍中三者トテ

一 犬トテ

一 草ヲ踏トテ

一 城ヲ巻トテ

一 城ヲ解トテ

一 陣引トテ

一 陳ヲ拂トテ

一 小屋ヲ包ストテ

一 勸請ノ用トテ

一 奉送ノ用トテ

一 陳屋外張トテ

一 日躰トテ

一 捨毎火トテ

一 本冊火トテ

一 持口トテ

一 引擺トテ

一 中ノ濁トテ

一 人形ノ敵トテ

一 敵ヲ配トテ

一 味方ヲ配トテ

一 狭間ヲ閉トテ

一 矢標トテ

一 鎧襖トテ

一 芝居ヲ踏トテ

一 武者振トテ

一 甲照トテ

一 甲冑トテ

一 白羽者トテ

- 黒^ク斗^ト者^シト^ク
- 斗^ト者^シ物^{モノ}又^{マタ}度^{タク}ト^ク
- 首^{カビ}對^{タイ}面^{メン}ト^ク
- 首^{カビ}交^{カウ}換^{カン}ト^ク
- 日^ヒ配^{ハイ}見^ミト^ク
- 日^ヒ倍^{ハイ}見^ミト^ク
- 拾^{シウ}首^{カビ}ト^ク
- 奪^{ダク}首^{カビ}ト^ク
- 冷^{レイ}首^{カビ}ト^ク
- 入^イ子^シ首^{カビ}ト^ク
- 母^ボ衣^イ入^イ進^{シン}ト^ク
- 日^ヒ掛^ケト^ク
- 耳^{ミミ}鼻^{ハナ}ト^ク
- 欲^{ヨク}味^ミ方^{ホウ}蒂^{テイ}詞^ジト^ク
- 日^ヒ方^{ホウ}誠^{セイ}ト^ク
- 日^ヒ手^テ負^フト^ク
- 日^ヒ馬^バ詞^ジト^ク
- 日^ヒ符^フト^ク
- 日^ヒ物^{モノ}ト^ク

五十七條

甲曹部

- 天^{テン}空^{クウ}息^{ソク}出^{シュツ}天^{テン}三^{サン}座^ザ八^{ハチ}幡^{ハン}座^ザト^ク
- 前^{ゼン}立^{リツ}服^{フク}立^{リツ}後^ゴ立^{リツ}ト^ク
- 星^{セイ}甲^{カウ}節^{セツ}甲^{カウ}三^{サン}枚^{マイ}甲^{カウ}五^ゴ枚^{マイ}甲^{カウ}ト^ク
- 星^{セイ}白^{ハク}甲^{カウ}白^{ハク}星^{セイ}甲^{カウ}ト^ク
- 二^ニ方^{ホウ}白^{ハク}四^シ方^{ホウ}白^{ハク}八^{ハチ}方^{ホウ}白^{ハク}ト^ク
- 龍^{リウ}頭^{トウ}高^{カウ}角^{カウ}燕^{エン}尾^ビト^ク
- 飲^{イン}味^ミ方^{ホウ}詞^ジト^ク
- 甲^{カウ}ノ^ノ錯^{サク}思^シノ^ノ錯^{サク}ト^ク
- 浦^{ウラ}仲^{チュウ}深^{シン}日^{ニツ}根^ネ野^ノ形^{ケイ}ト^ク
- 喉^{ウエ}輪^{リン}具^ク留^{リウ}輪^{リン}ト^ク
- 頰^{ケツ}當^{トウ}面^{メン}頰^{ケツ}猿^{エン}頰^{ケツ}燕^{エン}頰^{ケツ}ト^ク
- 御^ゴ着^{シヤク}背^{ハイ}長^{チヤウ}ト^ク
- 禮^{レイ}ト^ク
- 服^{フク}卷^{ケン}ト^ク
- 朋^{ヘイ}丸^{ワウ}ト^ク
- 平^{ヘイ}士^シ具^ク足^{ソク}ト^ク

一 当具足ノ一
 一 大袖中袖瓦袖ノ一
 一 志賀 借茶 借水香ノ借ノ一
 一 俵子ノ板ノ一
 一 楠ノ板ノ一 檀ノ板ノ一 杉ノ板ノ一 栗ノ板ノ一 柏ノ板ノ一
 一 高切罽ノ一
 一 泊振ノ板ノ一 中振ノ板ノ一
 一 招揃ノ一
 一 小札山道海老明ノ一
 一 毛色品ノ一
 一 首ノ板ノ一 小手織田ノ板ノ一 小手降ノ板ノ一 小手ノ一
 一 毘含ノ板ノ一 小手弟ノ板ノ一 小手ノ一
 一 留ノ板ノ一 小手弓ノ板ノ一 小手ノ一
 一 宝幢佩揃ノ一
 一 伊豫佩揃板佩揃ノ板ノ一
 一 毘含ノ板ノ一 膝當ノ一
 一 飯角結卦草草ノ板ノ一

一 梅烏帽子ノ板ノ一 鬘帽子ノ板ノ一 袴ノ板ノ一
 一 上ノ板ノ一 下ノ板ノ一 著ノ板ノ一 乳隠ノ板ノ一
 一 天衣地衣ノ一
 一 鎧ノ板ノ一 通ノ板ノ一 垂ノ板ノ一
 一 化粧袴ノ一
 一 陳羽織ノ一
 一 具足羽織ノ一
 一 之出接足袋ノ一
 一 連着仕立ノ一
 一 再行ノ一
 一 軍配圓ノ一
 一 軍扇ノ一
 一 鞭ノ一
 一 袖ノ板ノ一 子ノ板ノ一 笠ノ板ノ一 下ノ板ノ一
 一 古付道行旗ノ板ノ一
 一 日月旗ノ板ノ一
 一 手長旗ノ板ノ一

五羅ノ一

差物ノ一

纏ノ一

馬駮ノ一

天子御務ノ一

諸將務ノ一

天子御務ノ一

諸侯大又侍幕ノ一

幕串ノ一

幔幕ノ一

帷幕ノ一

幅連幕ノ一

四半ノ一

天子軍靴ノ一

諸將軍靴ノ一

軍貝ノ一

鉦鐘ノ一

曲器床札ノ一

太刀ノ一

尻鞘ノ一

折刀ノ一

短刀ノ一

馬手差ノ一

鎧ノ一

長刀ノ一

野太刀長卷ノ一

陳刀陳狼差ノ一

馬法札

神前奉納の色ノ一

同馬具装束ノ一

神馬ノ一

御代替ノ一

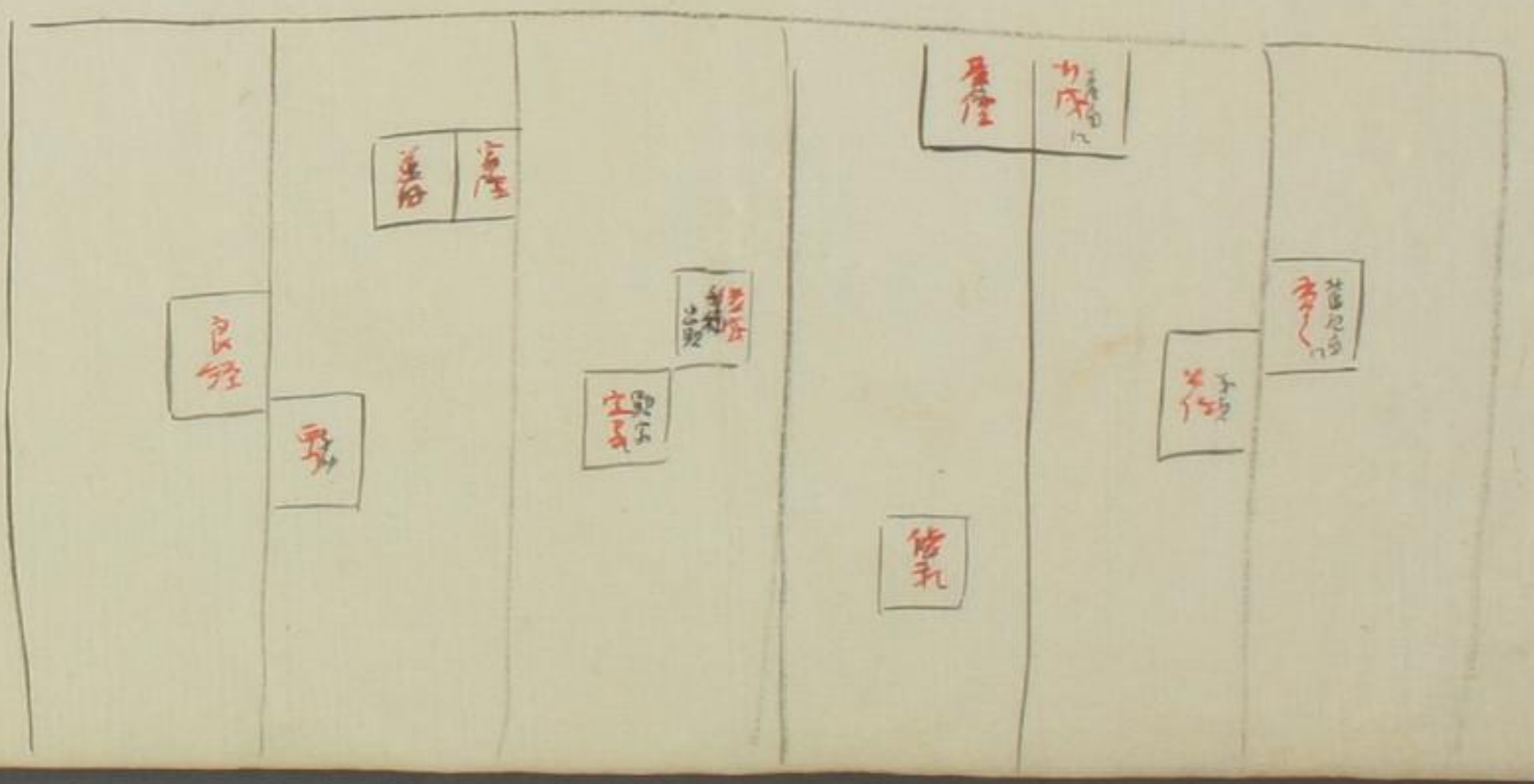
若君沙遊生ノ一

行成ノ一

入部花子ノ一

袂紗ノ一

- 増礼 供馬ニ據ノ馬毛色ノ
- 馬毛ニ依ニ因係ノ
- 馬在守波神ノ
- 年以ニ接リテ来テ祈禱ス
- 年以ニ馬洗神ノ
- 年始ニ乗初作付ノ
- 葬礼 供馬毛色ノ
- 日馬具 装束ノ
- 鞠 跡 四年掛 乗取ノ
- 庭乗ニ 籠乗ノ
- 鶴羽 迹トテ 庭乗ノ
- 澄 左右礼ノ
- 多 儀ノ 礼ノ
- 鞭ニ 削ル 木品ノ
- 竹ノ 根 鞭 蒔取ノ
- 日埋 鞭ノ
- 紫竹ノ 鞭ノ



- 竹ノ 根 鞭 取柄 腕骨ノ
- 鞭之ニ 陸路ノ
- 坐人 平人 塗 鞭 取柄ノ
- 日腕骨ノ
- 几 竿ノ 先ニ 穴ヲ 照ル 有無ノ
- 四垂ノ 鞭ニ 用ル 木ノ
- 大追物 鞭ノ
- 鞍 特 領ノ
- 鐘 取 柄ノ

草部ノ 土ノ 中ニ 生テ 土ノ 中ニ 生テ
 今井庄司 氏
 言知ニ 生テ 土ノ 中ニ 生テ
 今井庄司 氏

三礼口傳

一の 馬 真行 草ノ

真ノ 的 場トシテ 塚ヲ フキ 蹴ヲ 立テ 八幡 棚ヲ 立テ 相馬ヲ 築
 キ 射手ノ 小形ヲ 定メ 行ハ アフキヲ フキ 附木アリ タバハキタル
 斗ニ 草ノ 的 場トシテ ナミナソノ タバハキタル 斗リ 当坐ニ 繩ニテモ
 フェテ 射ルニ 止リテ 的 場トシテ 修リテ 草ノ 的
 切ニ 足半ニテ 修リテ 止ル

一 奉射的

村手二人立五度ニ射し是ハ大的一人ノ手取ラテ二人
ニテ二十度分テイハ先村ノ五度ヲトモコモテ者留ラ
又テコモノ上テ射し是ヲ奉射的トモ云フトモ云ハ五度
ヲハ右高田ウシラセキノ前セキノウシロウ此二人ノ能ク射
ルニ射手人ノ装束ハ烏帽ハ水ヲ留置ルニテ也シ畧ニハ
烏帽ハ素袍ニテモ射し奉射的ニ射前ニテ村ノ井ノ

一 五度

五度ヲトモニ村手一人立五度ニ射し一人ノ手取ラテ
但ニテツ、シ四ノ角トモ前後四知シ當時 公儀ニテハ
亦村切始ノイキハ五度ヲニテニテツ、射し物ニニテ
十二年此ヲ行シ此ハ一人十テハハ、主後ハクイックル
シハテ 憚リテニテニテツ、トモ

五度 九 四ノ前
ニ度 七 四ノ前
三度 五 四ノ前

二度 三 四ノ後
一度 一 四ノ後

一 草鹿

多流ノ草シハ草ノ深シクハニ指付クカクテ故ニ是ニ草
鹿ヲワリテハラノ下ニ櫓ノ葉ヲサスハ鹿ハ草ニテツ、ハ
白クセシクハ首ヲ大前ノ方ニ向テテモテモツテ
代ニシテモ射し人取定ニシ物取ハ二人モセテイハハ
一手神取又ハ四月ニテモ射し

一 丸物

惣テ草鹿ニ日ニ神取又ハ四月ニテモ射し丸物ハアソリ
矢沙汰アルモノハ的ハケマリテニツ、シクハニテハニテツ、
中ニ白ク星ヲセシタルハ的ノ注リハオ

一 杖物

四半ヲモシ又九半花扇ヲトウ紙ノ紙クシニ杖ミテイハ
四半ヲハオノ杖ヲ四ツニ切九半ハ九ツニ切シ草木ノ葉
貝杯ヲ射し先人ノ飯所又ハテモシアル人ノ飯トモ花
葉等ハ射スハ扇ツマブ射ハカラス紙ナキ子細ニテ止
テ始メテ射しハ射松習ヒアリノ立方ニモ習アリ先ハ
射ス

一 三ノ九

是ハ三ノ九ノ三ツツ、ニ段ニ以上九ツカケテ射し矢ハ
的矢ニテ射しハテ草鹿ニ日ニ昔ノ三ノ九ノ射ハハ祥ナ
ラズ

一 振

是ッ大サ四寸はニテ丸ノワクリ上ケレニツナニスジワケテ
ワリテ射多クハワリトフハ故ニワリトマフ
甲矢ニテ射テ的スハラ又中ニ乙矢ヲ射ルハ是ハ矢ト
コロタルニシルヲ射ル智也

一 射擲ノリ

的ハ相ノ木ニテワクリクハ四寸丸クハニテワリクハ的ノヤ
ウニテサバヤカサニテイサカ小アリハ切一筋ヲ釣リ射
当タルハクシヘカラムハ其カラミおニテ勝負ヲ争フハ故ニ
射カラミトラスベテ加様ノモノハ奉射的ノワイテハ是ハ
ニテイル

一 圍的ノリ

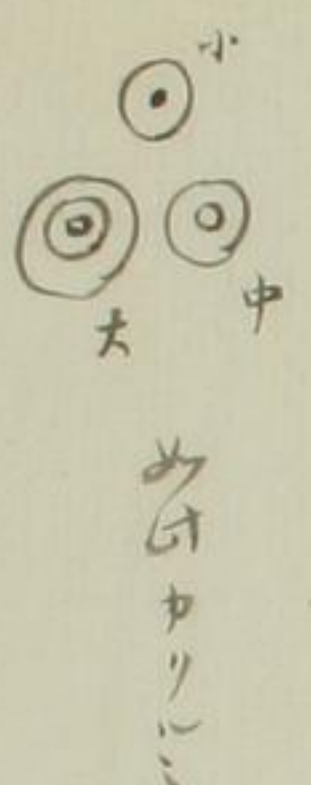
射手十人クジヲ取テハ圍ハス方十人木ザカタ十人
トカリテ一ヨリ十マテノ圍アリテ各取ニシタケハおササニ
トシハ一取五ヲ取ニハ五取トドカテ取ラセニテ勝負
ヲ争ハニテ五度射ルハ是ハ木ザカタニ一ニノ印ヲ
ホリ付テ方ハ其印ヲ消ニテセ付ハ是ヲ圍テハ入テ
引カトヲ持セテ射射手ニ取ラスハ引ハ今世ノノジマト古ハ
矢代ニテ上矢下矢ト分レテ勝負ヲ争フニクジノコシラハ
此ハコシラ

一 百手ノリ

射手十人一人ノち取十人十人ニテ百手射ルハ又一人
テ百手射ルハモアリ古ハ一人ニテ百手射ルハ合ニ百手射ルハ
是ハ神奇ニテ祈禱等ニ射ル

一 三的ノリ

是ハ的ヲ大中小トシツ掛テ誰ハ大誰ハ中誰ハ小ト射カテ
ベキ的ヲ定テ射ルハ大射者人中小ヲイレバハズハ中
ヲ射ベキ人大ヲイレバハズハ大サ大ハ一人取テ大
ウニカテ中ハ一人大前ニカケ小ハ五寸上ニカケハ是ハツラカケ
並大的一クハ中の小的ニ十ナド、定メモ又ニオ上リト
ニテアリ



賭射ノ向一隊ヲ茶比ニ隊ヲニ又ハ子三隊ヲ山又三
光回セシテニハ子五隊ヲテスカ春ハ桜花トモハ隊ヲ山
七隊ヲスノジ秋セトモハ八隊ヲ山ヲスカ九隊ヲキハ十
銭ヲクハリ百ヌヲ一丁一セヌヲ一運トモ十一ヨリク
杯トモ前ニ日シ

但け賭銭三ッ的ニカキルヘカウハ一的ニテモ射ル

一 村姑ノ

是ニクノノ的切ノ村姑ノシヨク甲又ハ子ノロラ
用ニ若神ノ子ノ日差遣ノ有ラハ子ノロラ用ニシ折
敷ヲ九枚ノ文字ニ切リ採立ニシ的前近ノミテ以社
當ニテ祀像トスニシ

一 村揚ノ

是ニ年ノ昔ノ的切ノ村揚ノ的奇十一枚小的ノ通
リシ是金ノ一丁ハ合ノ的カケテ村ニシ村揚ウサ
ハハイフマテモ村揚ニマテイニ後、限ノ小的ウサ
テ村アリニシ金一ツ限一ツヲ以テ行リトスニシ的ニ行
テ行クニ重ニ行ニ非ズ特トスニシ

一 神前ノ

一尺ニ寸ノ的青葉赤白ノ五色ニ行ラセテ夏ノ
了日モギノ久ニテイニシサシ尼男ニホホノラテモイニ
シ的奇小的ノ通ニシ

一 亦ノ小的ノ

的奇十一枚正のたニシ

・テワクハイニテ村ニシハツ樽ヲモ乙亥振振トスラリ
是ヲ末的と勸進的ヒラモテテ振テモ際ヲモテ村ニ
圖ニテ村ハ圓的ニ

一 附信ノ

半信ノ村神ニホホニテ先ハウラ其ニ立立ニ附ライニシ
ヨ前ノラ久ノ時ハ附信ノ其ニモテテカサリモシ村ノ
了美ノ時ハ次信ノ久テ持テモシサテ村信ニモ目己
ト上次ニテテ村ニモシハ其ハウラ附信ノオニシテ上
坐ニ向モ其モ並ズモ又ヨリ次ニ立立ニカケテ元テモ大
Dニテニテワクハイニテ一丁行テテサニシワクハイノ附
乙亥神信ヲテ村ニシ村信ノハイ舞ニテテ十ニ
一ニ一信ニホホシモ其又ハ長信ニテ村ニシ男ニ
半上下附信ニモテ立立ハ又周リ三所ヲ信ヲ
通角トス左ノ右ノ十ニテ信目ヲモヨリハモテシ的前
一ホハカリニテ村ニシ坐モニテモ座ニテ行ニシ

一 鞆ノ

是ニ鞆ニテ油ニ用ニモハラノ小ロウ村ニシ其ハカ、的
カケテ村ニシモアリ

一 矢同ノ

是の着るナドノ物ヲモウ村玉ノ内ニ掛けたる
モウハ白赤ノトモニモシラヘ合ハルヲ定む祀シ又ハ
法士ハモウリテタテニ合ハルカモリ

一ハ的ノト

是ハ騎射シテ其の的ヲハツカテイニ又左右ニ四ツ
ツカケテモウニ左右ニカケルハ往來ニ射シハ的ノ
曲ニ上リ下リ又的のりの同ニテモウテテ居ルハ
テ射テアリ又奉射ノハ的ノ上ハ四半ノ半草木柴
貝足半ヲトラサテバリ居ホシ居ホシ射テ又其
是ノ村キノ故洲ノ葦ナドハ村ヌ

一流鏑馬ノ

馬場ノ長凡ニ町余ニ峙ラ結ヒサクリラキリラキニ櫓ノ木ノ的ヲ
ニツカケテ射ニ馬ノ野カミ神事流鏑馬ニハヒテテ三ノ付ニ
射テササ水干ムカハキアヤイモウ小チラカニ右カヲハキ
ラ負ヒ竹ノ根鞭ヲ持シ其ノ巻軸ニ揚扇揚鞭ノ習アリ同
ノ的サクリ元ヨリ四十二杖ソレヨリ中ノ的三十九杖又ヨリ下ノ的
三十二杖下ノ的ヨリ馬場末ノサクリ元迄三杖ハ馬ハカケテ一ニ
三ノ的ヲ射ニ射付ノ的同ハサクリトモカモズニ射テ人取定リ

ナシ芝一人ツ、素走ラシテ馬場末ト射ノ内ヲ馬場ニ射テ射テ
ウカケテ馬ヲ立物ノ村キ馬ヲ文セヌ射揚扇アリ是ヲ捨
鞭ノ扇トモ左右ニトモノ隔ハシ射付ハ任年内ハ馬
場末ヨリ下馬シテ馬場元一過ニ矢ハ一尺段隔ハ林ノ木
的ハ一尺寸ニ差油ハ別カアリ

一豆と魚ノ

射手十人十度村ニシテ手ニ弓杖七杖オキテ的ヲ掛
テ馬ハタククニテ射ニ的ノ大サ一尺ハ寸九ク羊ニテ包タ
ルニ矢ハ引目ニテ射ニ引目五寸又寸ニ馬ハ練馬ヲ
ヨシトス射手ササ水鳥帽子素袂老人ハ直坐ヲ用リ小チ
又掛鞭ヲ持テテ古ハ糶ヲカケテモヨシ晴ニハカケヌ

一犬追物ノ

射手三十六騎ニ十二人ツ、上中下之段ニ分テ射ニ檢見
次ホアリ馬場ノ廣サ平式ハ百回四方ハ馬場ノ中ニ繩ヲフ
セテ中ニ犬ヲ入テ犬放ダサ放ヌ時射手射ニ繩際ニテ中
リナケレハ外ヲ追フ犬ハ八匹トテ八匹ノ矢沙汰ニ
日記付撃甲振有替木ハ正ホシ素袂弓小チムカハキ射手ハ必
竹鞭檢見ハ塗鞭ニ矢ハ引目五寸七寸一尺二寸ノ大引目ア
リ馬ハ鹿子取ニ是ハ敵ヲ追テ射ニ誓古ハ是ハ別カニ

一小豆と魚ノ

是ハ外多ク村ニ習古シク是ハ馬切ヲ逆ニ村ニ村様
 子ニ

弓具

一 大将ノ服ノ一

逆類ノ服逆類ノ服ホリ逆類ニ似ノモノテ包クルヲ然ノ
 逆類トモ指ノモノテ包クルヲ指ノ逆類トモニ逆類ハ是
 ノ逆類ニ似大ぬノ服ニ之ぬハ亦五ノ内上差鎧ニ平
 中差尖矢ニ平ヲ用又上差鎧一平中差尖矢一平ヲモ
 用畧ノ内ハ上差ノ鎧ハ一平ヲモ用ル

一 簾笠ノ服ノ一

丸キ竹ニテ組直ニレタルニ是ハ平士用ニシテ服ハ袴ニ有古
 来ハ平士モ皆服ヲ用タルニ中古以來尋常ニ服ヲ不用
 損ニナリタルニコレ古来ヲ失シタルニ故ハ活能活リテ以故
 炮術盛ニ行レテ弓矢ノ古来スレタルニ故ニ可歎

一 袴ノ文ノ変

古来ニハ袴ノ文トテ別ニ十三征矢ノ内ヲ一平袴ノ文ニシ
 テ服ノカウミ物ニ用後世鍔ノ穂ノ如クニシテ其ハ袴ノ
 木ニテ造リ大キノ羽又能モ採ラウハ是ヲ袴ノ文トス古
 来ヲ失レタルニハ袴ノ文ハ亦村ノ一

列傳

多摩ノ理

水江浦子

澤地川流也

竹取翁

白著翁

日平武子

片長飢人

卯の宮人

大田ノ村子

柳下翁

高倉子

参考湯村即り貞王

古名正子即り正王

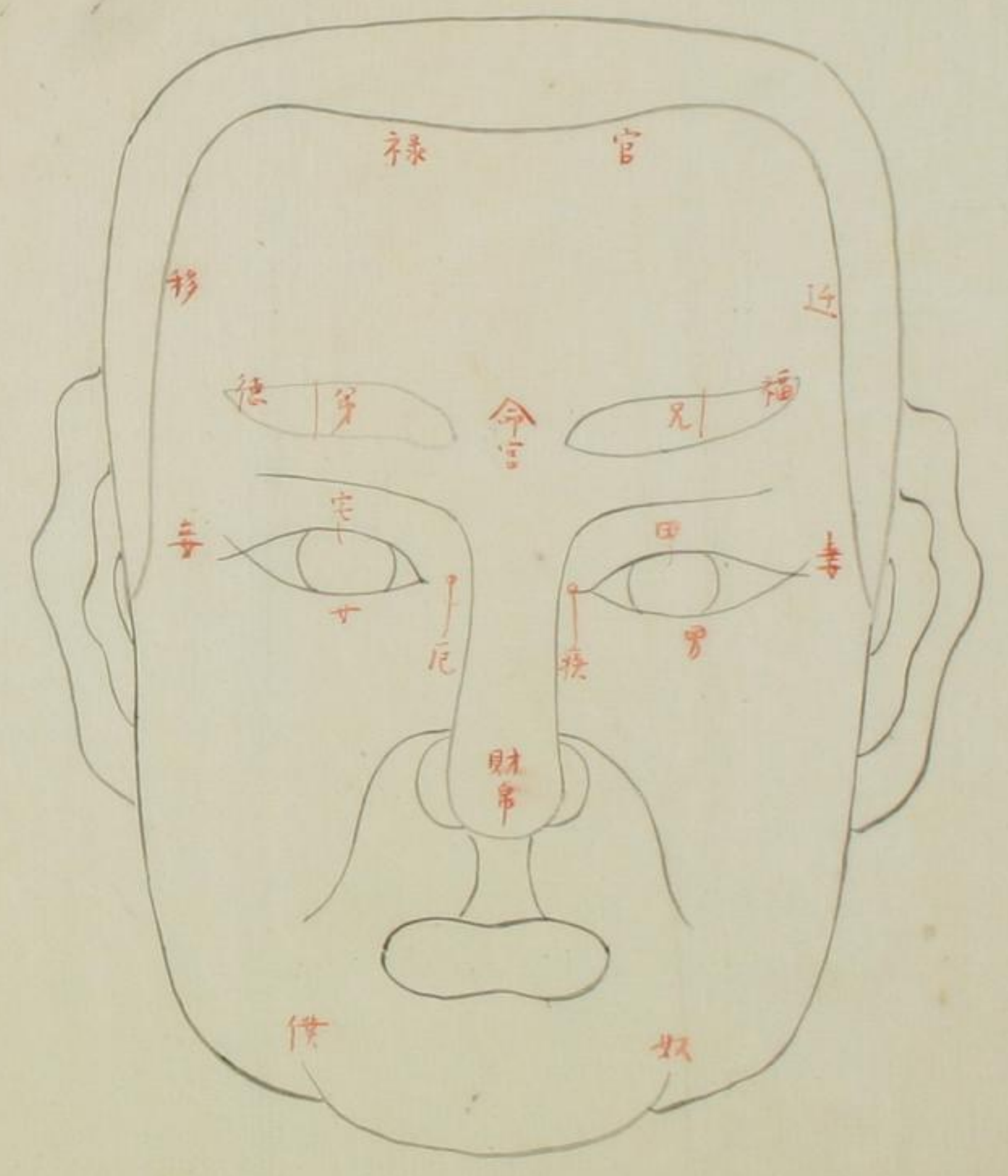
小野堂

太印下堂

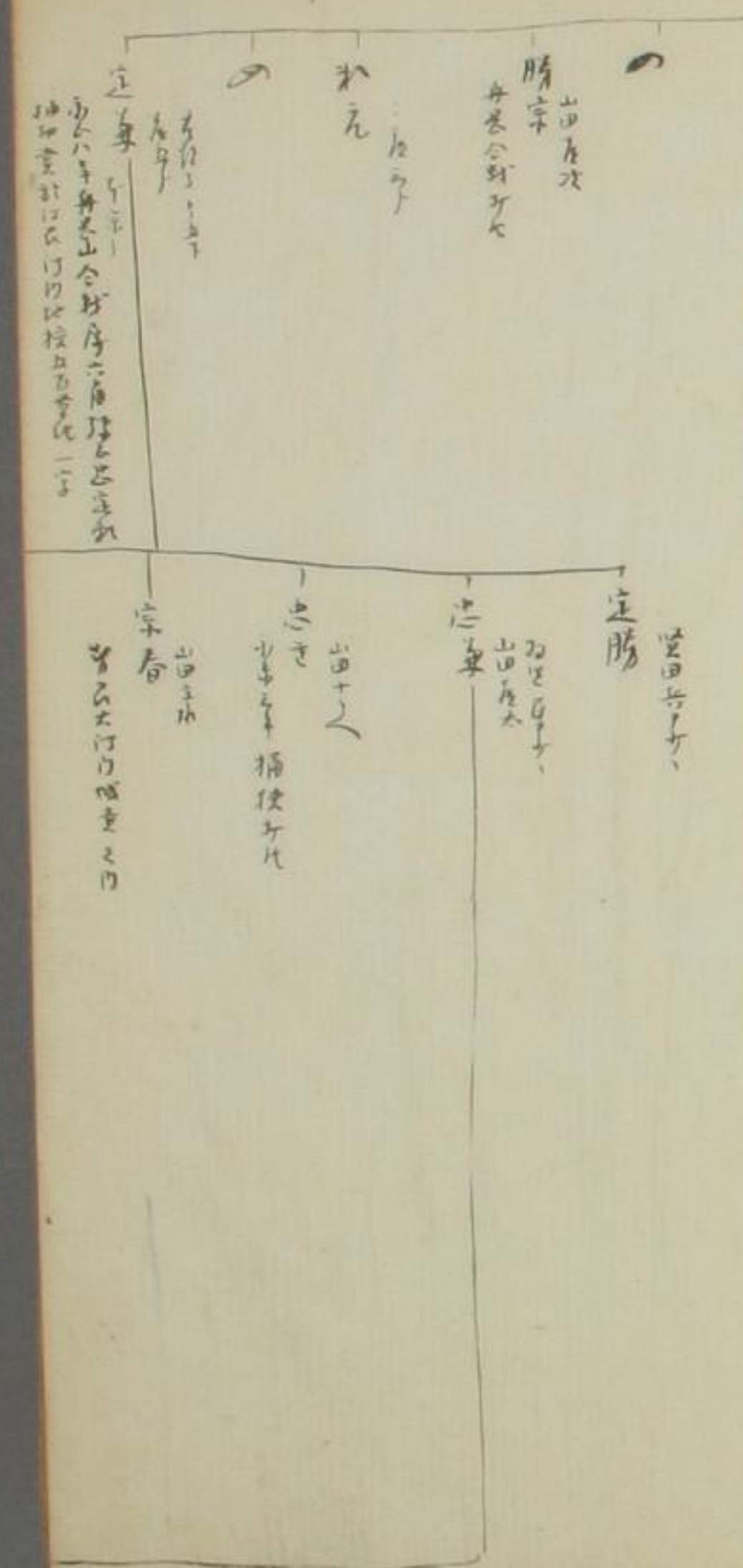
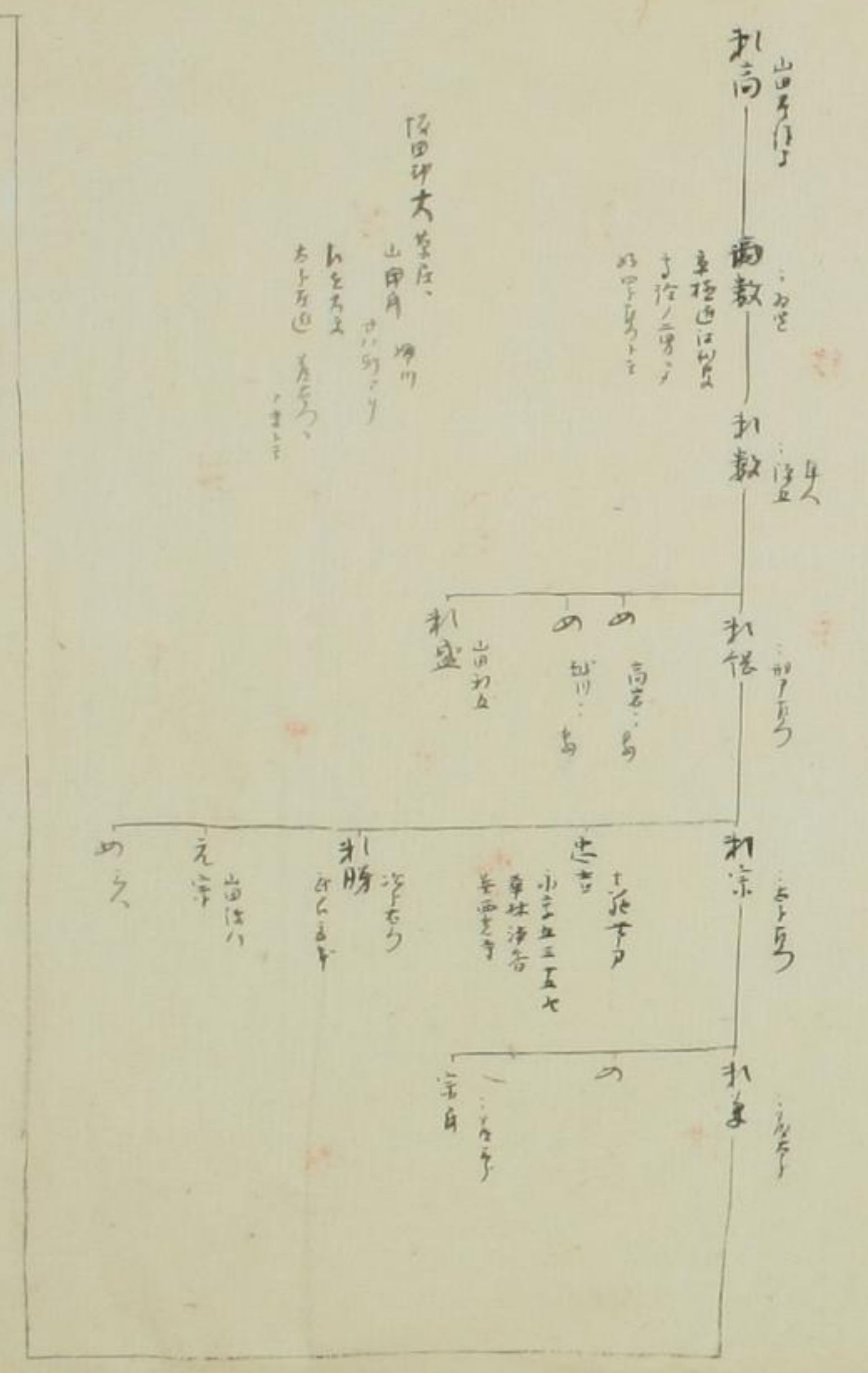


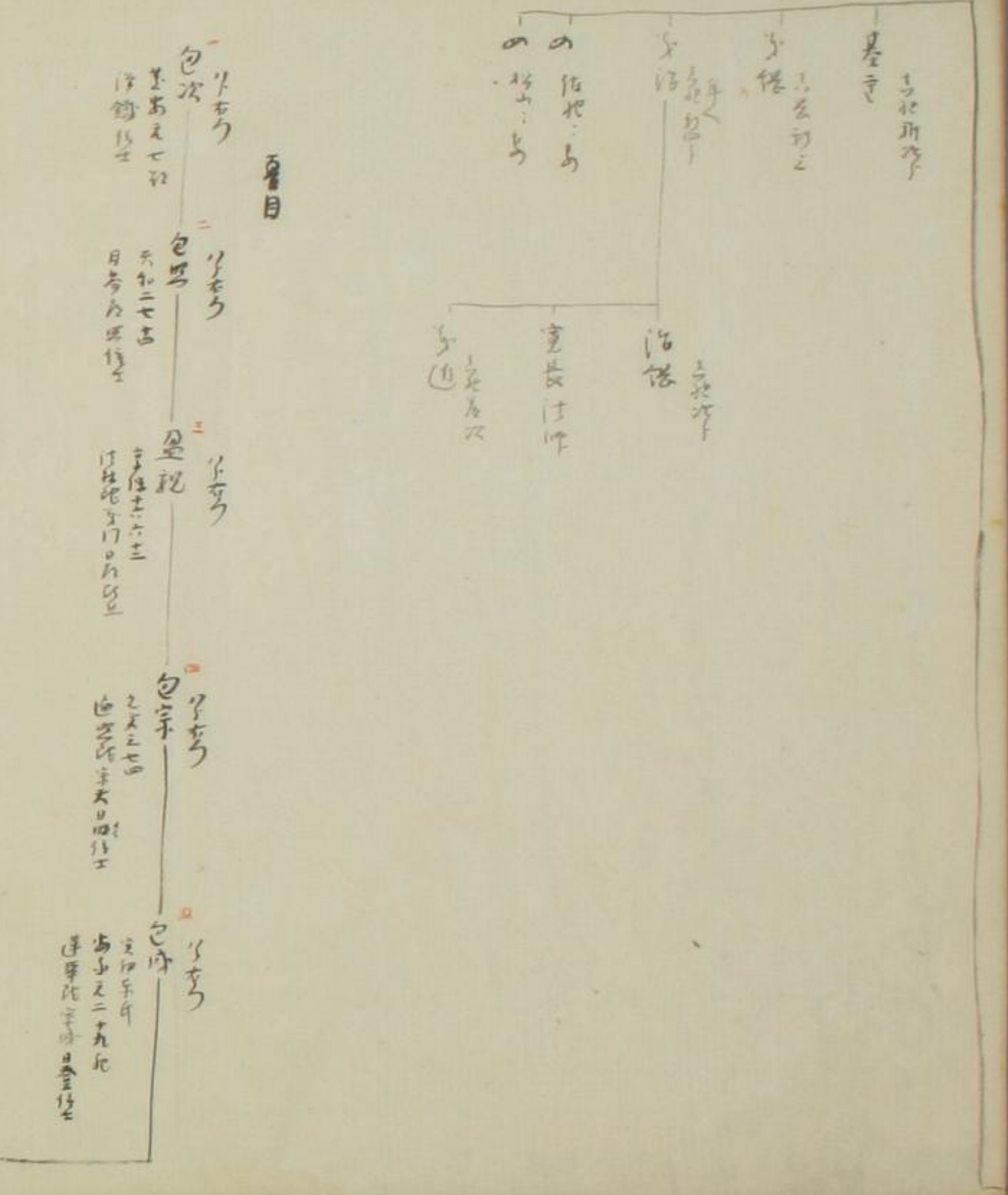
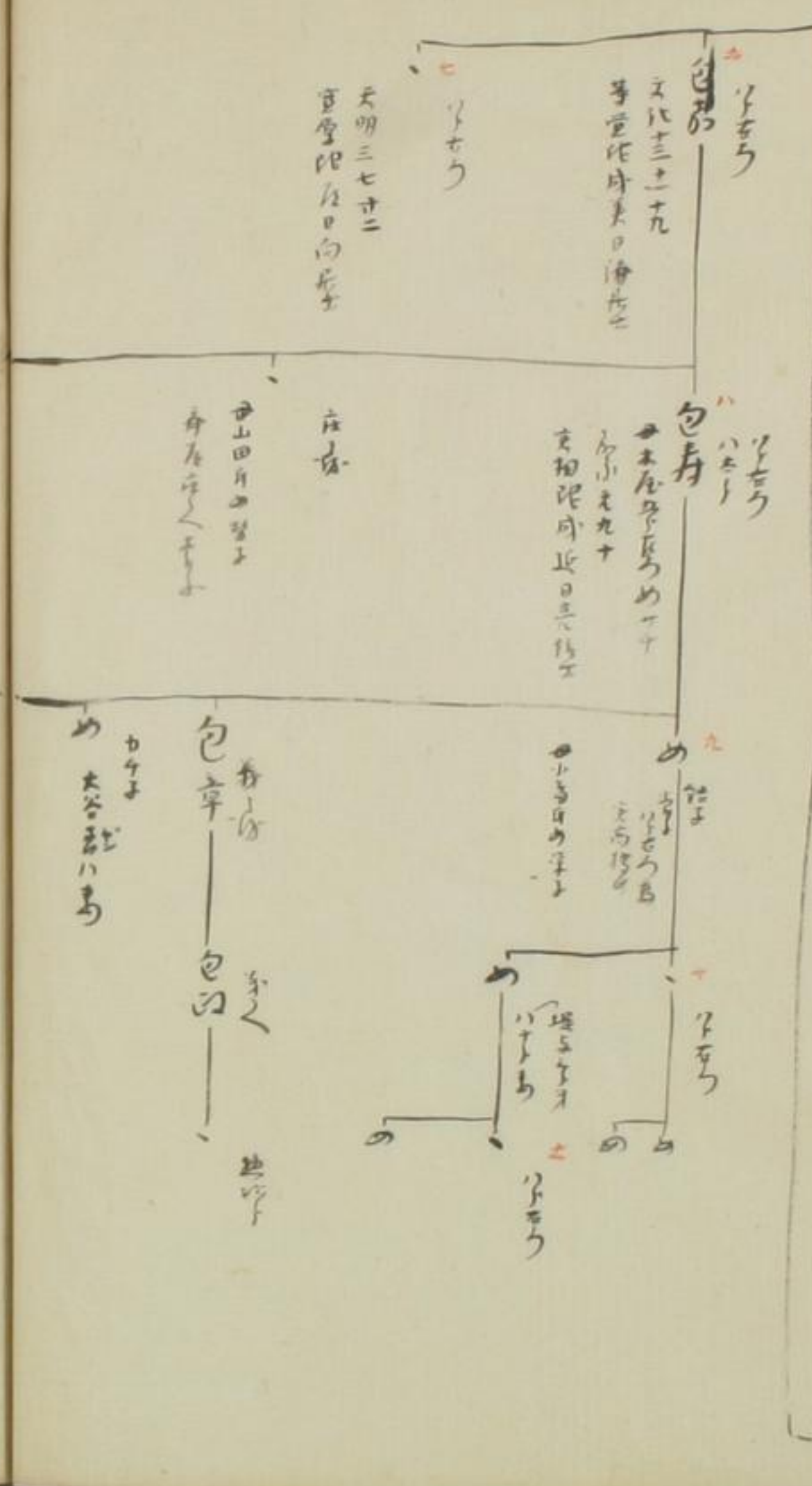
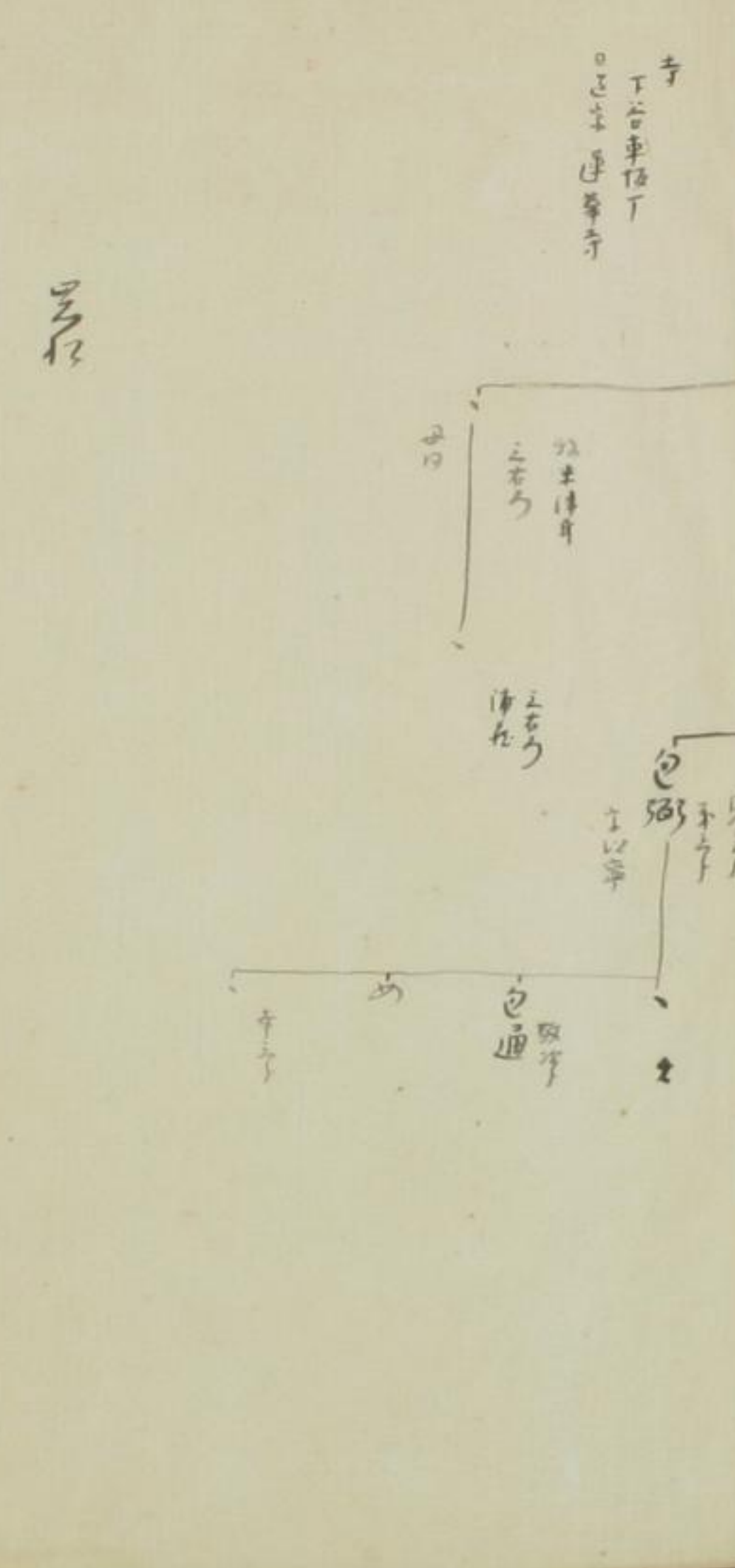
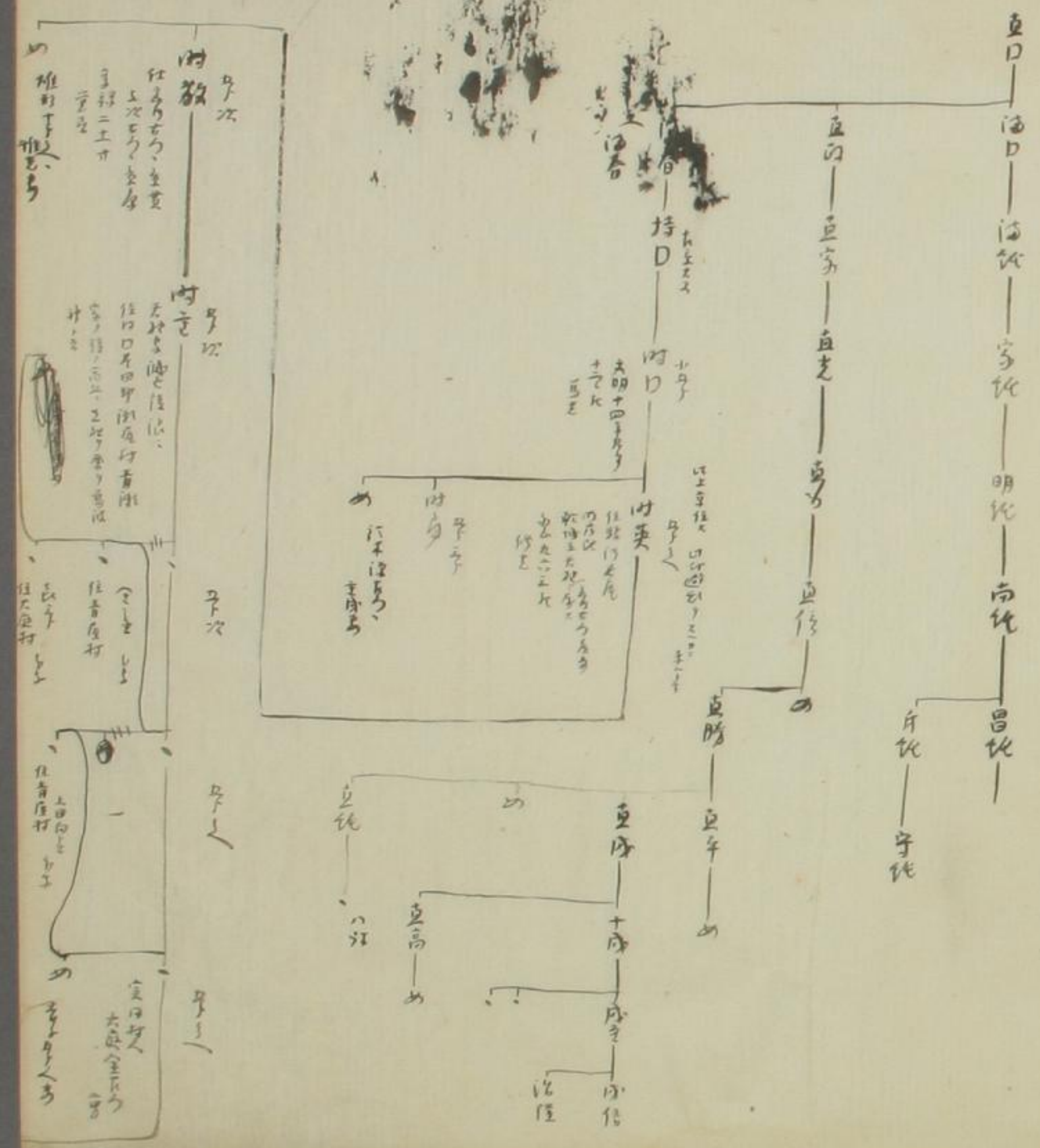
竹下翁ノ存続傳重書

十二女
 命文 兄才 胃の 毒 凶移 福位
 財命 田毛 以借 疾厄 官禄 相貌



中
 依
 依
 依
 依
 依





伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

時辰

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

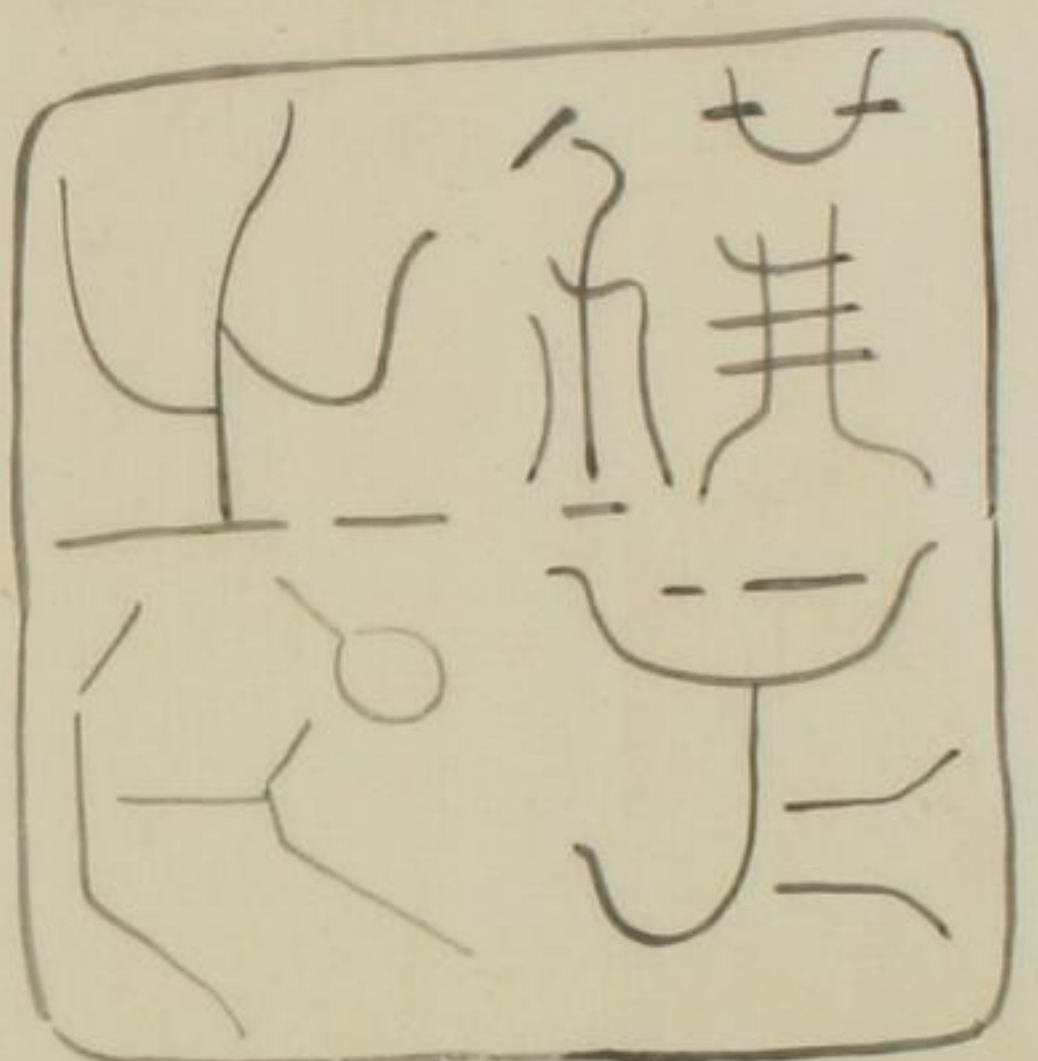
伊予

伊予

伊予

伊予

伊予

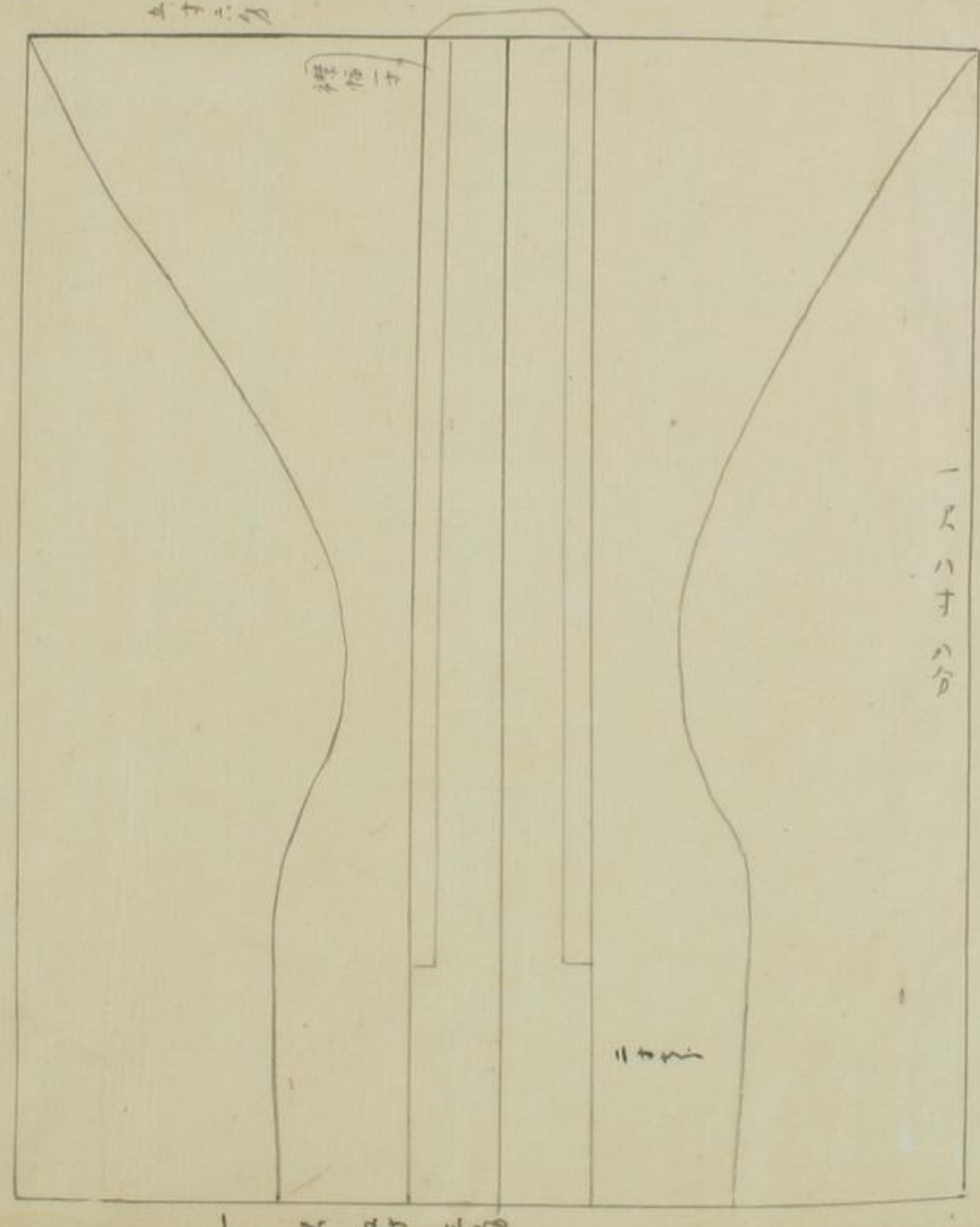


大御道ノ印

此方同ノ首有長

注一俣風ノ環ナリ

一尺八寸八分



御印

金利

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

伊予 小室

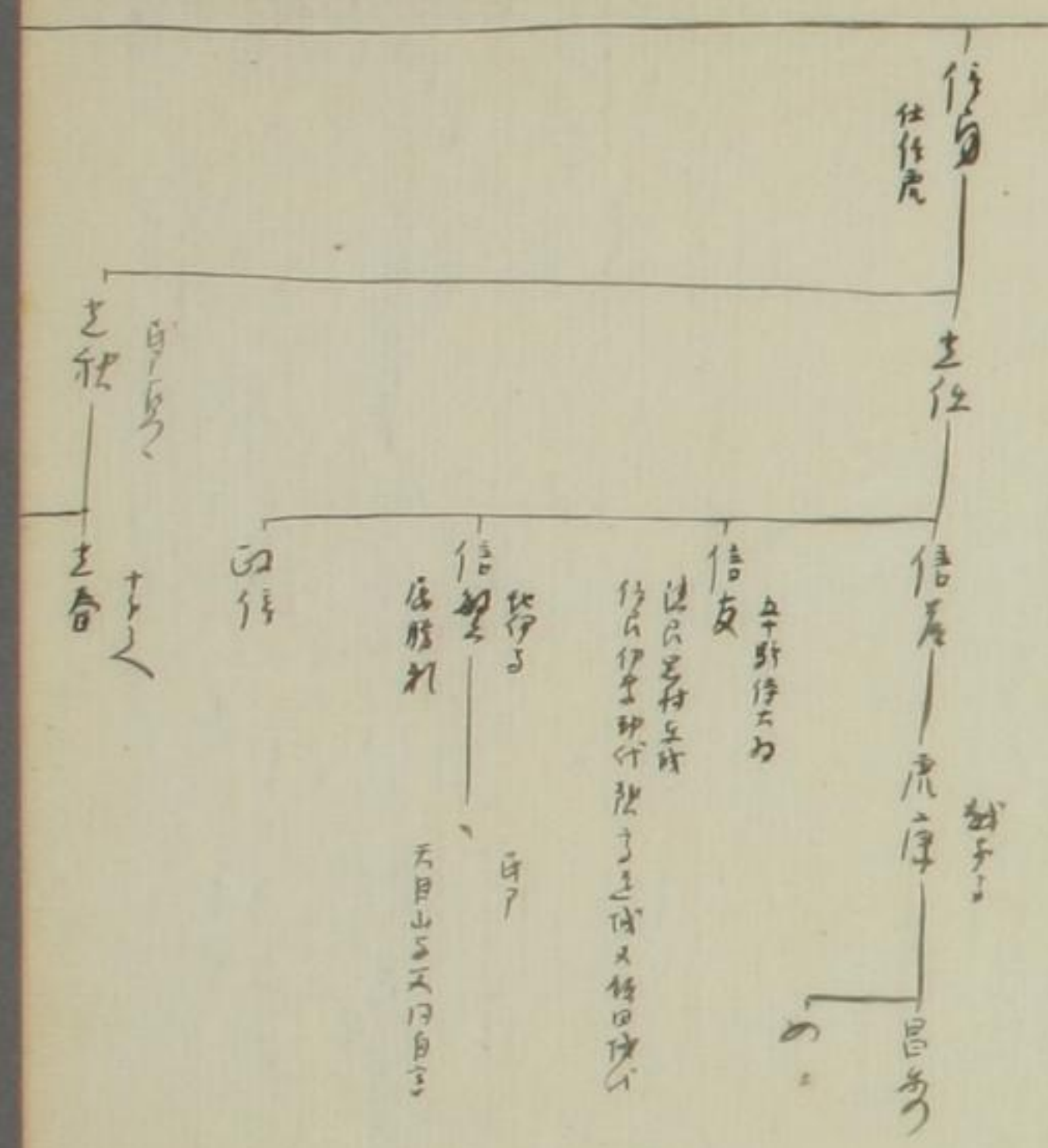
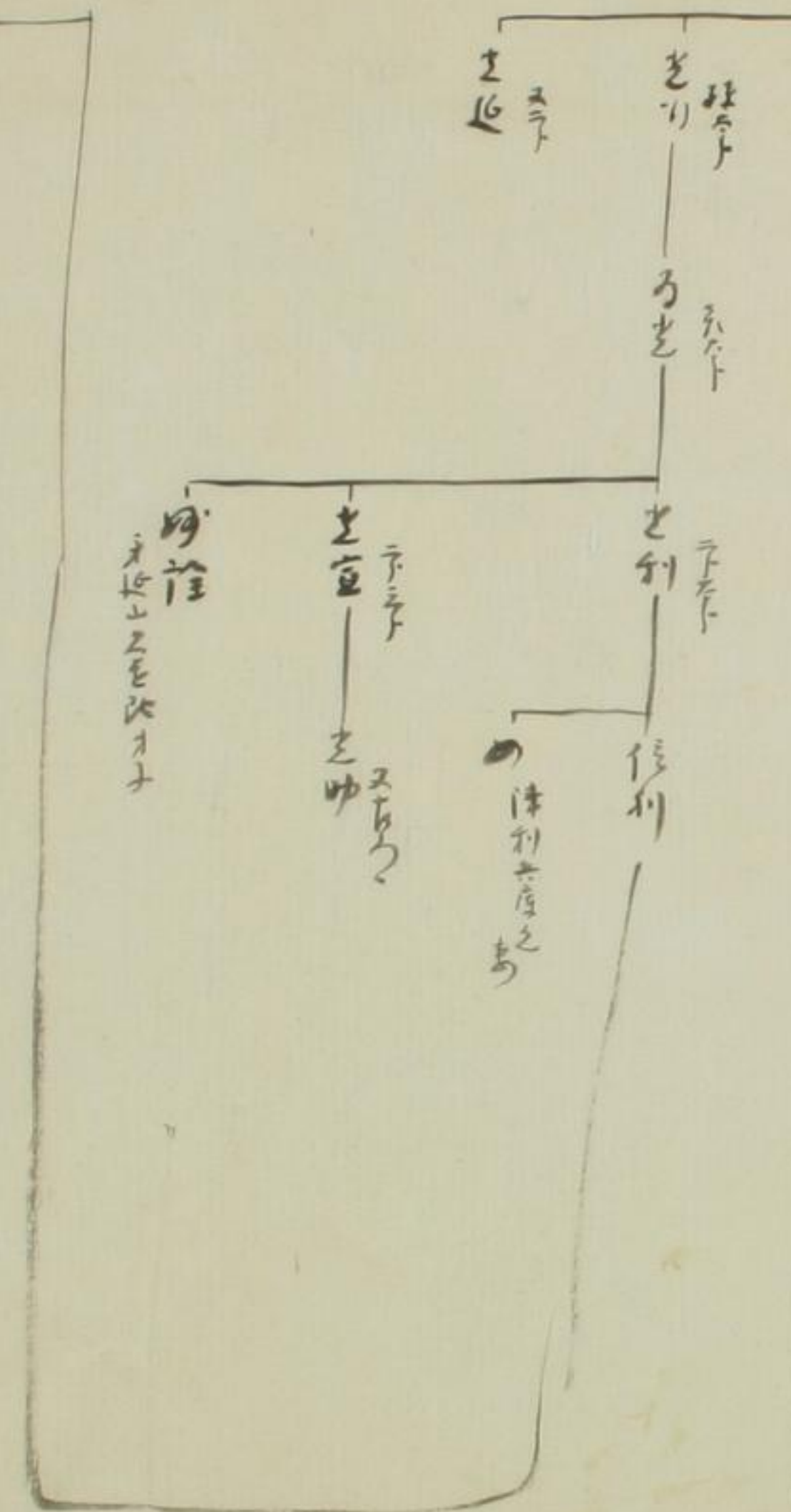
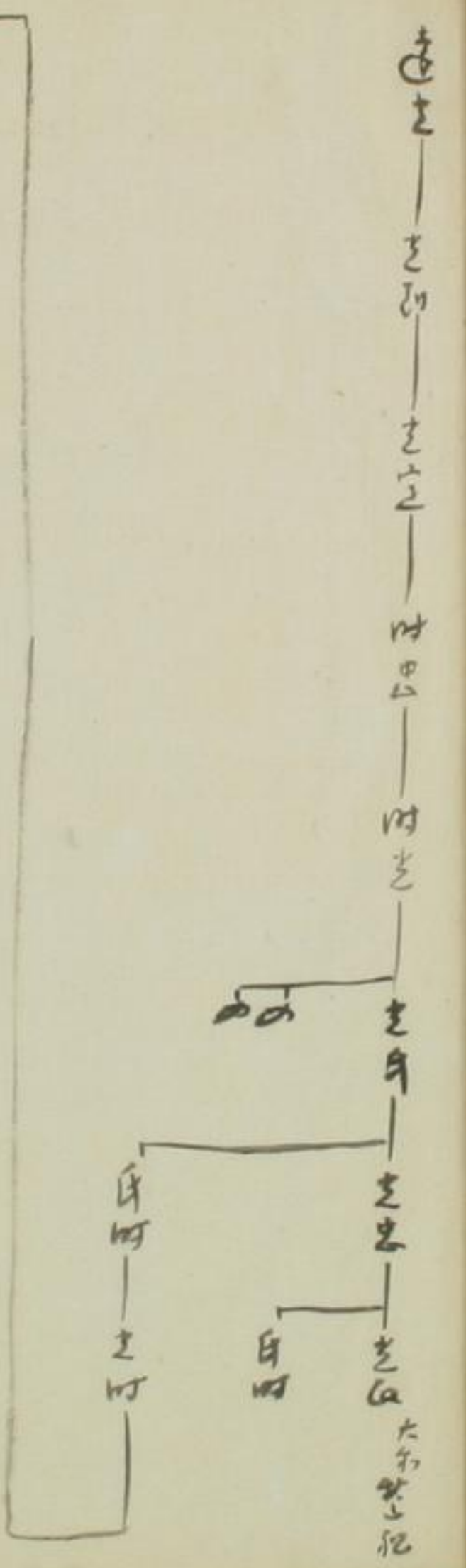
伊予 小室

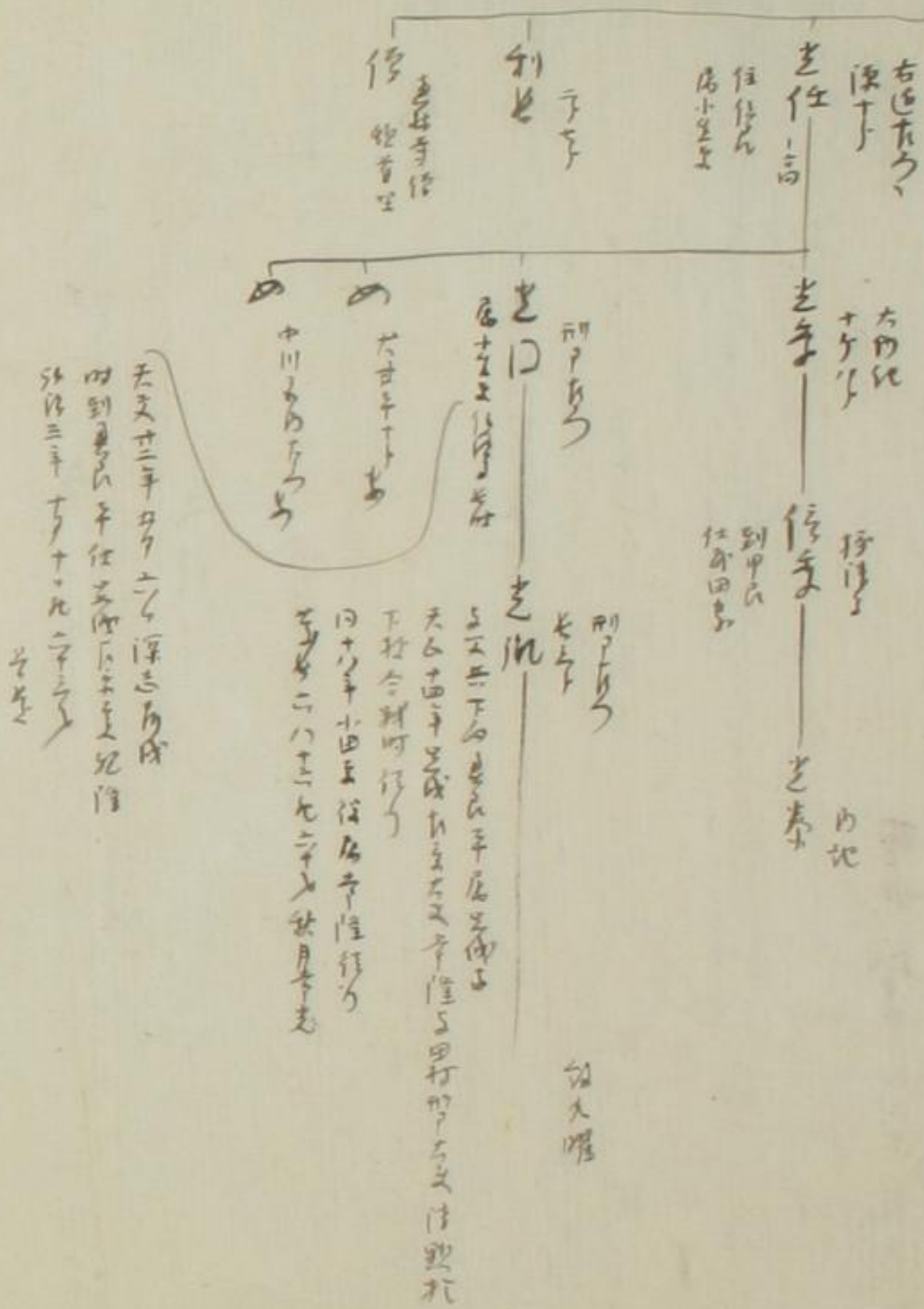
伊予 小室

忠者著乎天下日月麗乎天天地無日月則晦冥否塞人心廢也忠者則亂賊相尋乾坤反覆余聞掃石碑正身者忠勇節烈之士也
 双菟其行事不可概見大桓公之用兵審強弱之勢於無先決之成敗之機於呼吸知人處任作士推誠是以謀無不中而戰無不克誓心天地金石不渝不為利回不為害怵故能興復王室還於舊都諒之前門拒狼後門進虎廟謨不禰元亮接踵構殺國儲傾移鐘磬塵印垂成而震主策雖善而中庸自古未有元帥如前軍臣專斷而大將能立功於外者卒之以為許口之無靡他觀其臨終訓子從容就義託孤寄命言不及私自非精忠豈日能如是整而暇乎父子兄弟才世焉忠貞節孝萃於一門盛矣哉至令王公大人以及里巷之士交口而稱之不衰其必有大過人者惜乎載筆者無所考信其故奈揚其盛美大德耳

古故河揭原之辰守節正之位也出中而掃石碑明徹士節水朱之瑜字魯璽之所撰勒代碑文以垂不朽

秋心





天正十一年...
明正...
...

用田
信守
...

政元立命

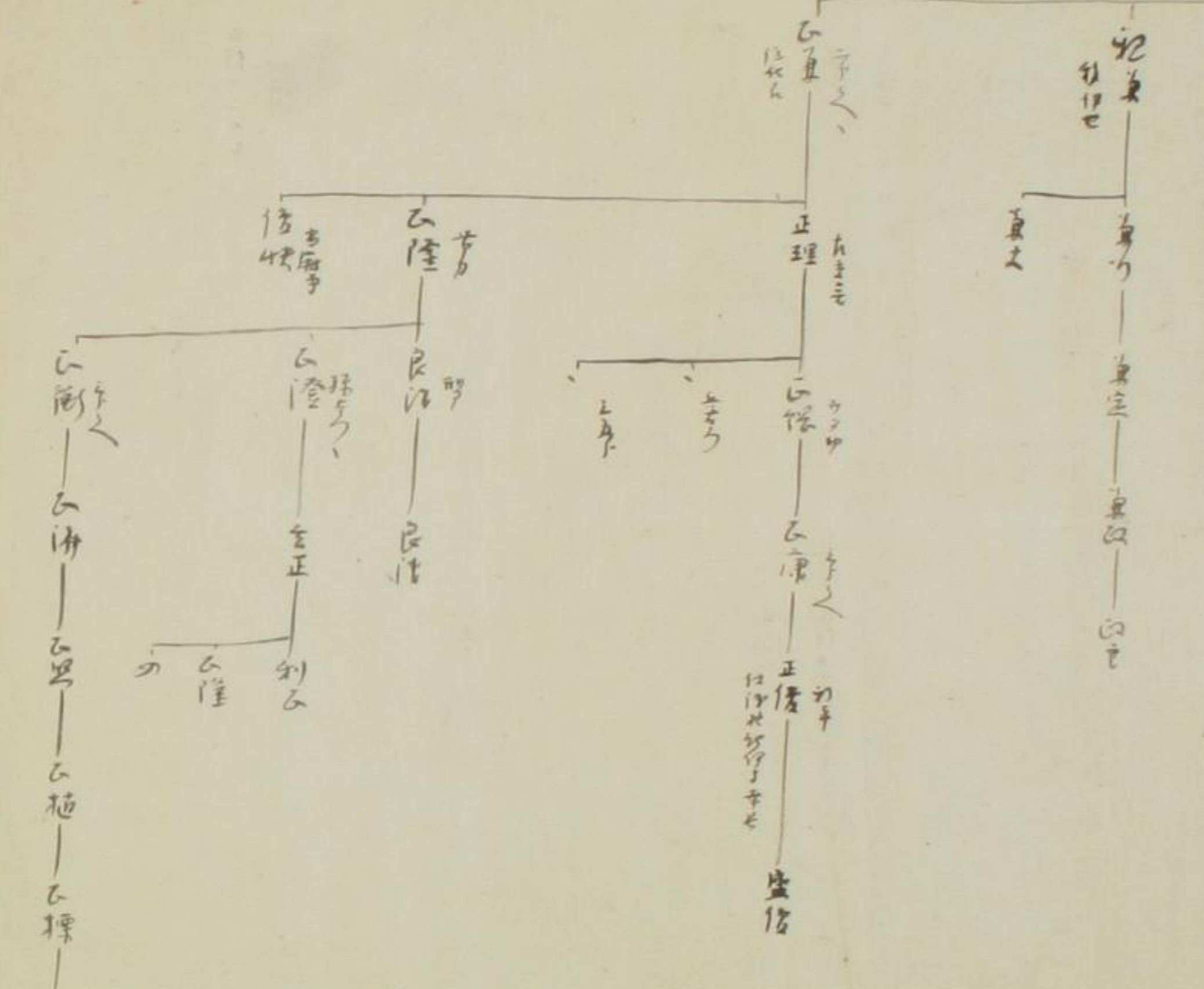
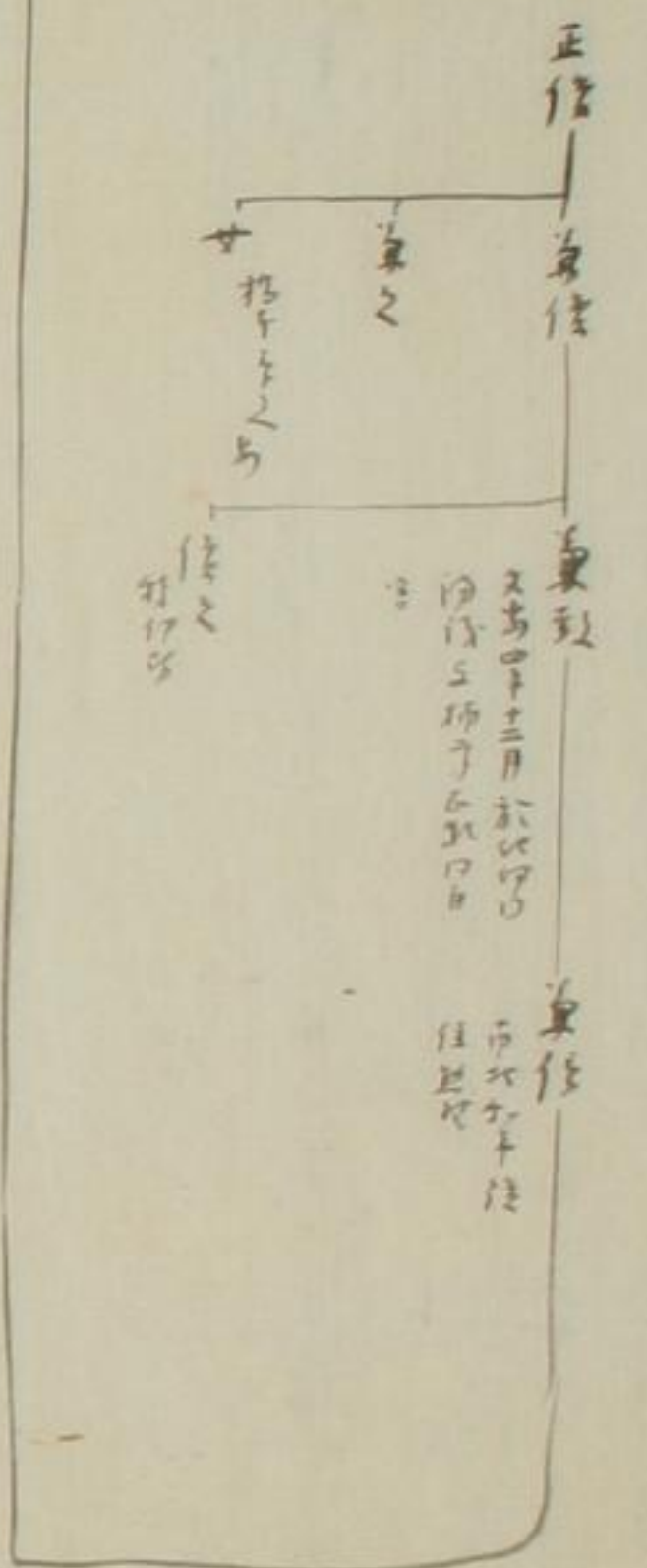
朕聞皇猷得和則去地表符瑞政教周乎則降功示災青是以東乾之右鷹録之主要不感頑祥而達元因登蔽而收攝朕以痛味之身恭居大宝之位日慎一日年將四十年心難忘干揚厲化味及于雍熙頌年武在口言城中有安今年又同遭祝融崇此城也國之再官朝之重饒...有災是誰謬歟又遣不虛咎在朕躬爰尋繹先蹤奉遵舊典率紀年之稱敷右官之澤其以天保十五年為弘化元年大赦天下今日味爽以前大辟以下罪无輕重已發覺未發覺已結正未結正咸皆赦除但犯八虐故殺謀殺和誘錢強竊盜宗殺所不免者不在此限又復天下今年平德老人及僧尼年百歲以上給穀四斛九十以上三斛八十以上二斛七十以上一斛篋上各天心中恨人望振氣祝於一旦朝休祥於萬年普天率土得知此意主者施行

弘化元年十二月二日

弘化

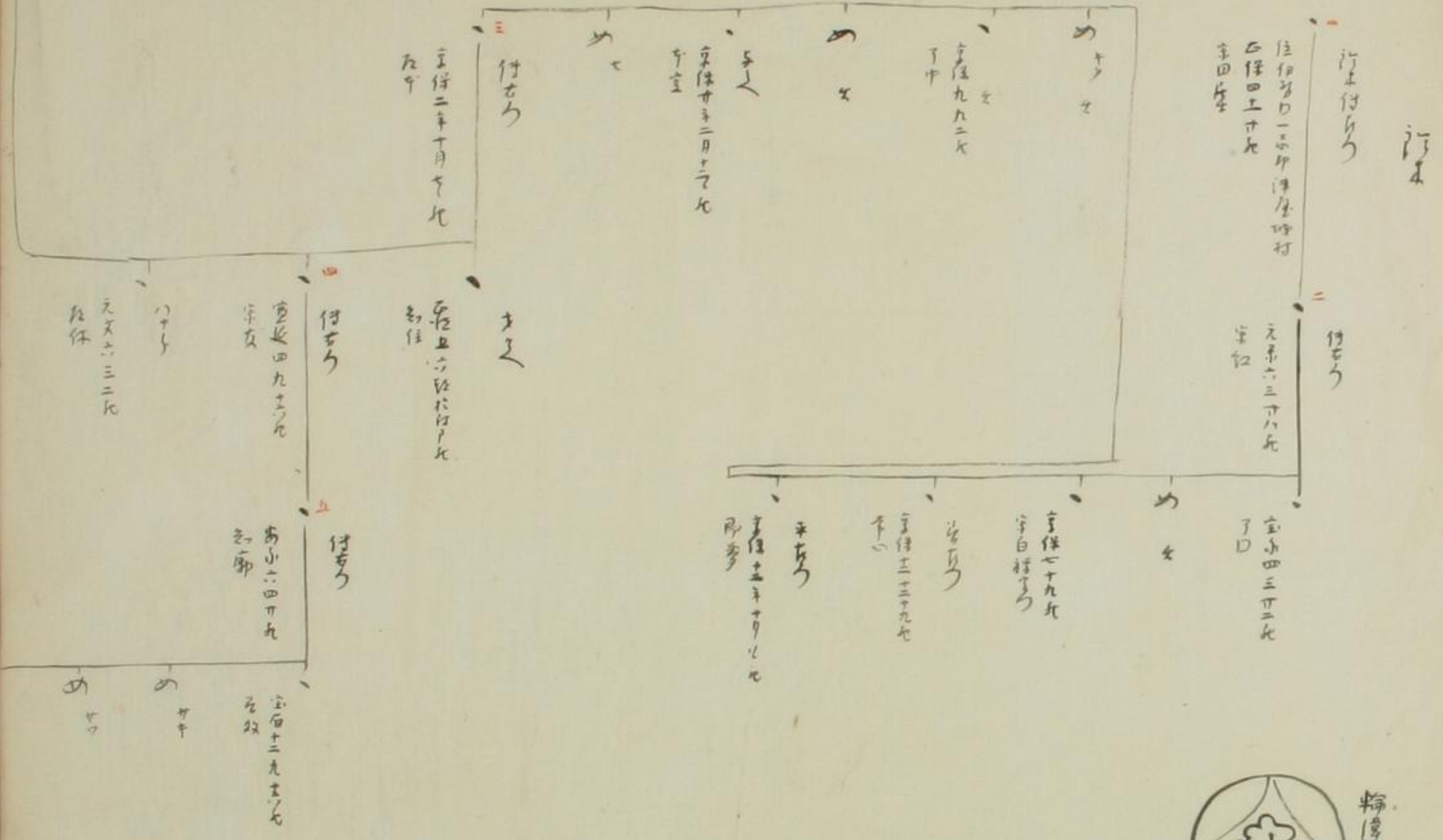
尚書曰弘化宣亮天地晉書曰聖德格于皇天感其被於八表弘化已烈六合清泰

子明



梅園

十七日



石部
石部五十七九
伏見

江崎
利久
市右

教明
利久

江崎
石部六十九
石部九十九
石部九十九
石部九十九
石部九十九

天明二陸七
天明二陸七
天明二陸七
天明二陸七
天明二陸七

山平
山平

山平
山平

九十九
九十九

九十九
九十九

天保二五廿七九
天保二五廿七九
天保二五廿七九

天保二五廿七九
天保二五廿七九
天保二五廿七九

利久
天保七三三九
天保七三三九
天保七三三九

天保七三三九
天保七三三九
天保七三三九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

石部
石部五十七九
伏見

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

天保五廿五九
天保五廿五九

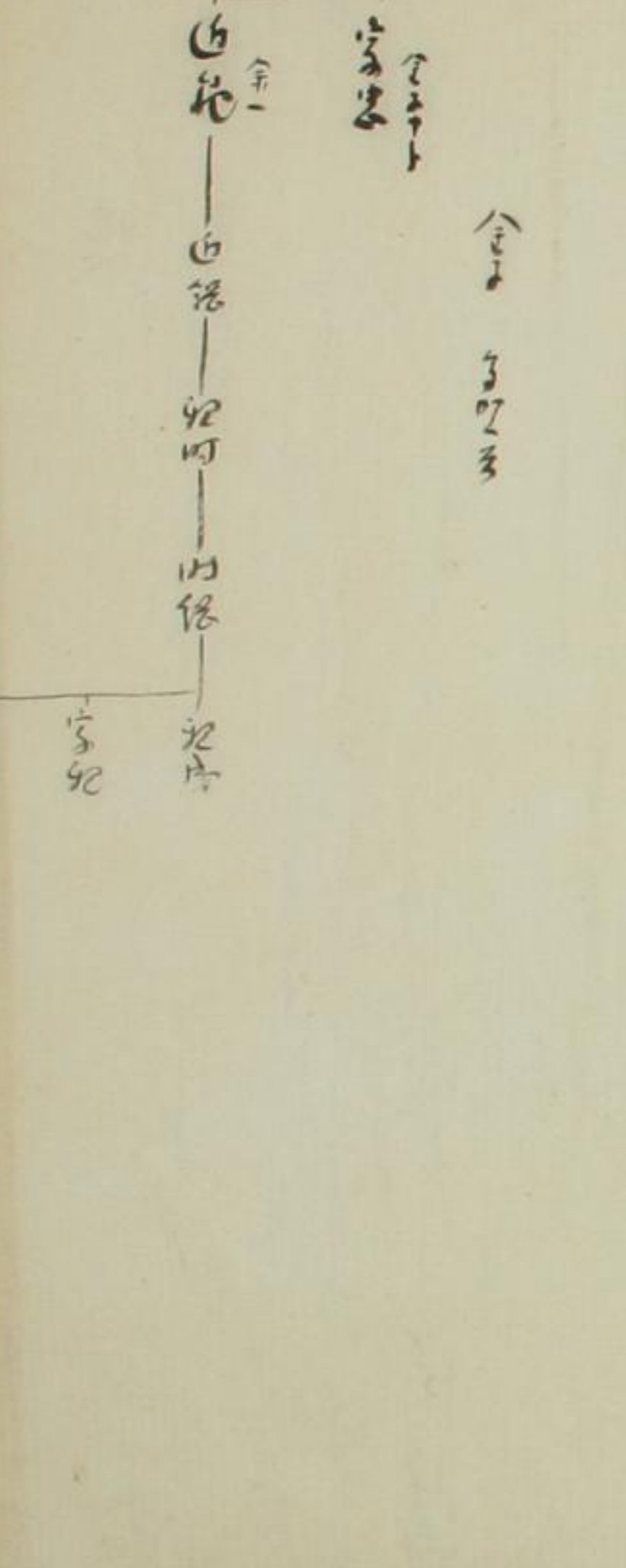
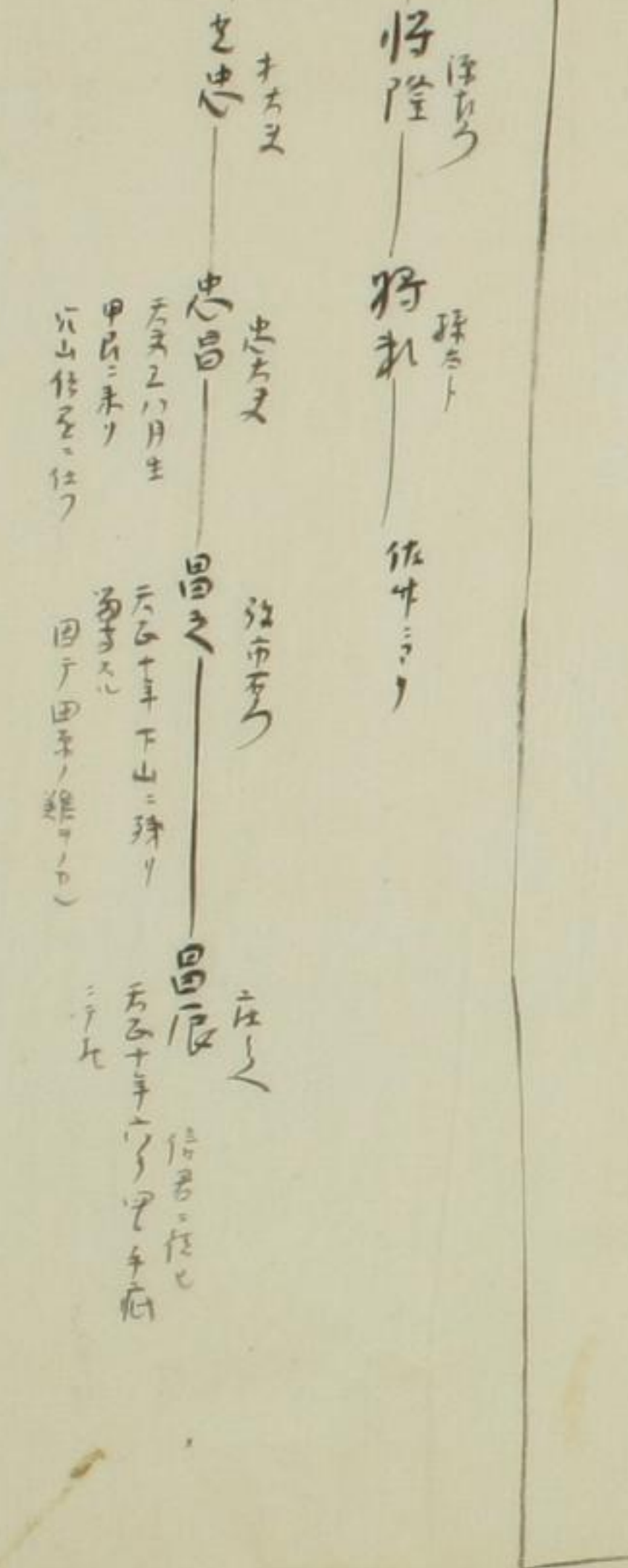
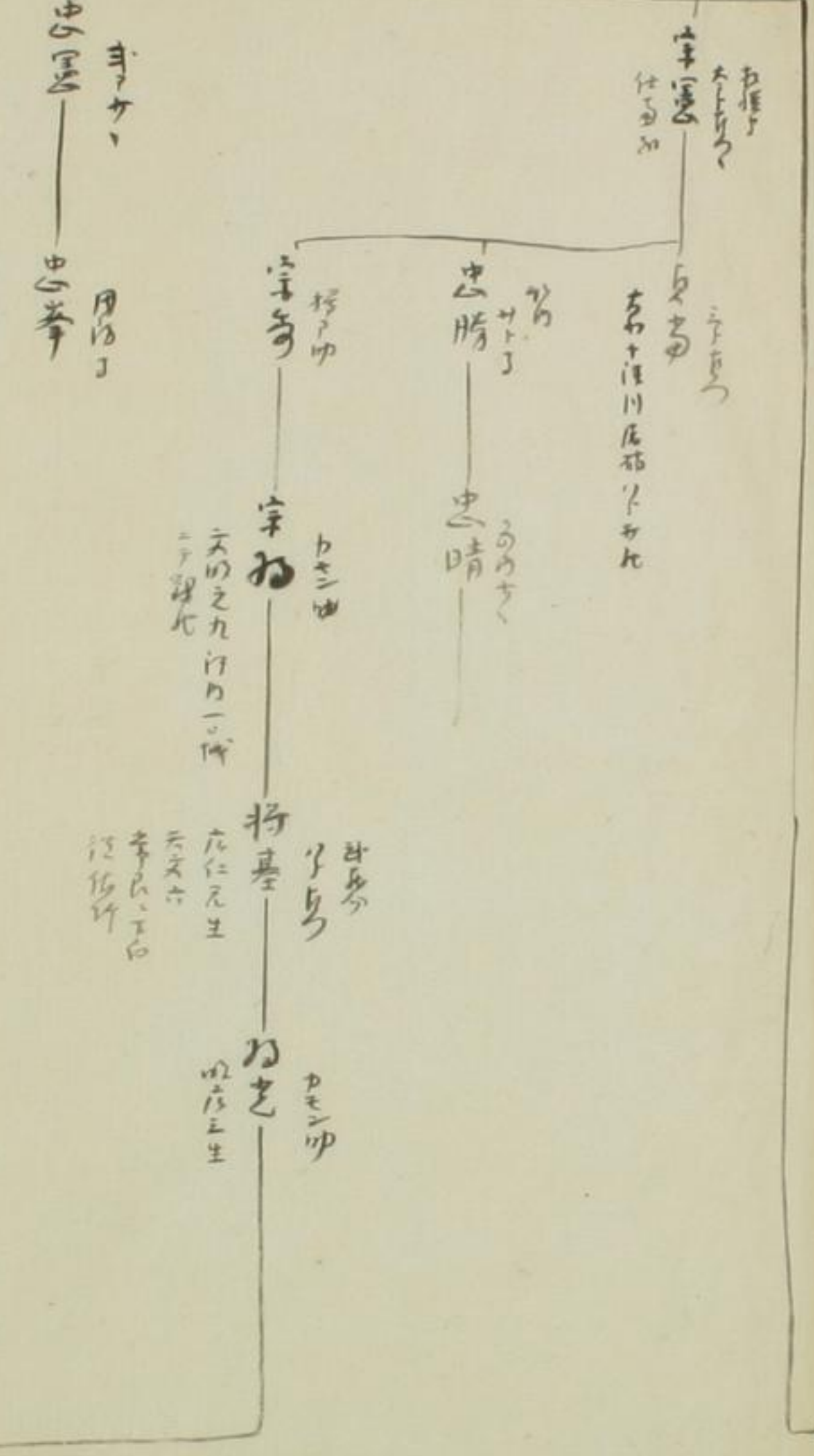
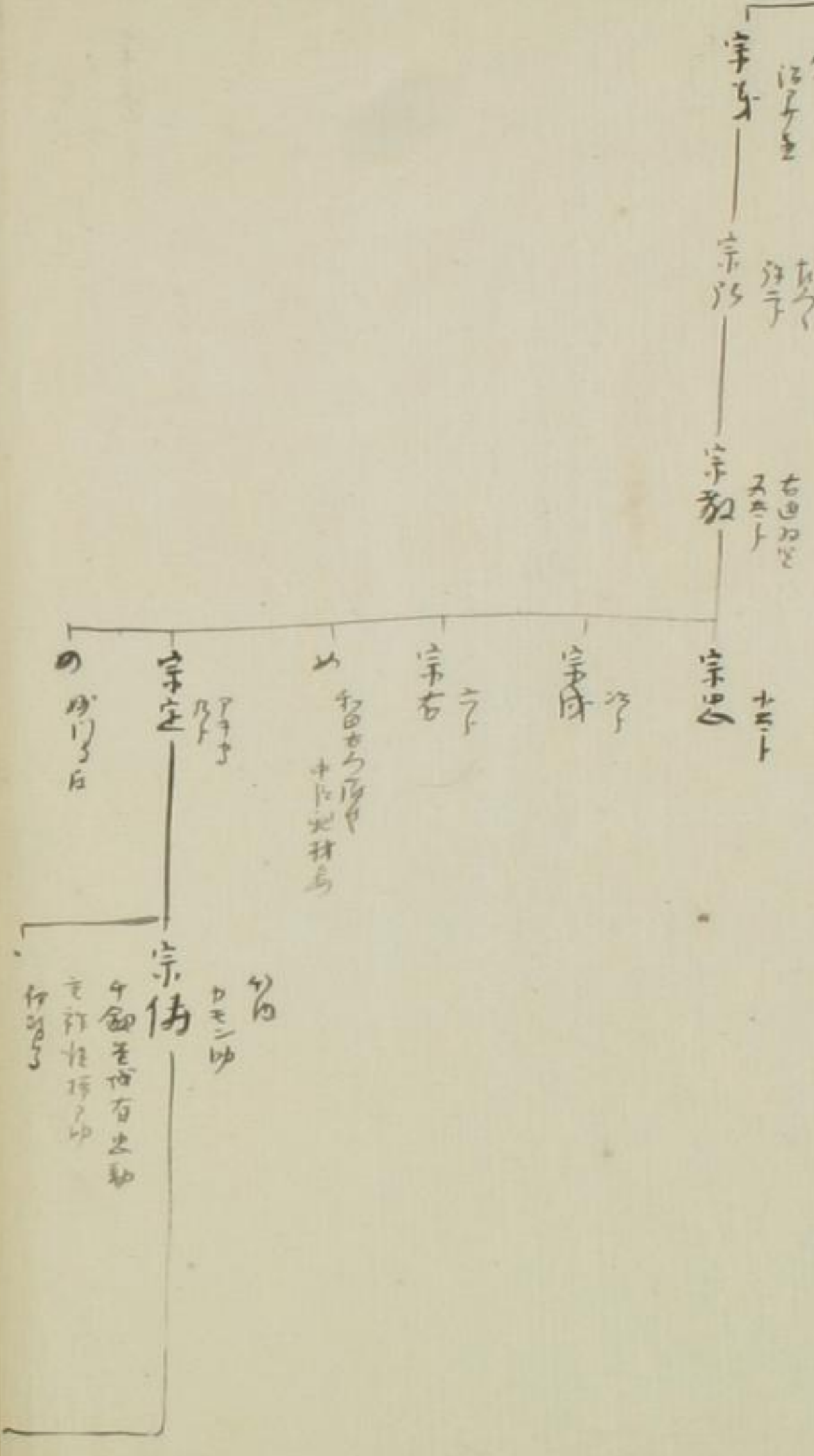
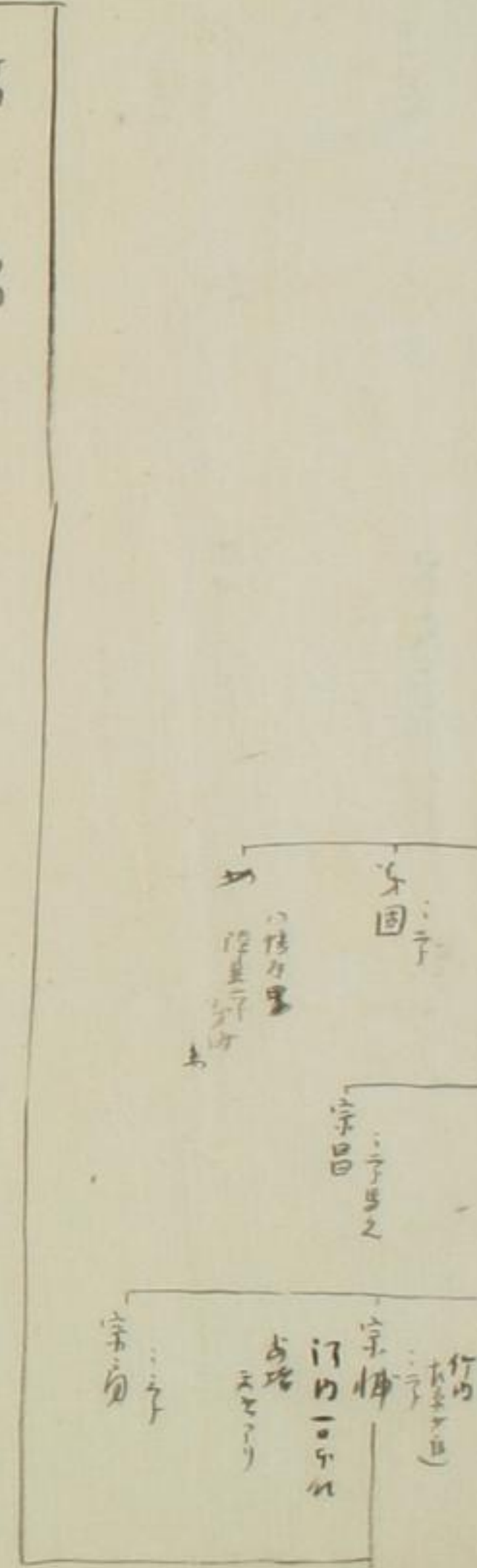
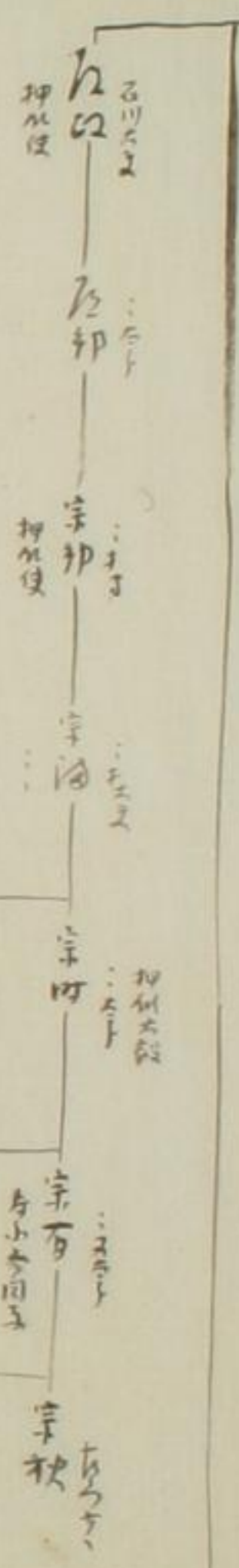
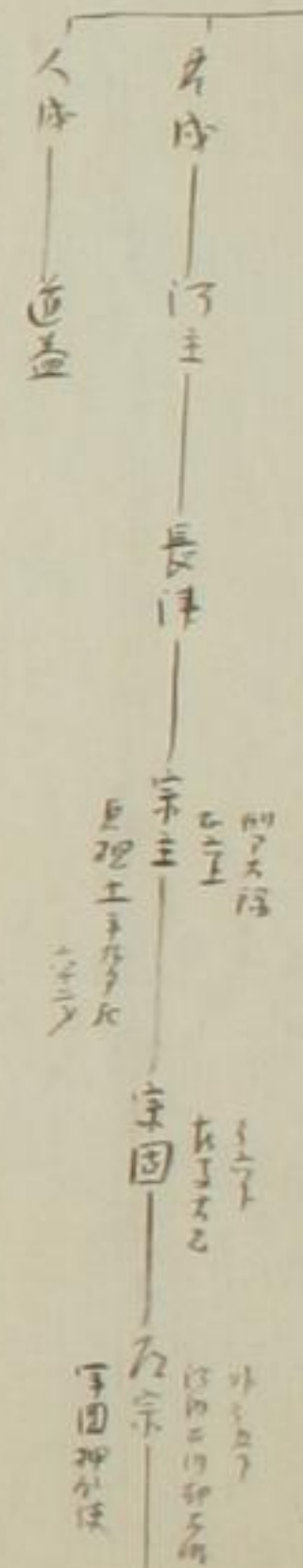
天保五廿五九
天保五廿五九

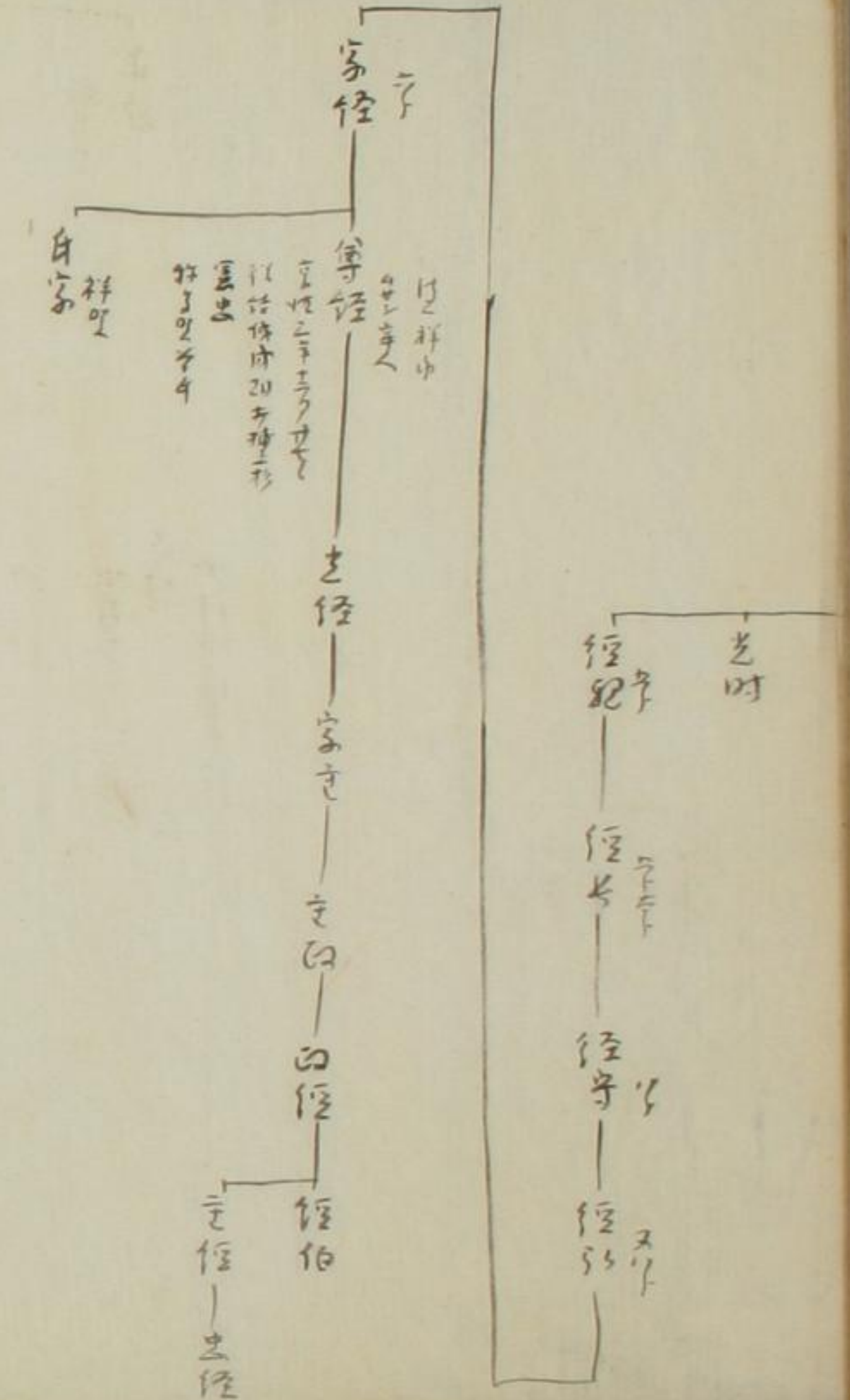
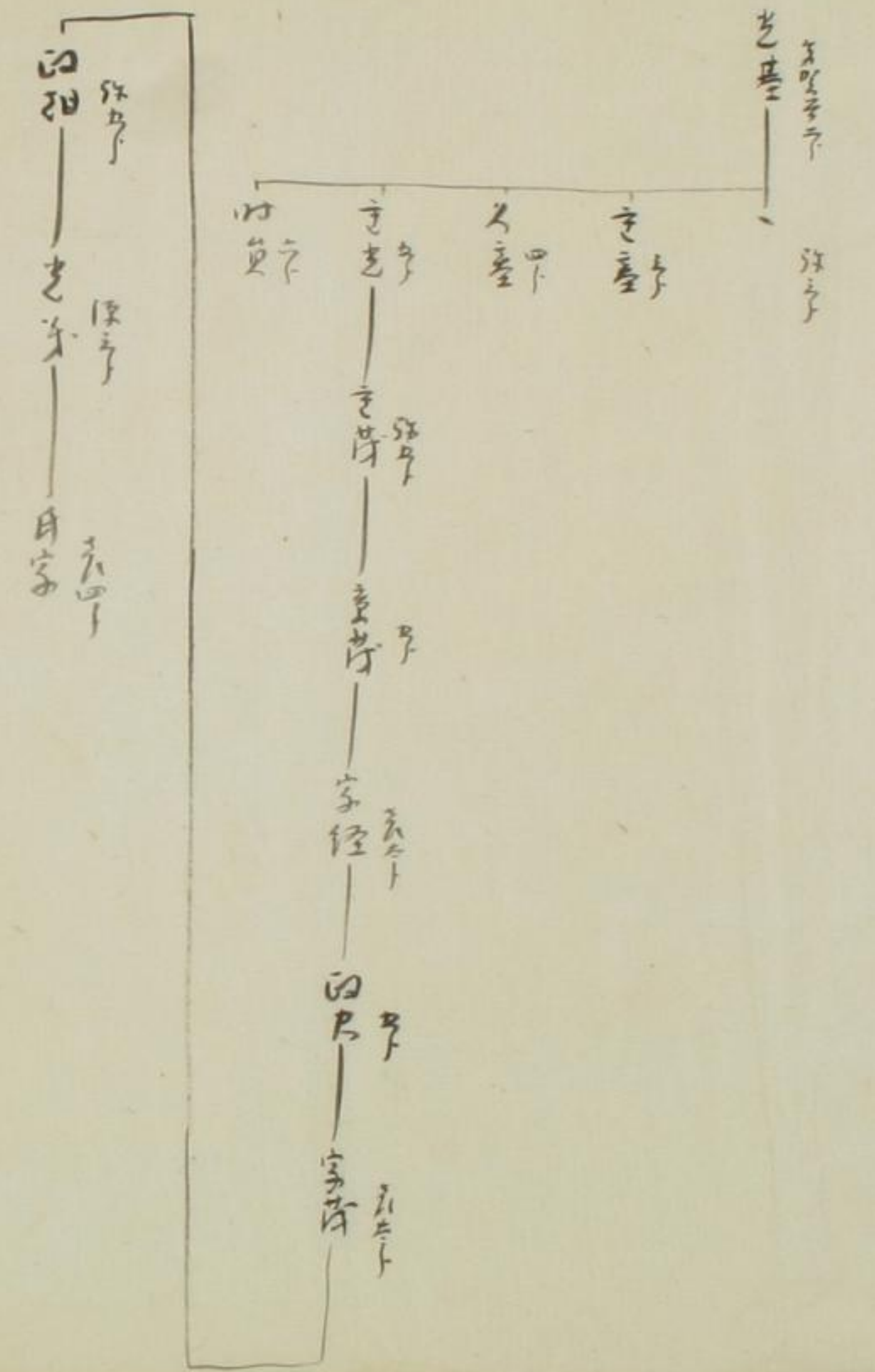
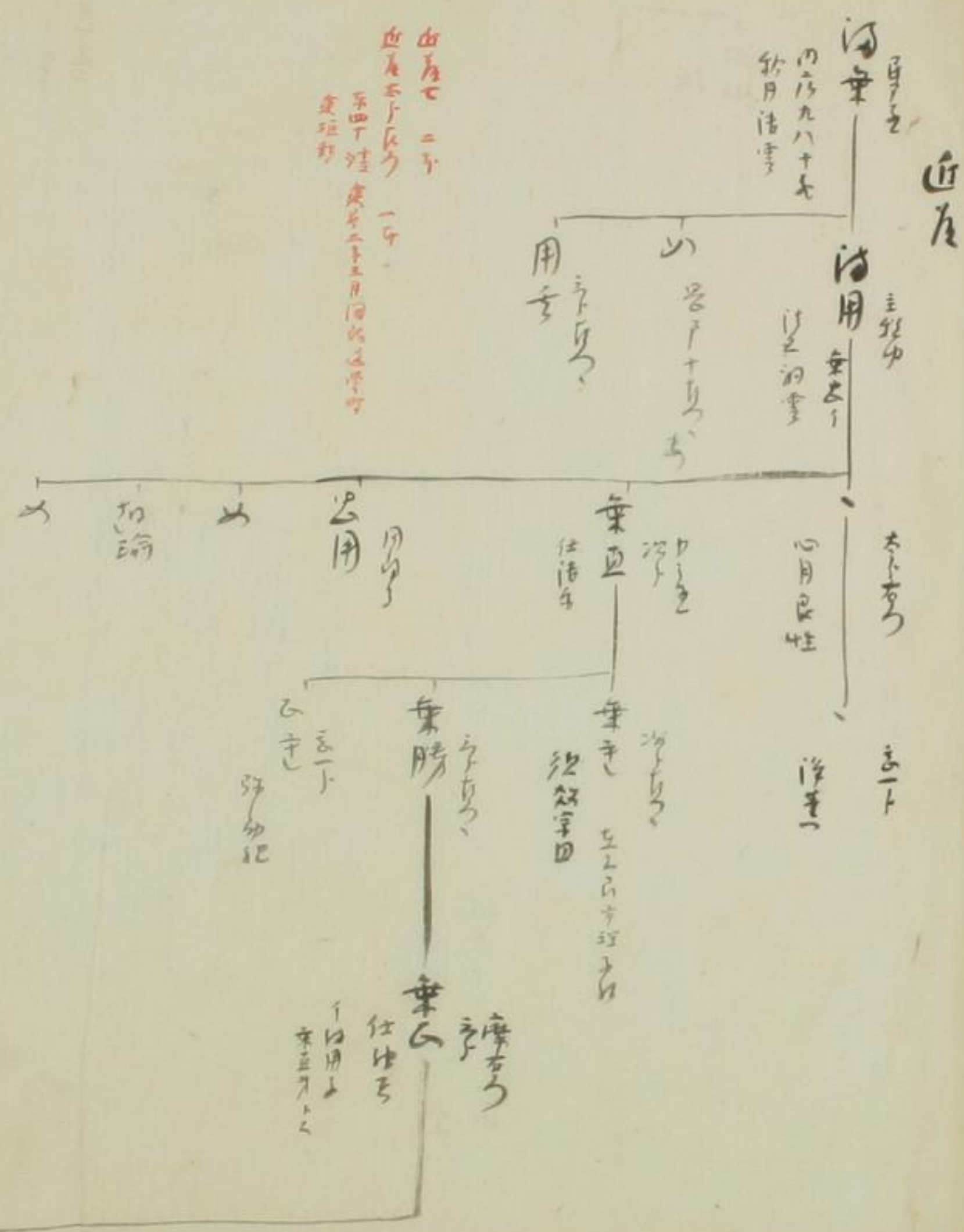
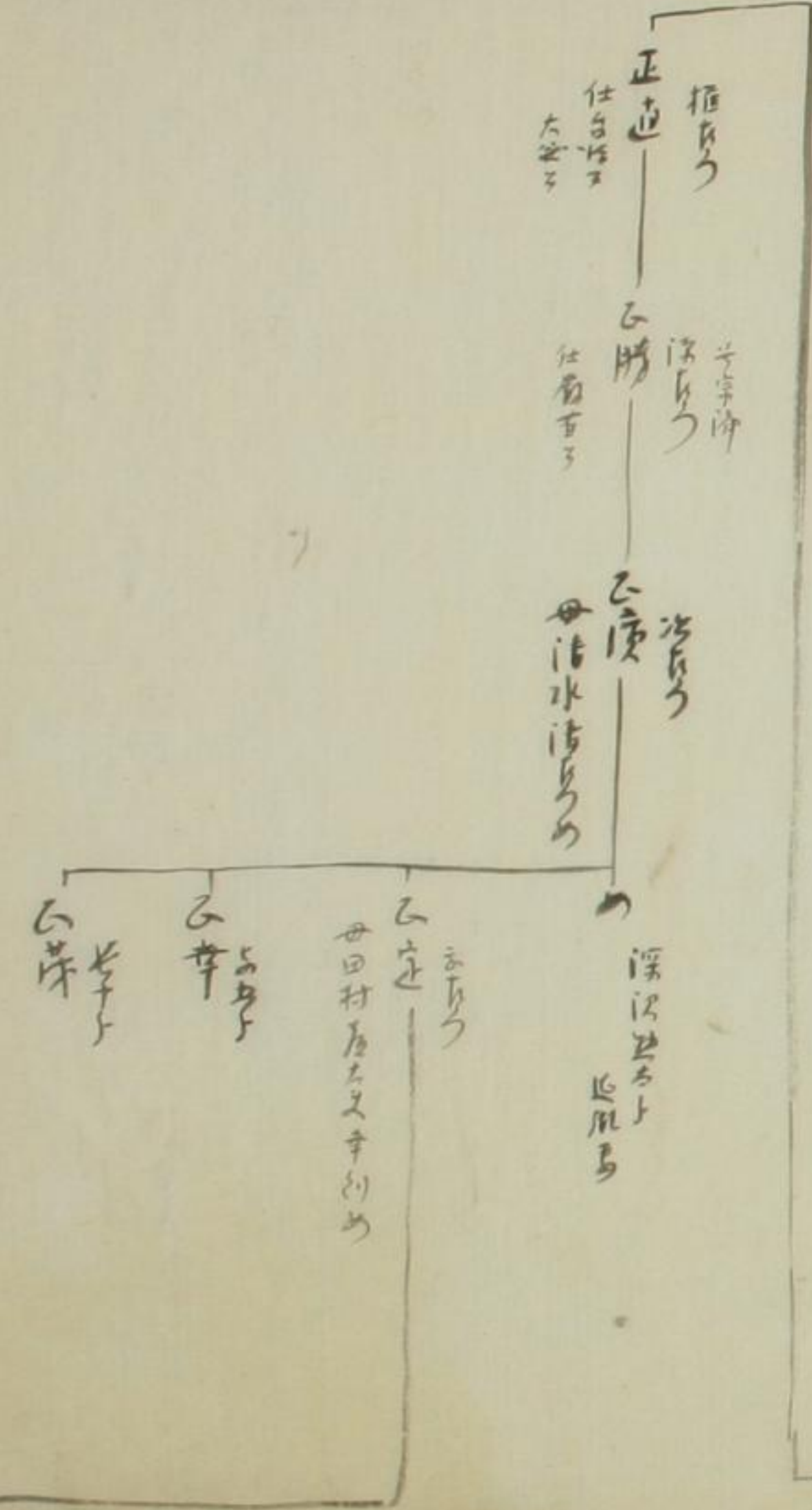
天保五廿五九
天保五廿五九

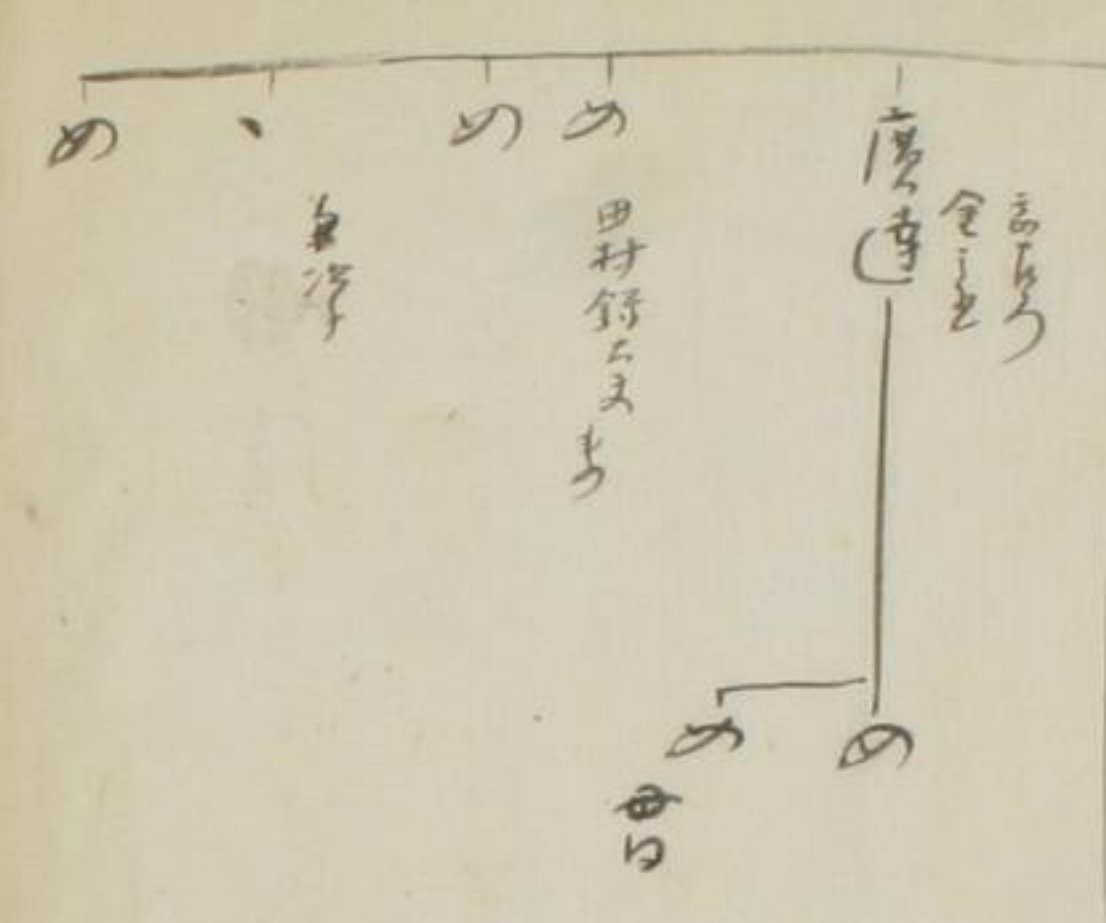
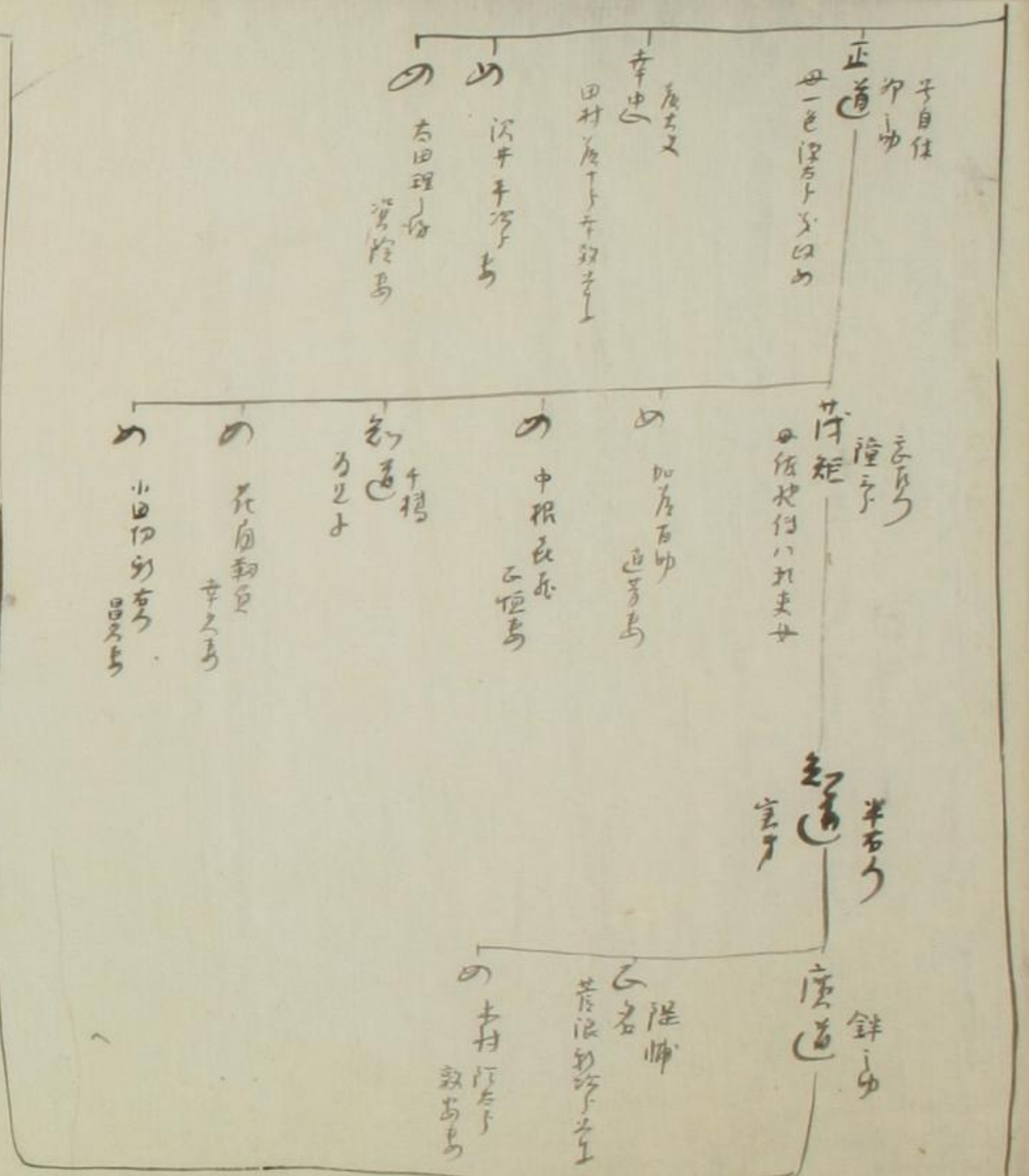
天保五廿五九
天保五廿五九

石川

石川初石







天文二十三年丁未正月廿一日

打立日記

明徳十年上野中督左傳

之條在大將公御歸る上使
 執使御下向り空多口お向
 就あきの免官の事

中
 三月十三日
 小倉行豆
 飯沼隆河

中督左傳信位左傳
 右の位

勘目石原於事
 但馬守
 加藤一守事
 小倉守

大内將公親傳
 左の位

山了又とあ事
 行内子
 丸平江原守事
 田代守

右の得具意うらり所上

後主是神也... 十月十日

覚林... 覚林

由諸ノ姓... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

覚林... 覚林

黄庭經

上有黄庭下有開元... 蓋兩扉幽闕俠之高魏之丹田

之中精氣微。玉池清水上，生肥靈根。
堅固志不衰。中池有土，服赤米，橫下三寸。
神所居，中外相距重，開之神，壺之中，務備。
治玄靡，氣管受精，付急固子精，以自持。
宅中有土，常衣絳，子能見之，可不病。橫理。
長尺約其上，子能身之，可無恙。呼喻，廬間以。
自償，得子，兒堅，身受慶，方寸之中，謹蓋，藏精。
神還歸，老復壯，俠以幽，關流下，竟養子，玉。
樹，令可扶，到道不煩，不旁，迂靈臺，通天臨。
中野，方寸之中，至關下，玉房之中，神門戶。
既是公子教，我者明堂，四達法海，負。
真人子，丹當我前，三關之間，精氣深。
子欲不死，脩崑崙，絳宮，重接十二級，宮。
室之中，五采集，志神之，子中池立，下有長。
城，各邑長，生，專，助房中，急，專，指，搖，俗，專。
子精，寸田，尺宅，可治，生，豎，子，長流，心，安，寧。

觀志流神，三奇靈開，暇無事，備太平，常在。
玉房，視明達，時念大倉，不飢渴，役使，以丁。
神女，謁開子，精路，可長，治心室，之中，神。
所居，洗心，自治，無敢，汙，歷觀五藏，視節度。
六府，脩治，潔如，素虛，無自然，道之，故物，有。
自然事，不煩，無拱，無為，心自安，體虛。
無之，居在，廣間，寂莫，曠然，口不言，恬淡。
無為，遊德，園積，精香，潔玉，廿存，作。
道，憂柔身，獨居，扶養，性命，守虛，無。
恬淡，無為，何思慮，羽翼，以成正，扶疏。
長生，久視，乃飛去，五行，參差，同根，昂三。
五合，氣要，奉一，誰與，共之，升日月，抱珠。
懷玉，和子，室子，自有之，持無失，即欲。
不死，藏金，室出，月八日，是吾道，天七地。
三回，相守，升降，五行，一合，九玉，石落，是。
吾寶，子自有之，何不守心，曉根，蒂，養華。

采服天順地合藏精七日之奇吾連相
舍崐崙之性不迷誤九源之山河
亭、中有真人可使命蔽以紫宮丹城
接俠以日月如明珠萬歲照、非有期外本
三陽物自來內養三神可長生魂欲上天
魄入淵還魂反魄道自然旋璣懸珠環無
端玉石戶金蒼身兒堅載地玄天迫乾坤
象以四時亦如丹前仰後卑各異門送以還
丹與玄泉象龜引氣致靈根中有真人中全
中負甲持符開七門此非枝葉實是根晝夜
思之可長存仙人道士非可神積精所致知專仁
人皆食穀與五味獨食大和陰陽氣故能不
死天相既心為國主五藏主受意動靜氣得行道
自守我精神先晝日照、夜自守渴自得飲飢
自飽經歷六府藏卯酉轉陽之陰藏於九常
能行之不知老肝之為氣調且長羅列五藏生
三光上合三焦道欲將漿我神魂魄在夫隨

鼻上下知肥香立於懸靡通神明伏於老
門候天道近在於身還自守精神上下開分
理通利天地長生草七孔已通不知老還坐陰
陽門候陰陽下于嚨喉通神明過華蓋下
清且涼立於明堂臨丹田將使諸神開命門
通利天道至靈根陰陽列各如流星肺之
為氣三焦起上服伏天門候故道關
離天地存童子調利精華調髮齒顏
色潤澤不復白下于嚨喉何落落、諸
神皆會相求索下有絳宮紫華色
隱在華蓋通六合專守諸神相呼觀
我諸神辟除邪其成還歸與大家至於
胃管通虛無閉塞命門如玉都壽專萬
歲將有餘脾中之神舍中宮上伏命門合
明堂通利六府調五行金木水火土為王日

月列宿張陰陽二神相得下王英五藏為主
 腎竅尊伏於大陰藏其形出入二竅舍黃
 庭呼吸廬間見吾形強我筋骨血脉盛悅
 惚不見過清靈恬快無欲遂得生還於七
 門飲大淵道我玄靡過清靈問我仙道與
 奇方頭戴白素距丹田沐浴華池生靈根被髮
 行之可長存二府相得開命門五味皆至開善
 氣還常能行之可長生

永和十二年五月廿四日五山陰縣寫

武陽豐嶋縣源愛氏

土方右子

後世ハ

服仲

川九

辛氏

四十

巨

小

德

行

則

五

乃

洞

亦

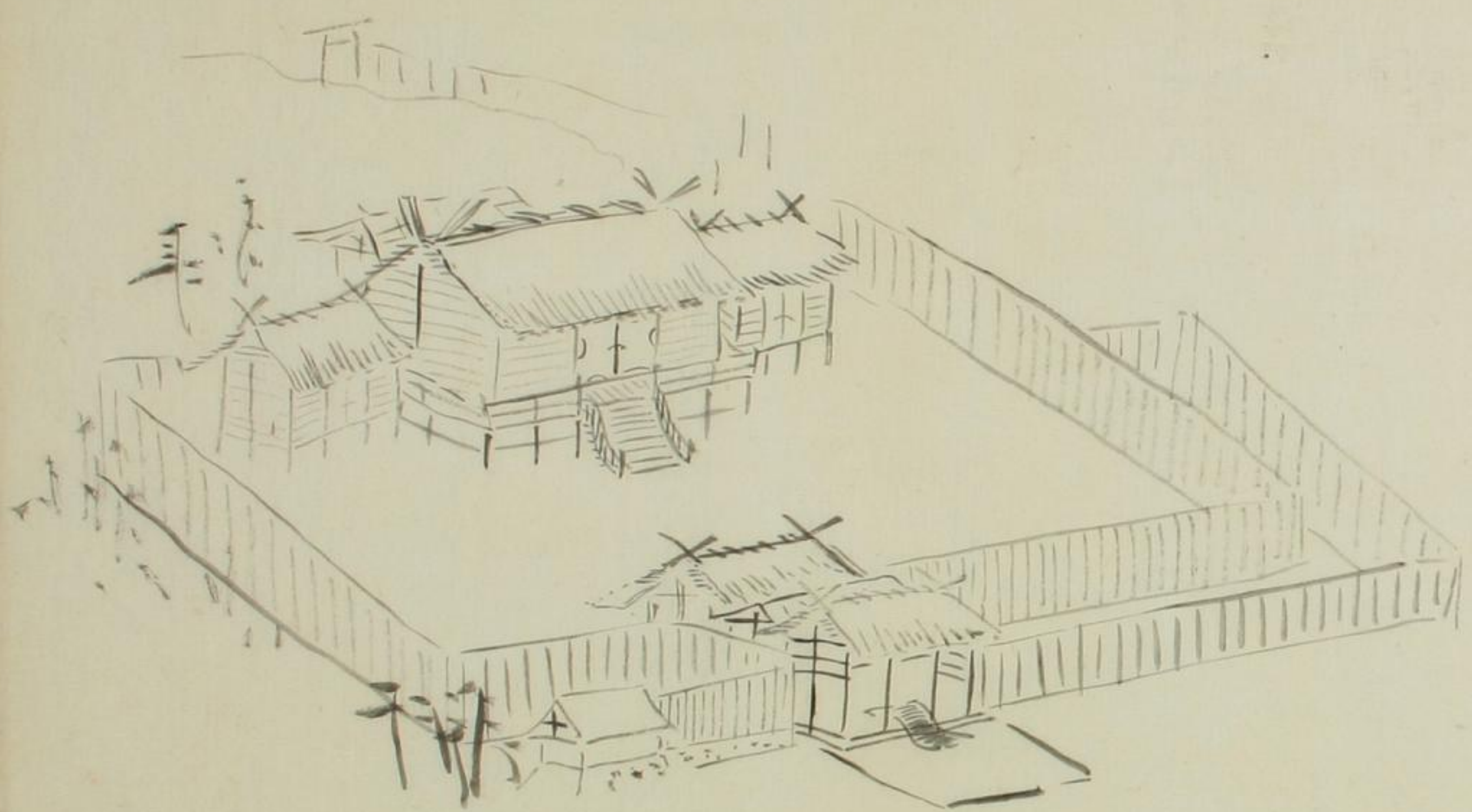
復

又

謂

之

日



門

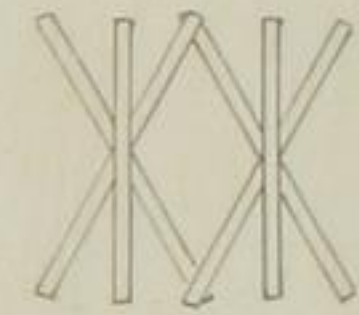
辰吹
クリヤ



今日備人



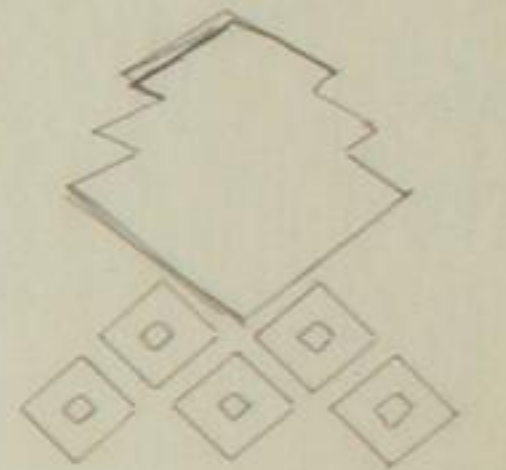
伊豆守
不詳



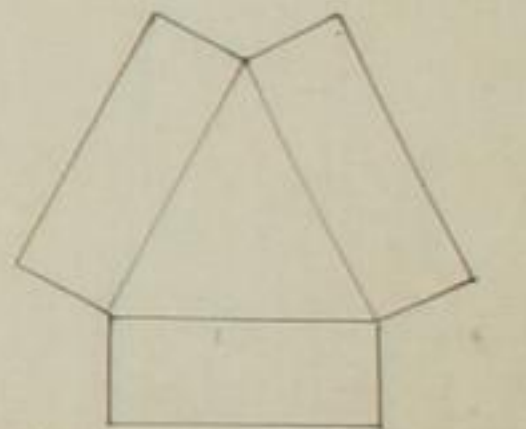
小野寺
根牛
川内統子



杉原
松丸



三好
川内



下河辺
三浦

四殿探類曲

村左馬次村

大吹山子
高子

高子

遠

信

村

村

村勝
庄吹山子
高子

村紀
高子
庄吹山子

高子

高子

百石
庄吹山子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

小孩
クリヤ

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

庄吹山子
高子

二平 左邊名	古語 左邊名	古語 右邊名	古語 左邊名	古語 右邊名	古語 左邊名	古語 右邊名
しり	なり	のり	のり	のり	のり	のり
具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>
具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>
具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>
具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>	具舟 <small>舟舟 舟舟</small>

記のさあ...のさ...のさ...
 だーのり...
 ねと...
 こと...
 こと...

概弁著述目録

- 萬葉集攷文 卷一 二三
- 刻本萬葉集傳書一巻 稿中
- 萬葉集録目控要二巻 稿中
- 讀例一巻 稿中

略解神正 一 二 三 四 五 六 七 八 九

- 雜考 抄部一巻 二巻一巻
- 古注遺文一巻 稿中
- 文字辨證 抄部一巻 二巻一巻
- 字音辨證 抄部一巻 二巻一巻
- 訓義辨證 抄部一巻 二巻一巻
- 鳥乙一巻 稿中
- 左注考
- 古注日本紀年攷一巻 稿中
- 用字拾神遺一巻
- 校異千餘正
- 古訓異同攷
- 卷一問答一巻

以上萬葉集注類

固本問答一巻
 金光明最勝王經攷證一巻 〇 日神一巻 森立之著

... 致證同各一卷

辭拾考存疑一卷

仙窟双證一卷

重巽化訓釋類字 日附分音一卷

玉篇攷一卷

宋史外史刊語一卷

音微乙語一卷

神一卷

上宮注王帝說神證一卷

新翻華嚴經音義摘錄 伯致證一卷

歷代年記異證攷一卷

物類音聲古譯攷一卷

未定假字攷一卷

書籍攷一卷

明月池摘錄一卷

法語拾遺

雜記

柳舟別錄二卷

彙集

轉音攷 存疑。論：存疑。日押新一卷

於半山不同各一卷

緣字說

山多豆考補

黃泉因攷

皇朝造字攷

借字纂

漢字訓轉用例

奇語類彙

字書捷見一卷

倭字書捷見一卷

干祿字書畫索一卷

異體字索引一卷

逸文凡此搜字一卷

可洪音義索引

殷注說文見要

倚名抄攷證二卷

日可化論字索引

萬上集論字畫索

東語分音

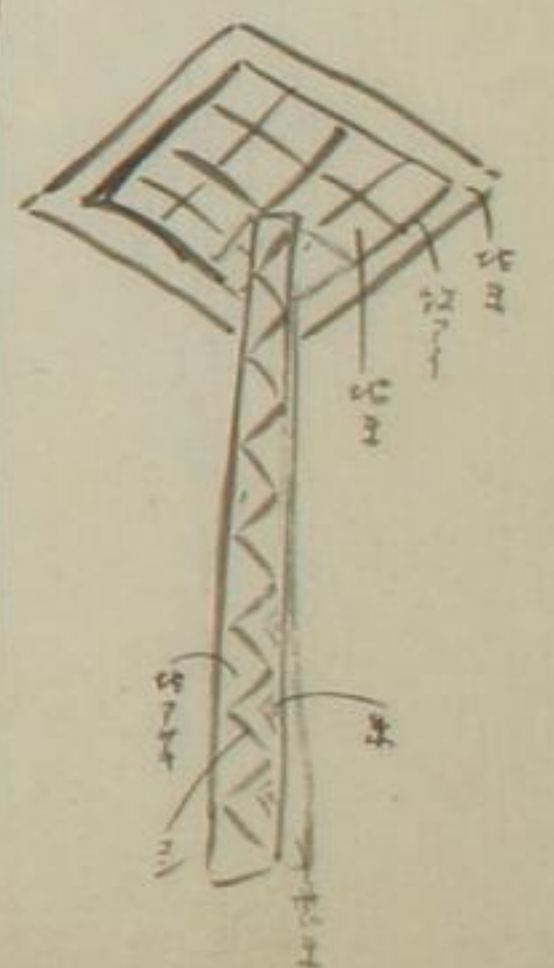
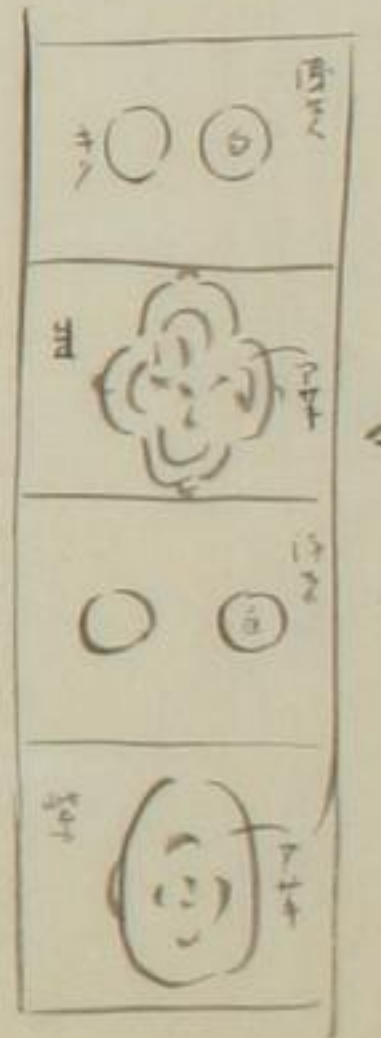
本單初名分音

仙宮抄捷見

枕詞捷見二卷

髓腦捷見二卷

玉露神遺
刻印所標字鏡指注
校訂英千羽標字澄稿録
採輯凡此補遺一也

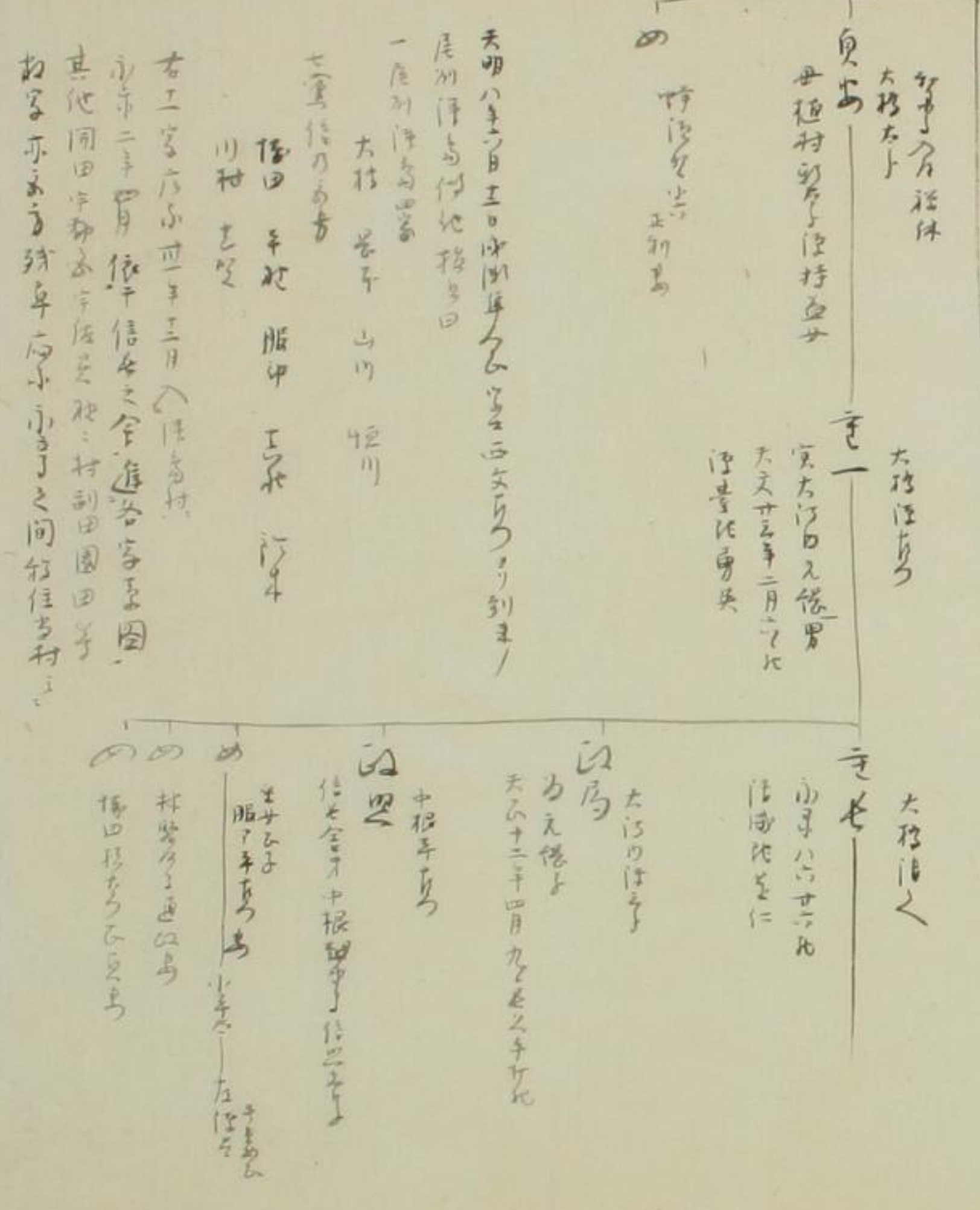
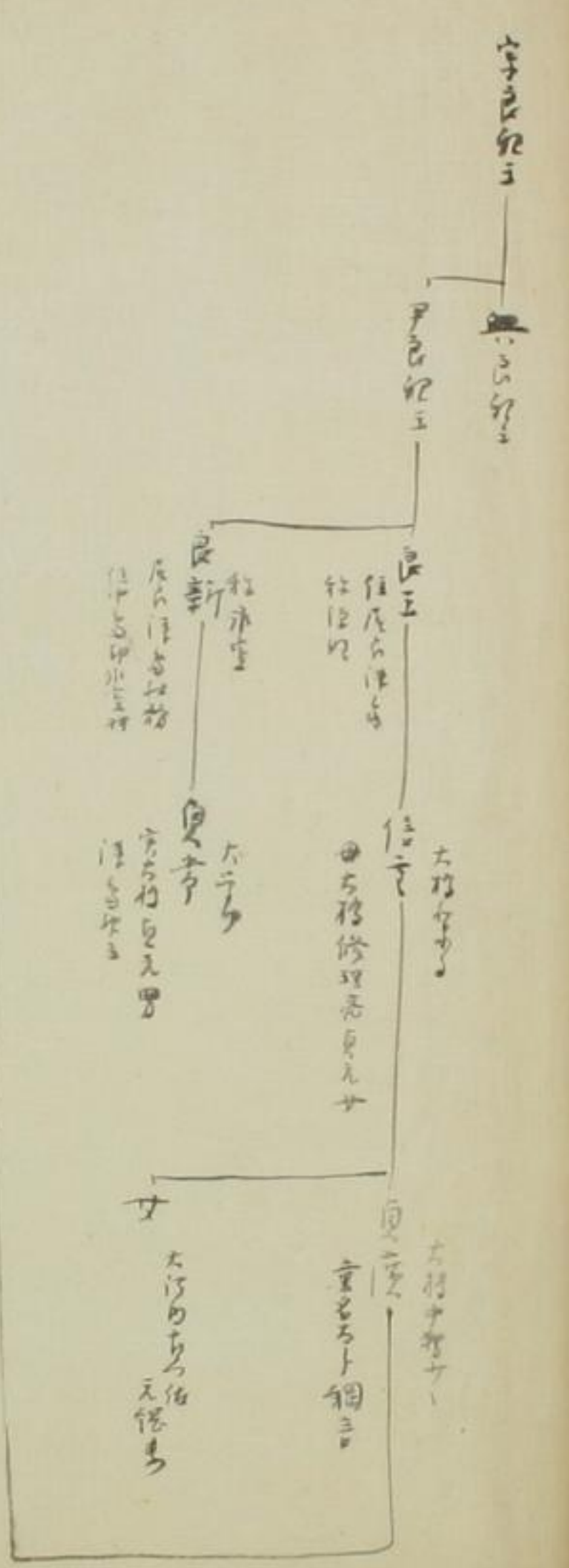


桂多子小村寺に
天正五年 竹島ノ記
連美神勝王ノ付ノ

尚々セリ旅藝手
玩人喪往 玩物正也

東空
信行
尾飾四五
信行
尾飾四五
尾飾四五
尾飾四五

東空伊三子
東空伊三子
東空伊三子
東空伊三子
東空伊三子
東空伊三子



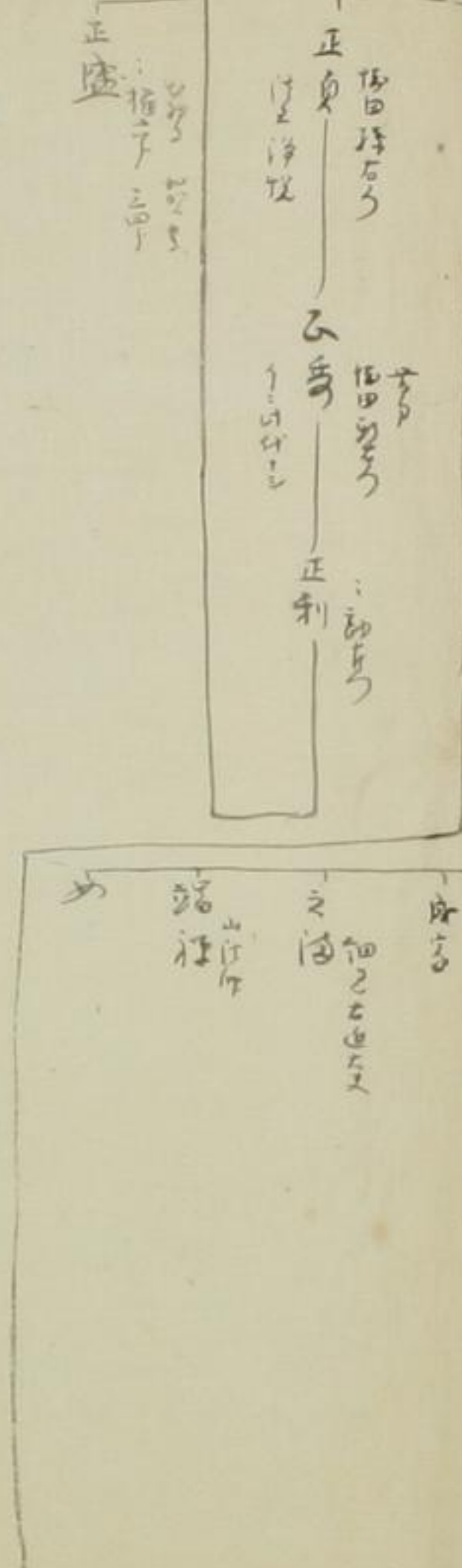
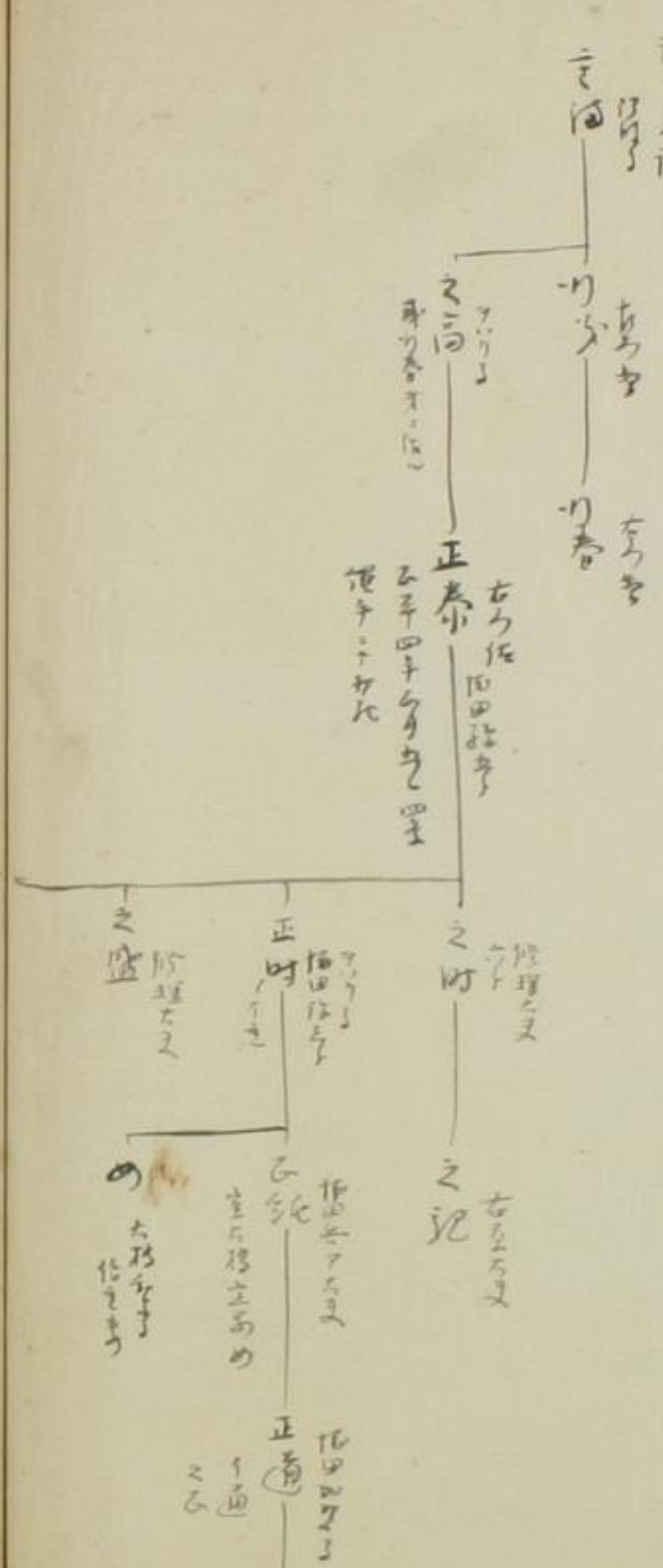
千石小正上上作行風
千石小正上上作行風
千石小正上上作行風

市谷二軒地
 日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋

日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋

日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋

日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋
 日下之川筋



正盛
 正徳
 正徳
 正徳
 正徳

正盛
 正徳
 正徳
 正徳
 正徳

正盛
 正徳
 正徳
 正徳
 正徳

正盛
 正徳
 正徳
 正徳
 正徳

○ 匡 經

苕帚素問 苕帚九方 八十一難經 楊玄操注

大素經 楊上善注 八素經 甲乙丙卷

金女經 金騰卷經

新衛素針經 古清經 溫餘經

問元天一通甲經 養命書

○ 明堂經 附 診 針 食 法

針灸經 扁鵲針灸經 有輸度量法

平地針灸經 華化脈訣 普濟脈法

百病針灸 沖農食經 食經

膳夫經 沖農食經 馬琰 孟詵 七卷 崔惠 孫思邈

新撰食經

○ 本草經

本草經 本草經 陶隱居本草注

蘇敬本草注 新修本草 劉注 本草拾遺

本草經 本草經 辛復

本草經 本草經 辛復

本草經 本草經 辛復

○ 養生房中

金匱經 養生要集

位經 始經圖 魏康書 許

通經 仙經 長壽書 長壽身經

卷性心 聖記經 得富貴方

胎生子張 傳經 微公

服氣導引抄 玉身秘訣 玉房指要

新羅法便流視秘要要術方 之奇秘要要術方

○ 黃帝問素女經

○ 無疾方淨

范仲文方 華化方 陶潛方

范汪方 陳長之小品方 小品抄義

曹氏 葛氏方 何色方

卷經方 僧淨方 集驗方

華孝玩 匡門方 奉道視方

錄驗方 胡洽方 玉箱方

符思恭淨 徐伯方 枕中方

徑心方 傅信方 極要方

釋慧義 慈日寺藥方 急藥方

靈奇方 梅畧方 春氏方

秘迹方 要急方 許存崇

秘急方 召魂丹方 百濟新集方

新羅江方 得子方 傳舟安方
 知驗方 雜酒方 山意方
 救急單驗方 陪楊帝符言諸音藥方 集果方
 鑿石方 秘記 痲症方 孫思邈
 千金方 刪繁方 去人年方
 大信長方 德信方 聖蘭方
 剪髮方 新華方 神門方
 外聖方 新海方 新海方
 外海單方 應和方 應濟方
 集要方 神花方 隨時應驗方
 合李方 神花方 燕勁脚丸方
 唐臨脚丸方 神花方

○眼目外科仙池

眼方 治眼方 療眼方
 新樹方 劉治子方 臍聖方
 病醫方 華化方 華化別方

○西人小兒服石付尸

產怪 子母秘解 類怪記
 斬印服石方 麻斤方 皇甫證
 石淨 曹欽 薩仔方
 重茂方 魯孔物 滿印方
 省侍方 主德付屍方 活手方

西王母玉壺丸方

○保延經方

尚方 月乳 午雅
 周方 家濟 世乳
 史記 晉方 行國能全首
 抱朴子 莊子 文子
 呂氏春秋 老子通經 洞玄子
 性物方 顏氏多例 傳介證記
 取勝王經 子海何 午午佳
 午午現奇治病合手佳 療毒病佳

○少壯全因方

陰方 人參 麥乳
 雄生方 鹿茸十包
 女之味糊丸 一日二包 四包 了月

○連翹湯 療淫瘡

紅花 二升 連翹 大黃 沈香 乳香 丁香
 連翹 青黛 鬱金 檉柳 甘草
 右十二味各一服熱湯泡浸先出飲服 少許者日二度
 渣 又日乾為末紅花湯或思齊湯送下

廿五服ヲ注ノルノ日ニ浴ヲ禁ムル一四十五
 右方ノヨシニ思フニ一ノ尾一歩何方ナリ

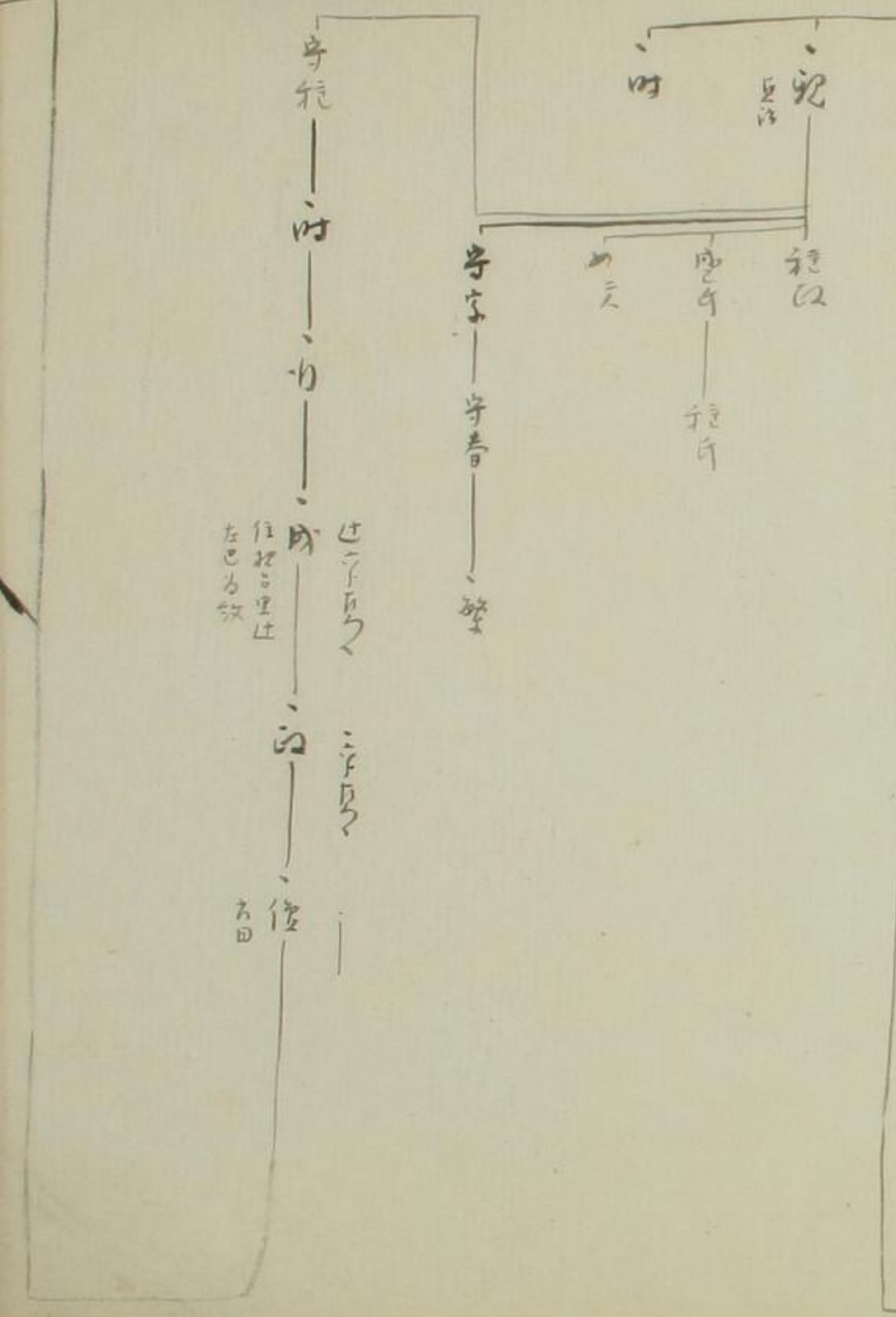
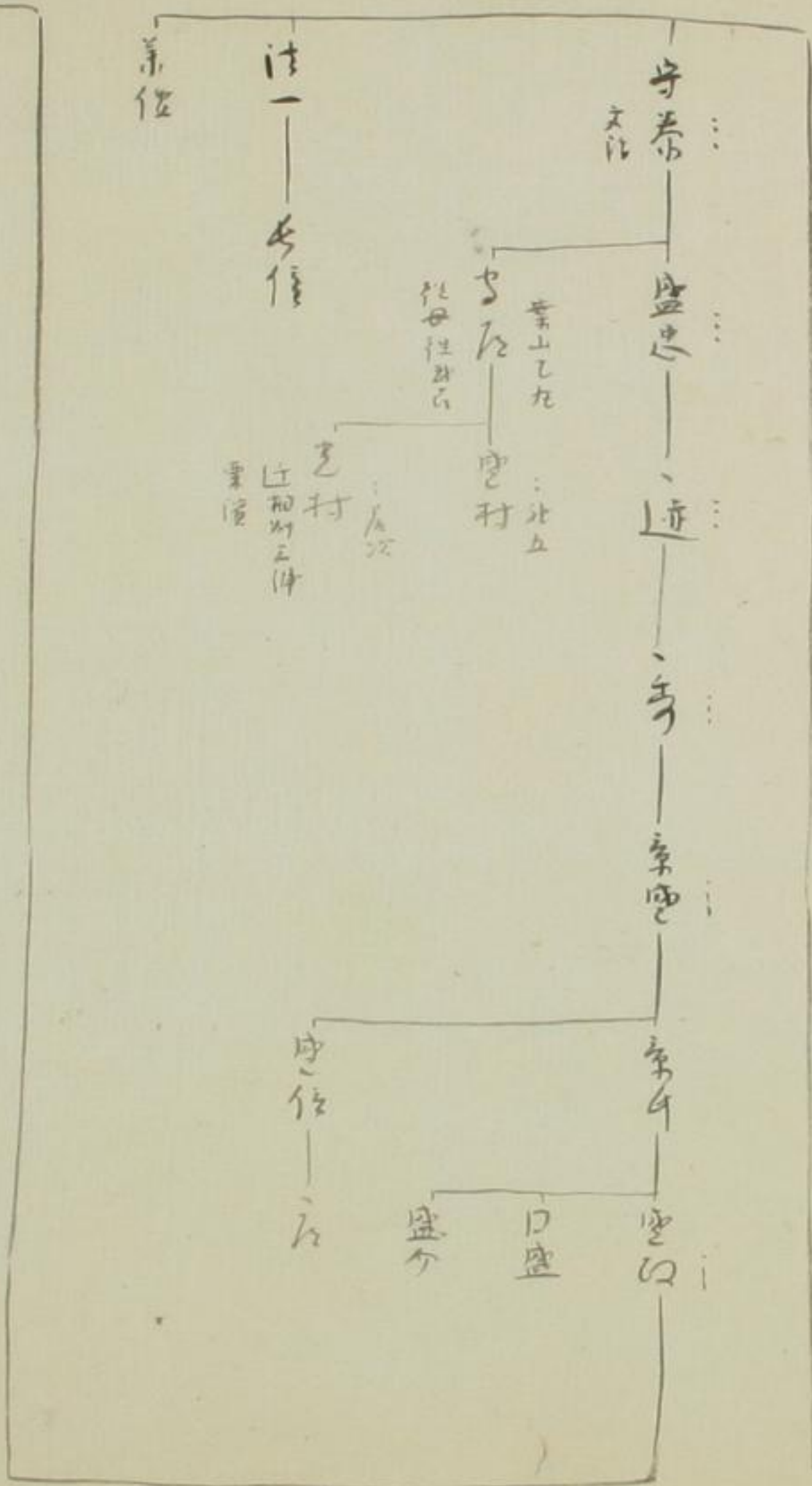
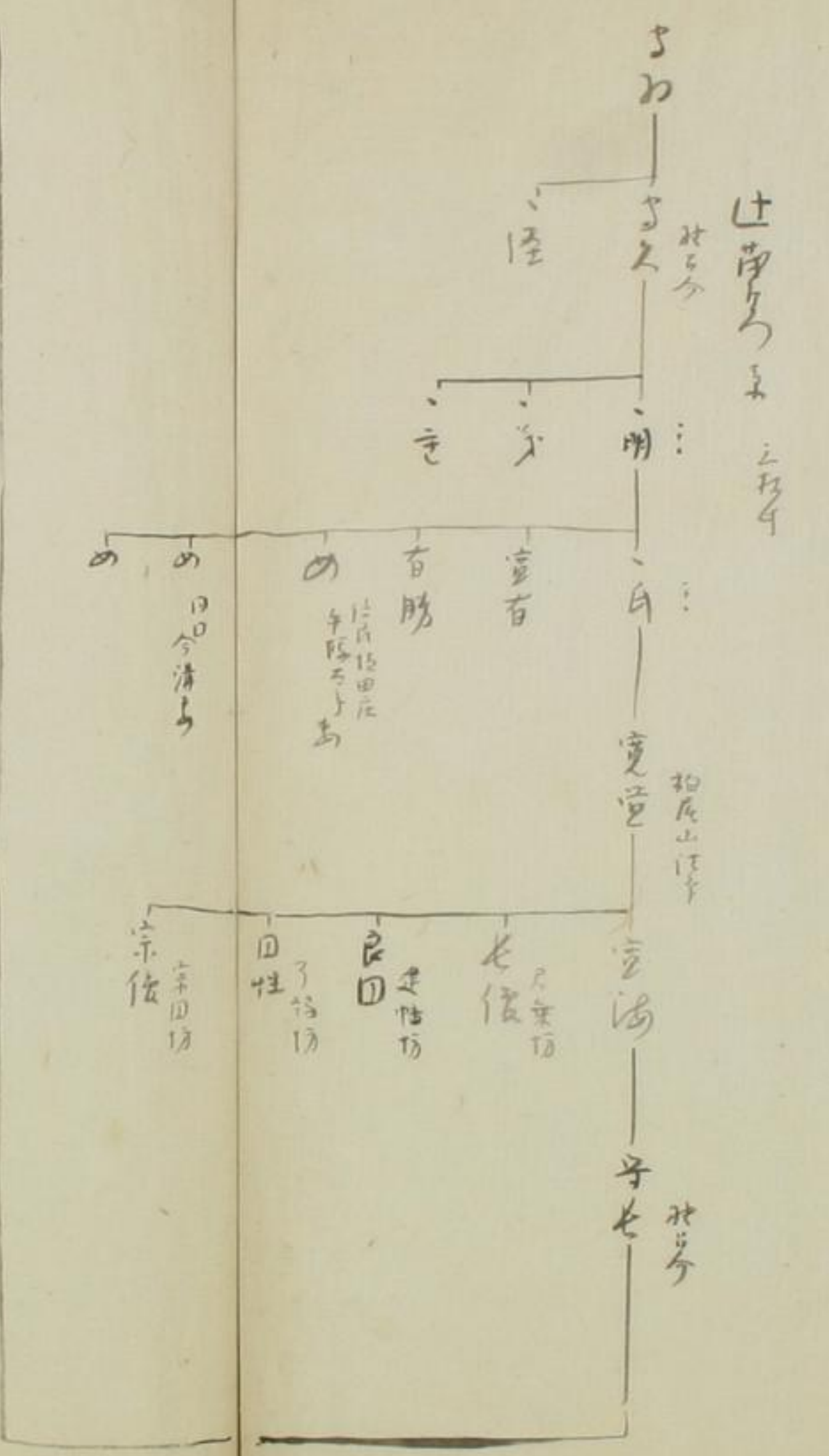
無垢経巻 二冊 色思字 籠屋付仲
 海老原 隆平 正行 石相

雨前 樹苔

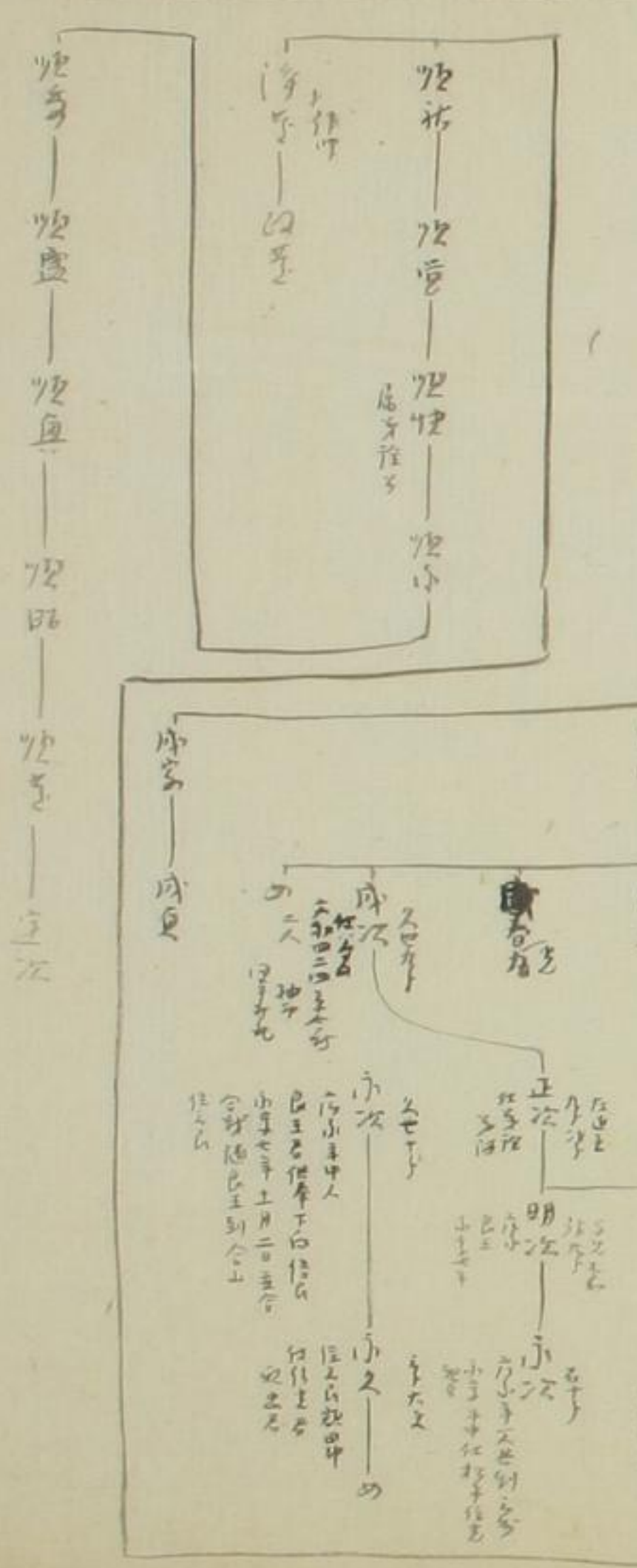
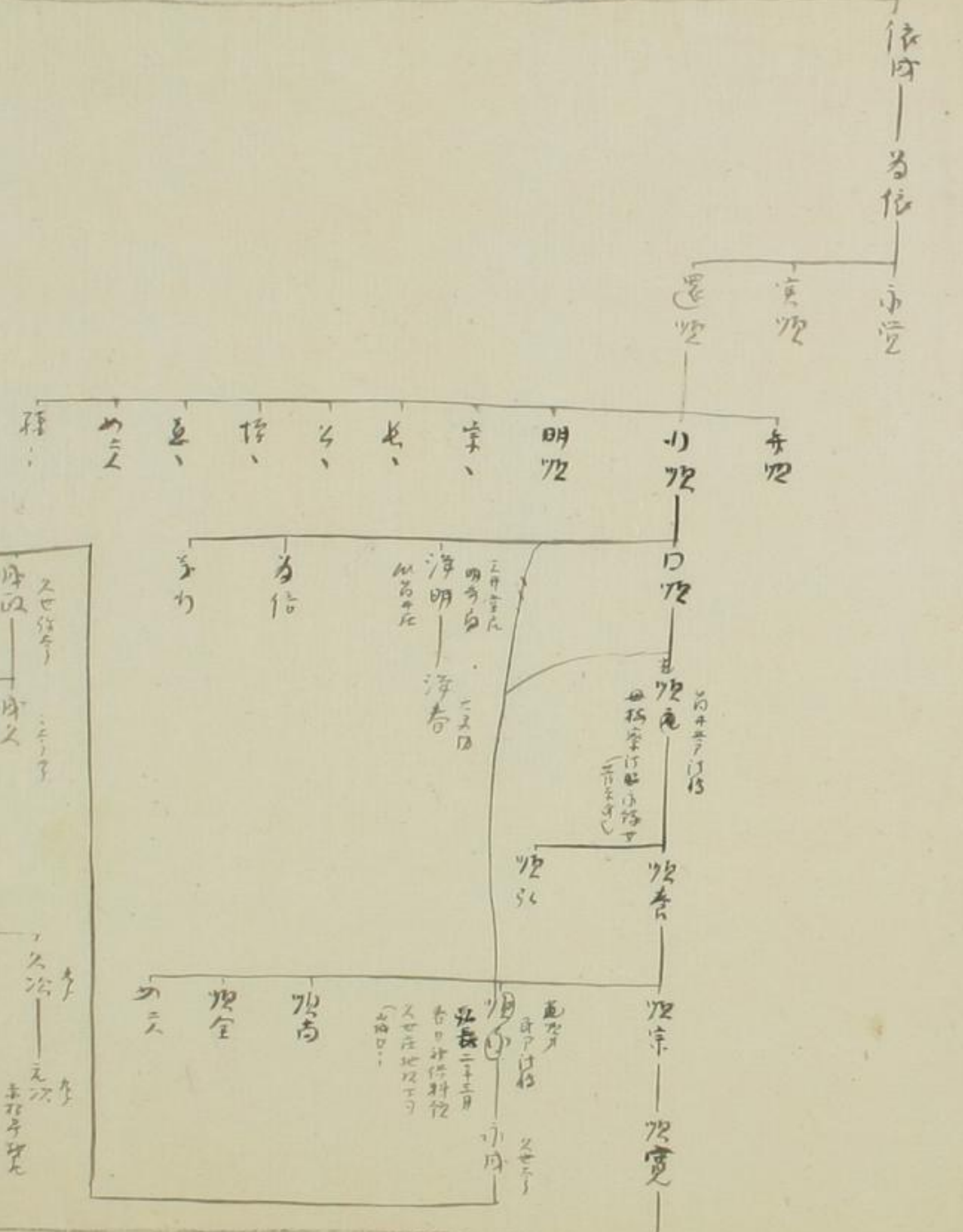
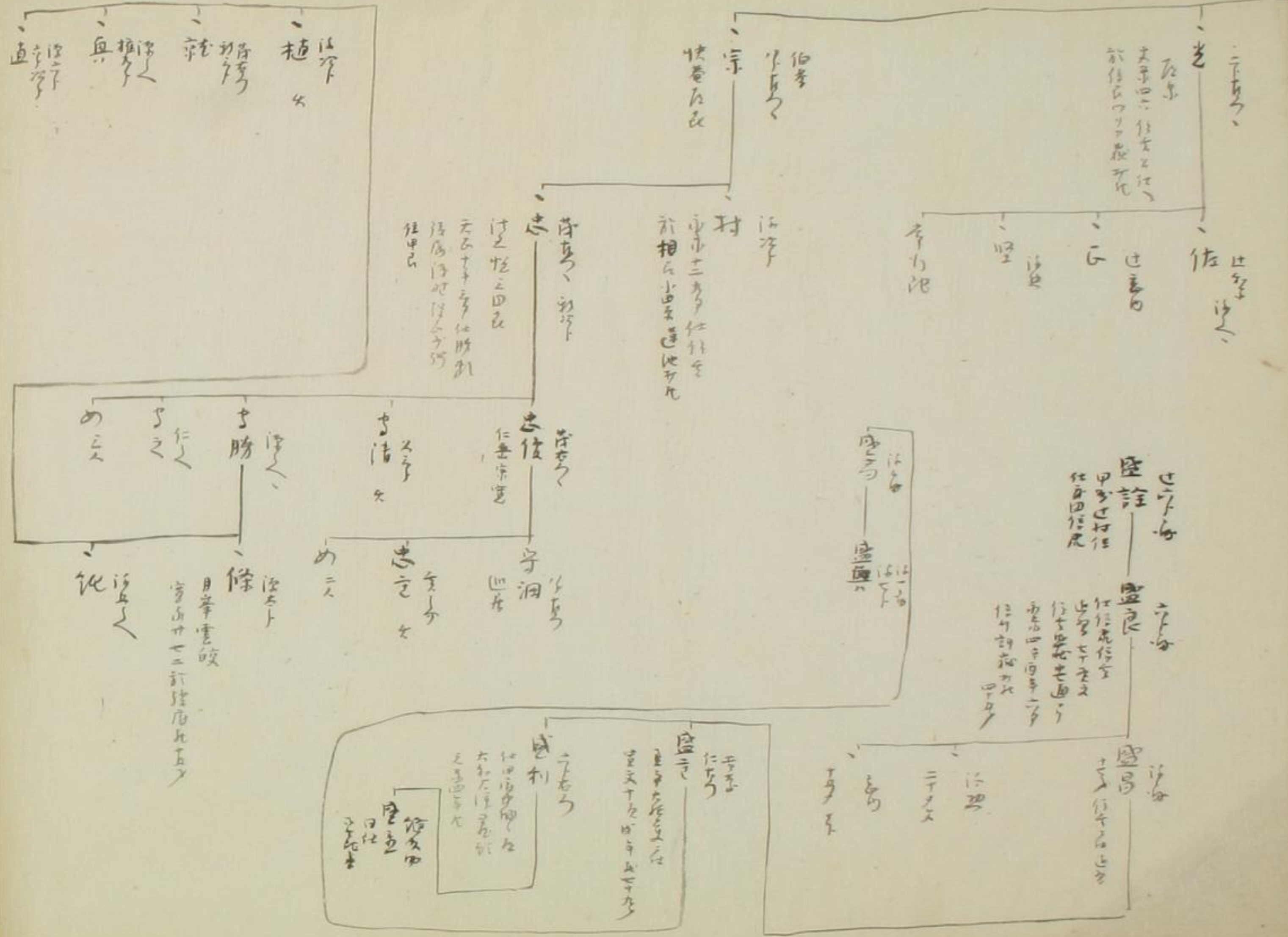
雜病度要 四十五冊 菅原之

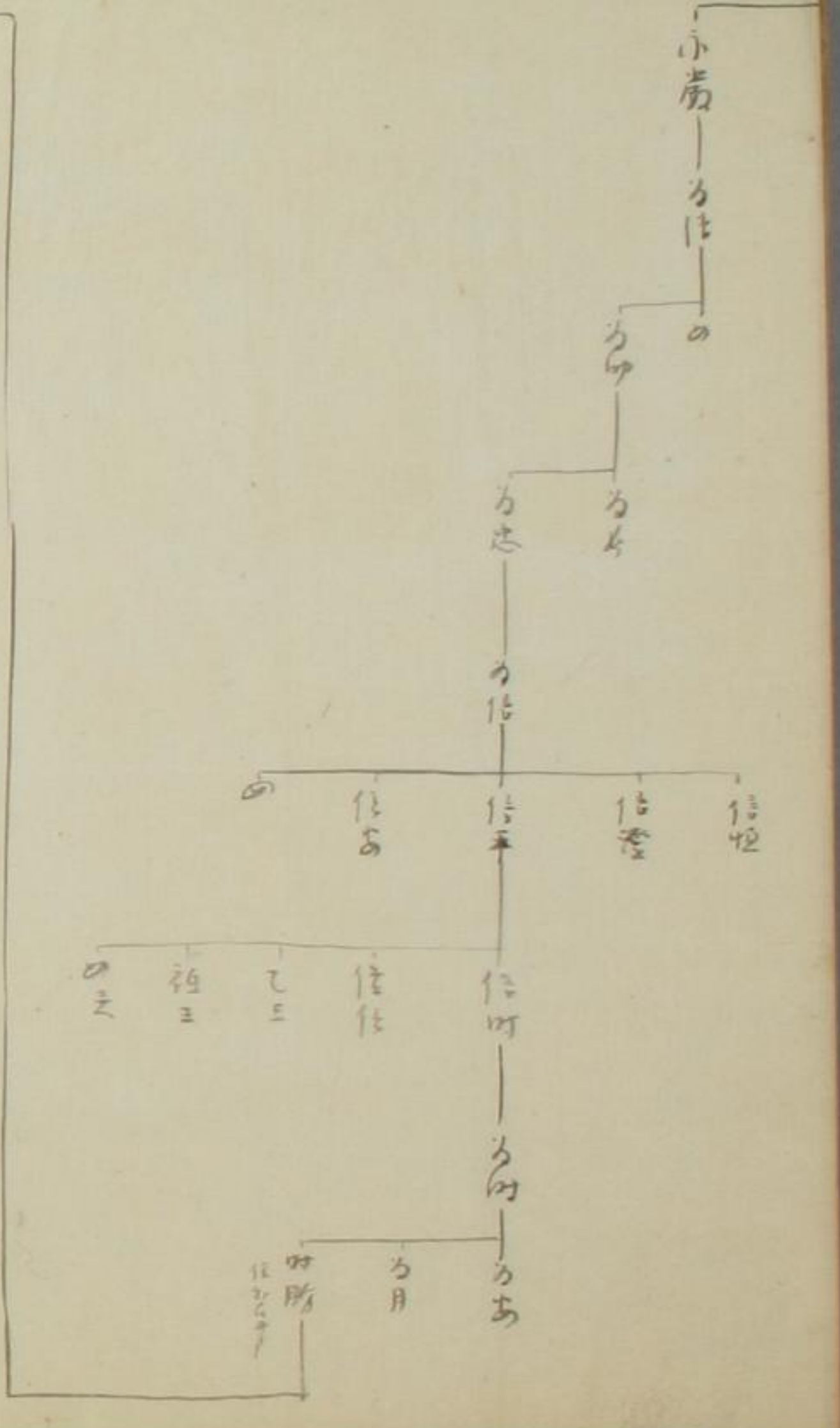
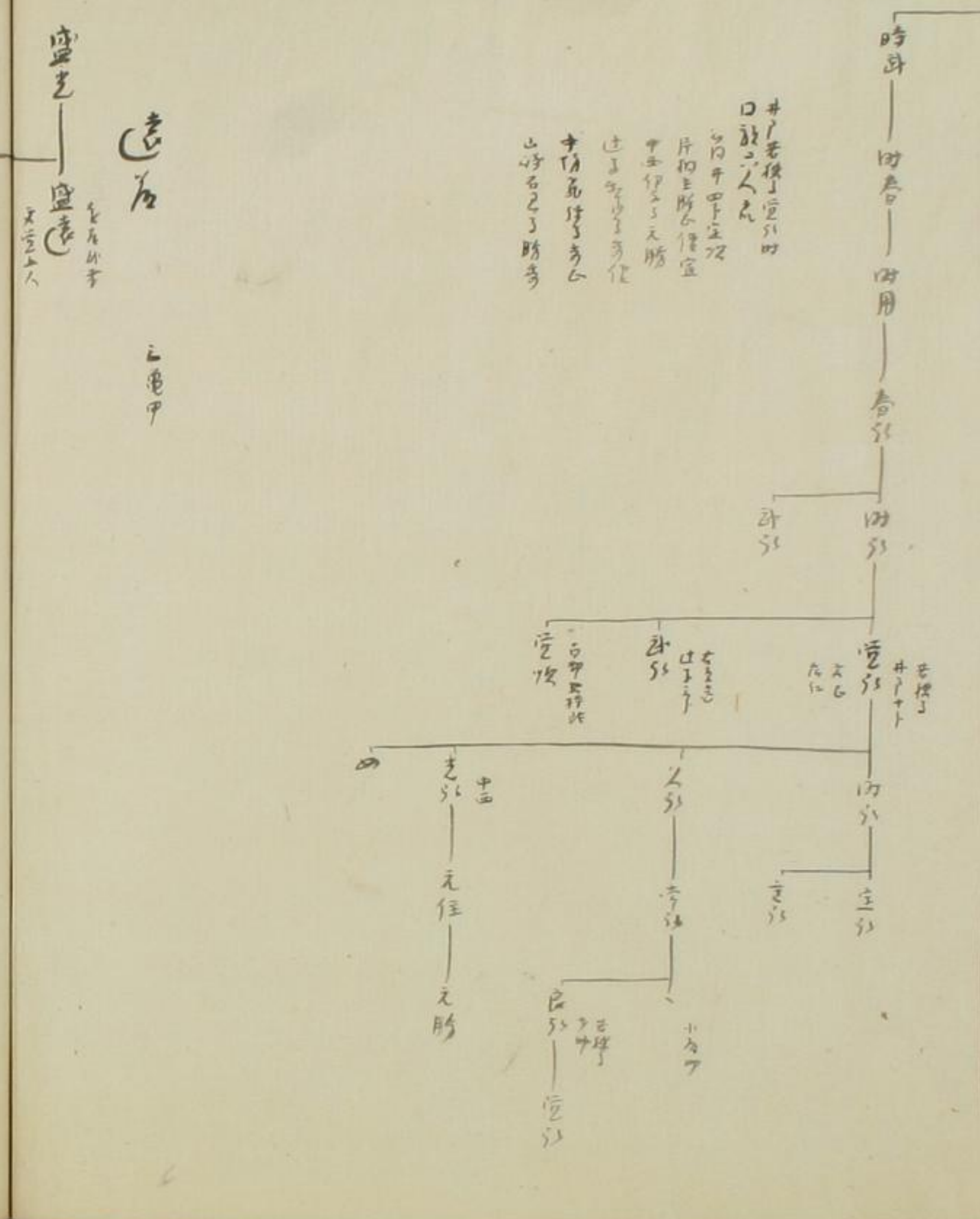
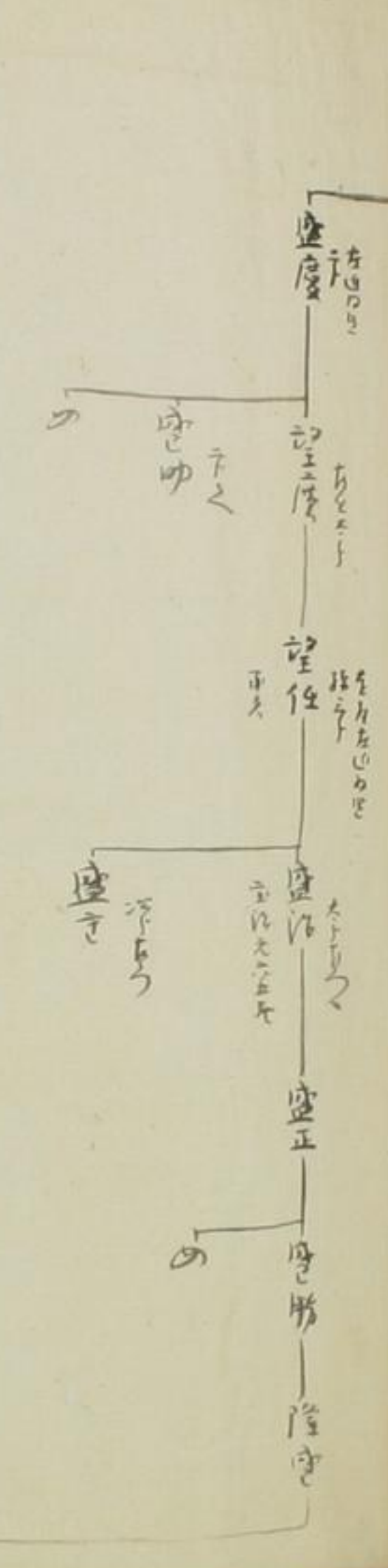
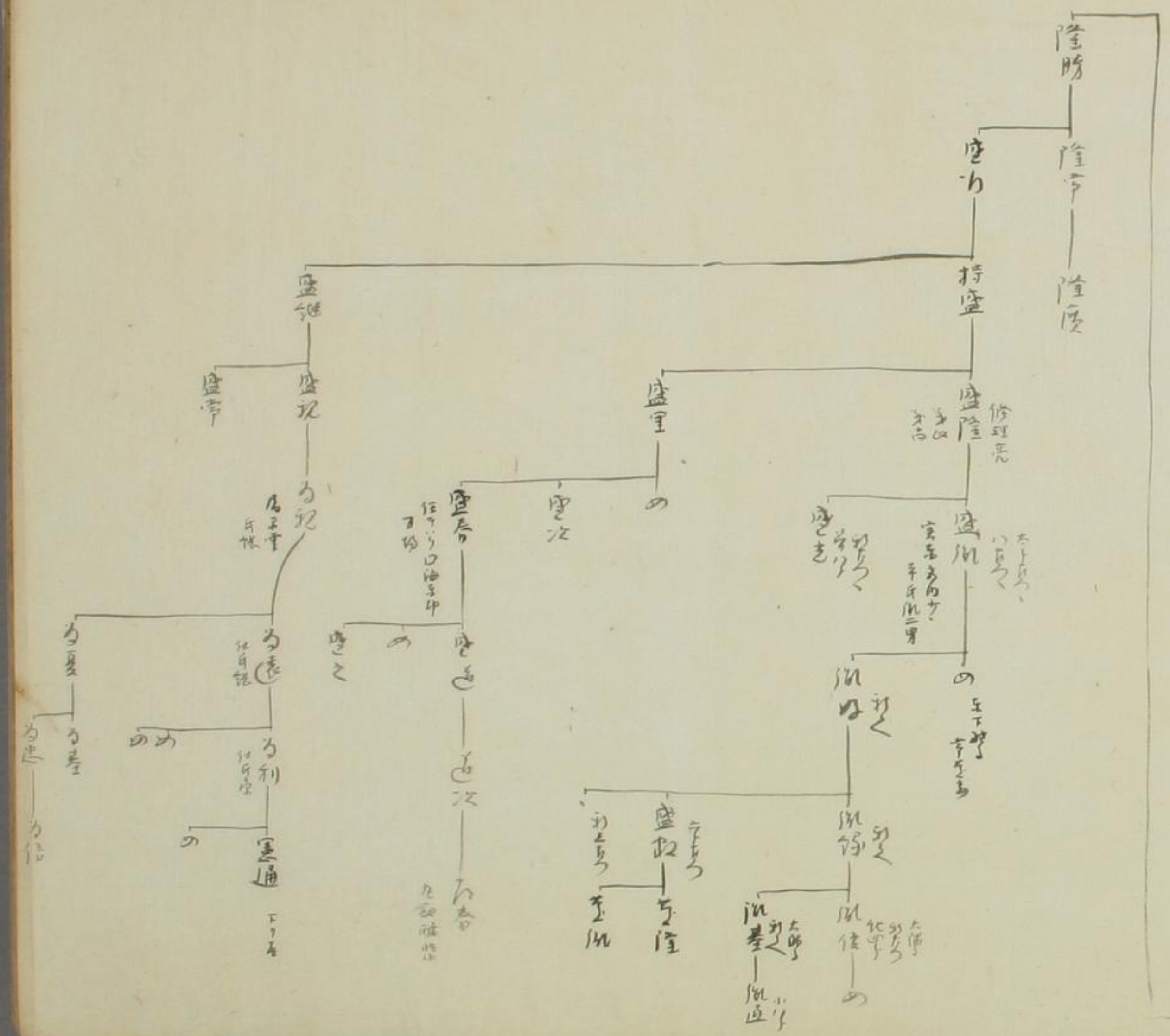
振命著述

古史遺文 本朝度量推衡考 持注説 聖朝要法家注
 乙在書目注江 志忠堂 付三平注江 日本考考地政考 本草経 振命
 龍文所附字攷 菅原妙江 上江文字抄修 千禄字考江

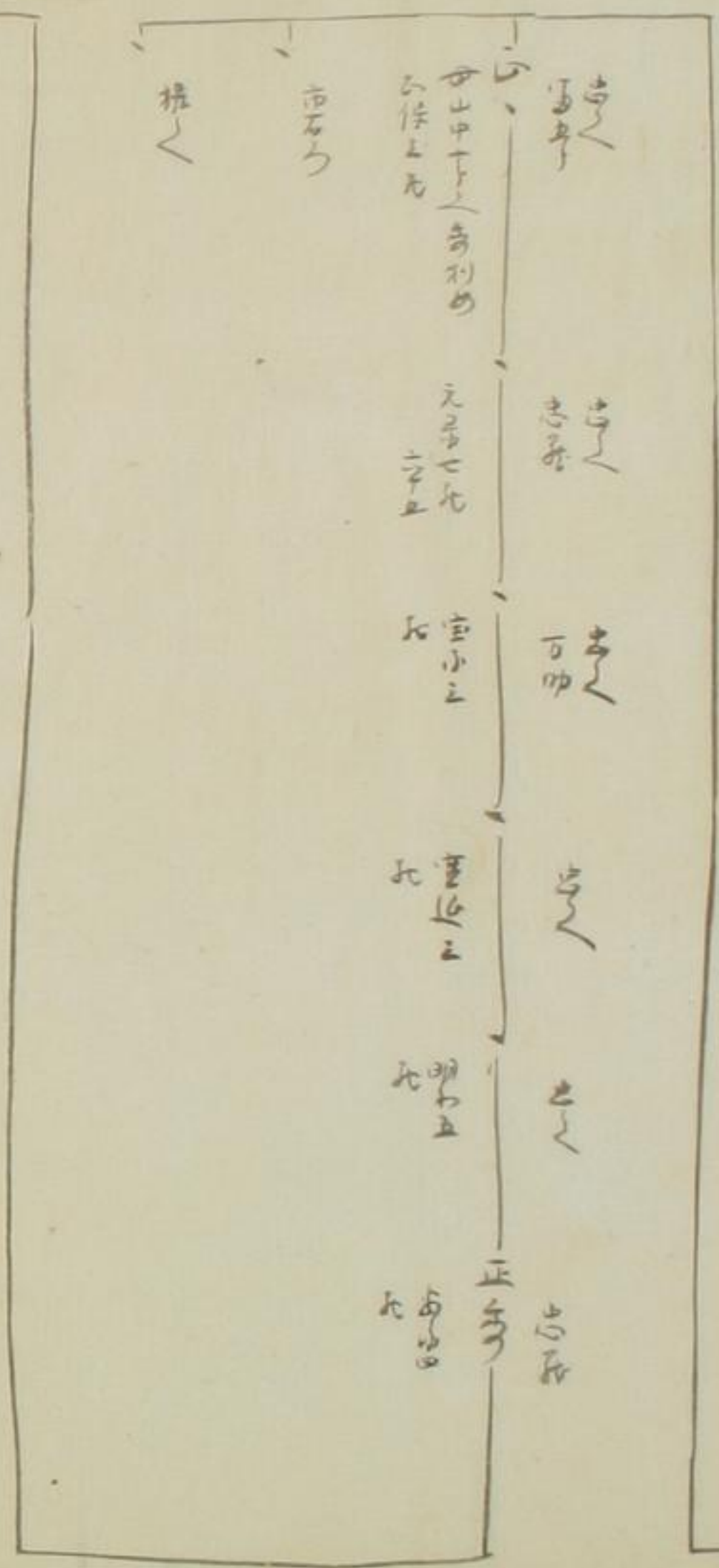


南井戸

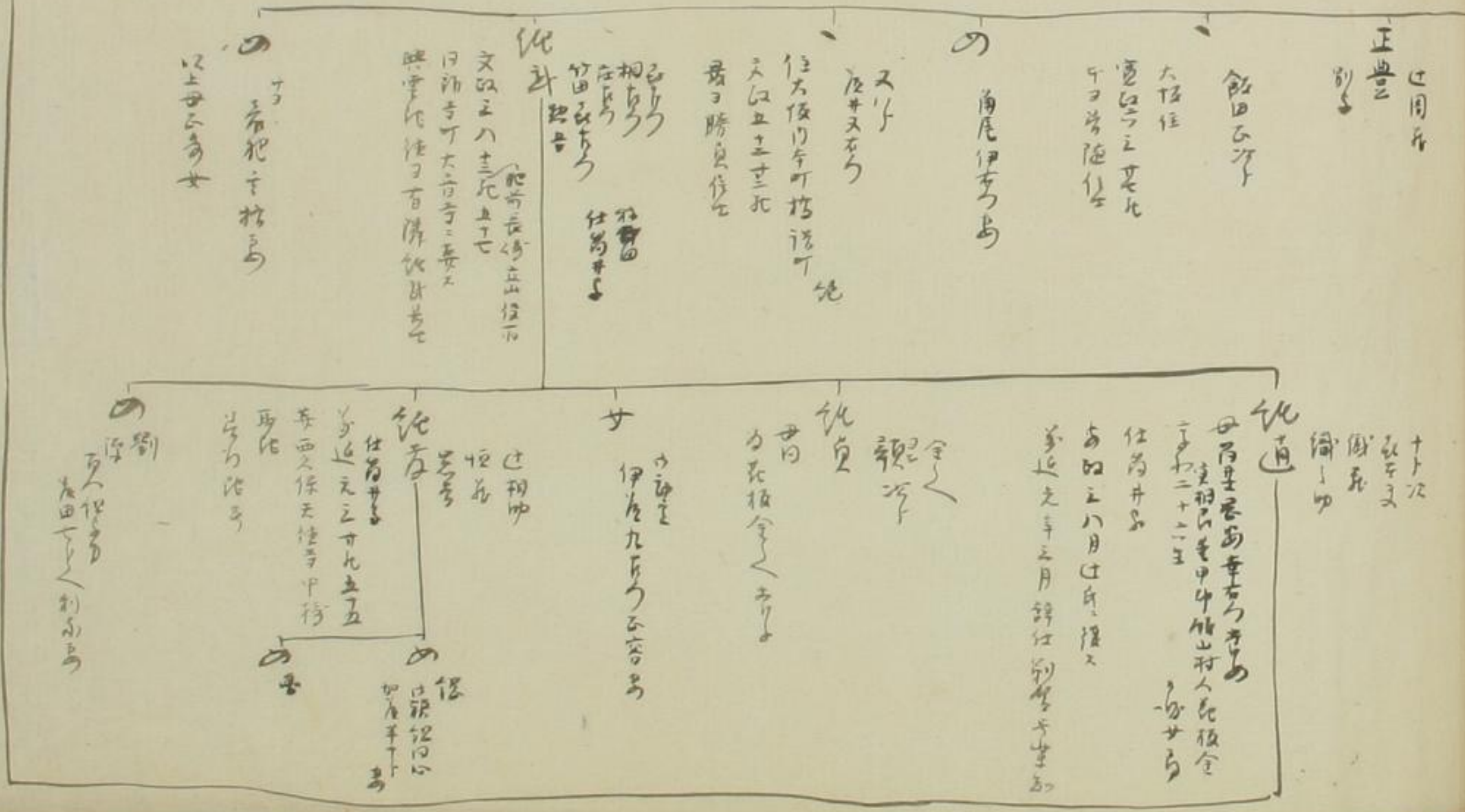




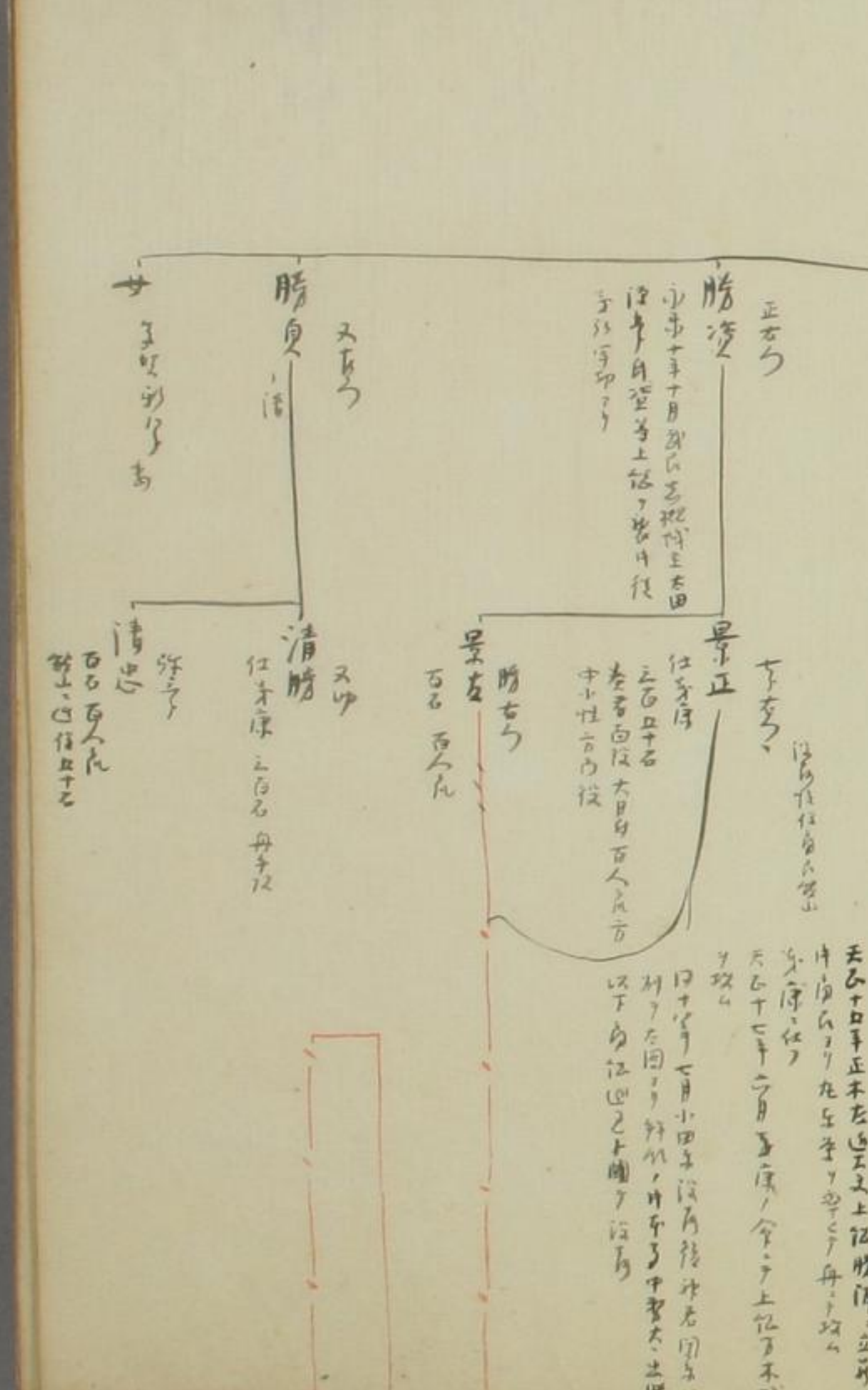
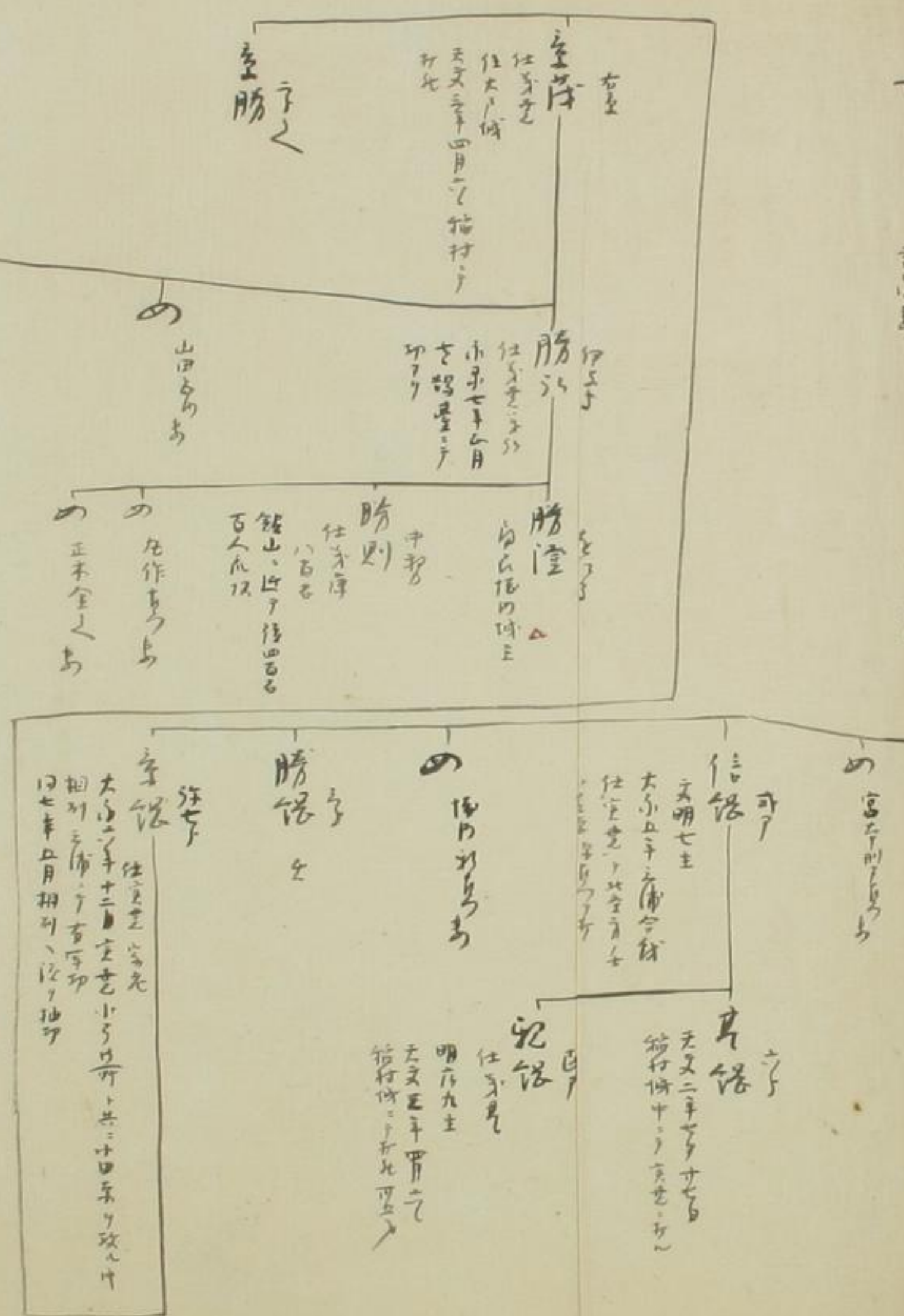
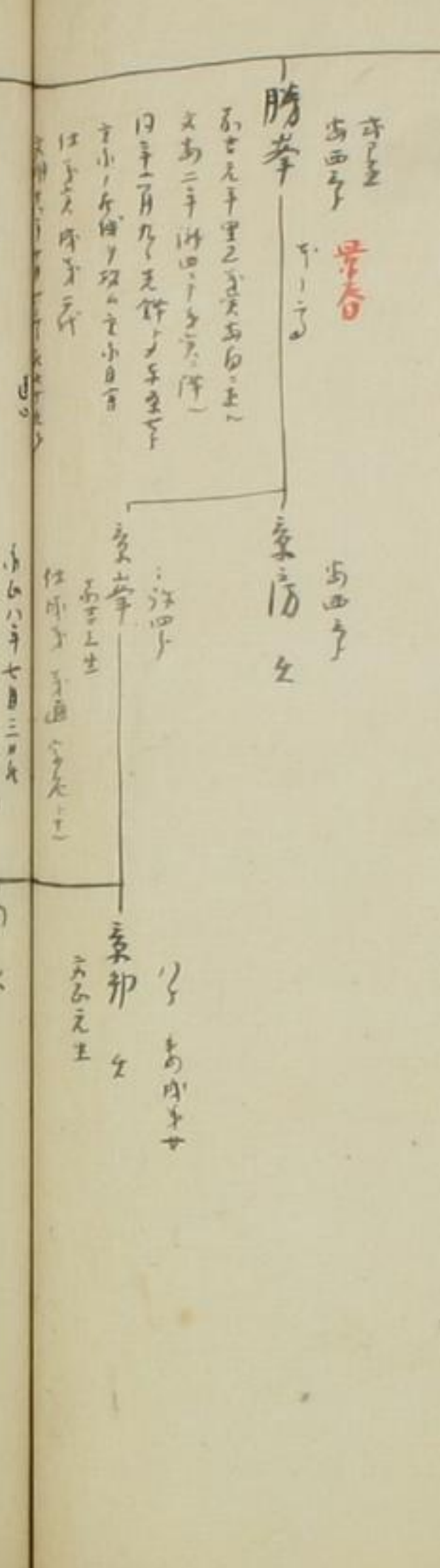
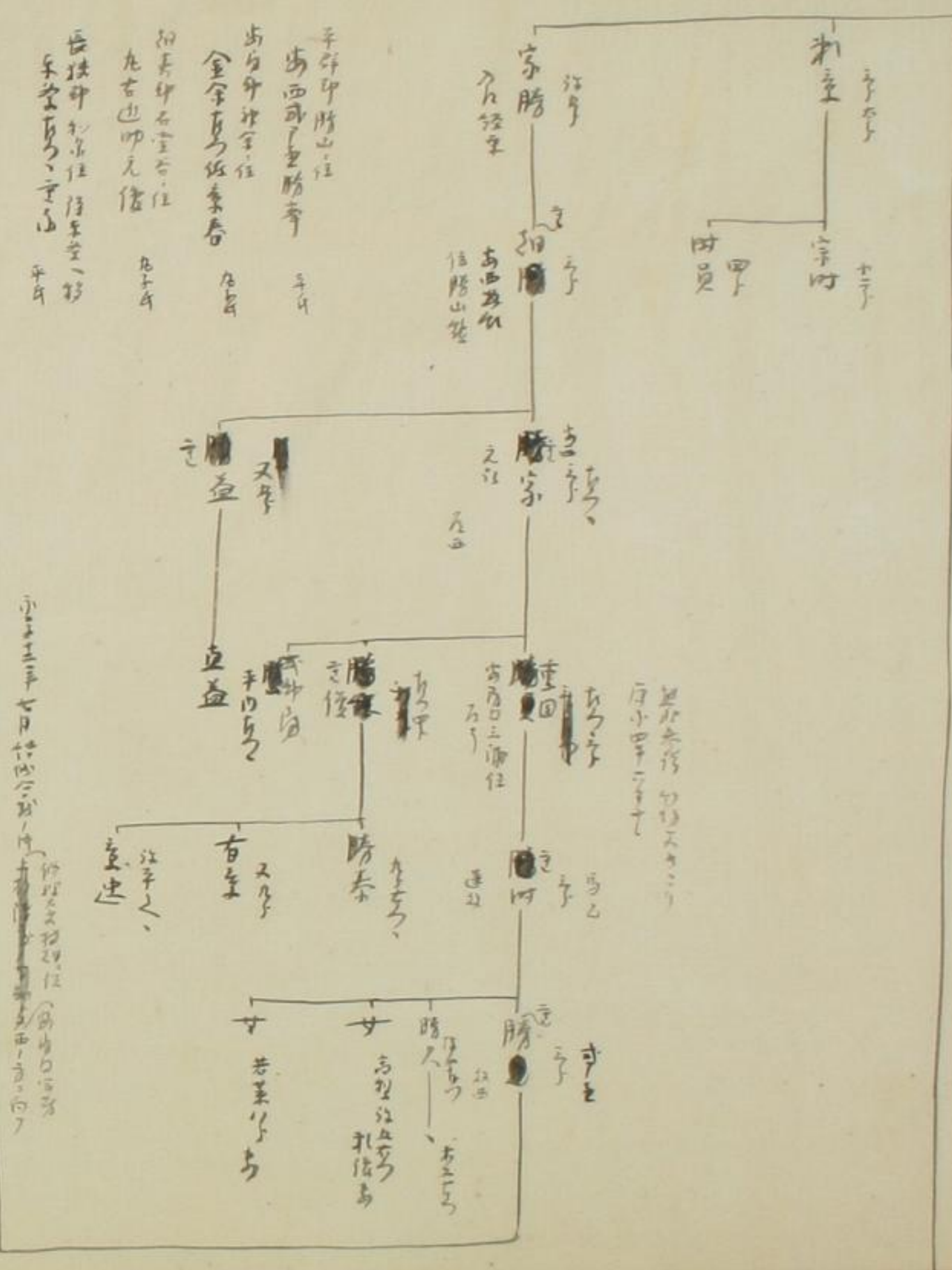
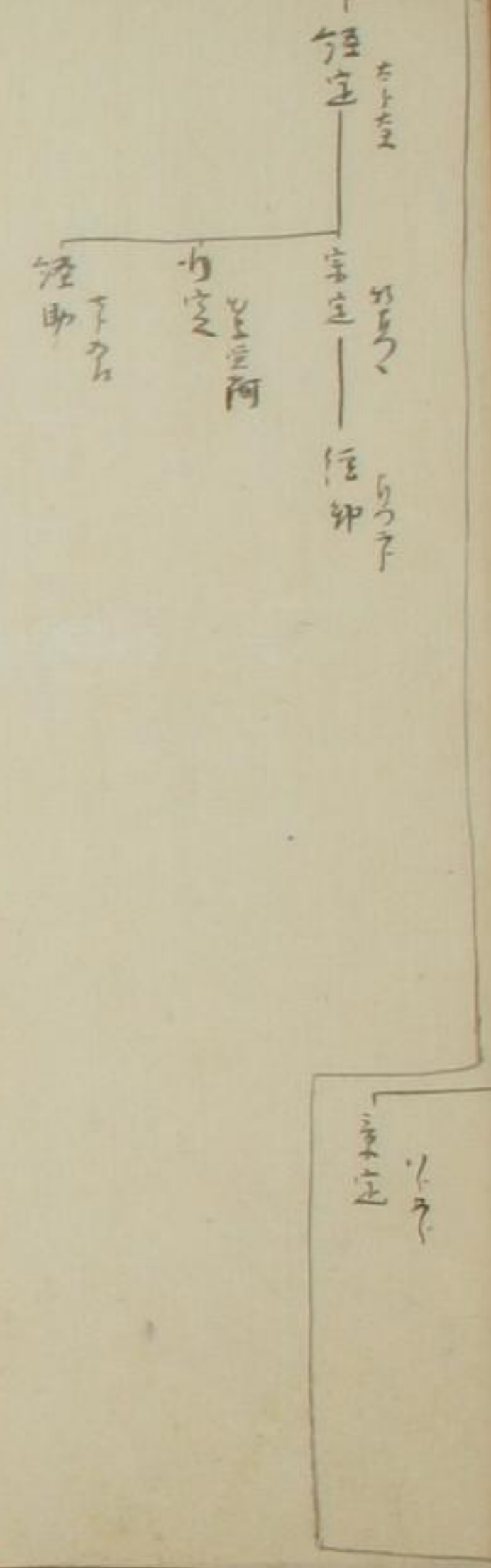
正勝
 大の多...
 母若尾...
 正明
 母若尾...
 正勝



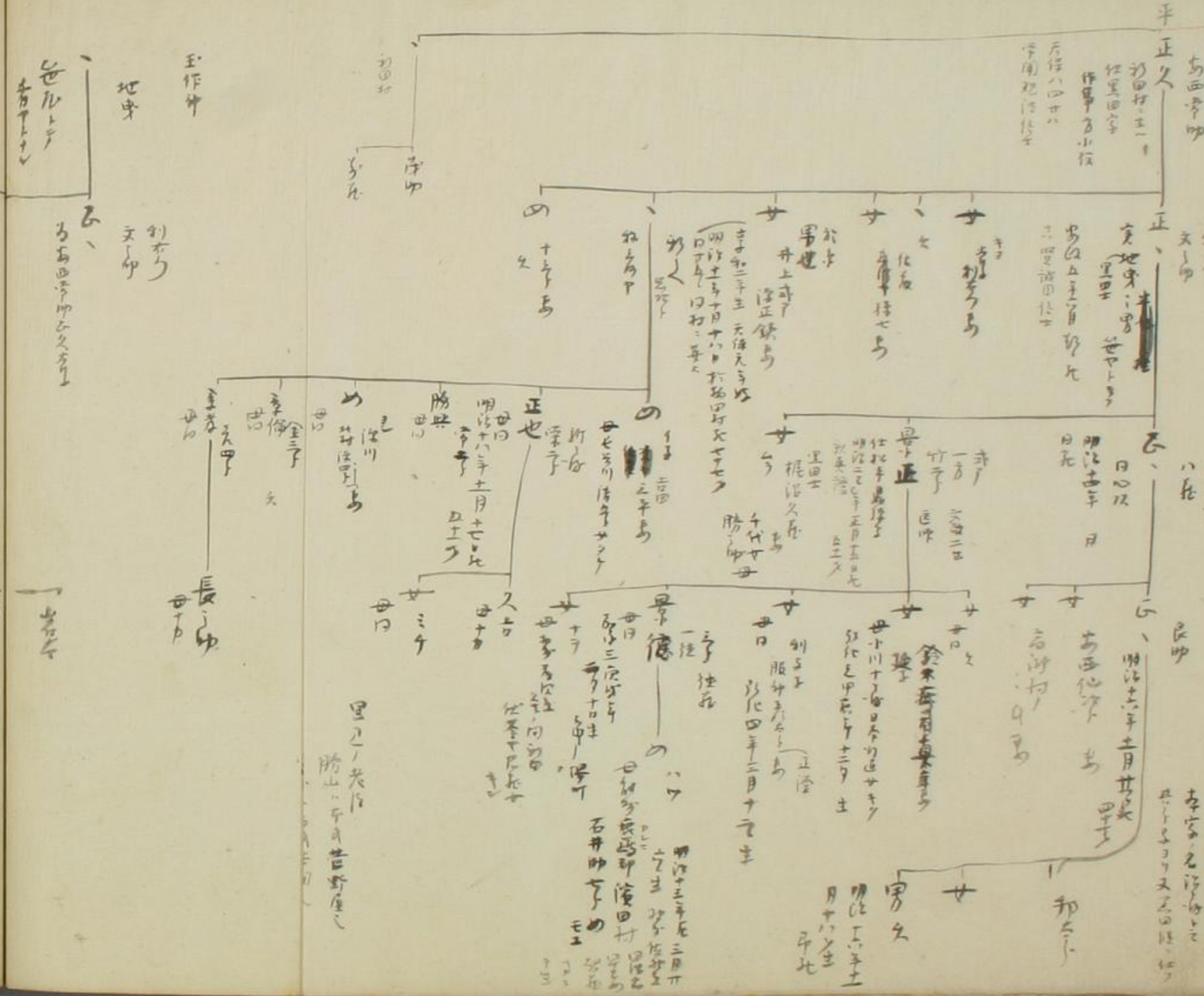
正地
 正勝
 正明
 正勝
 正明
 正勝
 正明



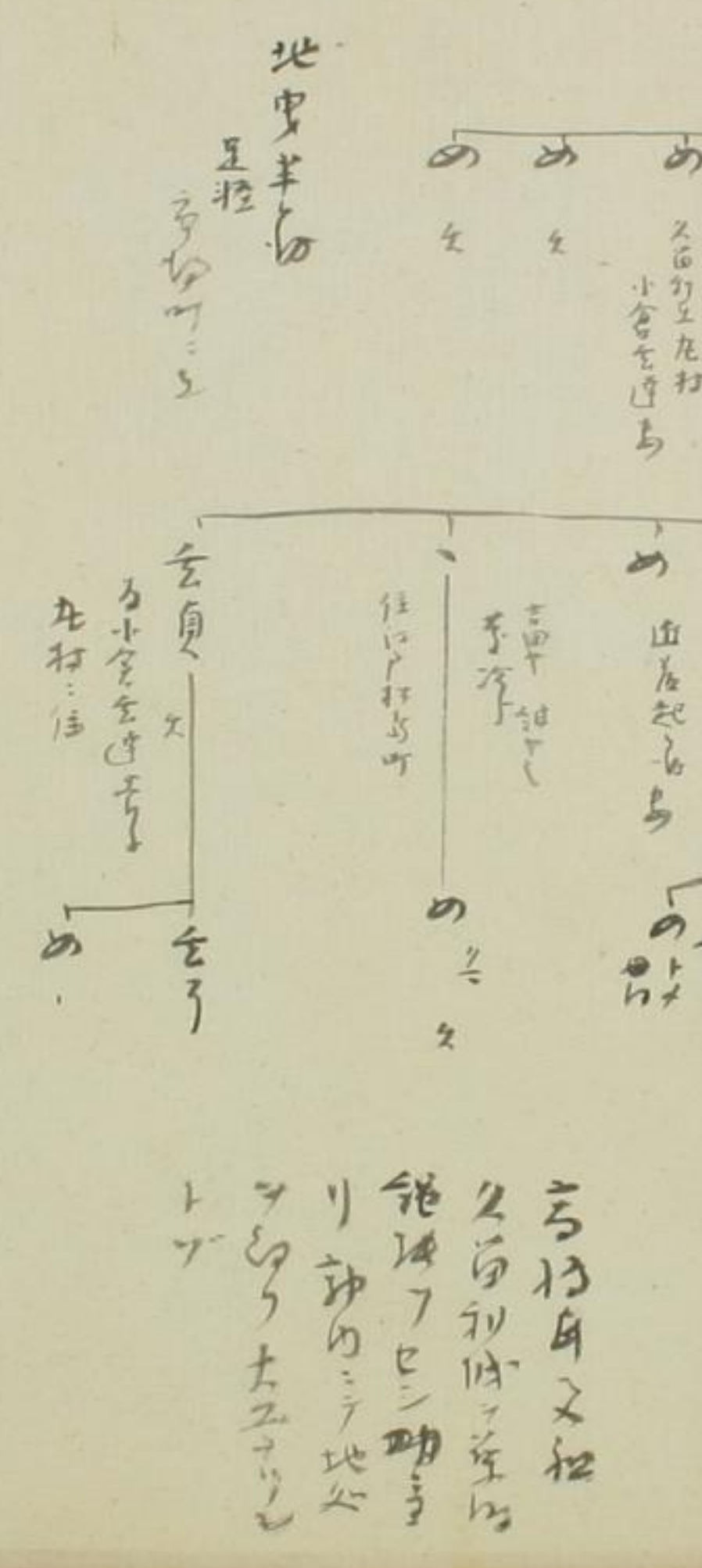
正勝
 正明
 正勝
 正明



上証久留利三村、高西氏、五二、此中、黒田氏、紅、高西氏、千三、
 今、高西氏、



戸持村、
 地、



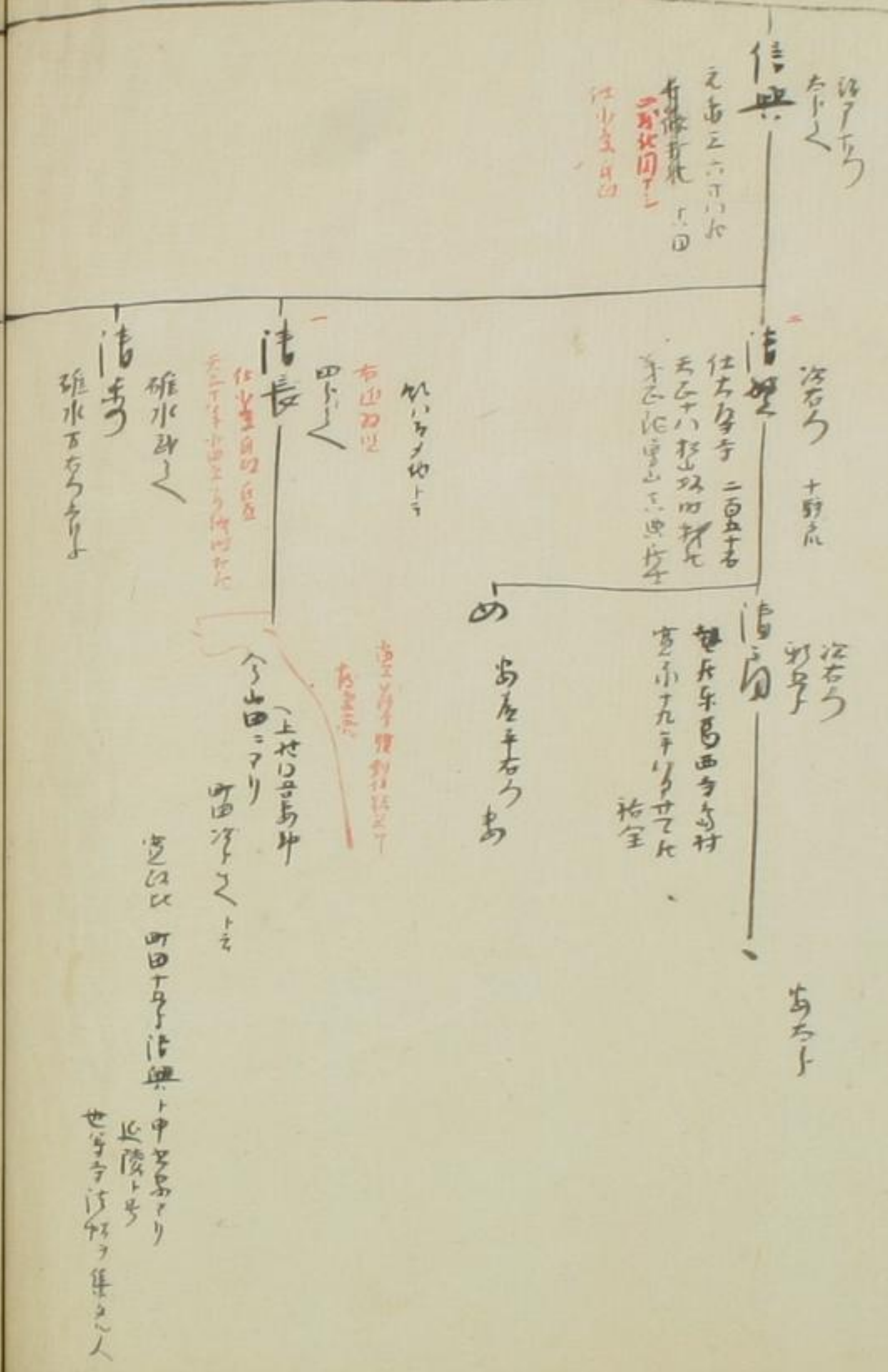
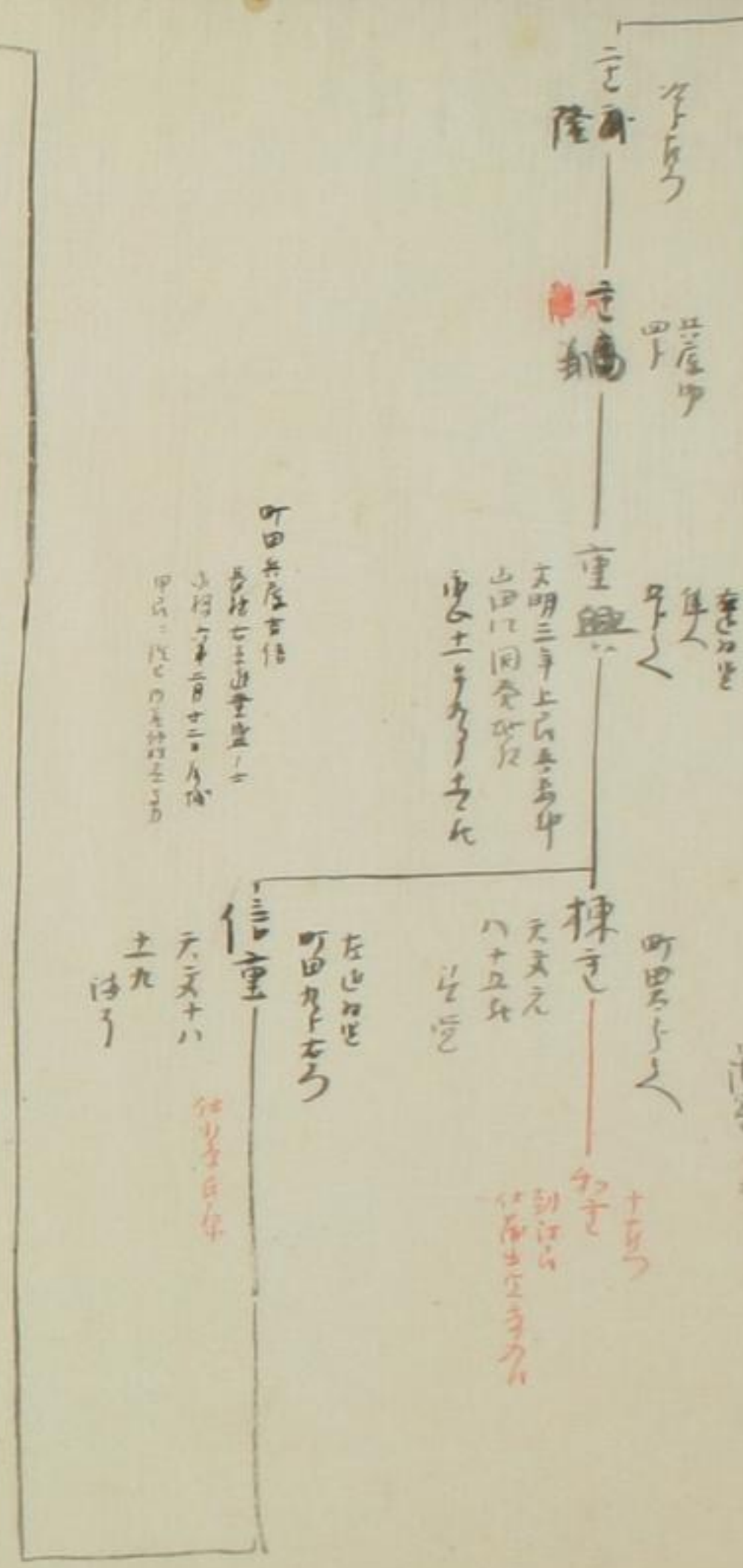
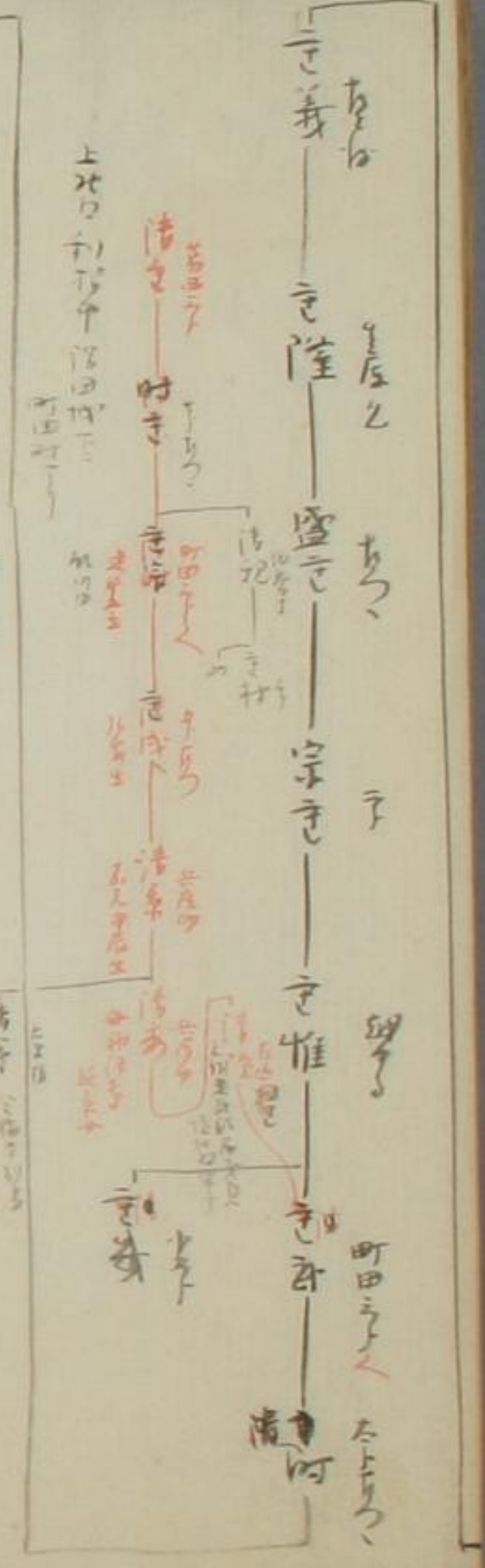
奉許言

福業、
 益田、
 同日、

ト長門國、
 神列、
 敬慮、
 切、
 唱、
 合、
 向、

長門國、
 神列、
 敬慮、
 切、
 唱、
 合、
 向、

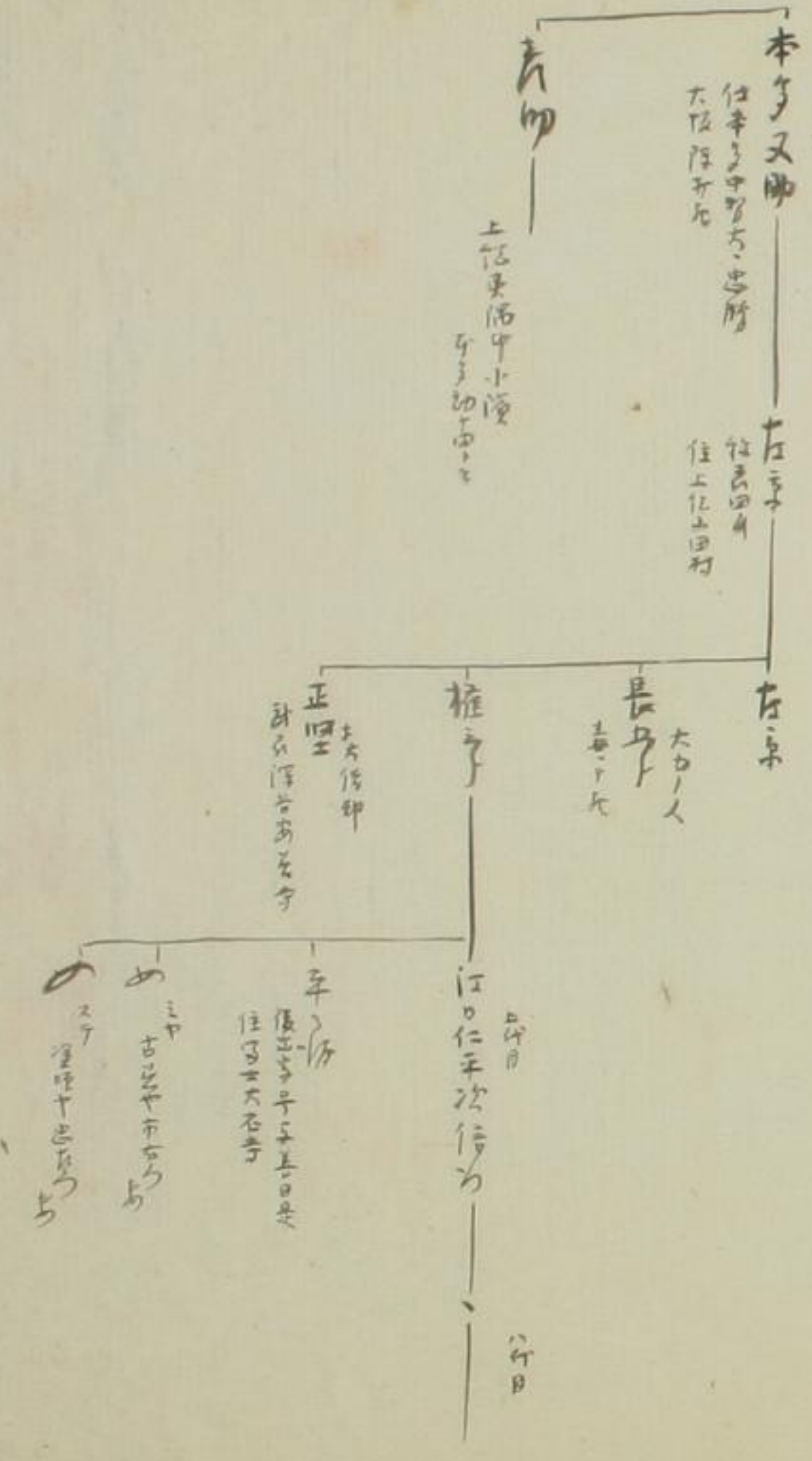
長門國、
 神列、
 敬慮、
 切、
 唱、
 合、
 向、



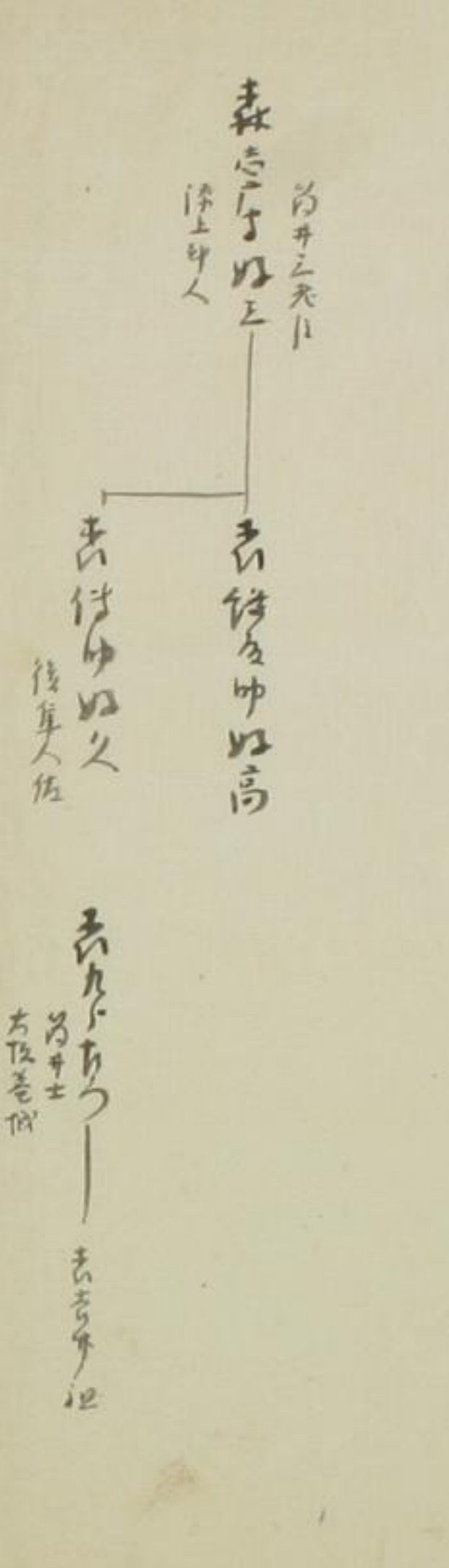
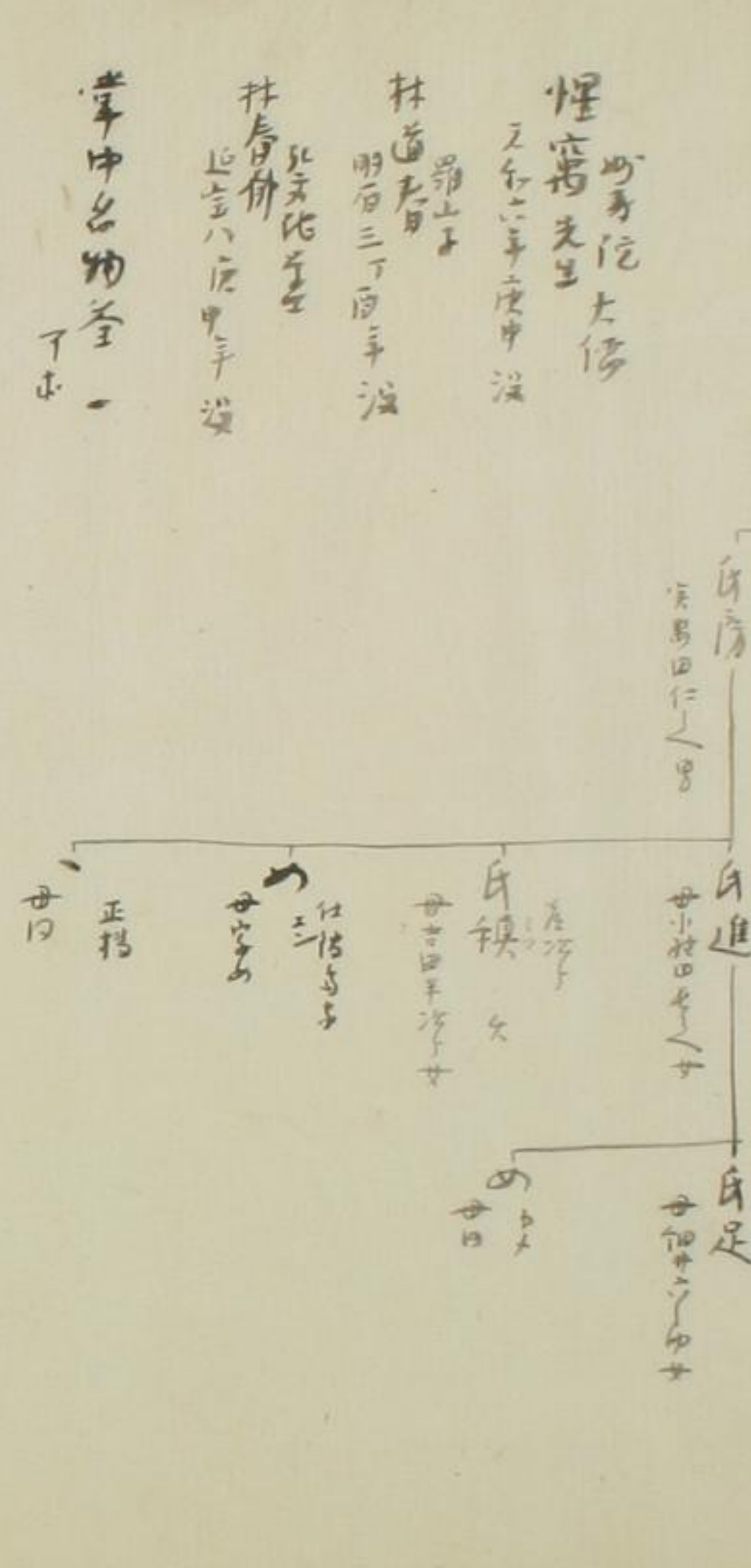
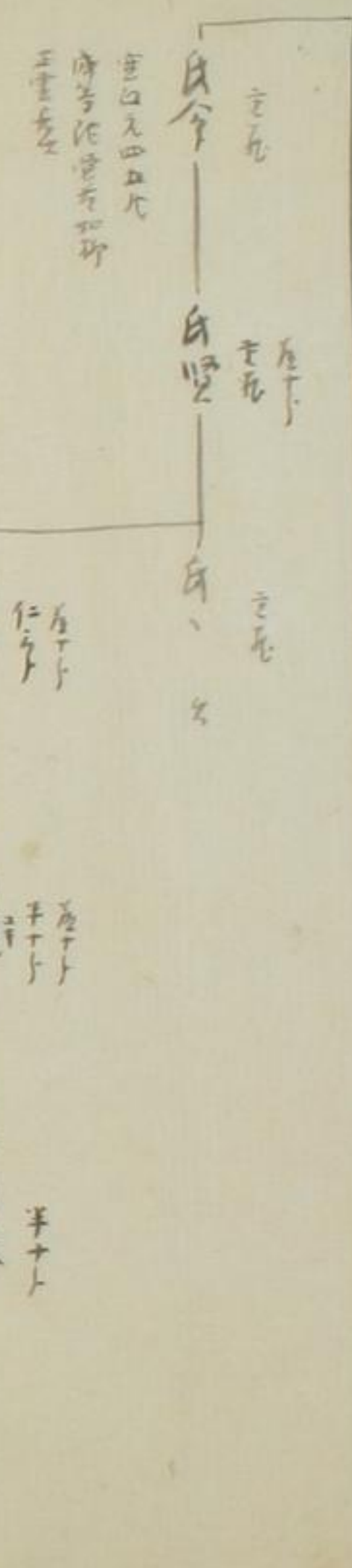
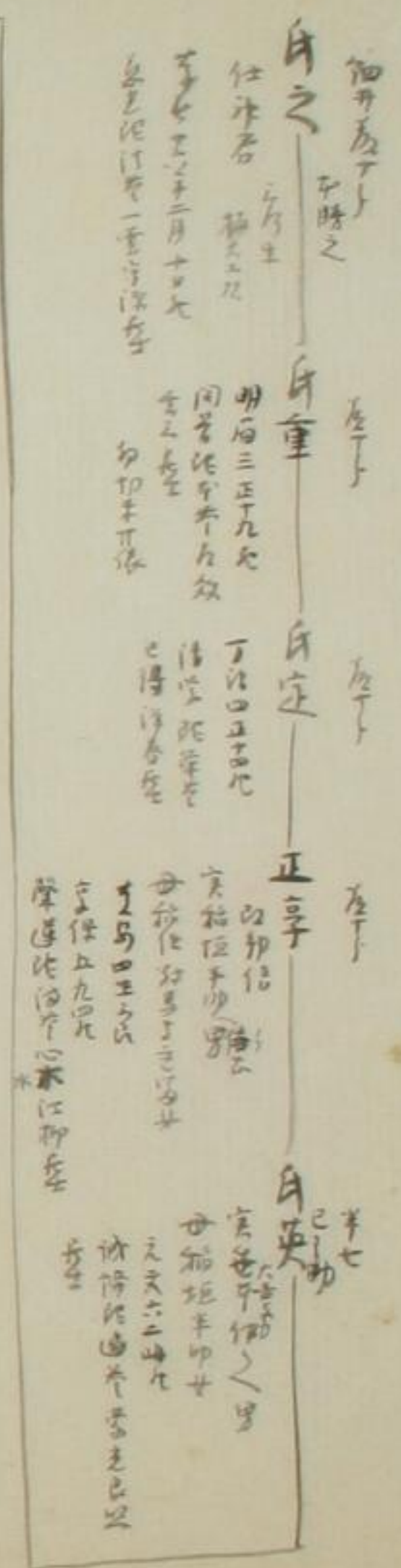
信成
 信実
 信俊
 信直
 信元
 信朝

右活興ノ家系トモフ

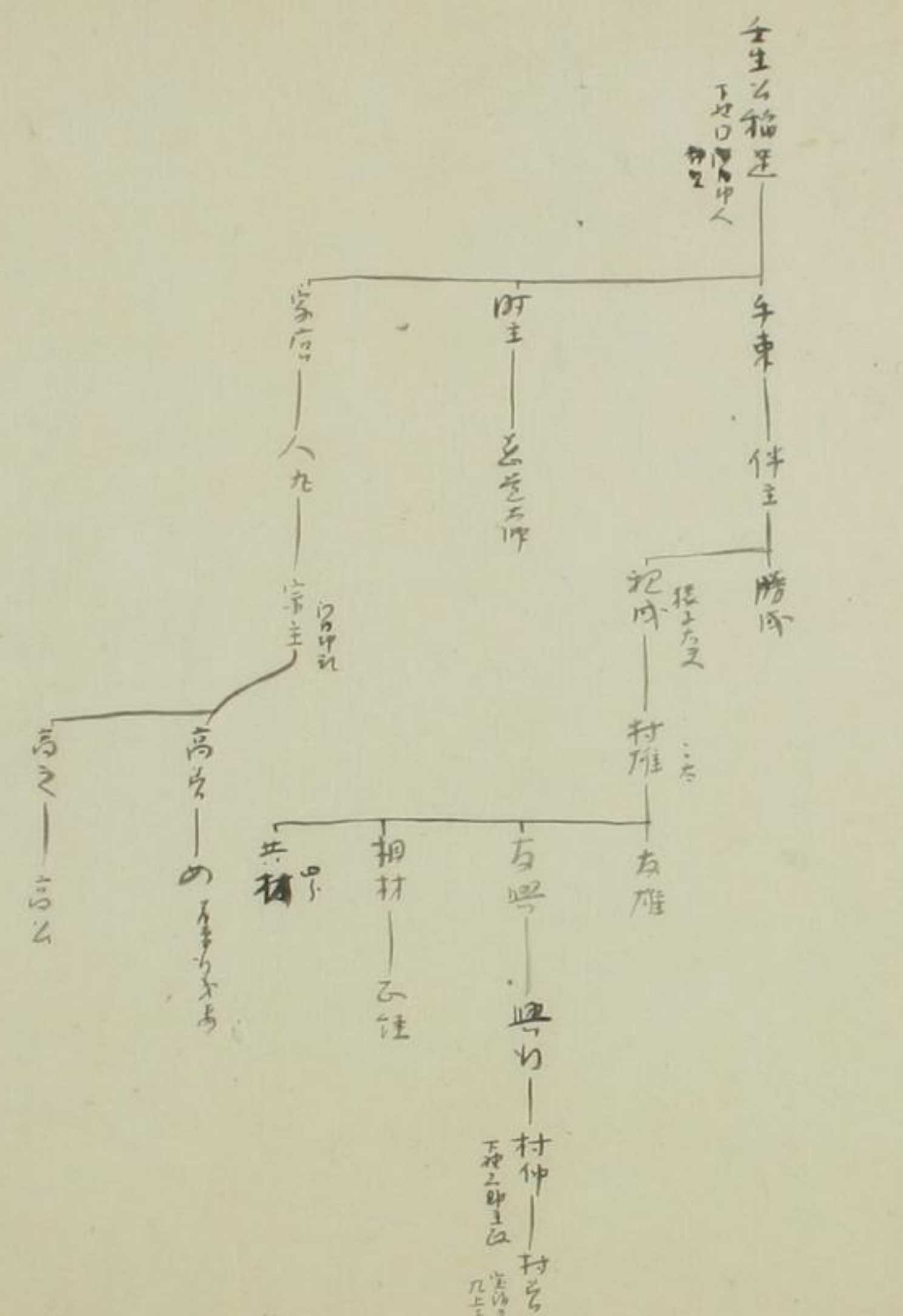
牧野
 五郎
 三郎
 五郎
 三郎
 五郎
 三郎



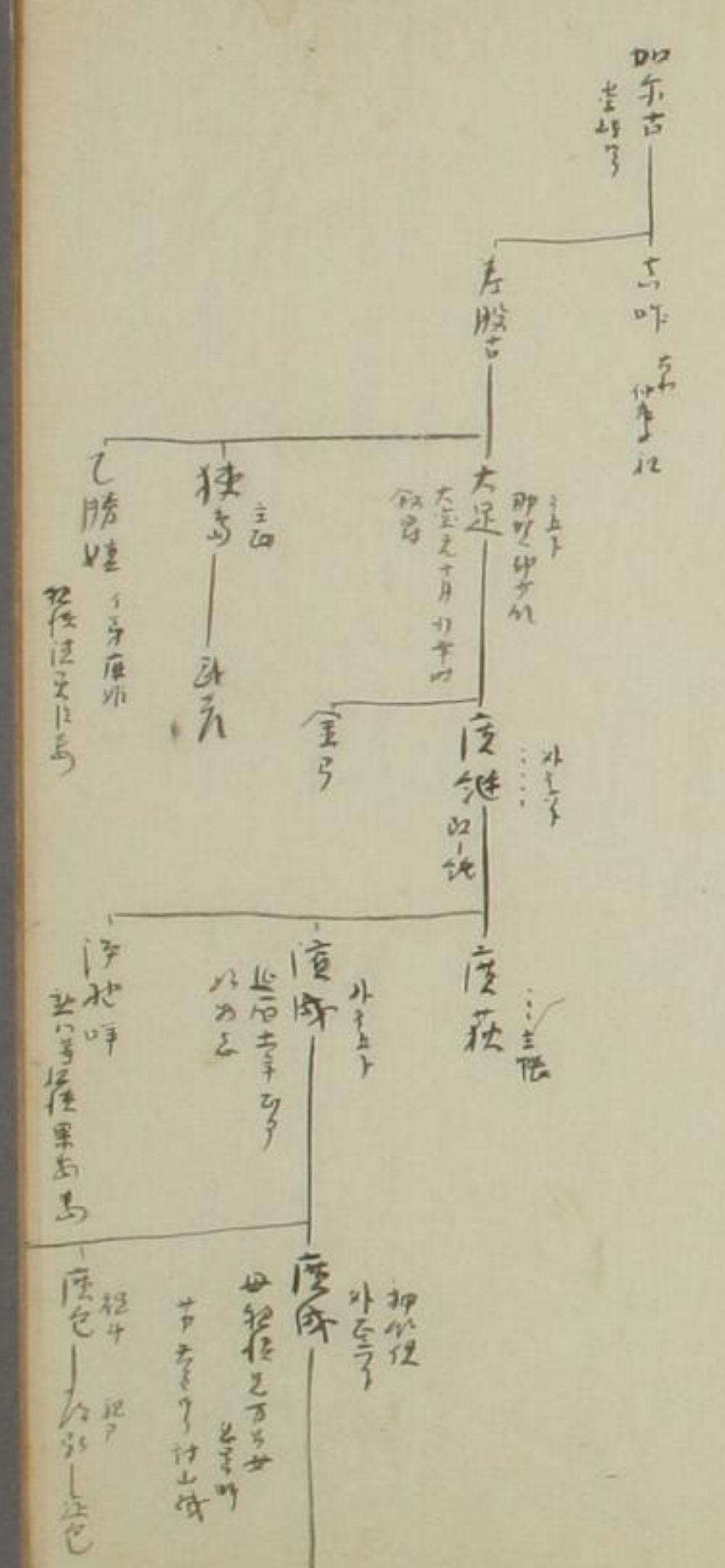
細井

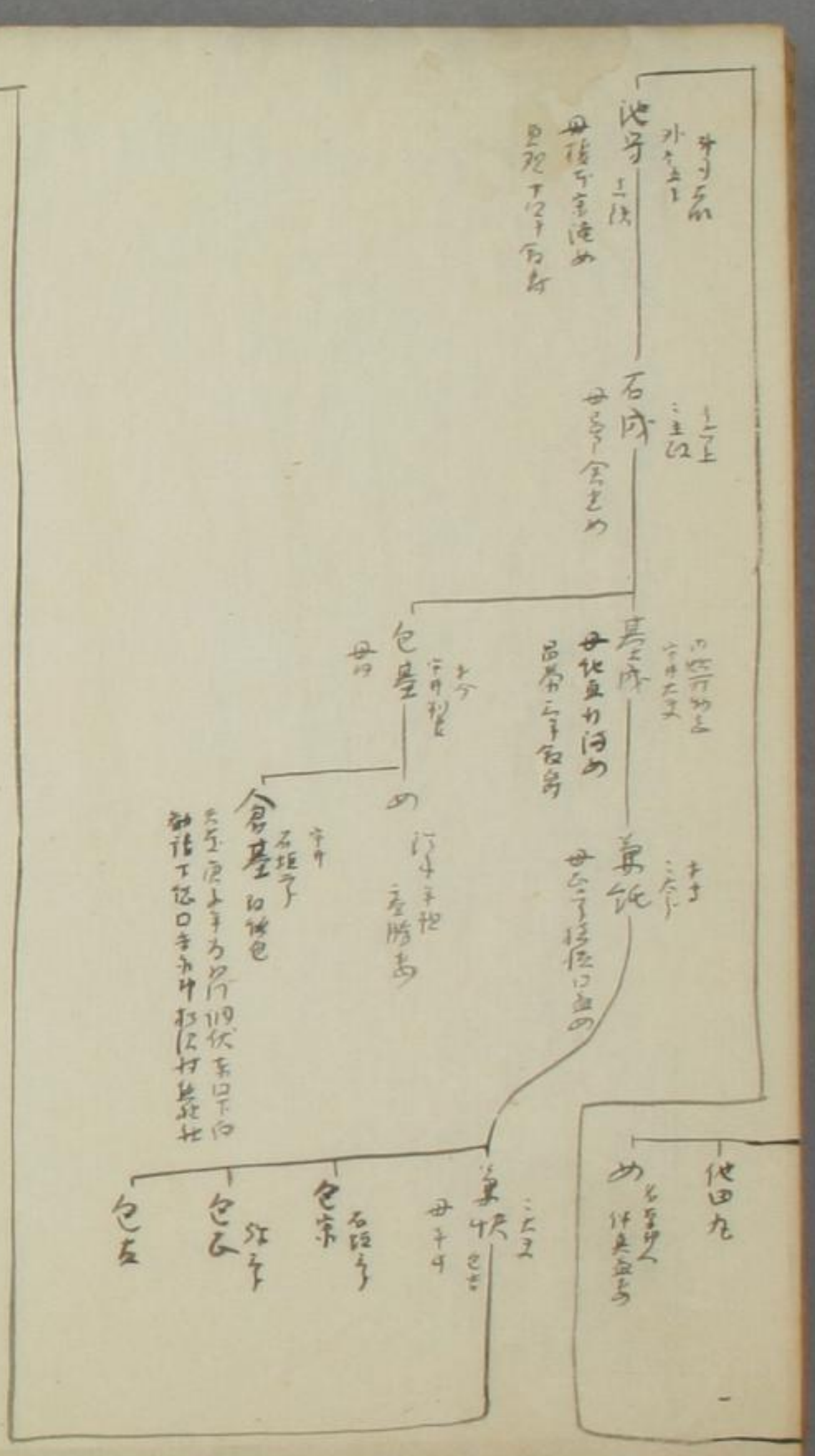
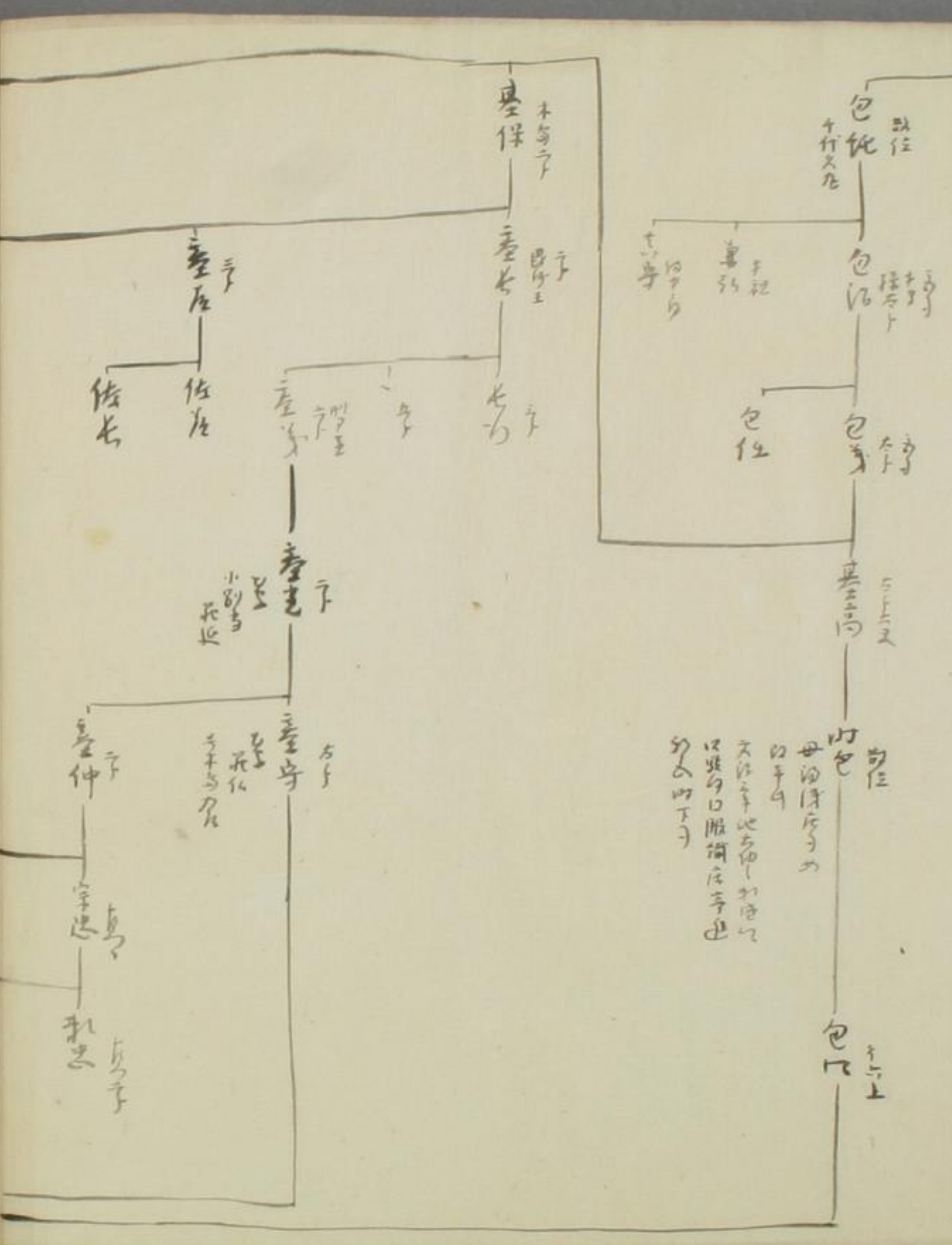
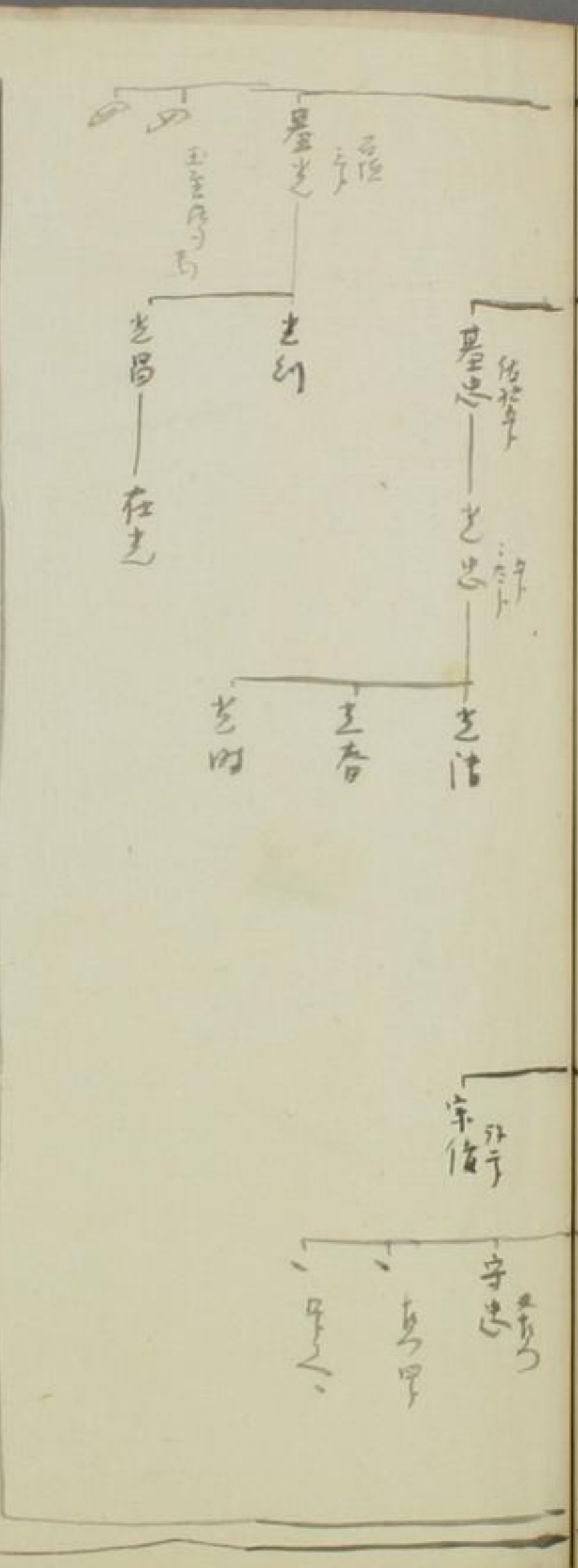
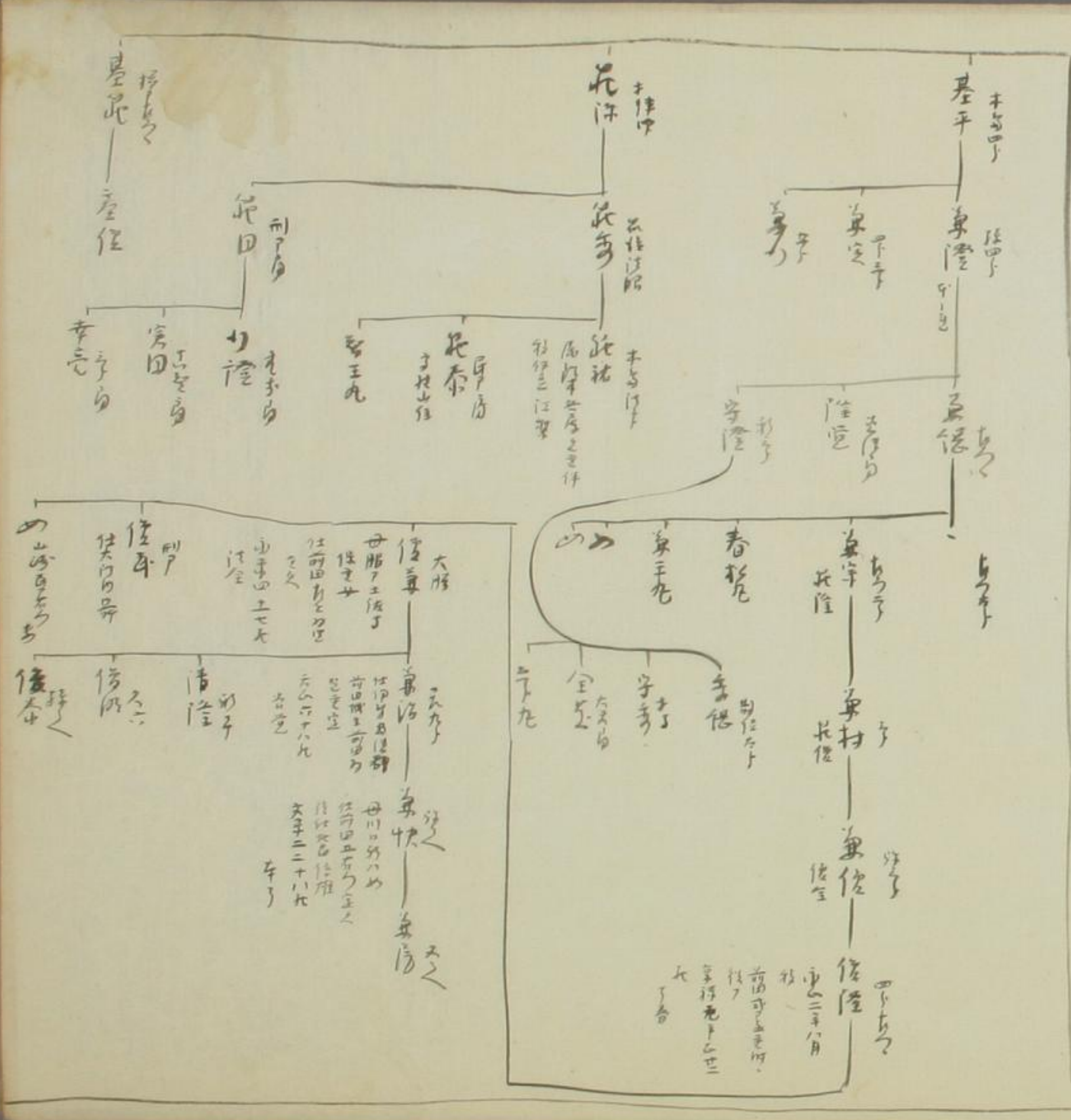


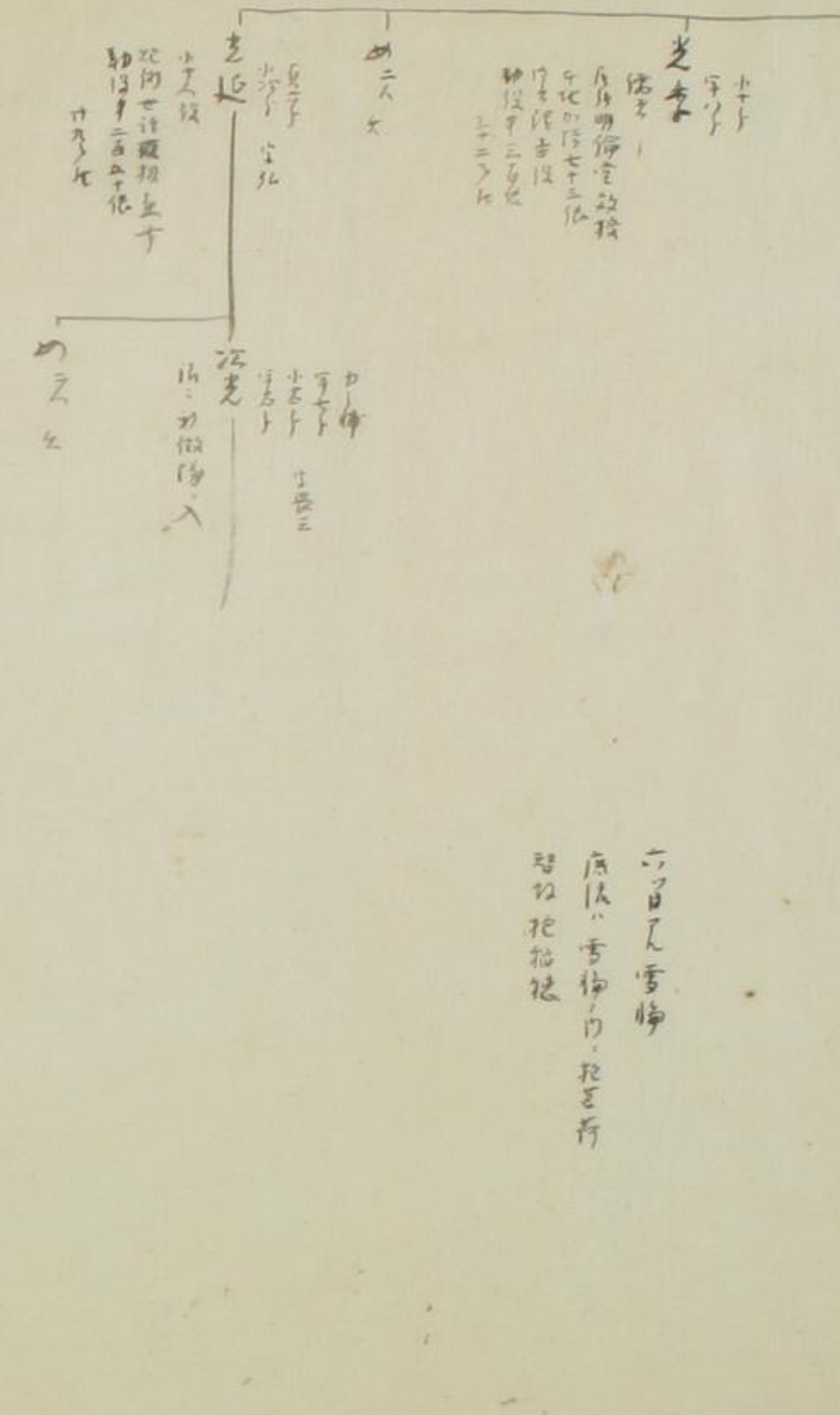
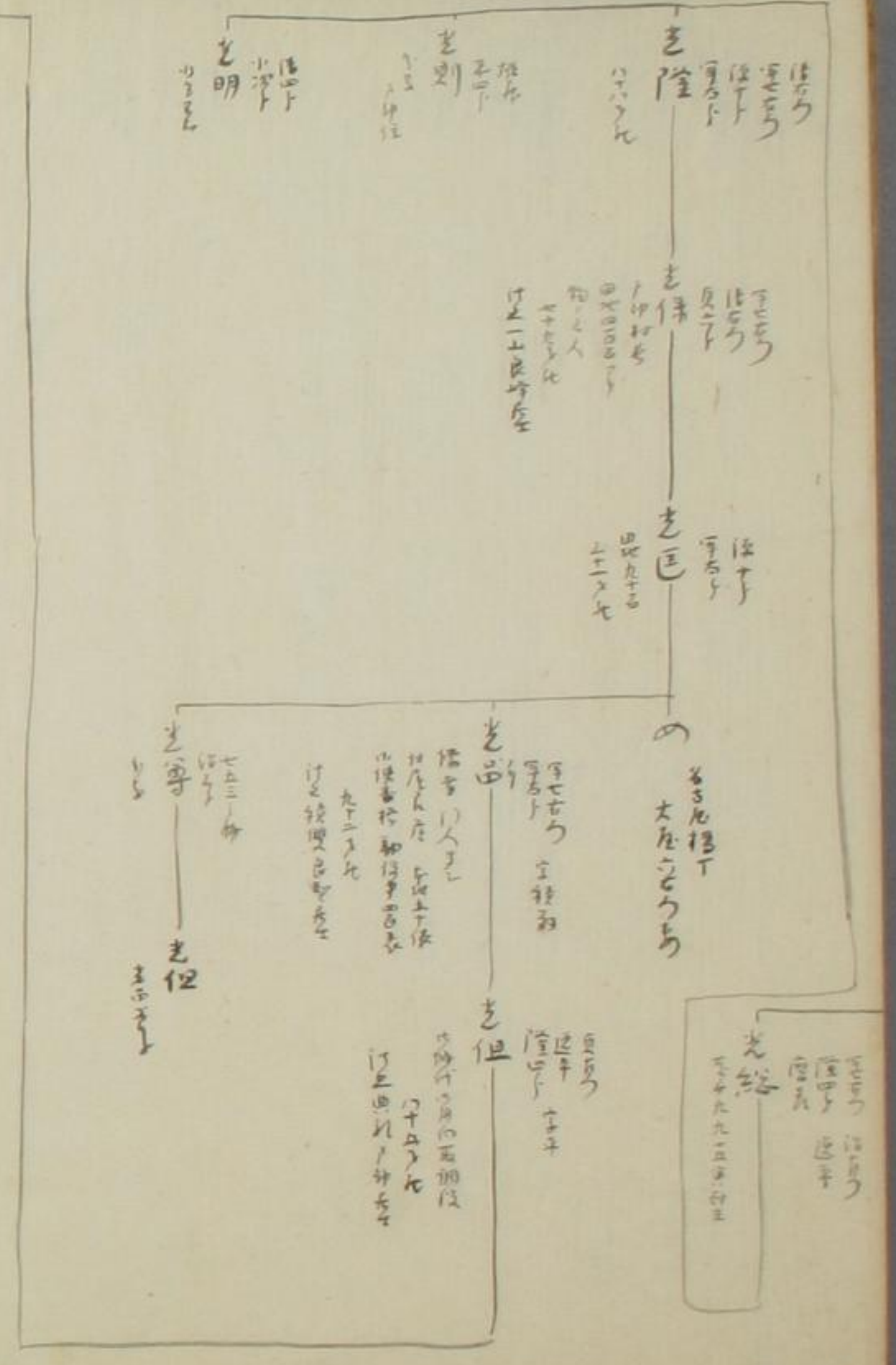
森古馬
山田中布市主
布面屋
天
喜下中人
竹の平就親
土
江の林山



仲九子







小井のよいゆい
 仕方のよいゆい
 仕方のよいゆい
 仕方のよいゆい

上代酒醸スニ
 飯ノ水ニ漬シタルヲ
 白ニテ春キタラシテ醸レ

身ノ上ノ酒ニマテ水ニ一盞一夜シテ
 白ニテ春キタラシテ醸レ

万ノ上ノ酒ニマテ水ニ一盞一夜シテ
 白ニテ春キタラシテ醸レ

更ニ飯ノ水ニ一盞一夜シテ
 白ニテ春キタラシテ醸レ

此ノ酒ハ古キ酒ノ事ノ中ニ
 白ニテ春キタラシテ醸レ

ちつとん馬せんナラニレバ、カクハヨイニレヤ、サハカリ山ノ奥ニ財。昔人、イトモ世々大
 前ニ賦ス。イロバキカヘクナリニ申サセテ、美味ラニキシメトシモ申セ、古入ノ
 心ノ盛アリシホド思フベシ、性世人ノ心ノ内ニ、イシキ物ヲ思ヒホコリナラ、言ハ
 ヲノヘリクシム、コレヲニテモ、後口意人ヨロブ莫堂ナラズ多キヤレトシ、

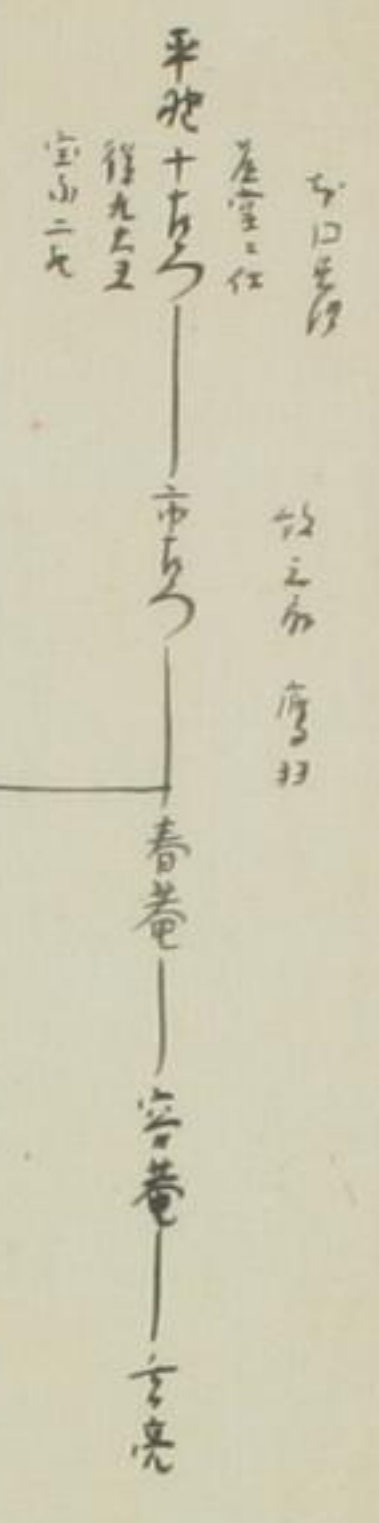
一〇二十四 於保は美の美已等可思古美可奈之伊也、
 多麻之良波幸礼、欲右知何智可也、
(後)イノ東三十三

三行宣録ナセ、皇建十七年夏四月廿三日、宣太子此讀千字文、從五位上守古ナ
 多、の在、字士、持御下座相待流、世王公以畢、会、宴飲極歡、而罷、上位已上、美侍
 陣乃六位少将、各有差、

字の初行の御信橋上卷、大臣の君、何々千字文を以て、奉り給言、
 此はやゝ一〇二四、一〇二四、一〇二四、
 字を御信、是を、又或信切と見しは、まづ一〇二四、一〇二四、の、
 字文と諱し、たゞむ者信とす。

集註千字文序云、理才編、晋、為、多、事、端、之、後、此、在、路、川、城、古、又、鐘、録、造、得、此、文、
 上天子帝宣不難、共手、吾、誠、宋、文帝、因、發、向、丹、溪、幽、雅、共、千、字、文、在、車、中、路、國、
 車、漏、遺、十、字、文、り、至、丹、溪、在、書、道、宋、晉、此、下、得、十、字、文、共、一、百、上、十、年、宋、文帝、別、
 裕、弟、征、以、天、下、同、晉、帝、書、席、中、見、此、十、字、文、兩、紙、投、其、旁、身、使、右、有、王、命、之、
 合、誠、乃、決、宋、帝、此、下、九、十、年、齊、兼、位、以、丹、溪、亦、無、人、次、得、有、七、帝、治、三、十、年、
 誤、其、帝、位、乃、今、日、照、爾、以、誠、得、千、字、文、

石井、字、宣、
 其、州、小、時、時、上、河、川、相、得、千、字、文、
 丹、溪、
 丹、溪、
 上、民、一、百、年、地、主、
 丹、溪、



千人
 千人
 千人
 千人

雄略化古、尾、片、弟、君、還、自、百、濟、就、漢、人、中、臣、他、中、宮、人、中、
 百、濟、所、既、千、末、才、伎、
 百、濟、所、既、今、未、才、伎、
 百、濟、所、既、今、未、才、伎、

職員令の死空下、典履三人、掌、遊、作、靴、履、靴、具、乃、檢、按、百、濟、千、神、百、濟、
 千、神、十、人、掌、雜、儀、作、事、
 大、和、省、ノ、下、ニ、ニ、コ、リ、シ、ク、セ、
(千、在、之、一、年、ノ、儀、也、)

内、在、案、式、雜、作、千、造、御、掃、千、二人、夾、飯、千、二人、膳、飯、千、二人、單、御、千、
 二人、油、施、千、二人、織、席、千、一人、
 三、ノ、博、千、五人、

德化九年、口、穢、鍛、治、百、嶋、
 丹、波、口、穢、鍛、治、首、性、廢、
 桂、口、穢、

銷沿百依地伊口解報抗田行：其合七十二戶、雖以此涉、難之而
身、要命、深、元、未、不、初、難、戶、之、色、因、除、其、苦、其、徒、公、戶、
四十、括、口、美、表、神、大、似、解、鐵、首、度、富、言、：

品床 方作、小、依、亦、帳、美、奉、太、甚、云、：一、一、是、
添、運、長、二、
尺、三、寸、

不、勝、之、初、也、不、忘、恋、表、格、了、用、
(原、三、三、三、)

百、五、十、八、二、海、乃、者、美、初、久、辰、少、者、年、年、似、辰

九、年、不、遇、日、初、月、乃、經、良、年、
此、社、泥、久、那、理、以、

十、七、年、初、可、孔、字、海、之、日、依、麻、社、美、
此、悲、思、家、外、了、母、

十、八、年、月、了、依、社、美、以、日、依、麻、社、美、
故、敷、流、曾、良、

十、九、年、於、夜、何、竹、言、初、普、字、不、同、日、麻、
社、久、安、麻、射、了、法、多、年、更、其、者、
日、初、也、不、相、日、麻、社、美、合、心、曾、母、為、良、

未、比、世、

天、年、應、月、流、社、之、聲、者、乃、今、夜、乃、長、者、五、百、夜、絕、許、情、
二、十、六、年、浪、乃、振、上、浪、社、美、
二、十、七、年、初、初、振、浪、社、美、
初、初、振、浪、之、聲、
二、十、八、年、初、初、振、浪、之、聲、

十、七、年、三、月、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

二、十、年、秋、山、下、初、初、振、浪、
十、五、年、金、山、寺、日、下、

十、一、年、朱、引、初、初、振、浪、
十、五、年、金、山、寺、日、下、

十、四、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

十、三、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

十、二、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

十、一、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

十、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

九、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

八、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

七、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

六、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

五、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

四、年、初、初、振、浪、之、聲、
初、初、振、浪、之、聲、

十一 下借之思有也 又 下伊草了之美金有之味之空儀乎

十二 不相念公者雖座有恋丹台者長恋君之志儀

十三 余呂三余手伊麻多多麻比提行未終志多麻中及多麻源社美品度

十四 全呂三余手伊麻多多麻比提行未終志多麻中及多麻源社美品度 佐良安也

十五 舞曲を二管り舞曲にを二放り八萬雄

十六 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法

十七 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法 又明り相もてし

十八 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法 又明り相もてし 又明り相もてし

十九 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法 又明り相もてし 又明り相もてし

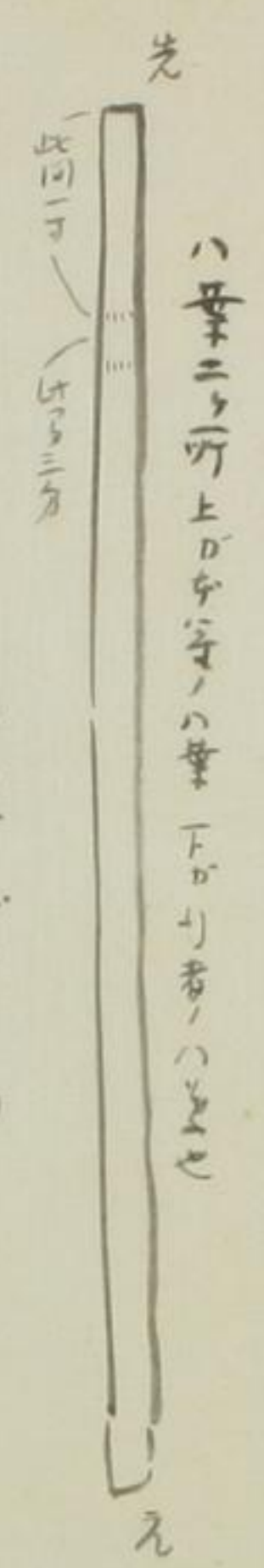
二十 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法 又明り相もてし 又明り相もてし

二十一 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法 又明り相もてし 又明り相もてし

二十二 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法 又明り相もてし 又明り相もてし

二十三 去左手浦二音之之け所并得過者之毛左下空儀法 又明り相もてし 又明り相もてし

散杖製作



ハ草ニテ所上ロ中安ノハ草 下ロリ者ノハ草也
え先共ニブツリト切
但ハ草上ハハツ切所ヲツア
之ニテアハハ草ノ毛ニ水ノツケルノ心也
ハ草ノ間ニ分アケルハ或定志ノ草也
木ハ梅ノ東サレノ枝ヲ用ユル寸法一尺ニテ

右者 報恩院仁海修及一付

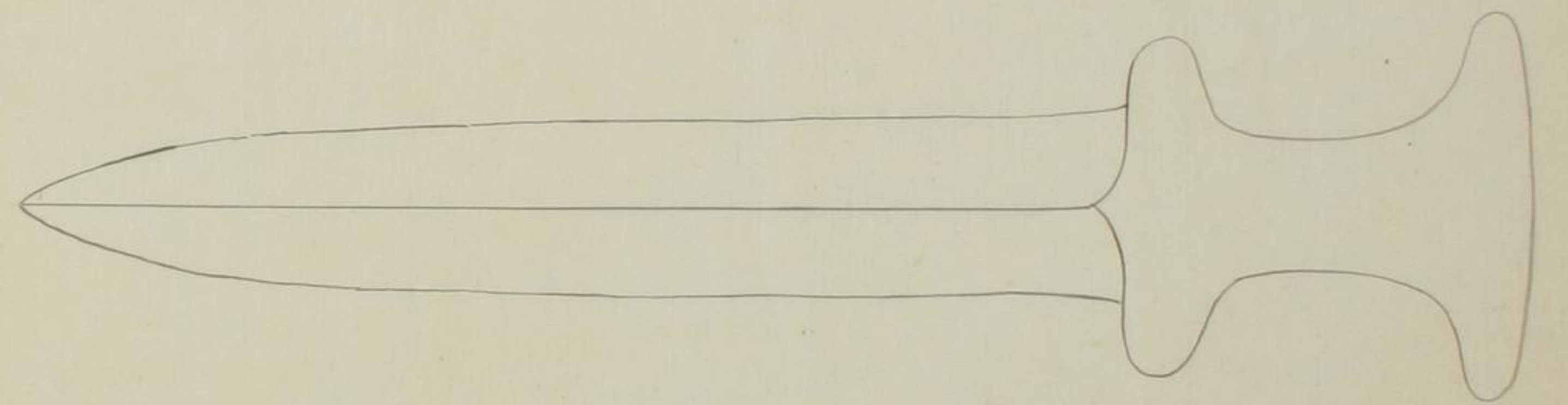
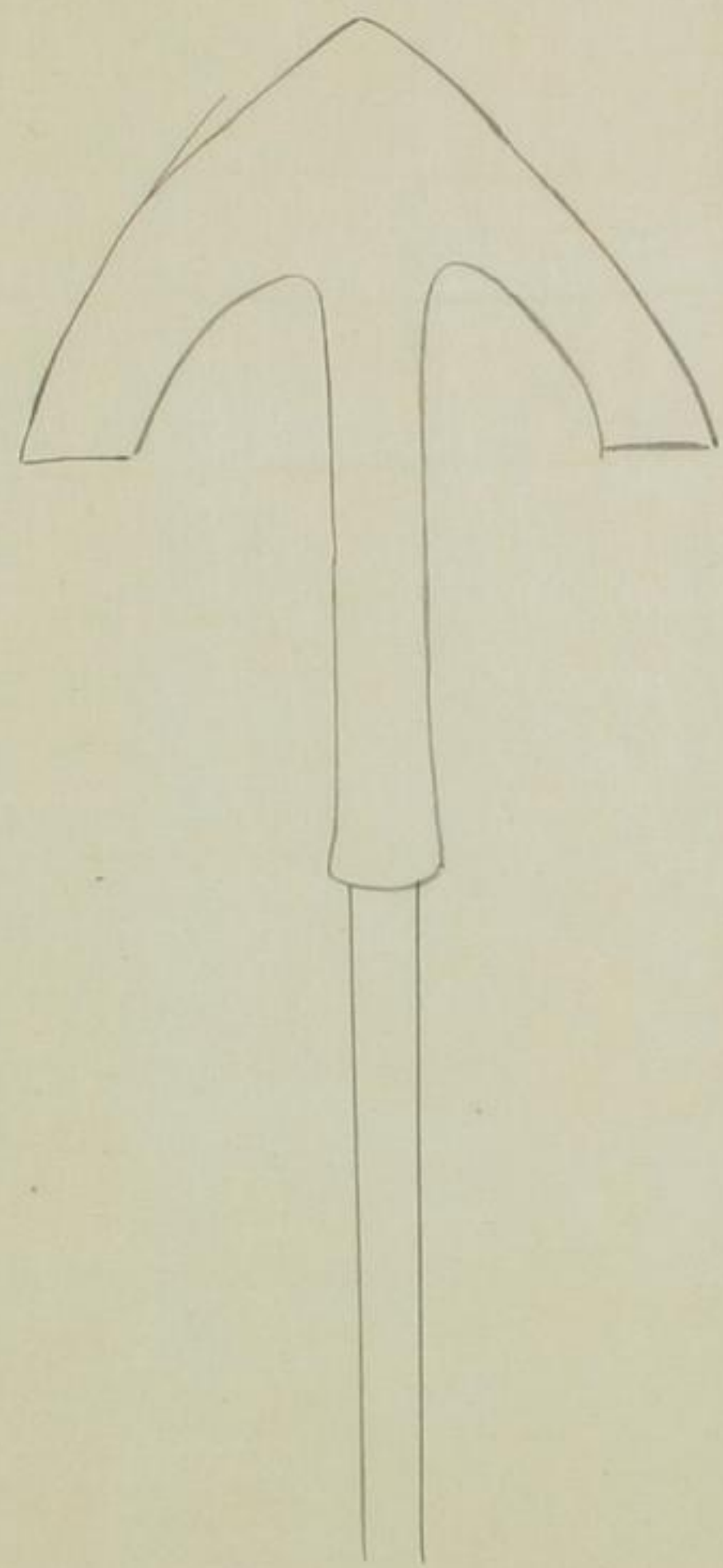
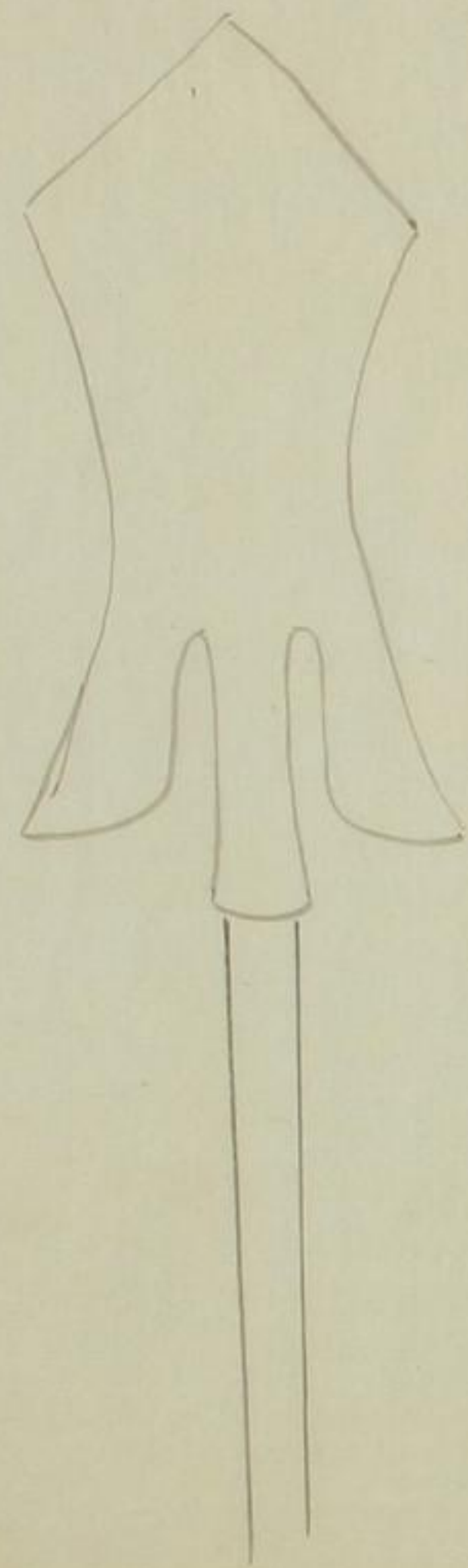
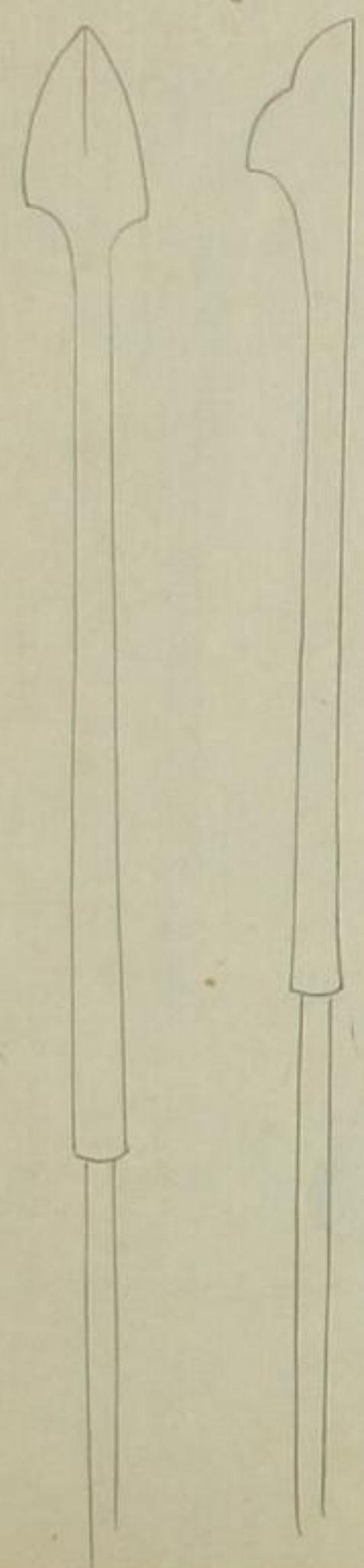
懐中散杖之ヲ 梅枝用

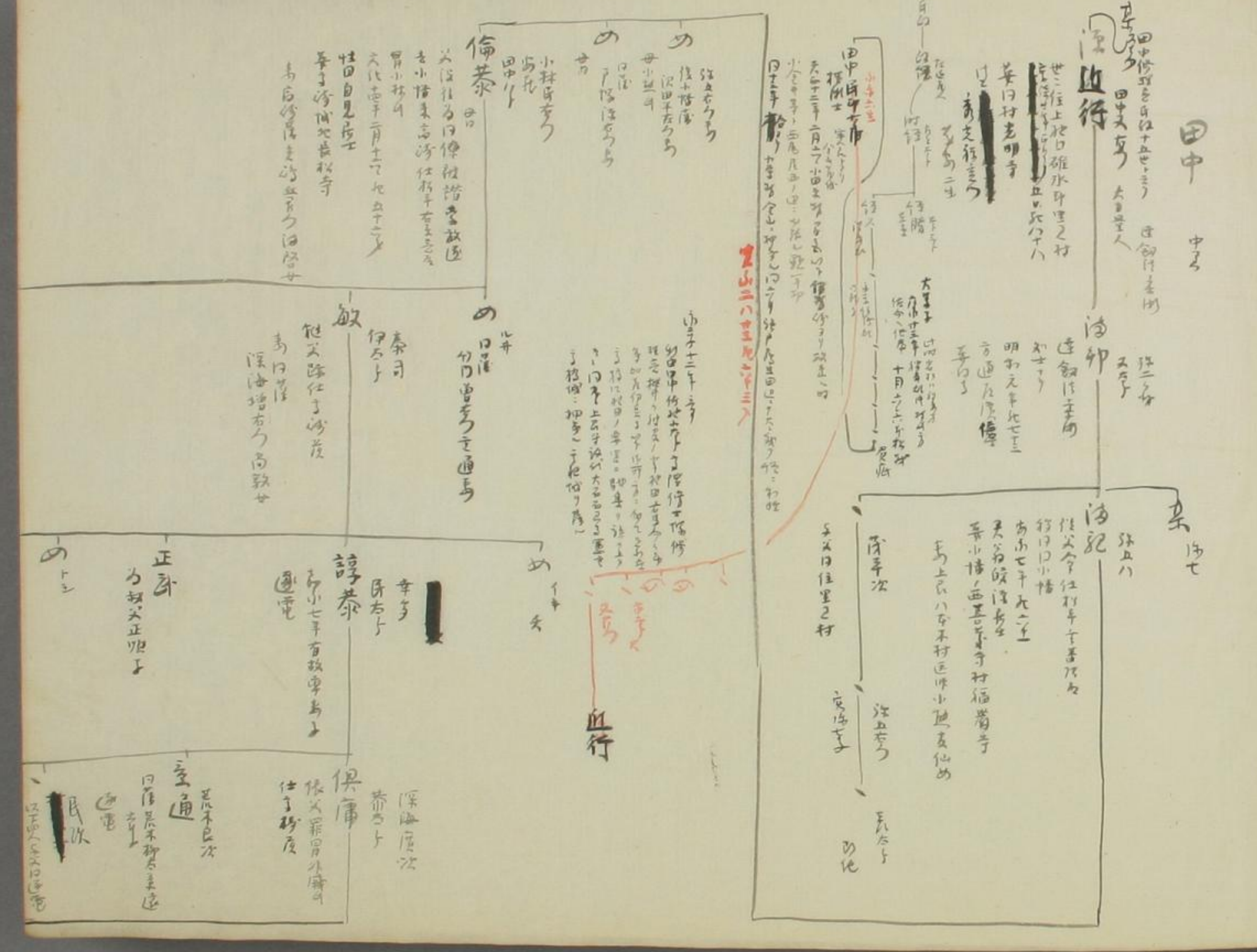
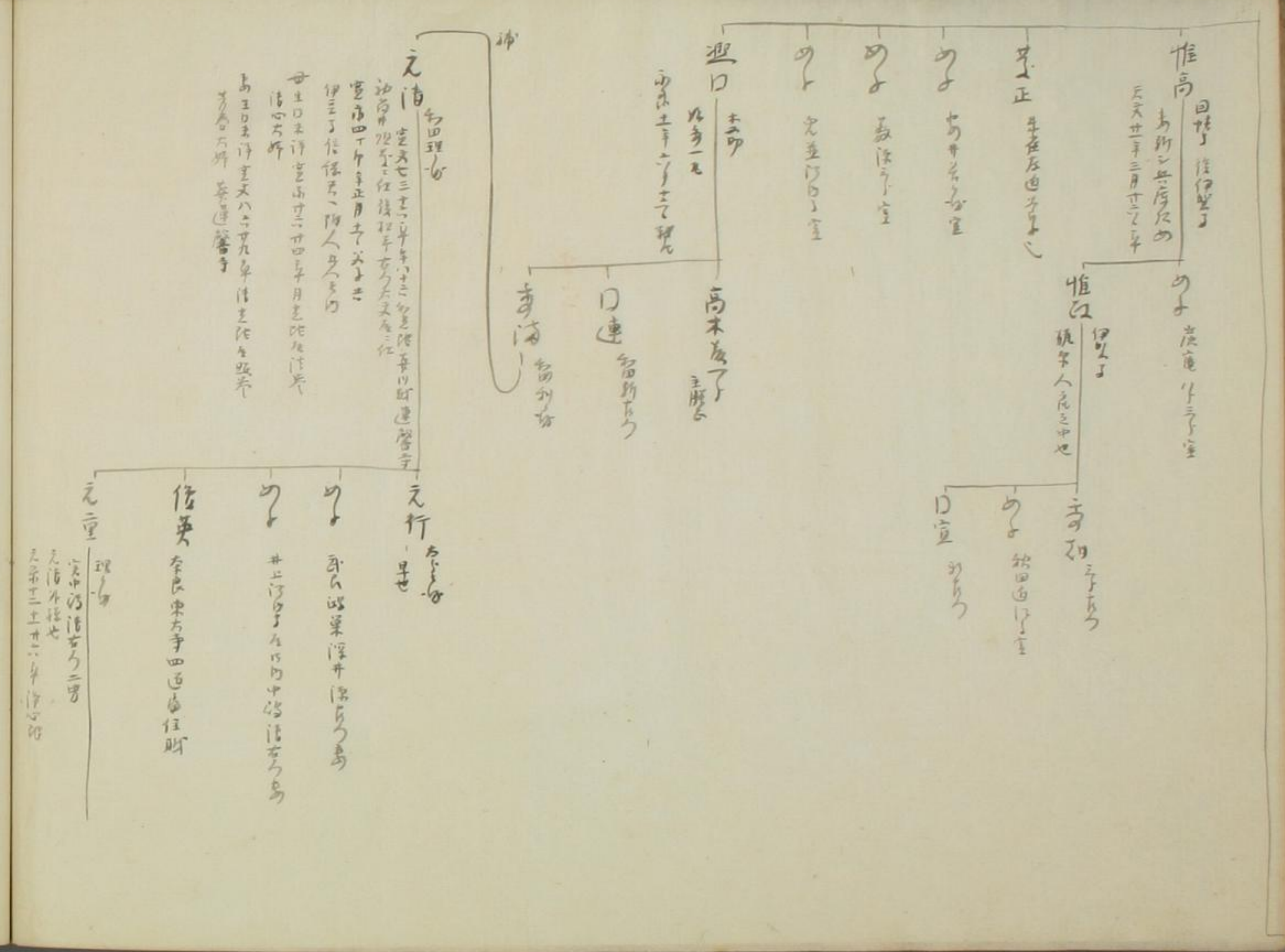
杉竹流 長身 上ハ草 下四草

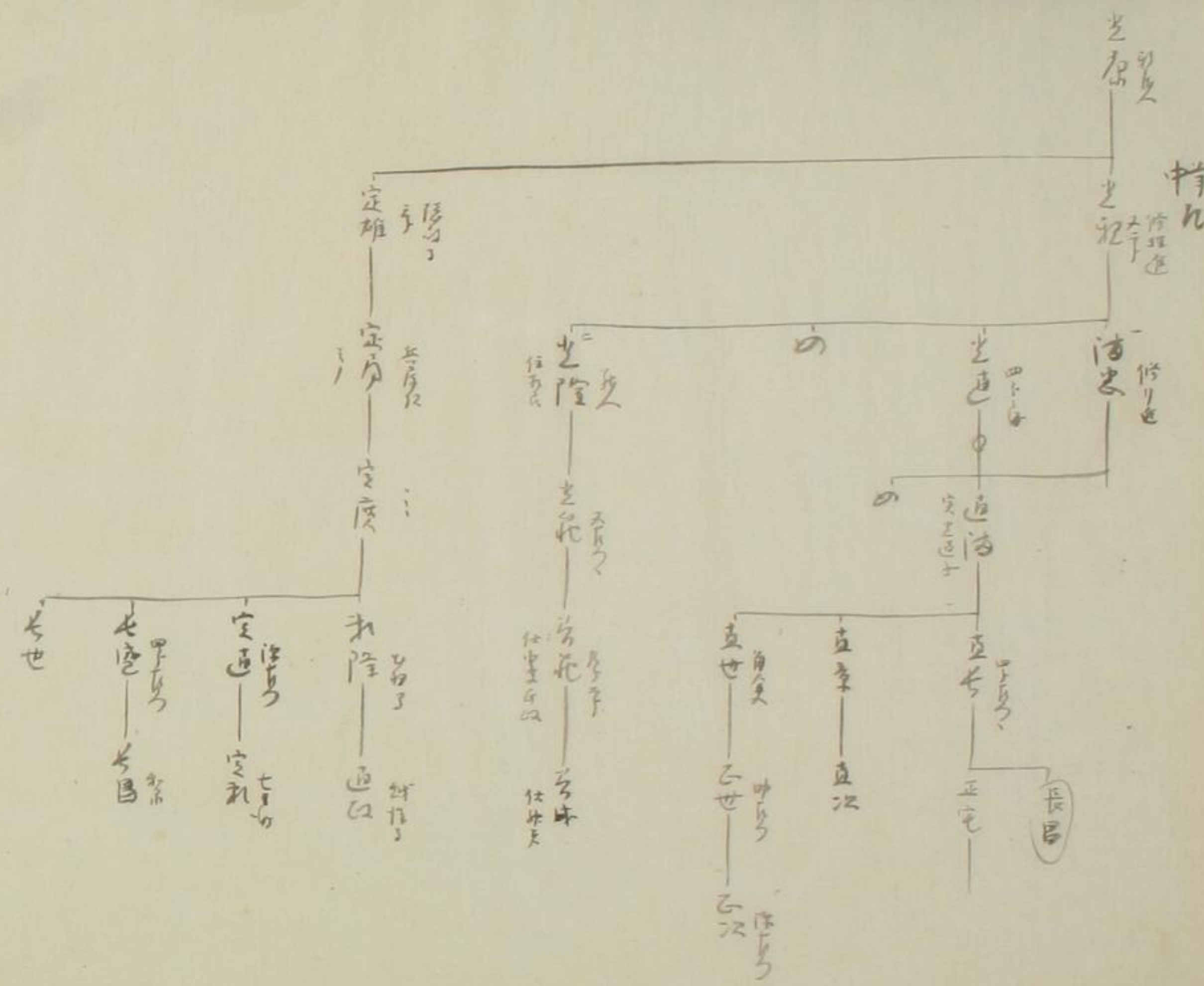
報恩院流 長身 上ハ草 下四草

七 通付 二ニテ身 三ニ自身 四ニ右 五ニ左

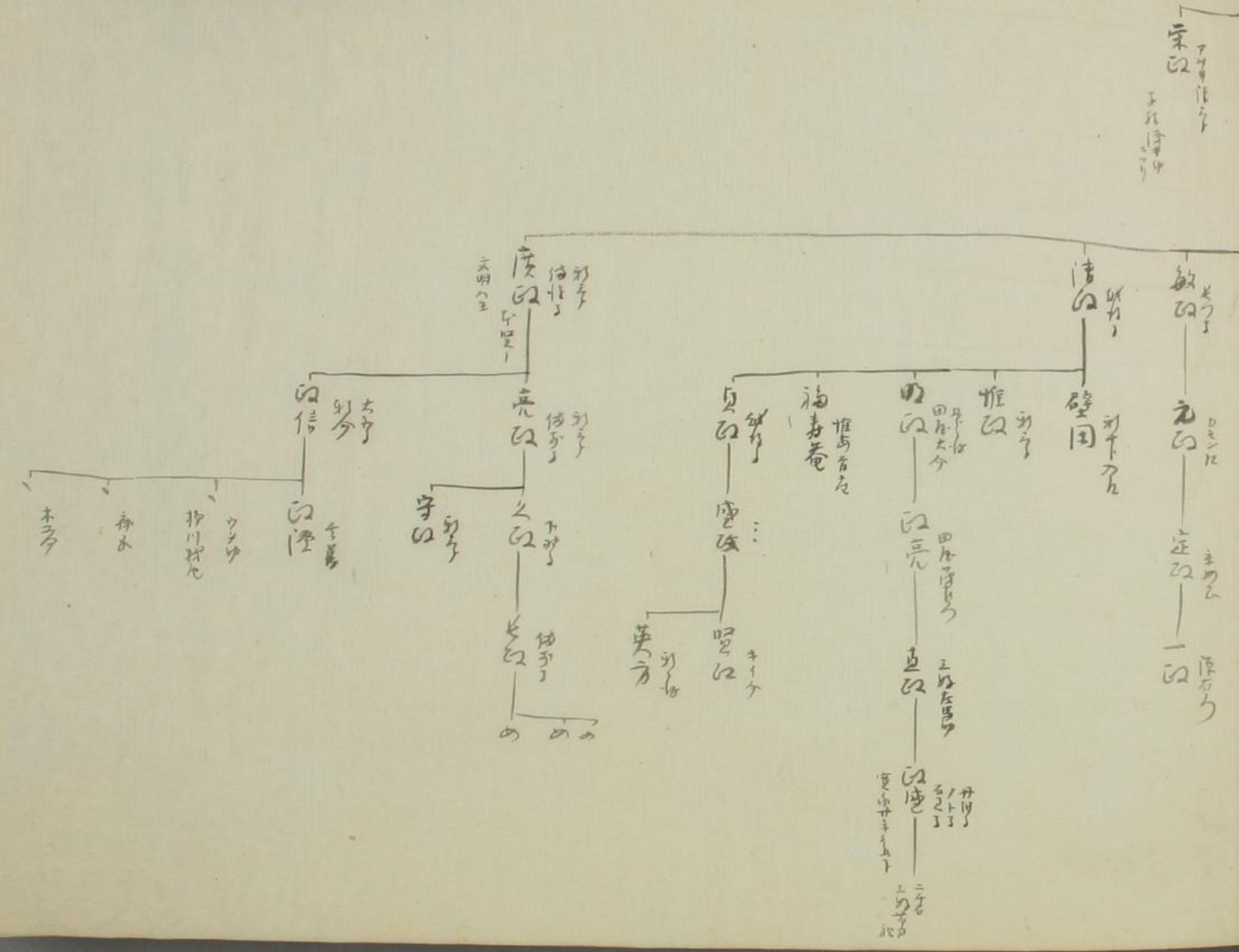
六ニ上 七ニ下 右者 杉竹流ノ所付ニ





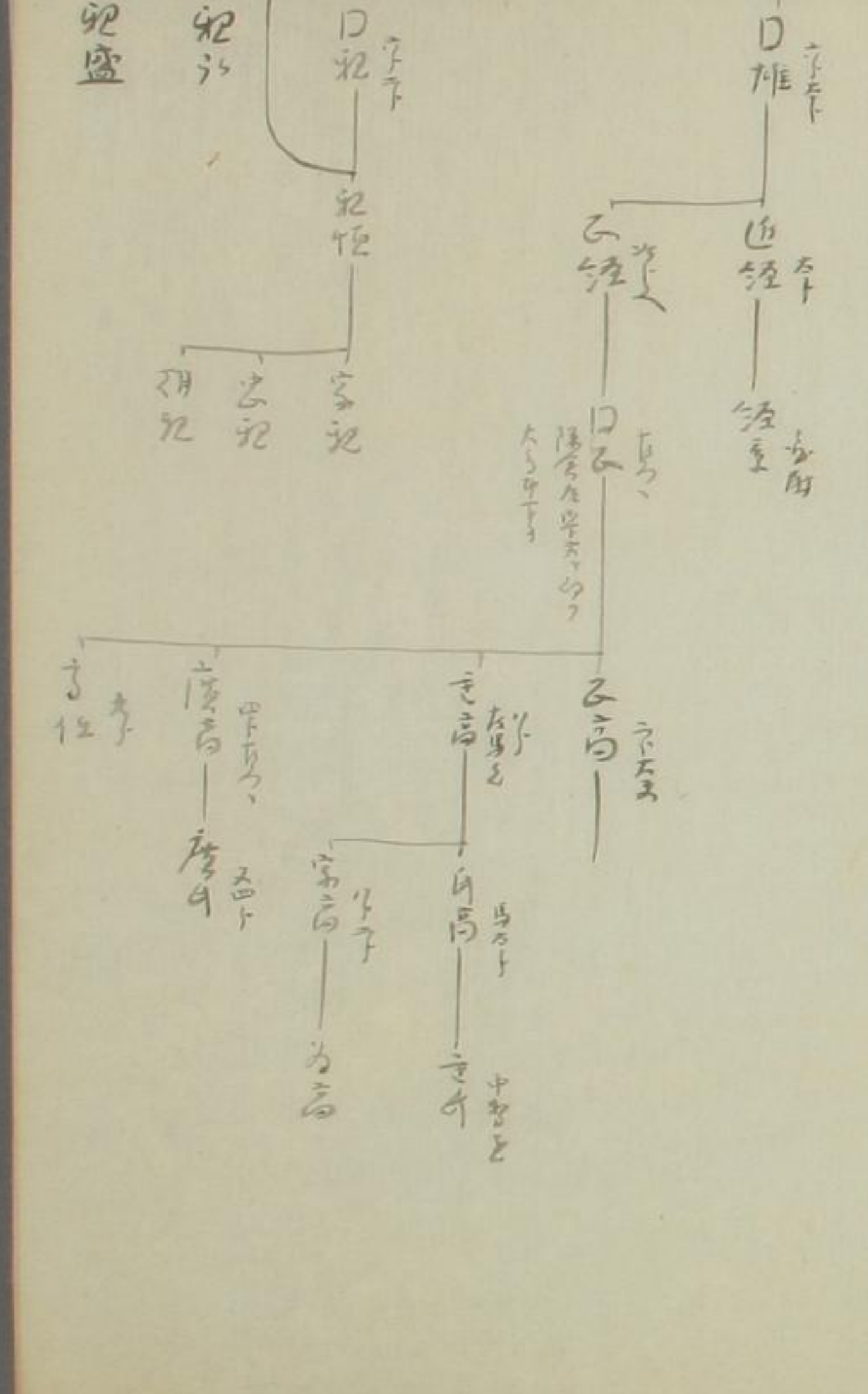
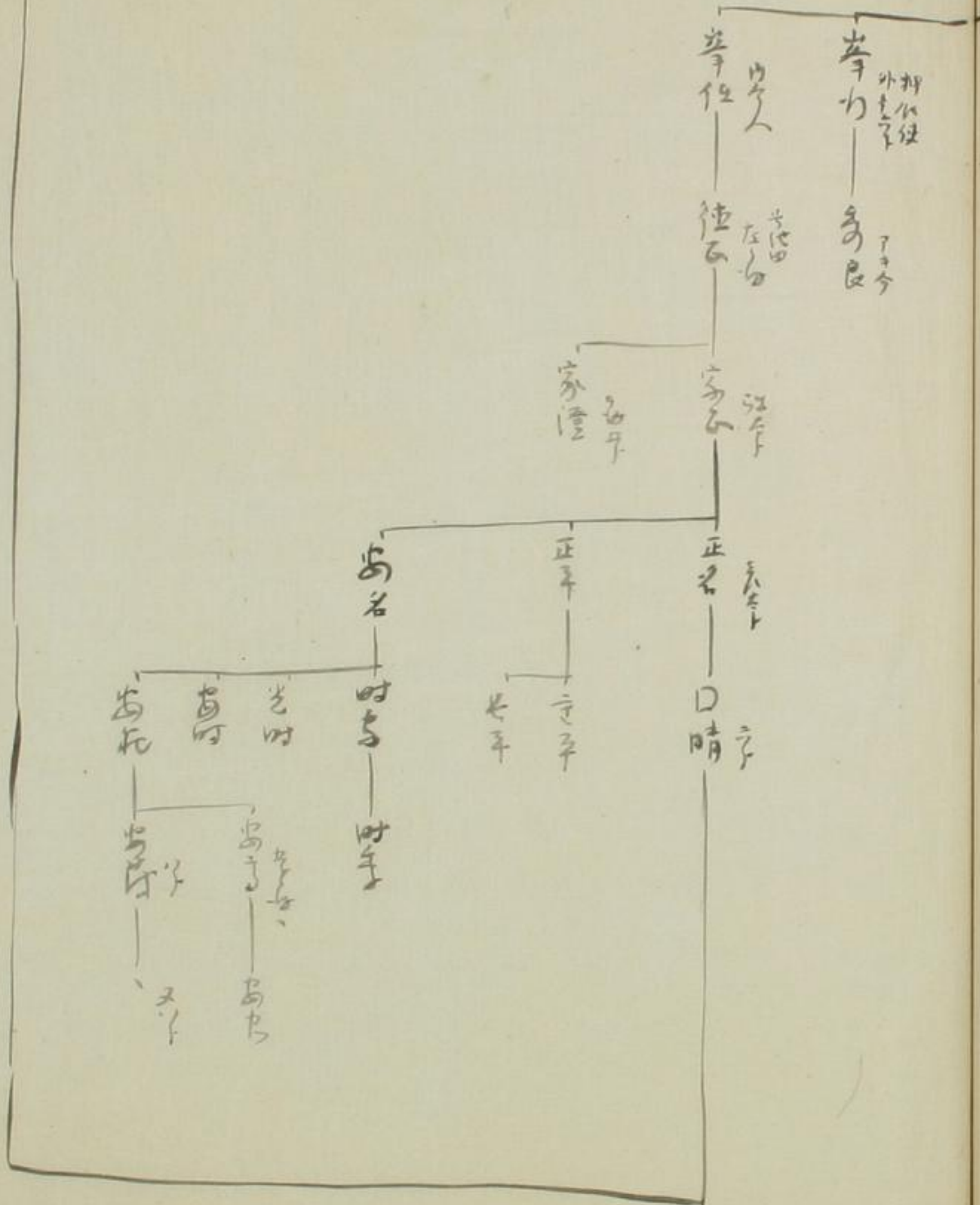
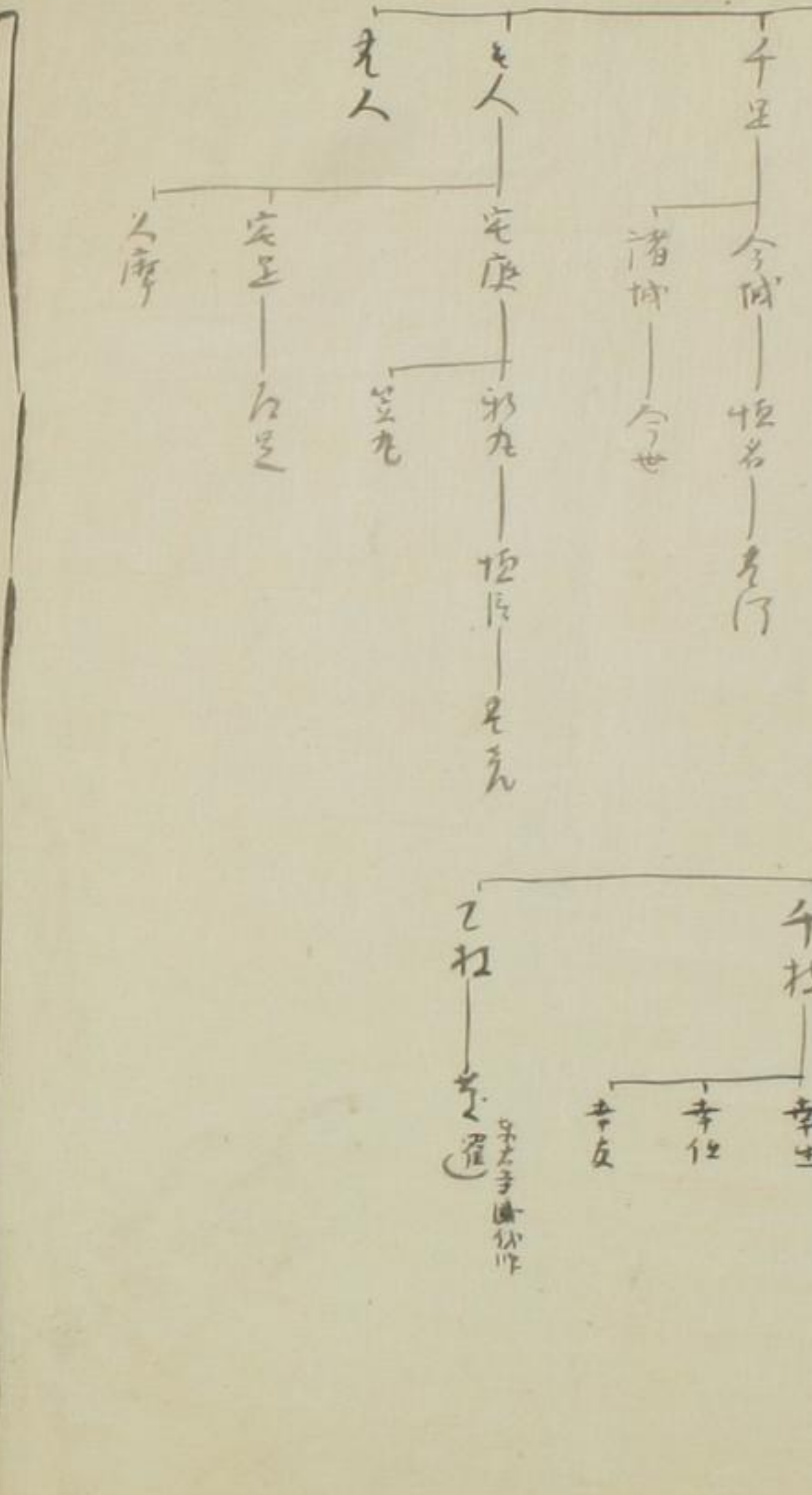
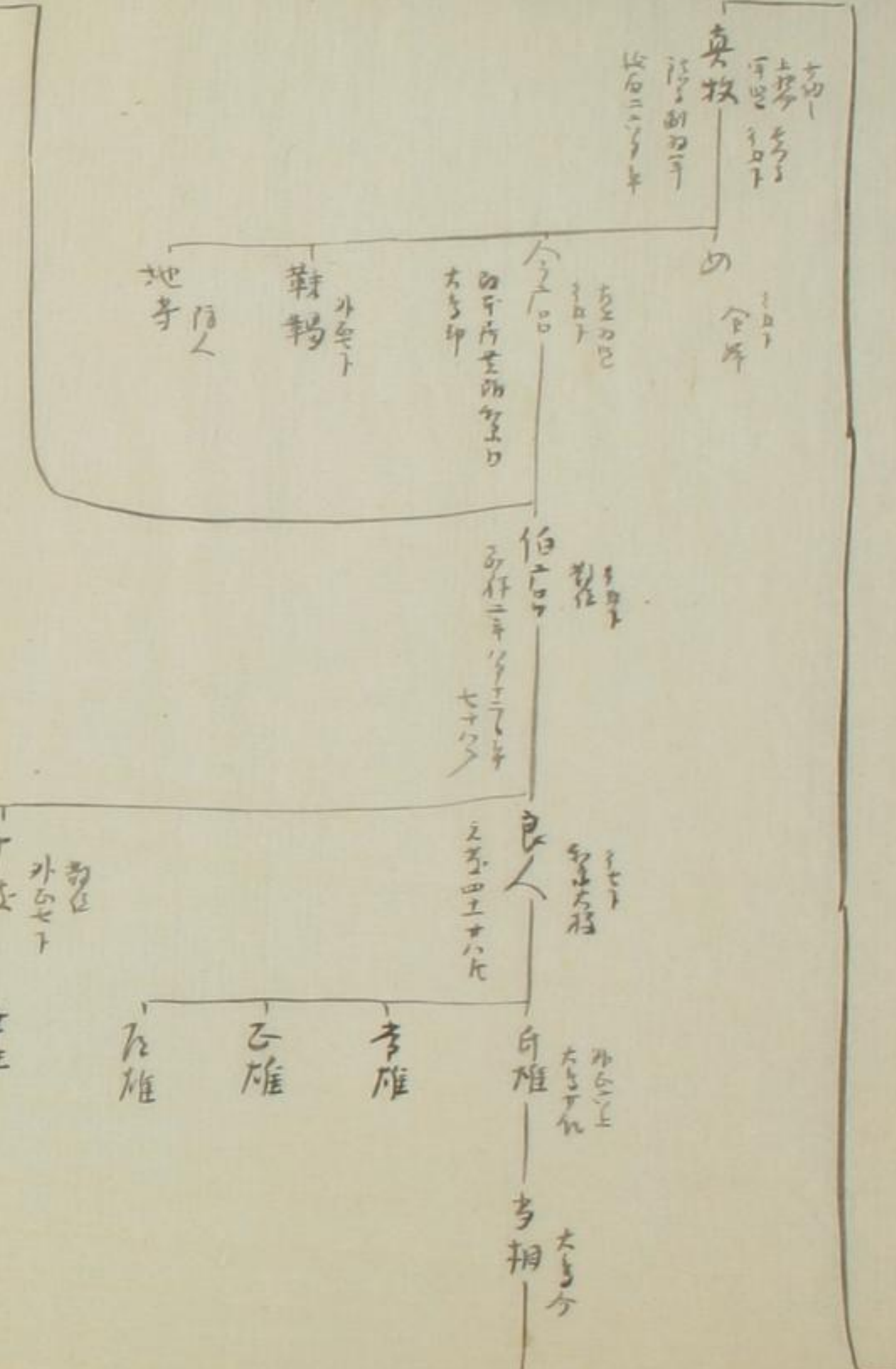


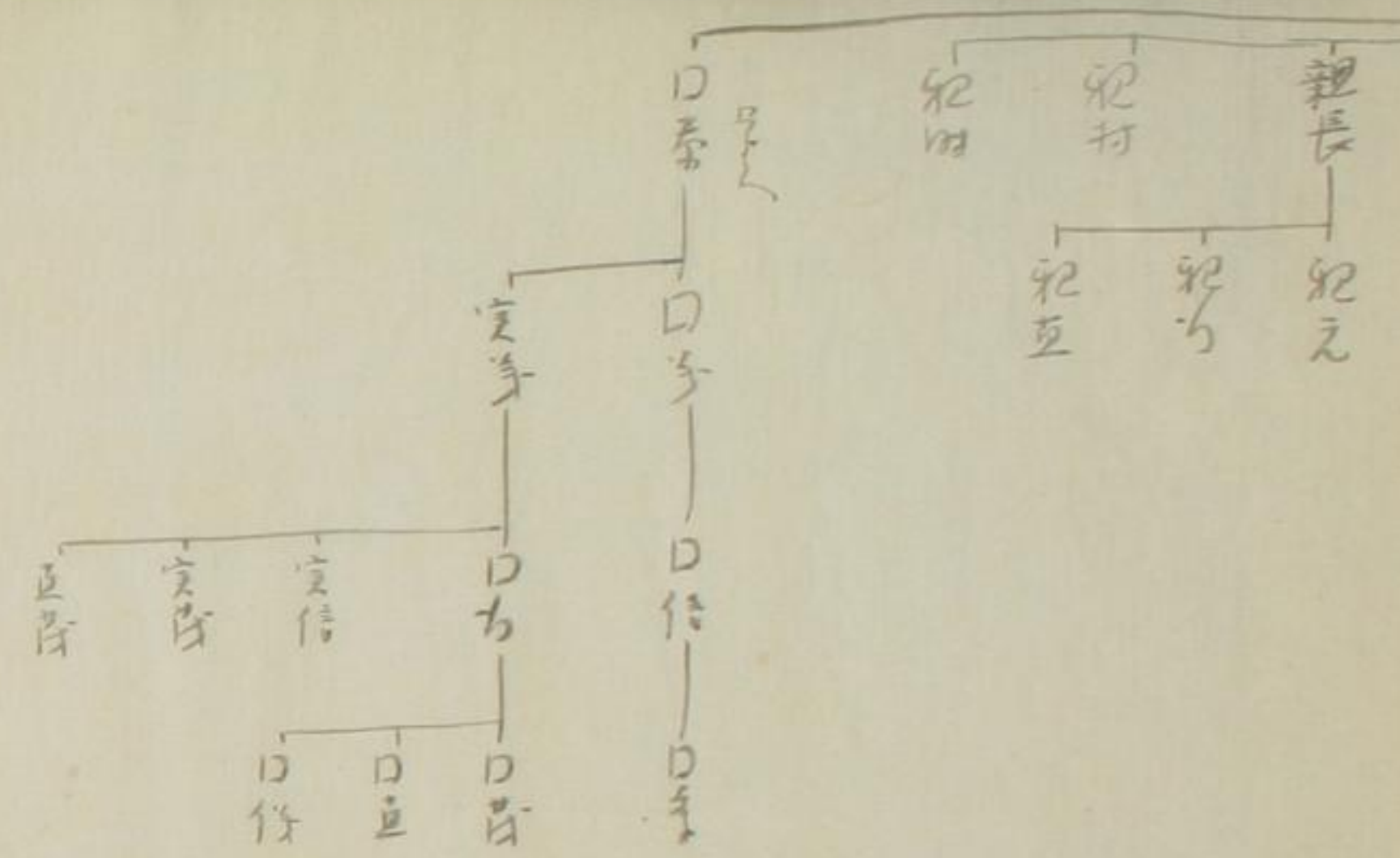
光原
光弘
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長



光原
光弘
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長
光隆
光長

竹石子 — 久子吉 — 竹亭 — 馬甘小礼 — 方座 — 良人 — 子首友之 — 益男外三王

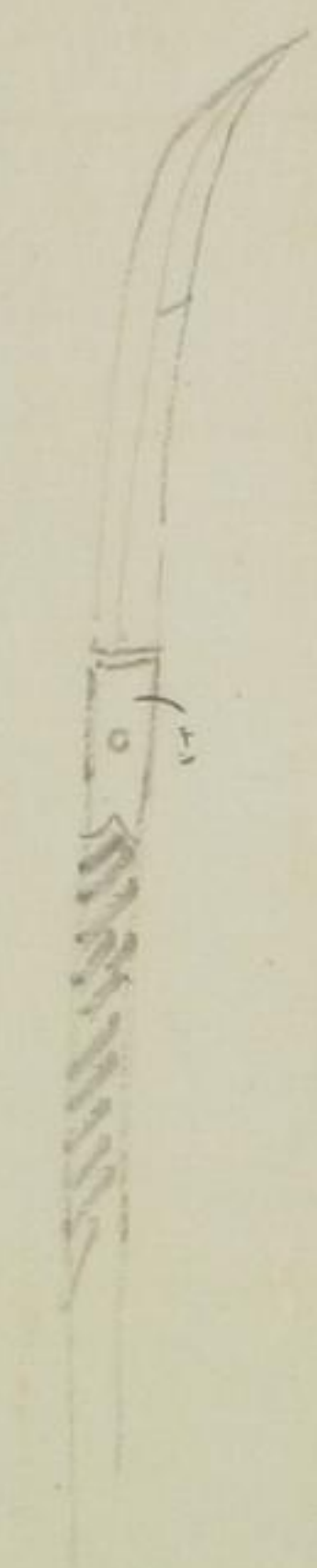




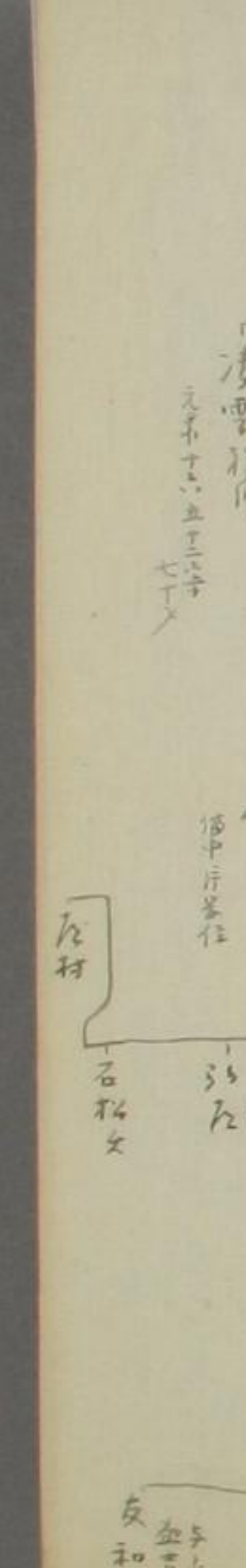
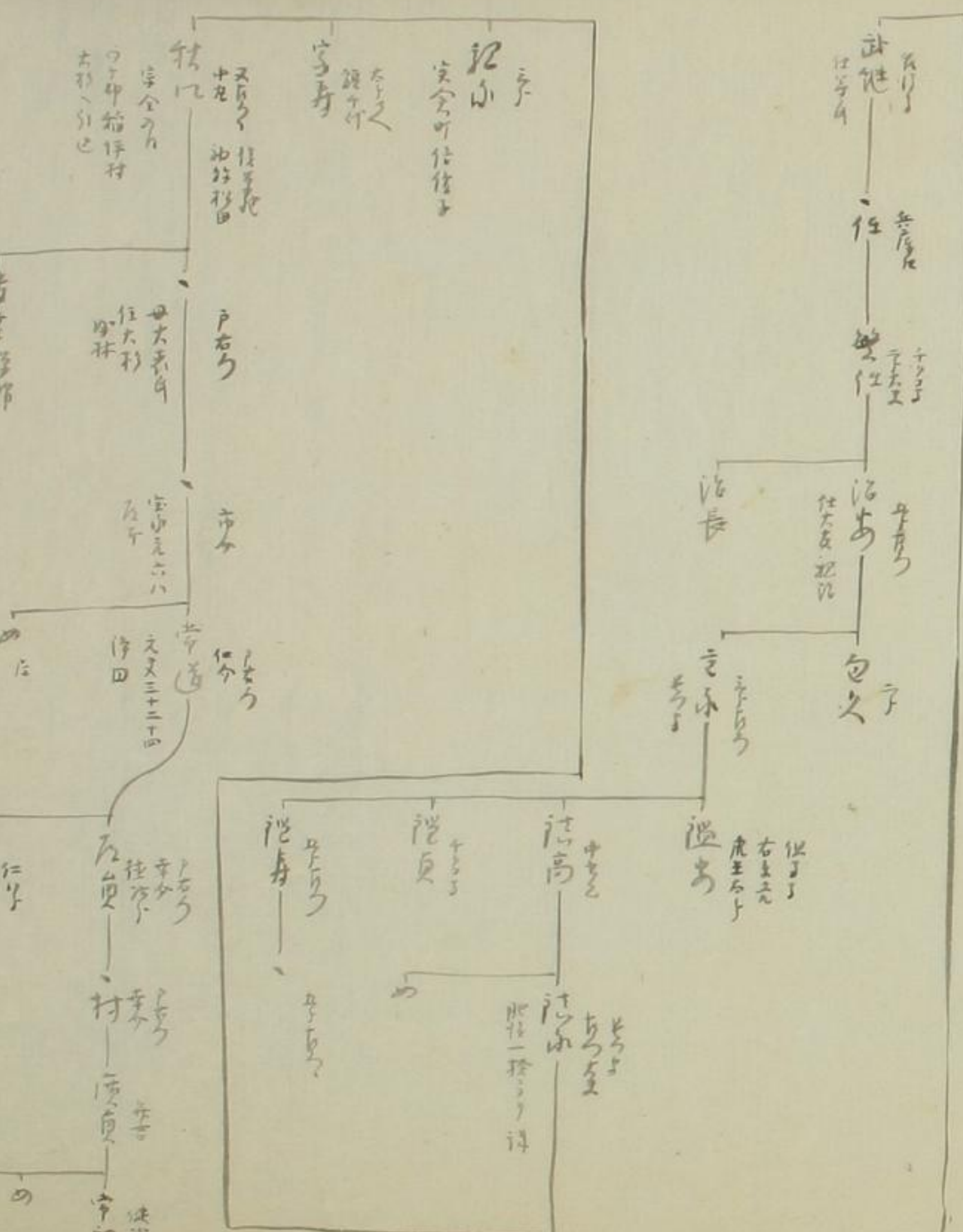
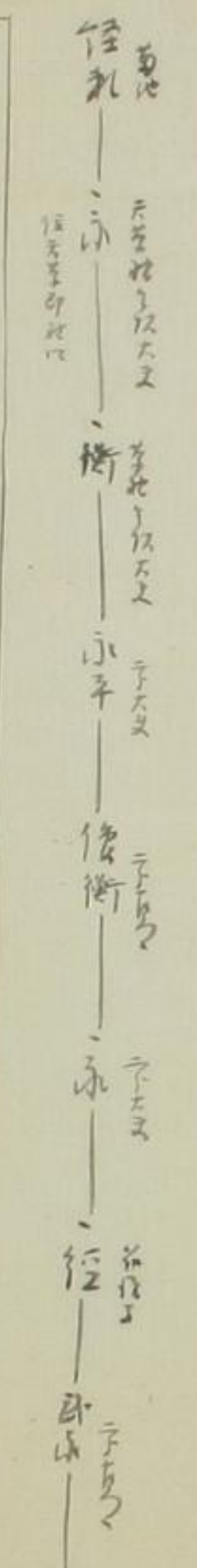
八呼 雲雪者長莫零
 十呼 春雨者長勿零

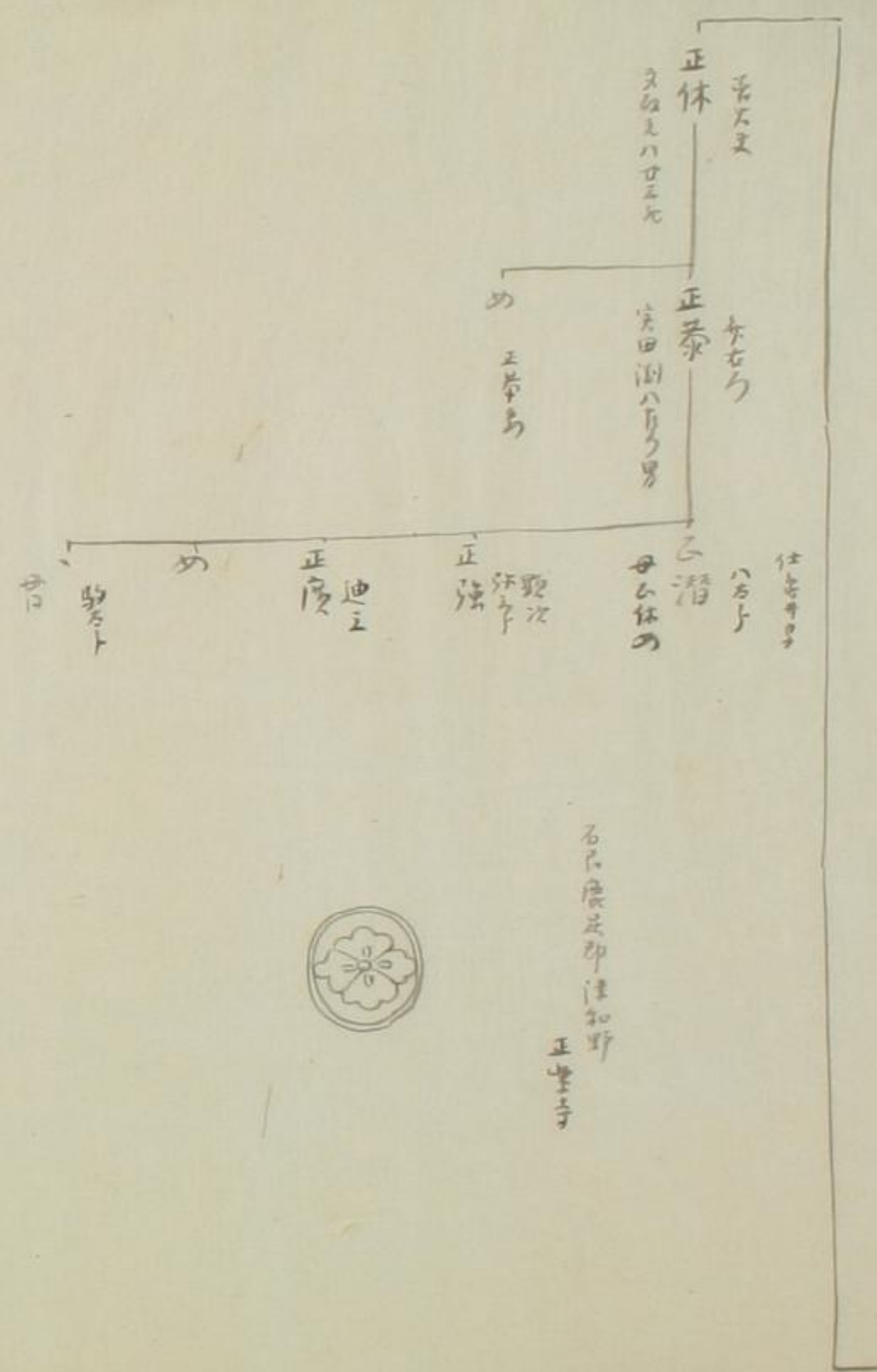
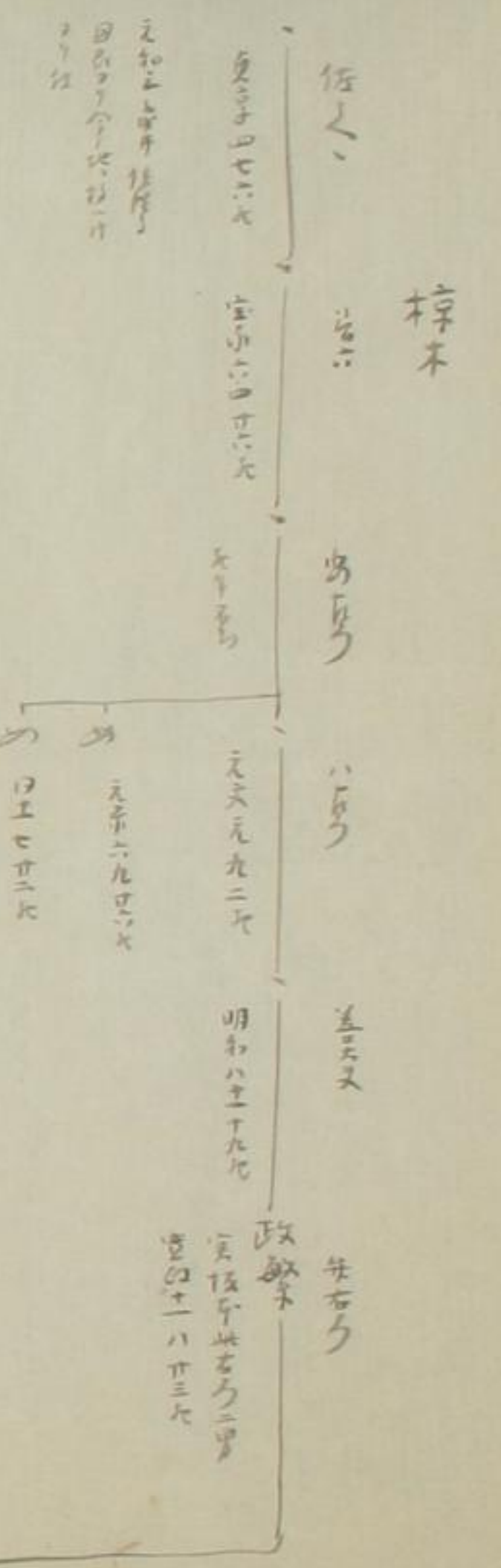
三十三 龍成伊浦比毛等保理と等任奉而
 榎招衣ハ棒ノアハ招シ茶ト書ヒ目今俗ニけのホトモ云リ

榎招衣ハ棒ノアハ招シ茶ト書ヒ目今俗ニけのホトモ云リ
 貞在仙本大言言 青招袍各一領 櫻衣以山並
 四呼 打渡 竹田之系 等其 打渡 竹田之系



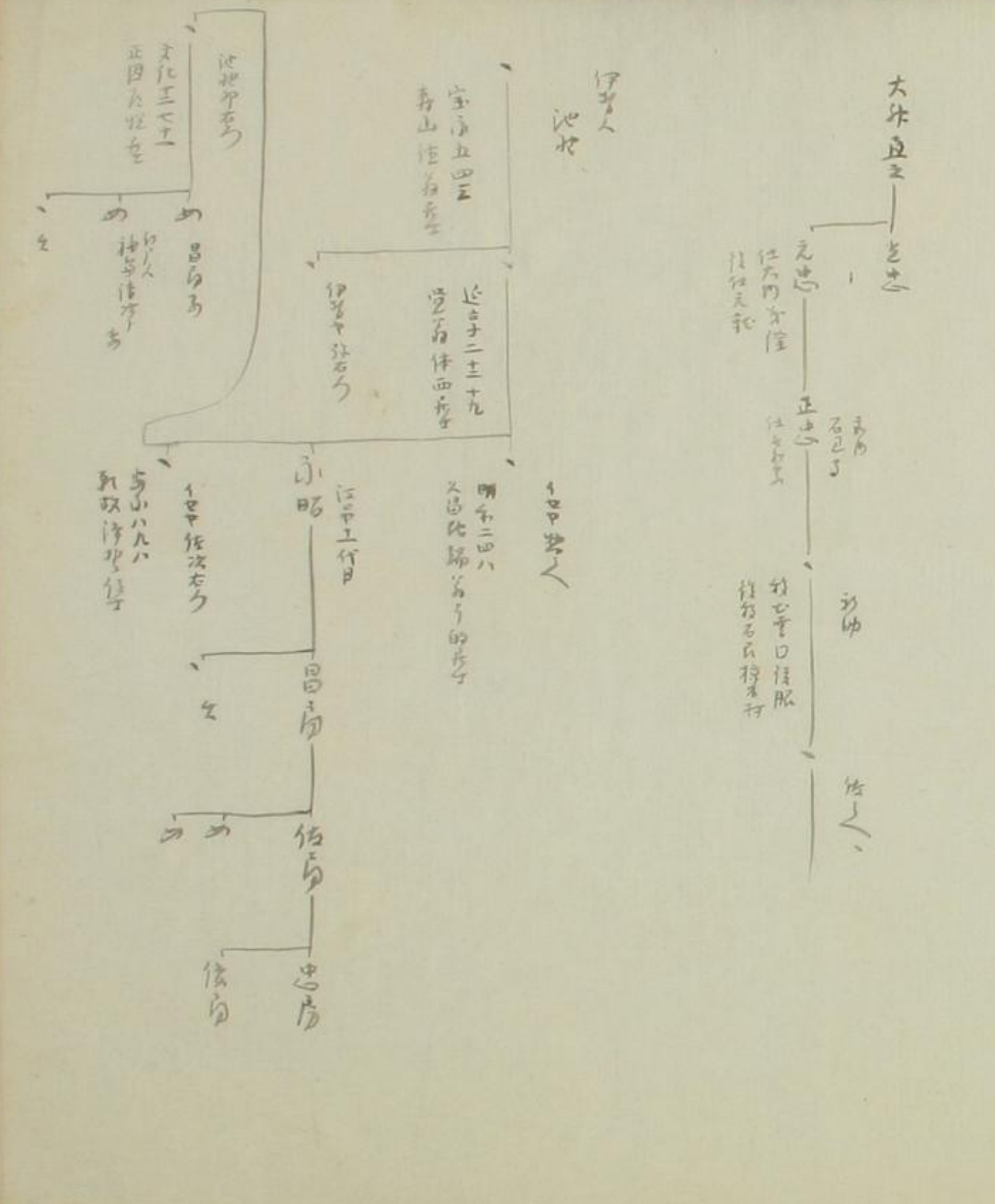
等其



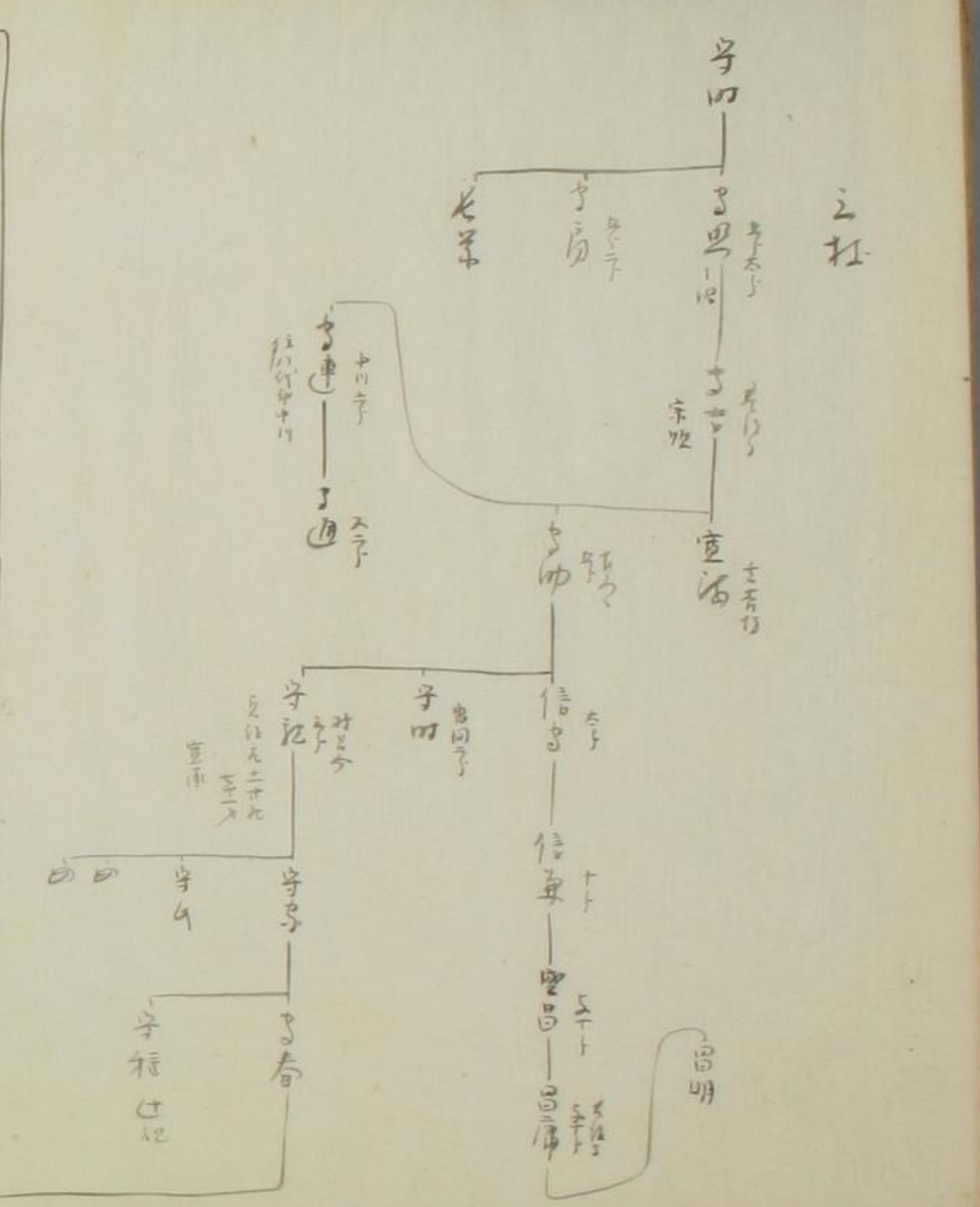
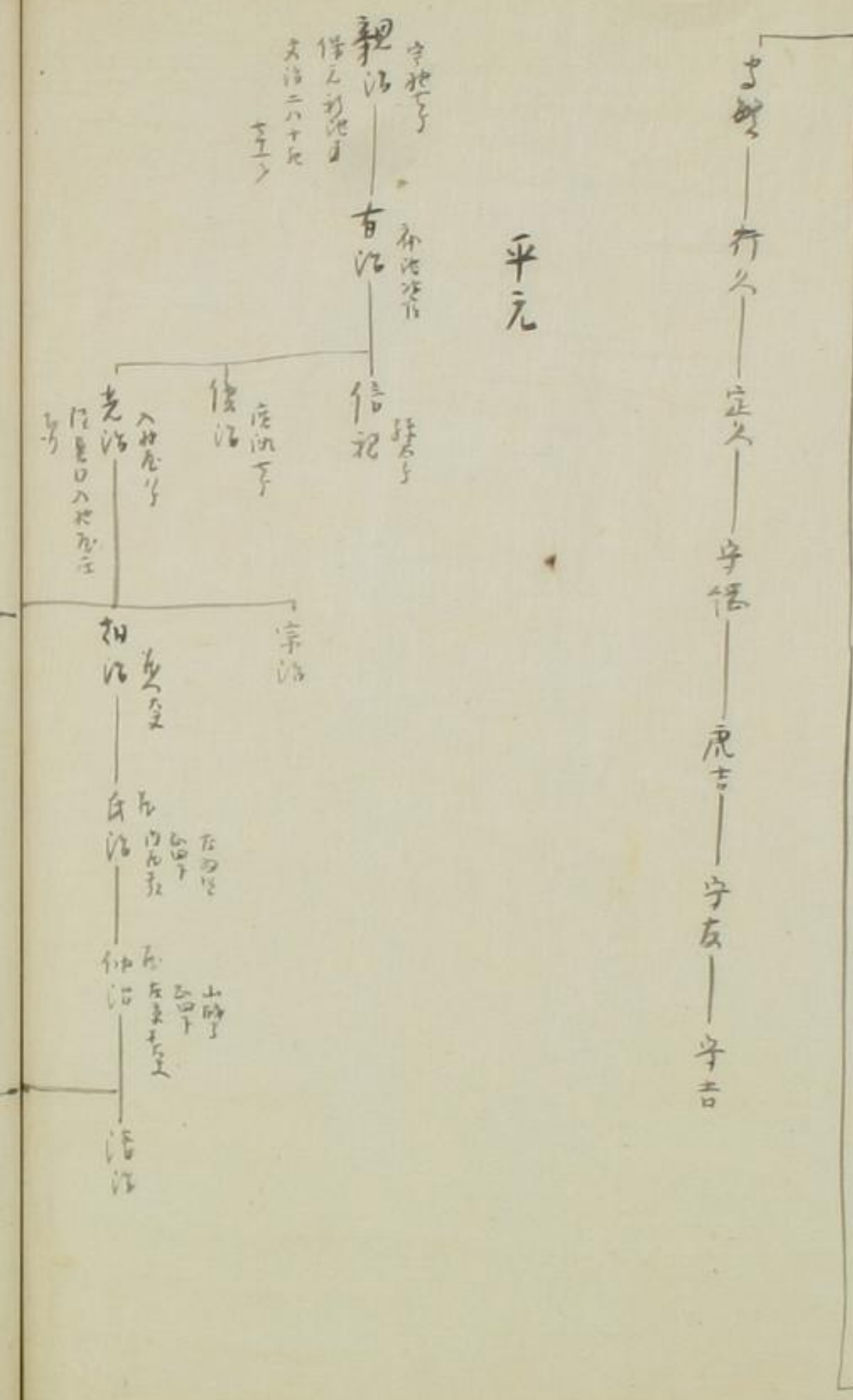
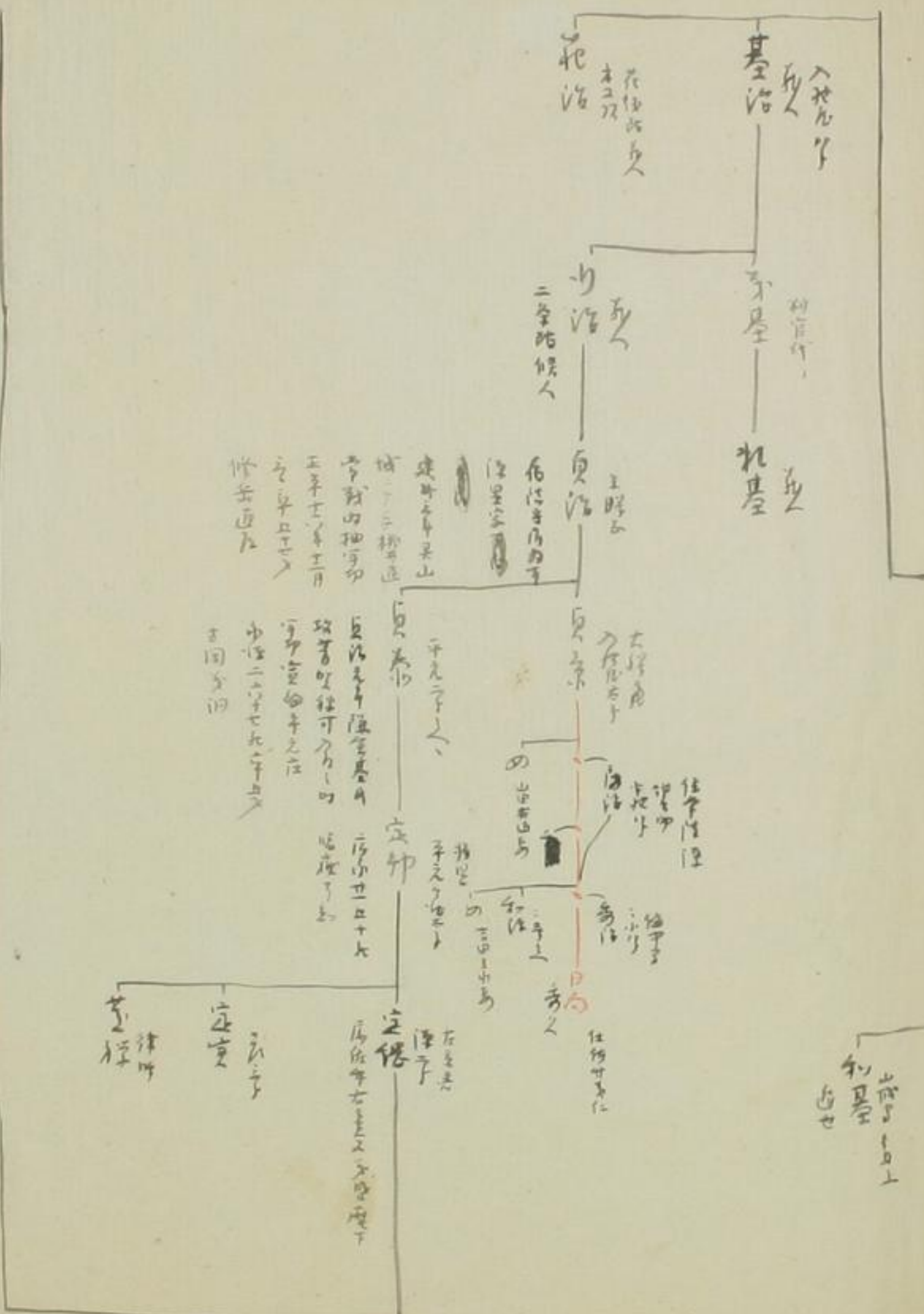
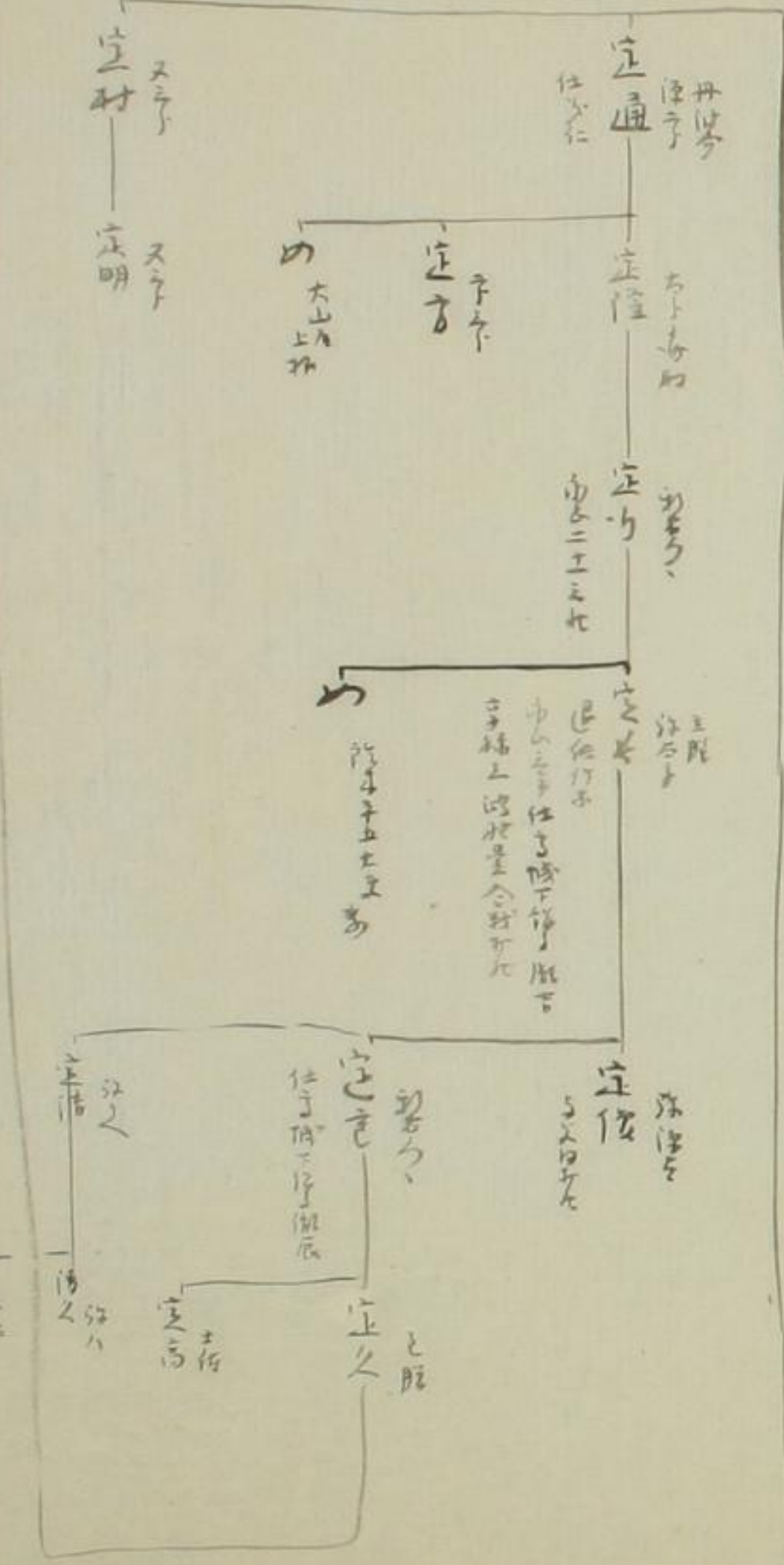


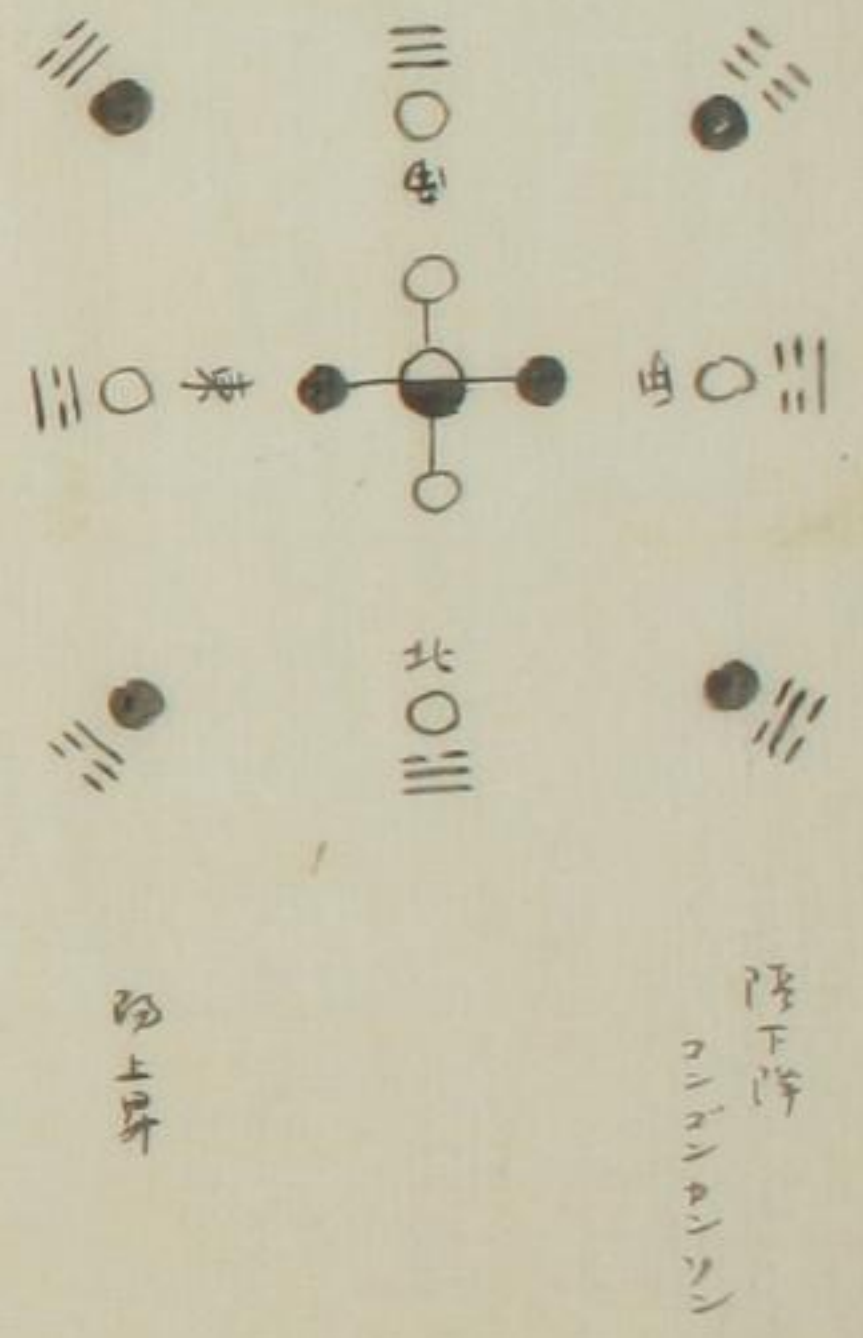
石高 南洋銀虫出村ノノリ
 任人ノ子今在石高
 標本馬ノリ
 長外カ秋 標本
 元禄二九二六
 天明八二九七
 元禄二九二六
 天明八二九七

長外 浪佐馬方位 標本
 元禄二九二六
 天明八二九七
 元禄二九二六
 天明八二九七



定勝
定治





一因一因ヲ无種トテ
 油ノ二三又ヲテ 凡 月ニニニノシテ

八洋四陽

昇 九 八 七 六
 降 一 二 三 四

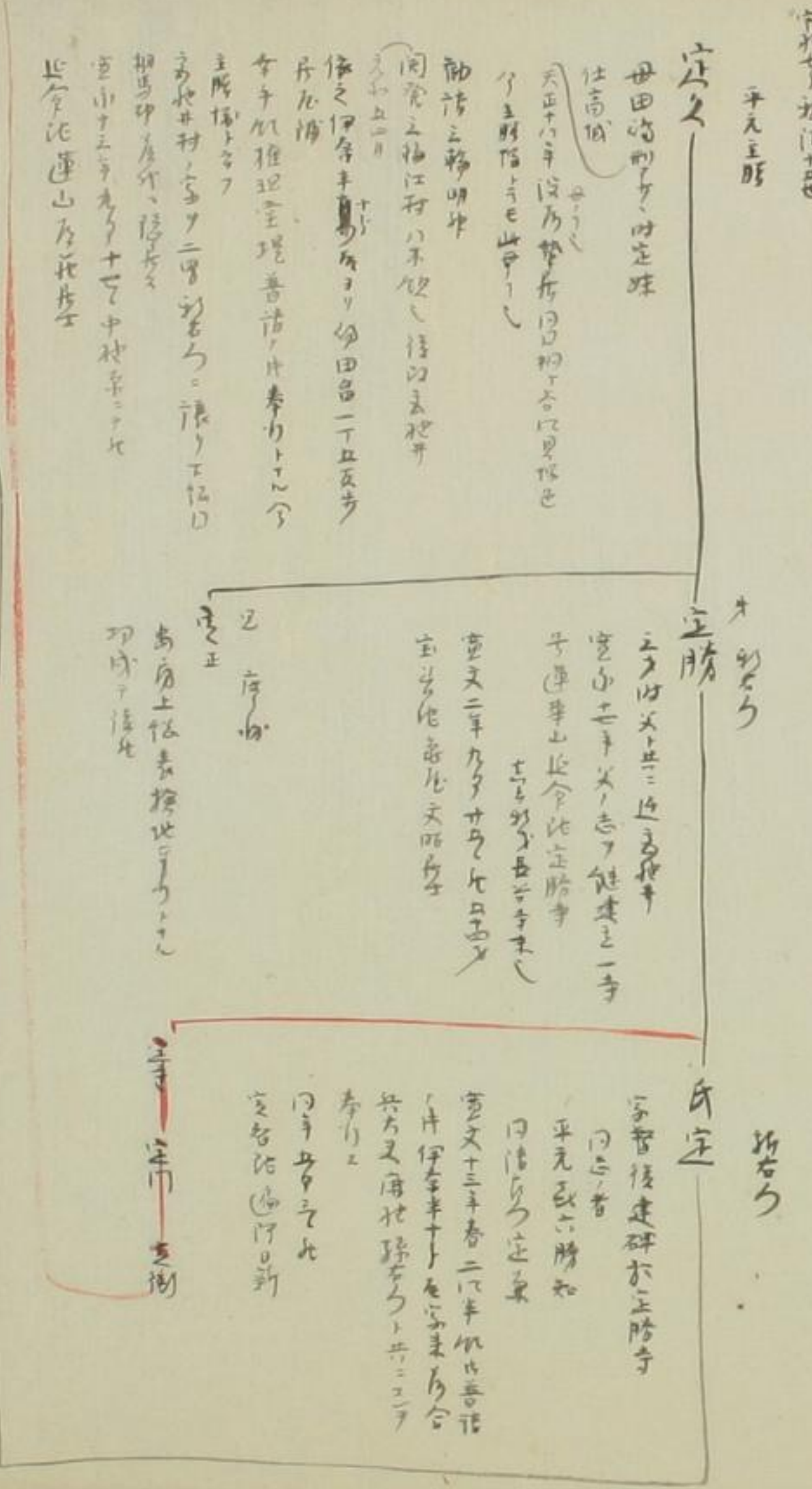
腐天 乙 群 行 无 首 吉

高望王 良記
 主馬 主馬
 主馬 主馬
 主馬 主馬

記 記
 主馬 主馬

八田寺宗信住持申上公親住下村口月寺多日以年

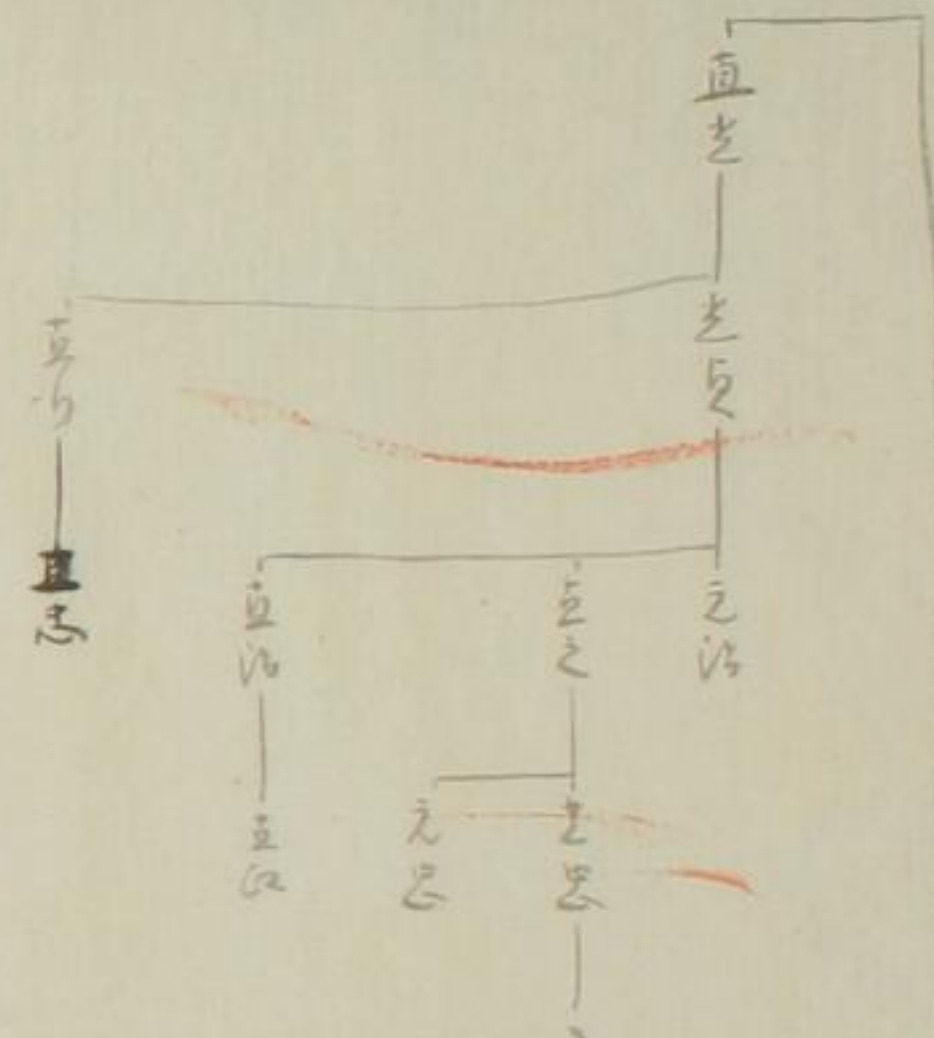
作於下地清子也



近江 主馬
 近江 主馬
 近江 主馬
 近江 主馬

近江 主馬
 近江 主馬
 近江 主馬
 近江 主馬

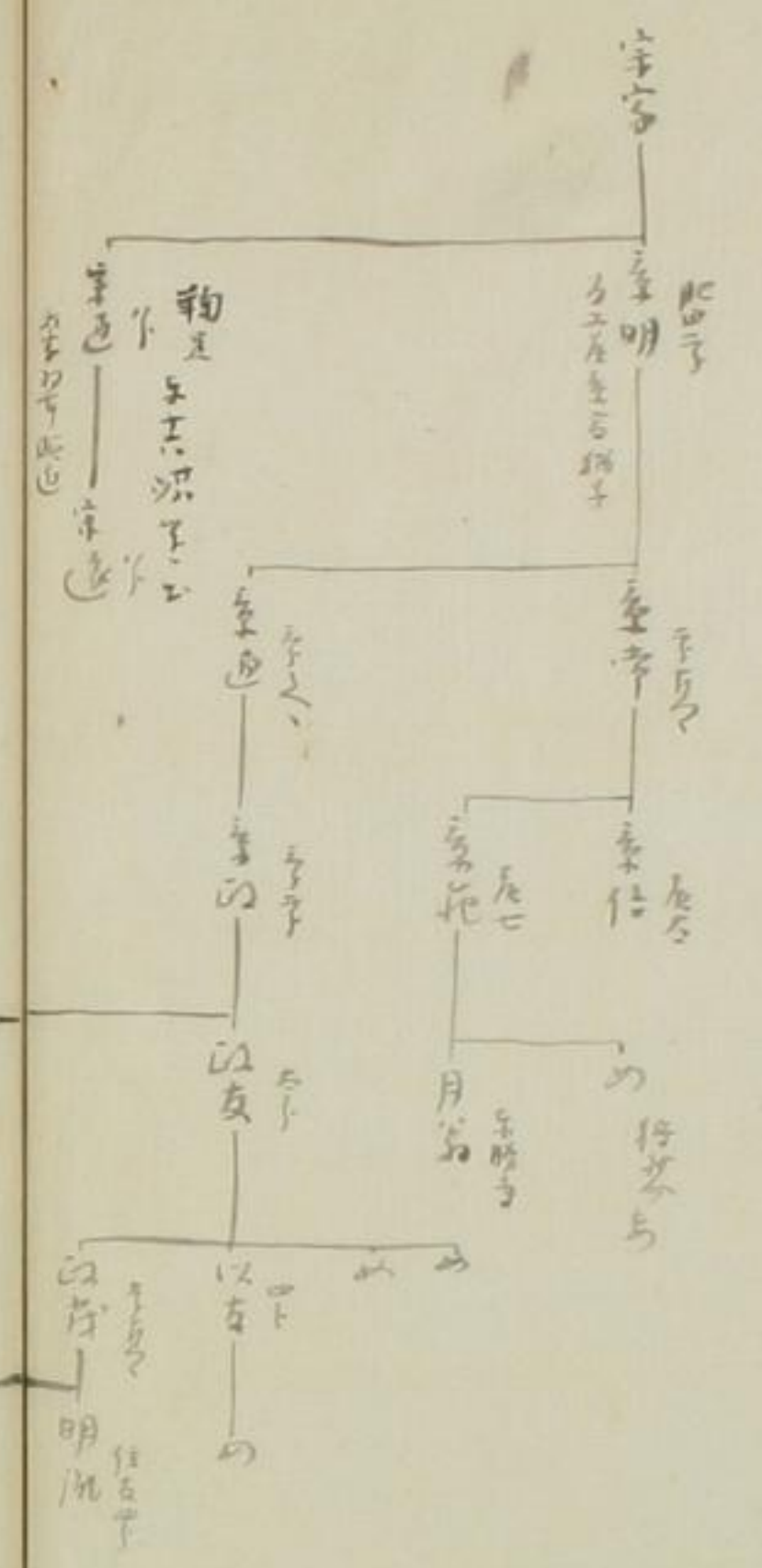




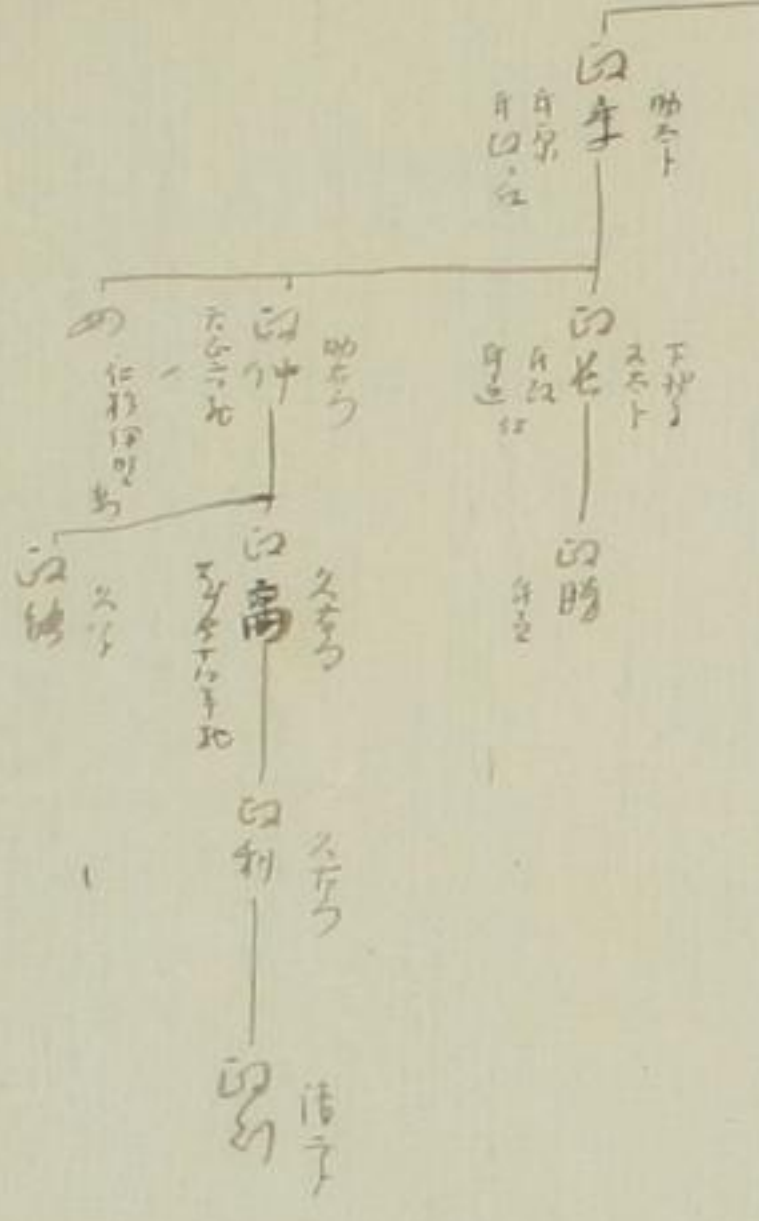
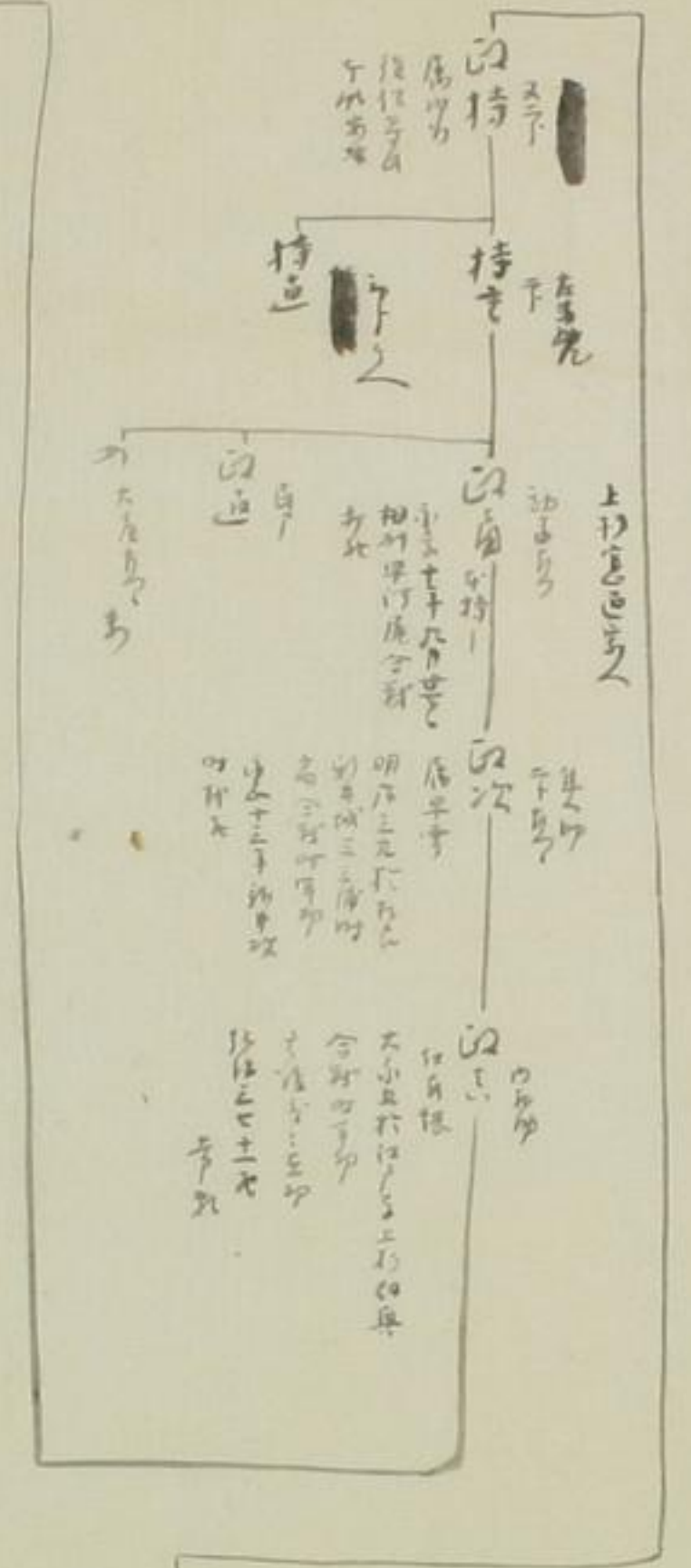
直光
 直之
 直光

直光

肥田



宗家
 宗明
 宗常

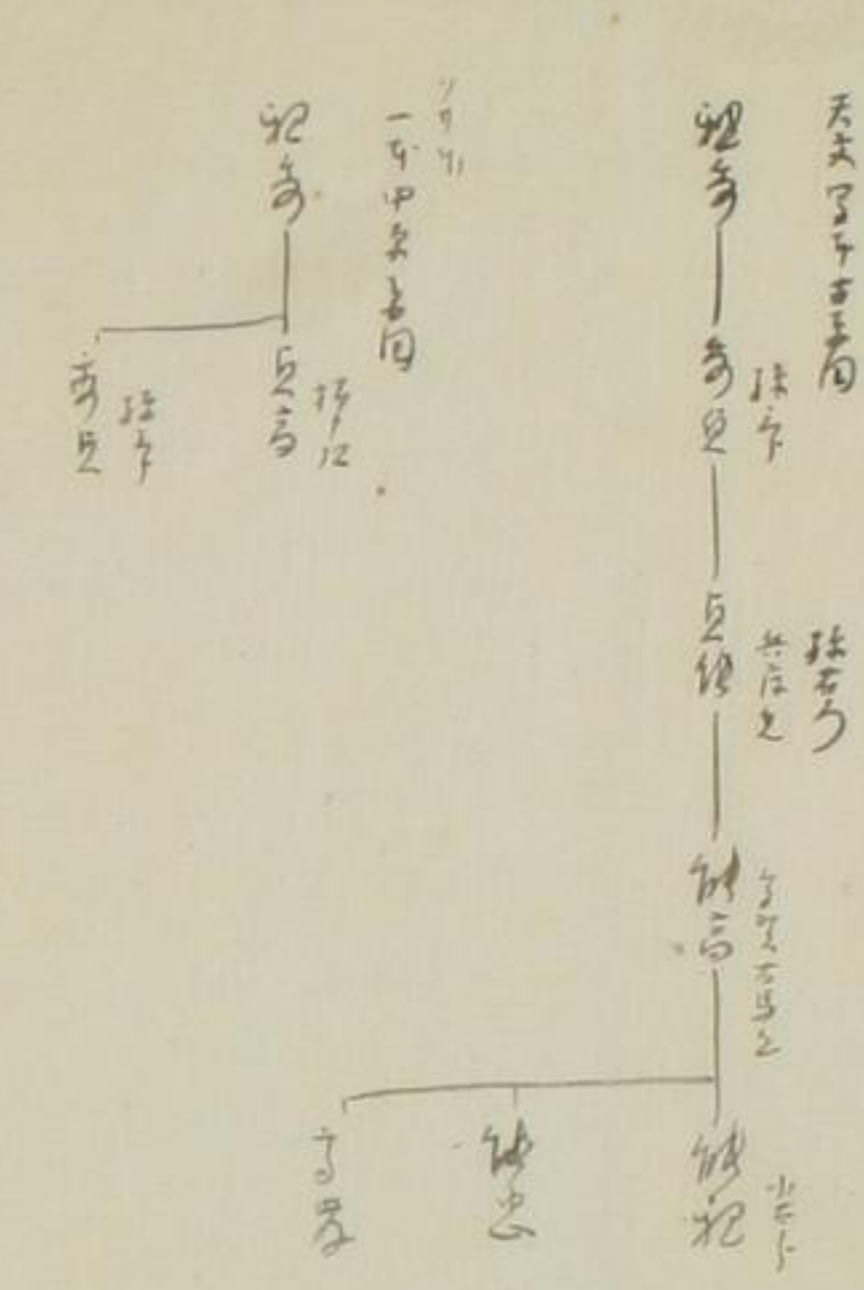
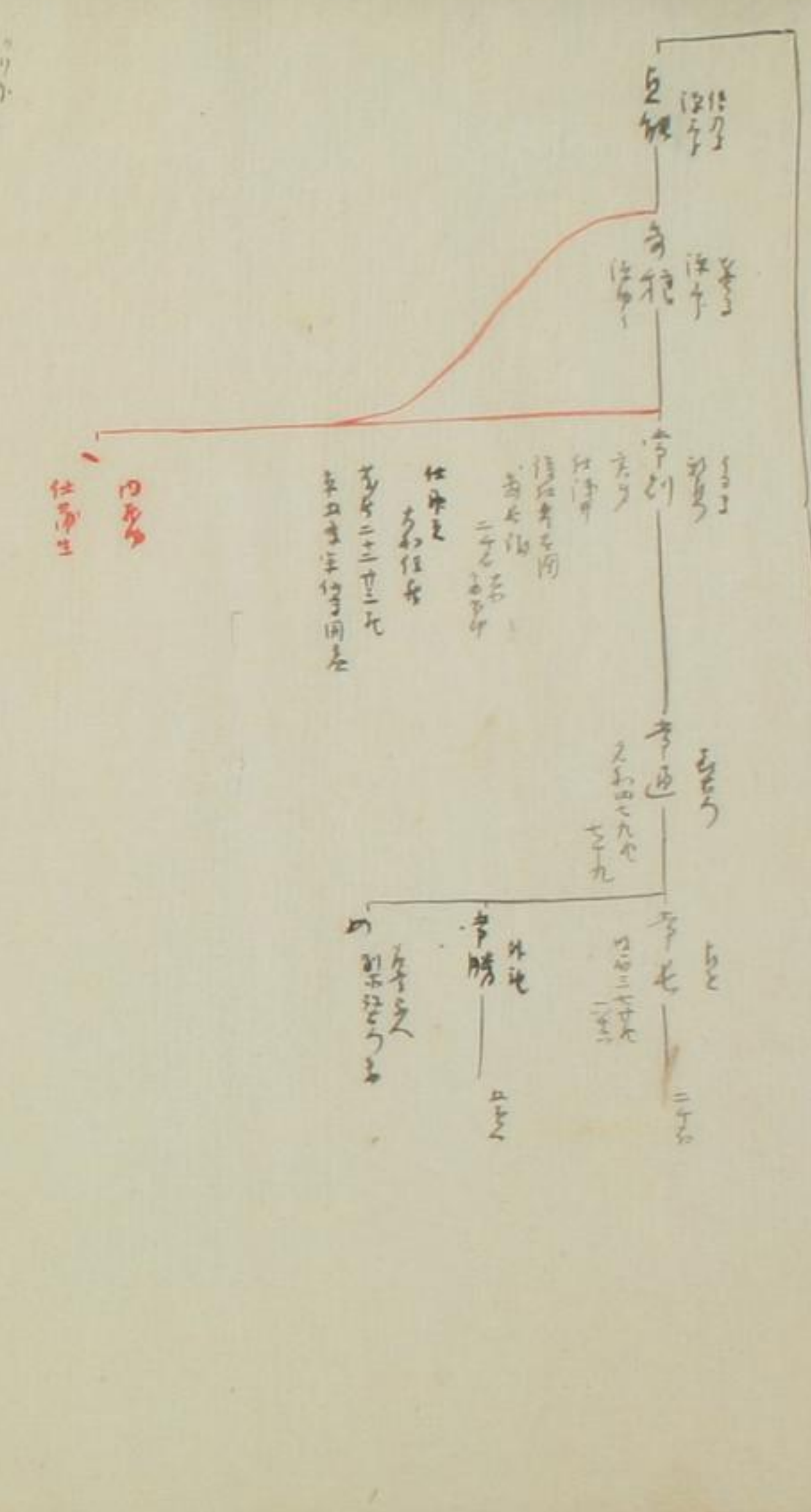
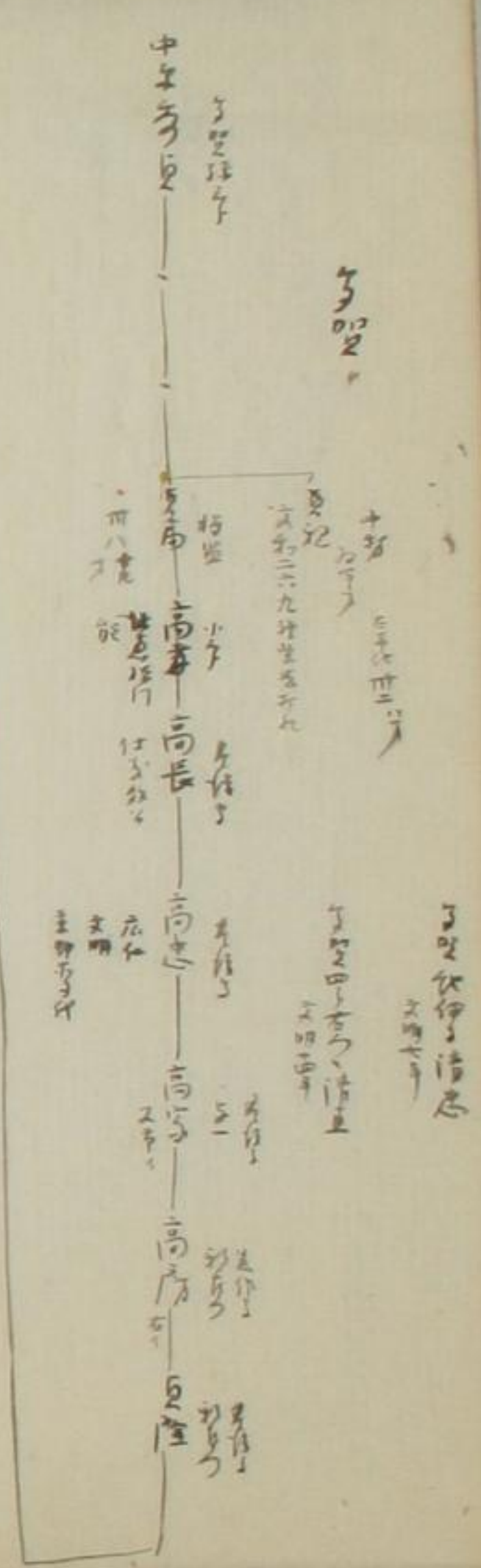


服部

服部
 宗高
 宗高

佐々木神社諸国活並池

伊豆 尾張 野河 今川 信守 宗持



奉掛八幡宮
 總文之次序
 高長
 高忠

奉掛八幡宮
 總文之次序
 高長
 高忠

高長
 高忠
 高長
 高忠

大神
 高長
 高忠

高長
 高忠
 高長
 高忠

城上郡

神生 日向神社
伊都の青保之重垣車山上
山若里山工社 高木十社

宇治郡

沖野 美津比命神社
大阿比命
八戸 程野神社
芦原 瑞里神社

野守比

我比 与自産屋有 野守比 天代之印

ソコチアヒイラマ
カヌシアヒイラマ

○加賀郡

建角神社
伊吹子夜日堂命
建玉依比命
建玉依比命

之乃社

建角神社
伊吹子夜日堂命
建玉依比命
小社 尾神社
建玉依比命

乙訓中大雷神社

火雷神 片山神社
片岡山片山神社 上社 別社
建玉依比命

大山神社 亦名別雷社 一ノ分主命

大社小社

高社 才一王子河太大河社 山崎口一ノ分主命 尾神社

上野神社 別雷神社

△山形

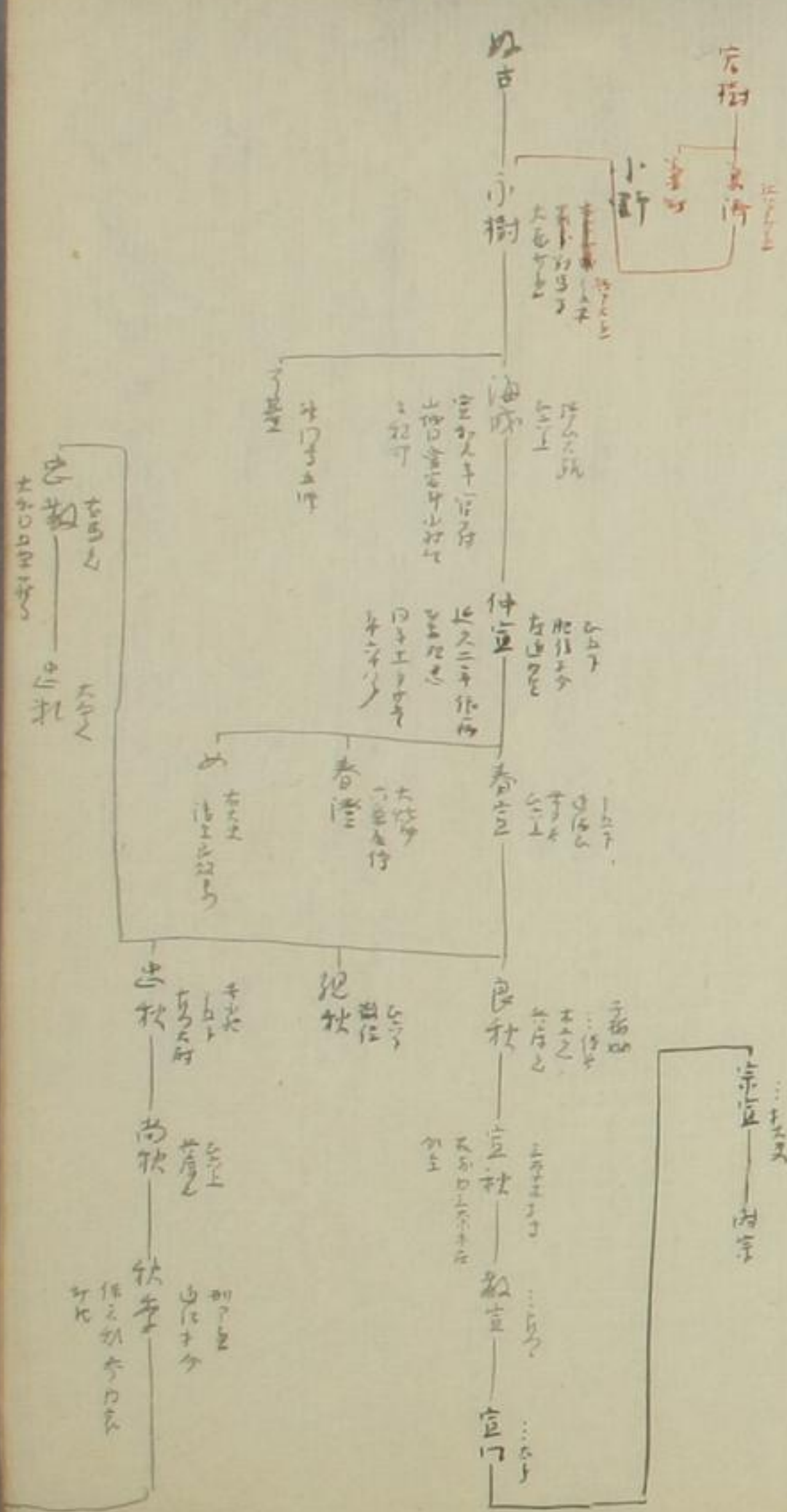
玉依比命
古己貴命

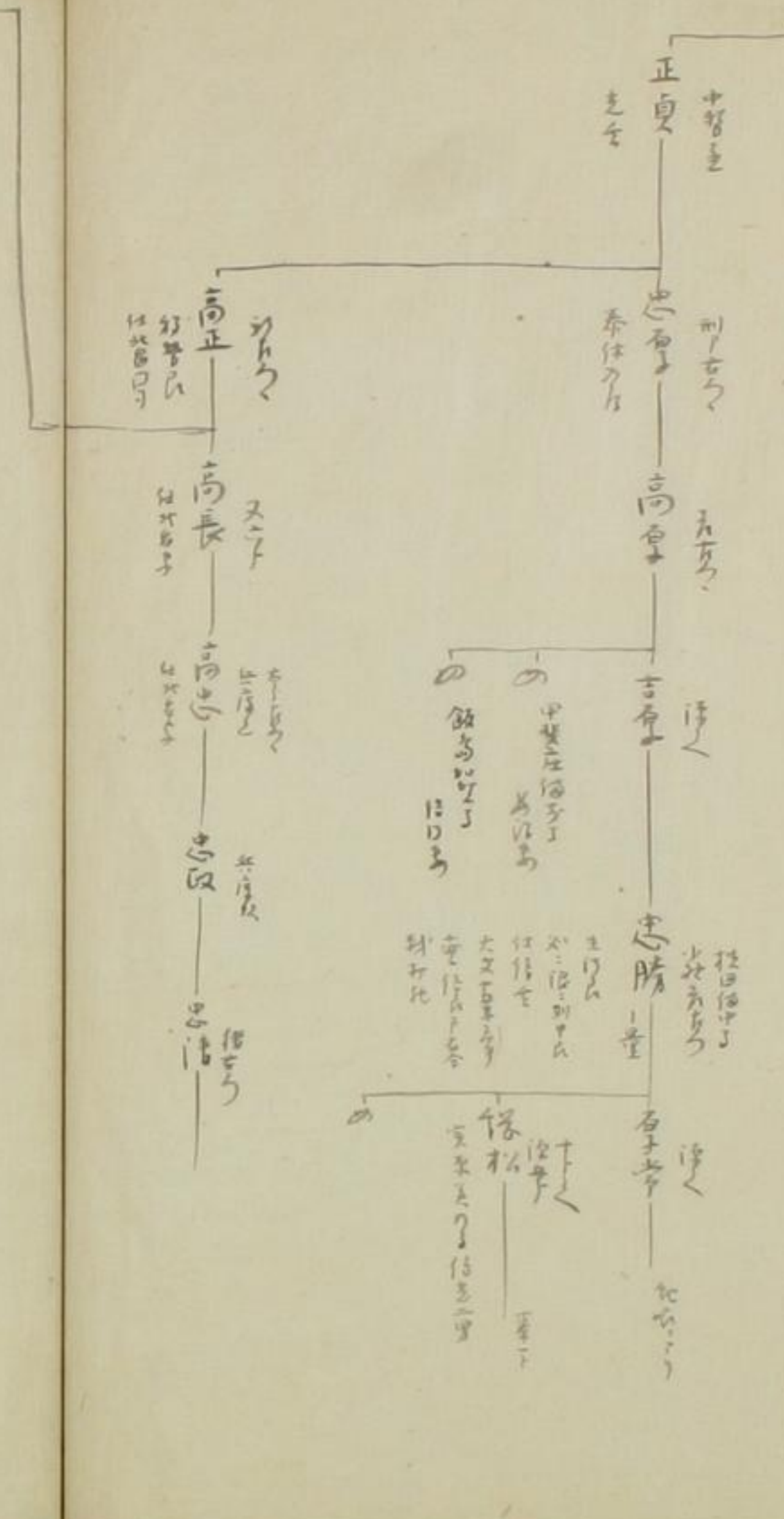
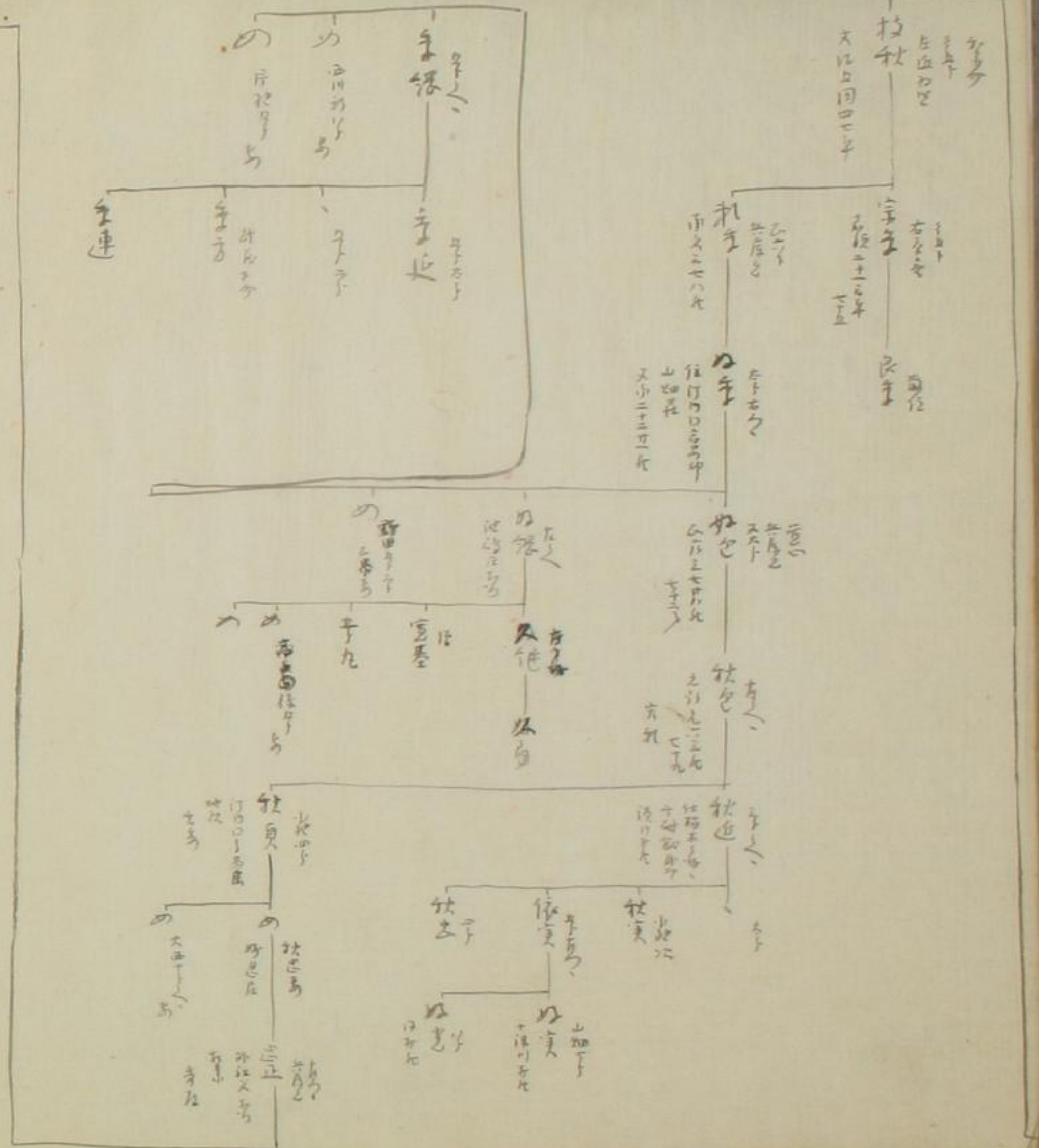
△杉尾

胸形中郡神社
大山神社

二十二社神傳秘記事代主命

別雷山





高正
高長
高成

伊勢の御出立
小野兵庫次
作又又尉
平右衛門

十六世 加参乃 伊美杉

高正
高長
高成

十 奈良山乃 伊美杉

伊美杉

記中傳達令願手

上吉ハ... 伊美杉

伊美杉

付可三

御信柏 造西月亦大嘗奉供奉料之津野柏二十把 把ハ長女柏四十八

把六把 二把ハ二三四把ナリ 曰東京料子也此河大嘗奉式

酒柏此事功也見之右神宮侍或帳三月奉使より昂太神太

日諸日官人等更奉才五重参入就坐昂侍備仕奉又右

神宮三人侍御前 三ノ可九ノ奉使より 其直金酒は米三人

才四門早侍御前柏盛五人別捧給 此等奉使より 柏也

外宮侍或帳より曰く見む御信之津野御前みよ曰く

此竹也古くはて神宮御前通付 三ノ例あり 此竹也

之山 三ノ山 此竹也 三ノ山 此竹也 三ノ山 此竹也

用之三角柏 俗に三角柏と云ふ 重厚くして酒飲あり 常奉あり 信太名柏

也 昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

昔より仰々山 此竹也 外より今亦 此竹也 此竹也

十九 元 口 首 之 勢 志 呈
同 中 皇 尊 見 為 今 日 昔
カトニ
カトニ
カトニ

萬 正
後漢書曰 皇 千 億 之 子 孫 歷 萬 載 而 小 正

文 久
同 曰 文 并 並 用 成 長 久 之 計

和 平
同 曰 曰 聖 人 感 人 心 而 大 下 和 平

萬 和
文 選 曰 布 政 宜 惠 而 萬 物 和 順

大 應
史 記 曰 轉 德 天 下 大 展

建 正
周 禮 曰 乃 施 法 于 官 所 而 建 其 正

至 元
周 易 曰 至 哉 坤 元 萬 物 資 生

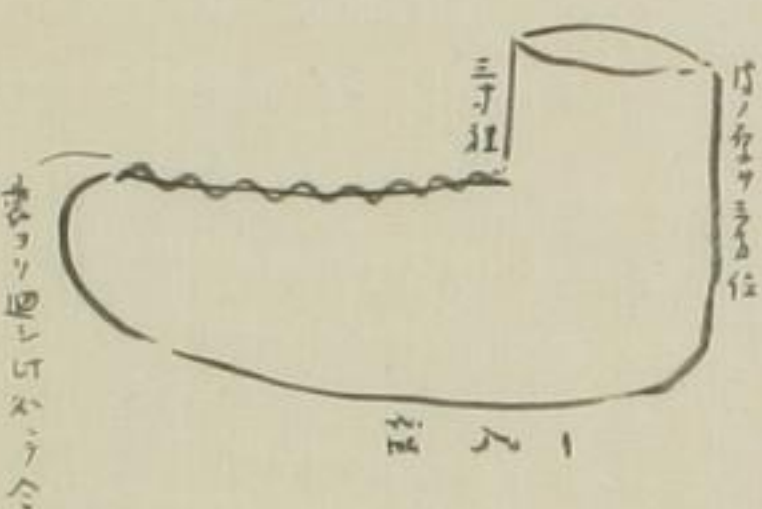
二 三 凡 坤 社

物 之 大 正 意 令

河 尼 曰 曰 順 令

在 水 味 韜 曰 曰 順 令

社 禮 曰 衣 曰 社 社 作 術 儀 也



元 正 是 乃 水 之 神 也 曰 社 也 社 乃 土 之 神 也 曰 土 也 社 乃 土 之 神 也 曰 土 也 社 乃 土 之 神 也 曰 土 也

コレハ元正社ノコトヲ示シテハ九千九百九十九ノ程前ノ近衛公ハ今日ノ皇代トシテ人ノ以テ止ラセテ上ニシテ之ヲ敬フ
ハノコトヲ示シテハ九千九百九十九ノ程前ノ近衛公ハ今日ノ皇代トシテ人ノ以テ止ラセテ上ニシテ之ヲ敬フ
ハノコトヲ示シテハ九千九百九十九ノ程前ノ近衛公ハ今日ノ皇代トシテ人ノ以テ止ラセテ上ニシテ之ヲ敬フ
ハノコトヲ示シテハ九千九百九十九ノ程前ノ近衛公ハ今日ノ皇代トシテ人ノ以テ止ラセテ上ニシテ之ヲ敬フ

今 正 二 三 萬 年 正 意 令 毛 刺 正 意 令

后 次 正 意 令 毛 刺 正 意 令 人 在 政 有

積 正 意 令 毛 刺 正 意 令 毛 刺 正 意 令

其 先 正 意 令 毛 刺 正 意 令 毛 刺 正 意 令

二月廿

氏直

苗是古郎守

奉札柄見未十一日由安替

田原

在何之志高利未亦始一札

其状

差係小田原、下今每事

以十日

有少安替

其得

六月廿

氏直

苗是古郎守

四十九

京都上方務定院義持之鎌倉打氏のりて
氏直平飯安替(沙下)のり

新田六郎貞氏申上野田

新田六郎貞氏國橋源初持西

新田六郎貞氏國東合戦

勤功實且之田家之流異
于能之上村お傳の家之流
合傳の家お伝子可子細
者早の被沙法附彼本
似并散在可於久氏
之狀如件

延永廿四年三月廿七日 奉旨西判

石無樹舒後

錦倉君之方左衛督持氏より自民の
以下の本領安治し散書書

上野國新田庄并武藏野
橋邊部持西郡赤之内散
在可之事任去國又月廿
下之の台實東合我勤而
實且家心之族界能之上
殊相傳の家之流早可
此の流安堵之狀可
お傳の家お傳子可子細

應永廿四年二月廿七日 持氏所判

新田の節度

日輪寺中 林直紀

香 杉山

得地付の福

諸法経得生 了牛説書目

是行経得成 是太沙の伝

新田山金剛寺

地蔵堂 通安法師上人付受書付

内請二凡立合二大並立

宗字 通

字 通

権破

以新元上立註持去書書之

日印 錫杖印

才井井才 才井井才 三毒 三毒 三毒

合書

長日辰鐘 深入経定

双見け界 日生有堂

以上

大田寺 酒米上人 二月十日 酒米上人の之之傳

酒米上人 是地有牙

小地皇公 观世音

吉祥天女 观世音

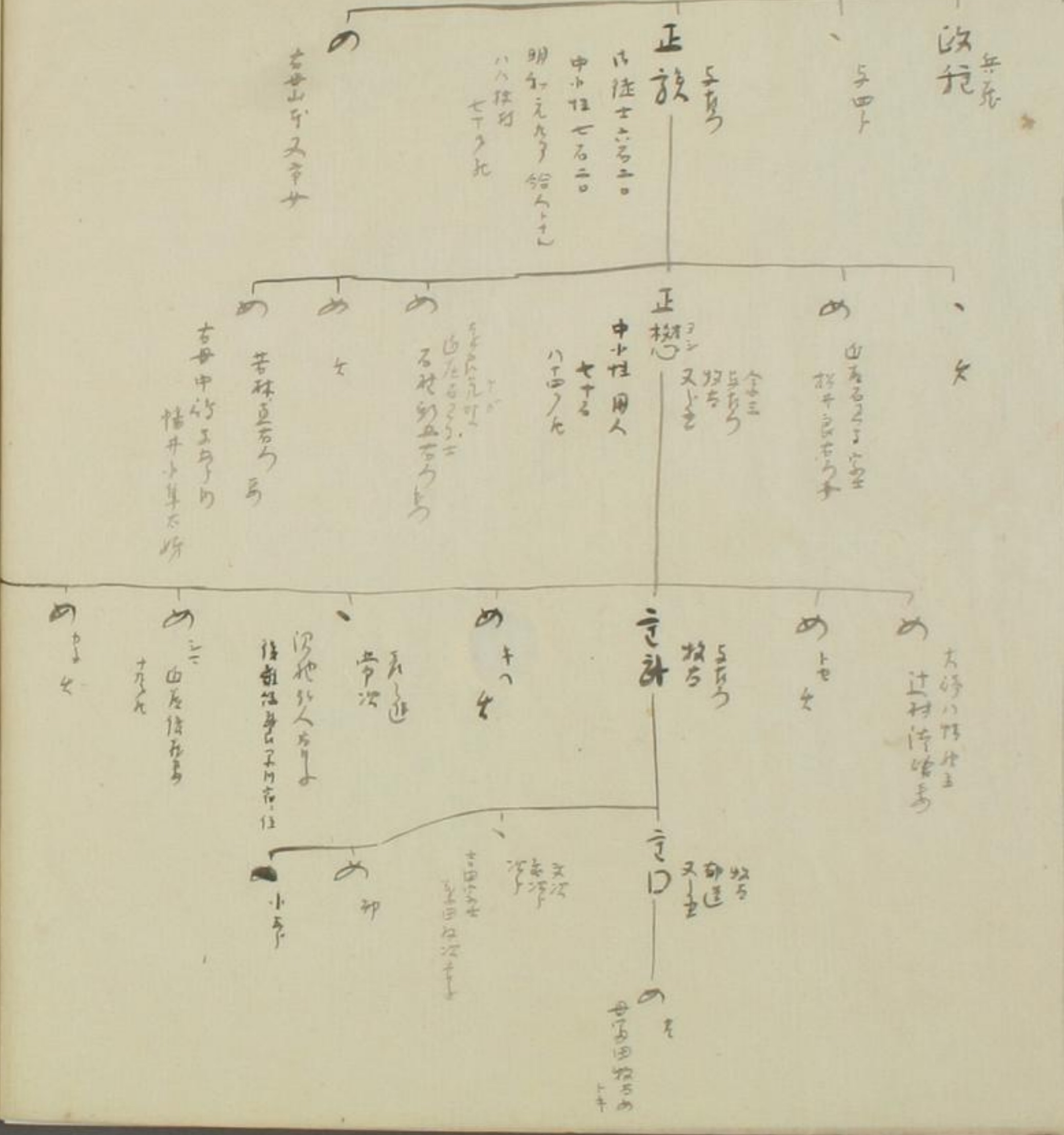
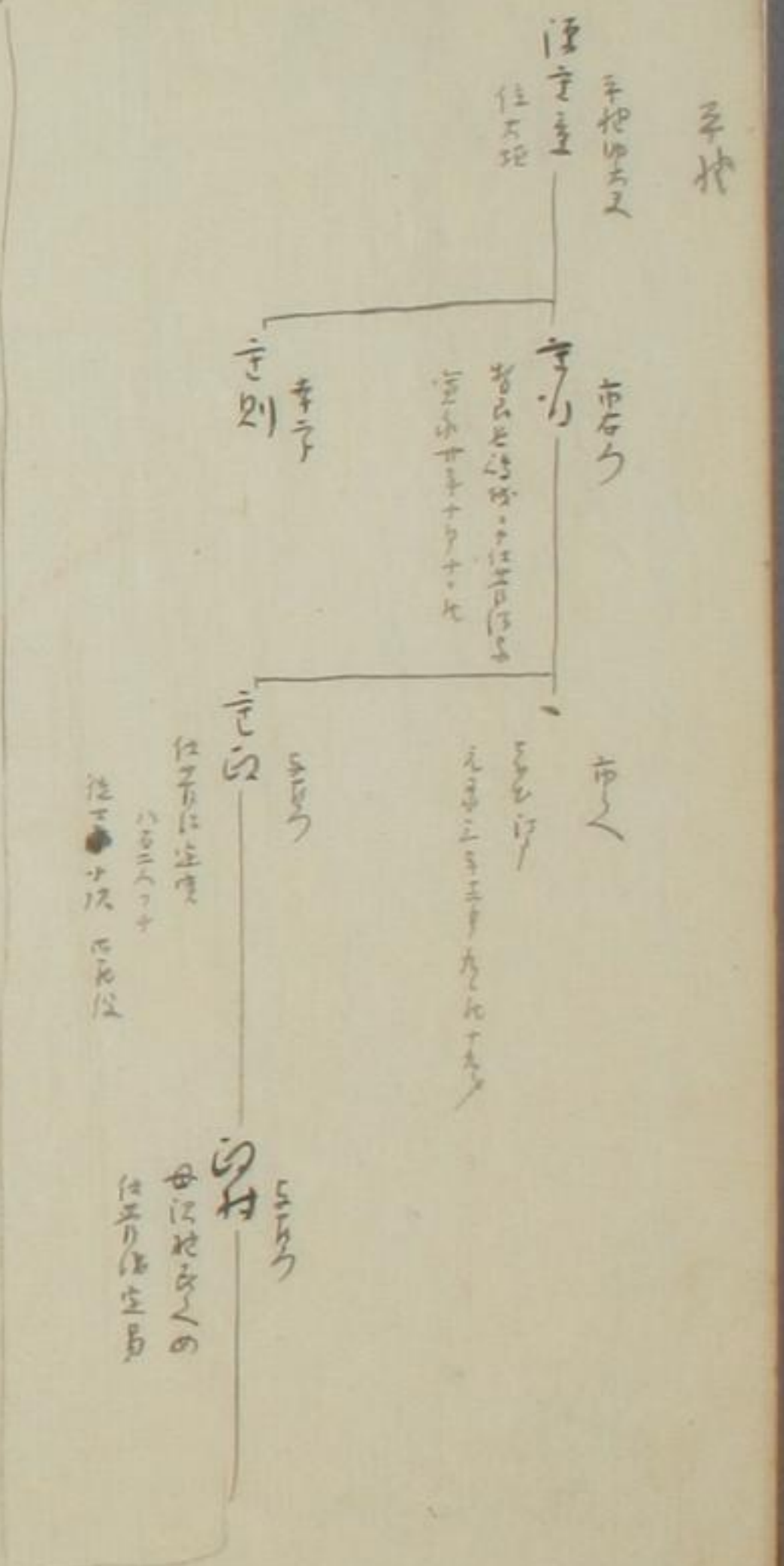
古田山天川寺 文 引信云云、通授

大室 王

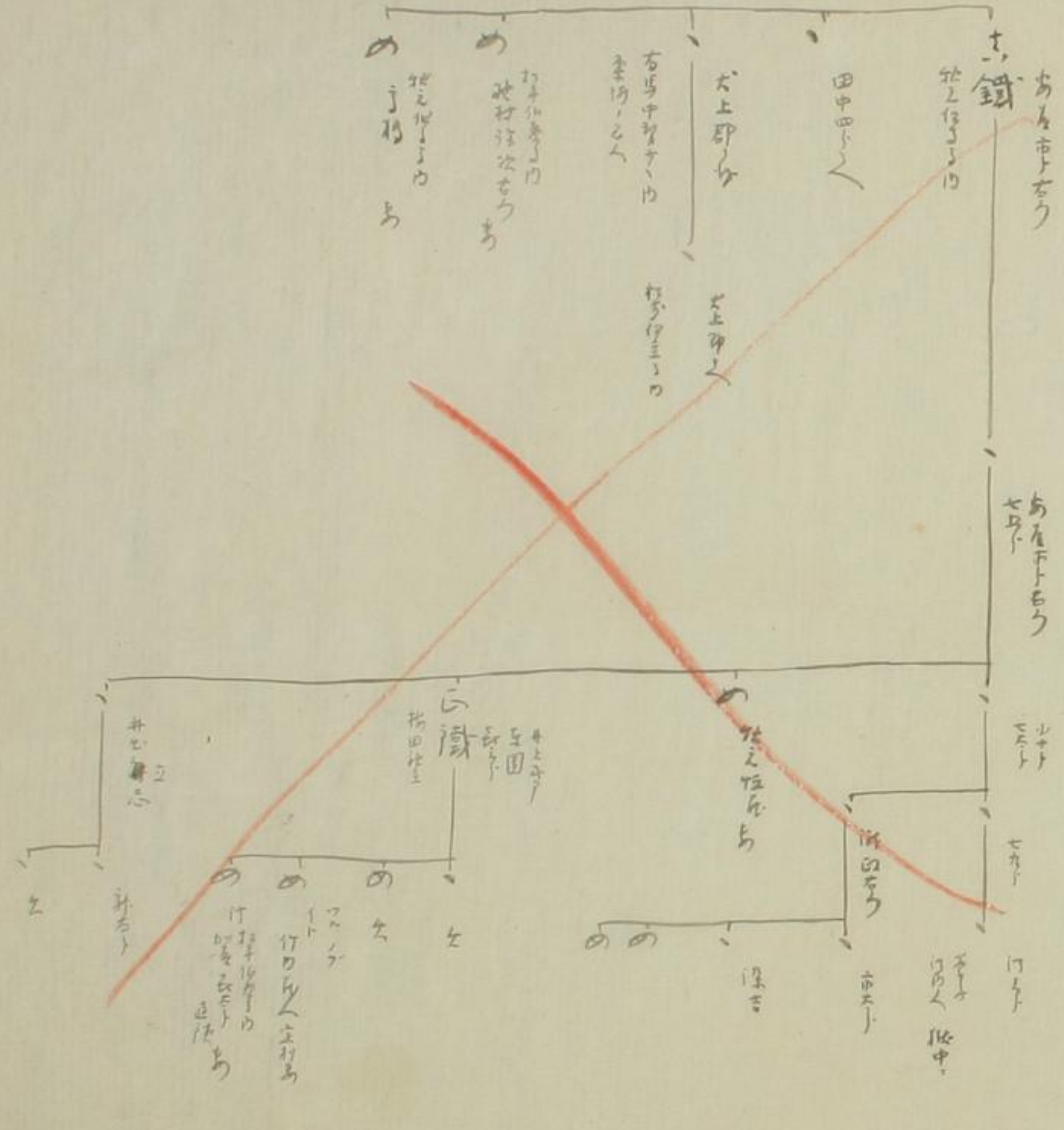
オムタラクソラソバソテ エイソハ

合則合書

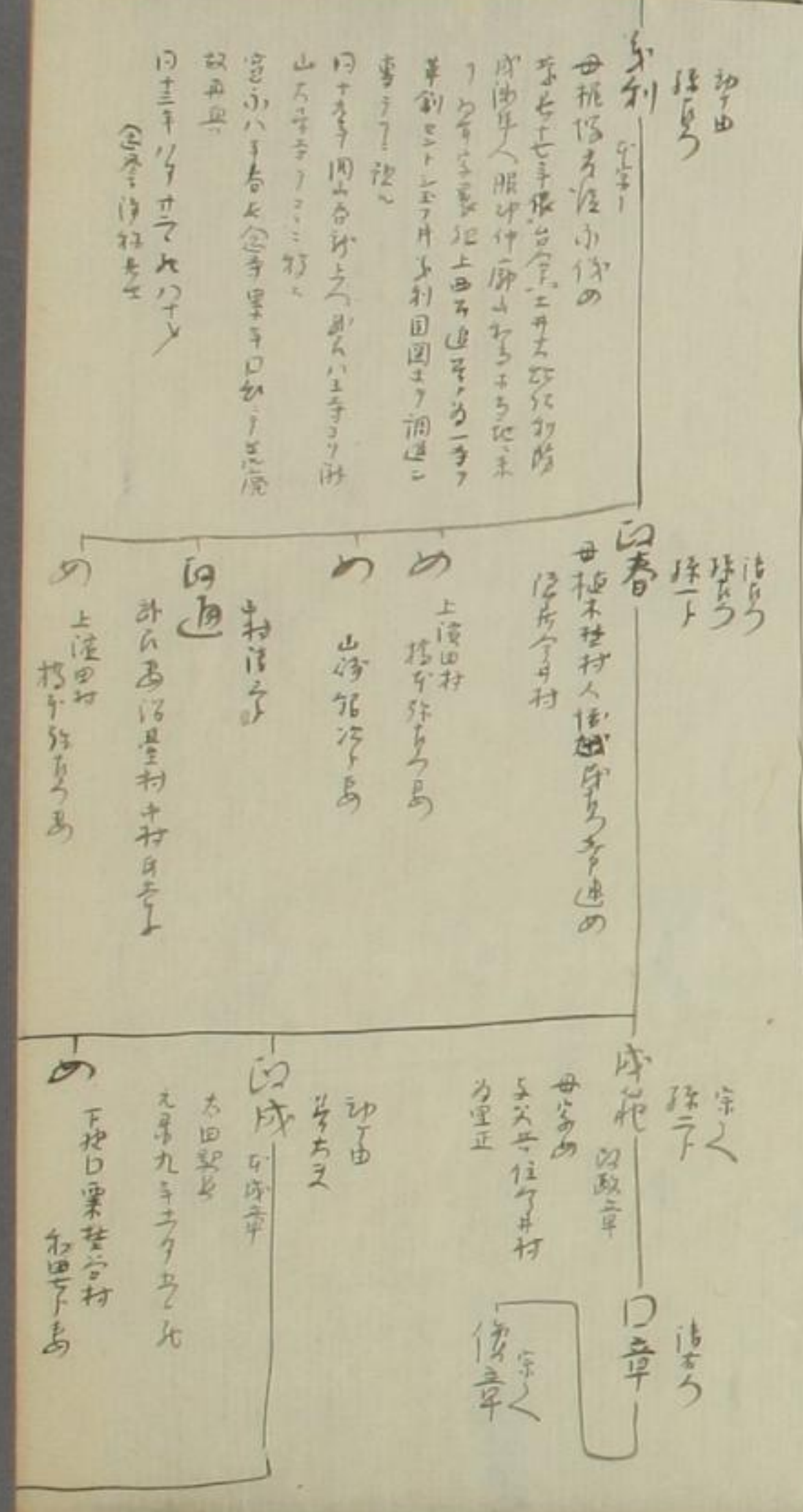
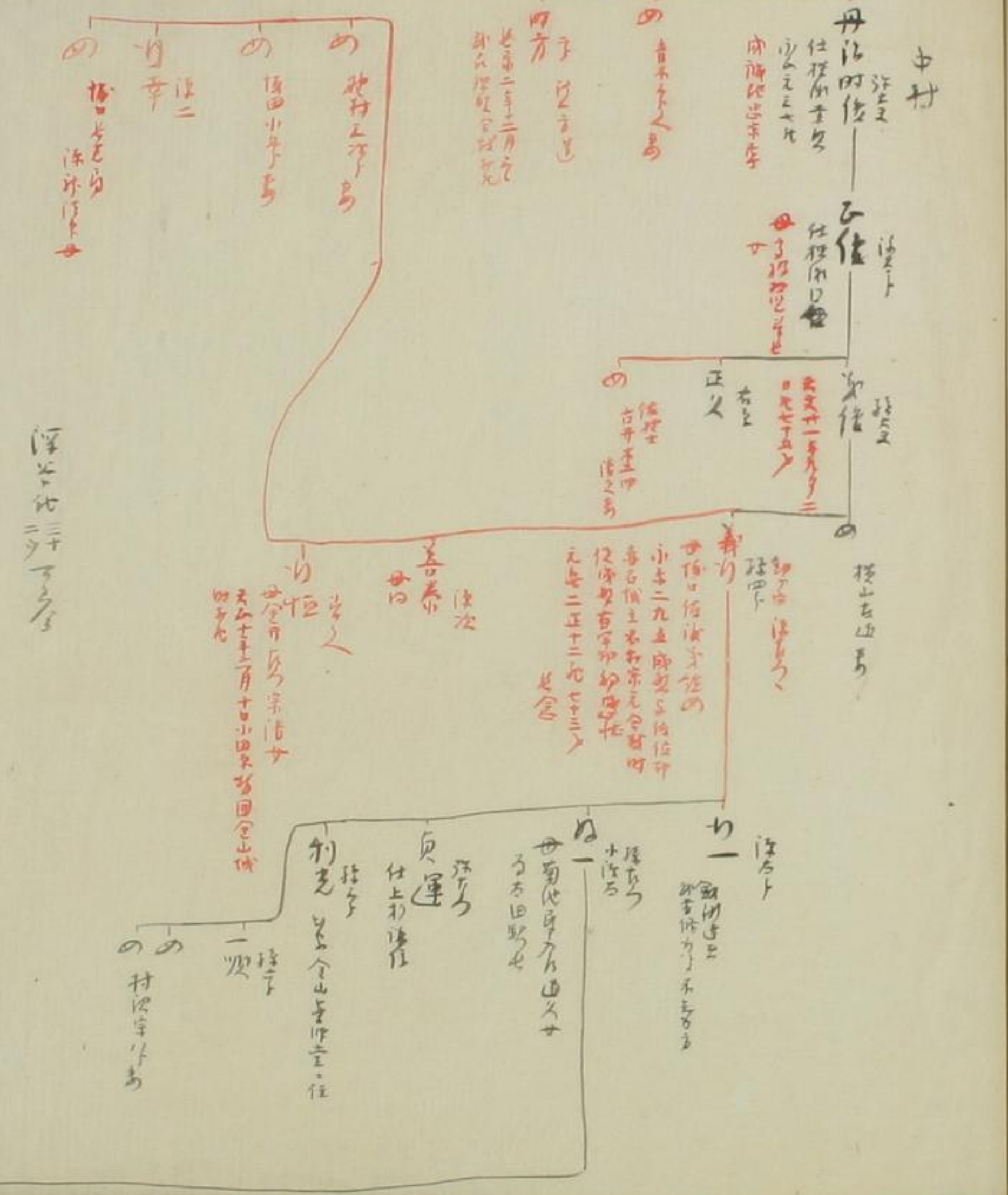
有之云云 世の経のち法をれ 神心果祐を授けたりん

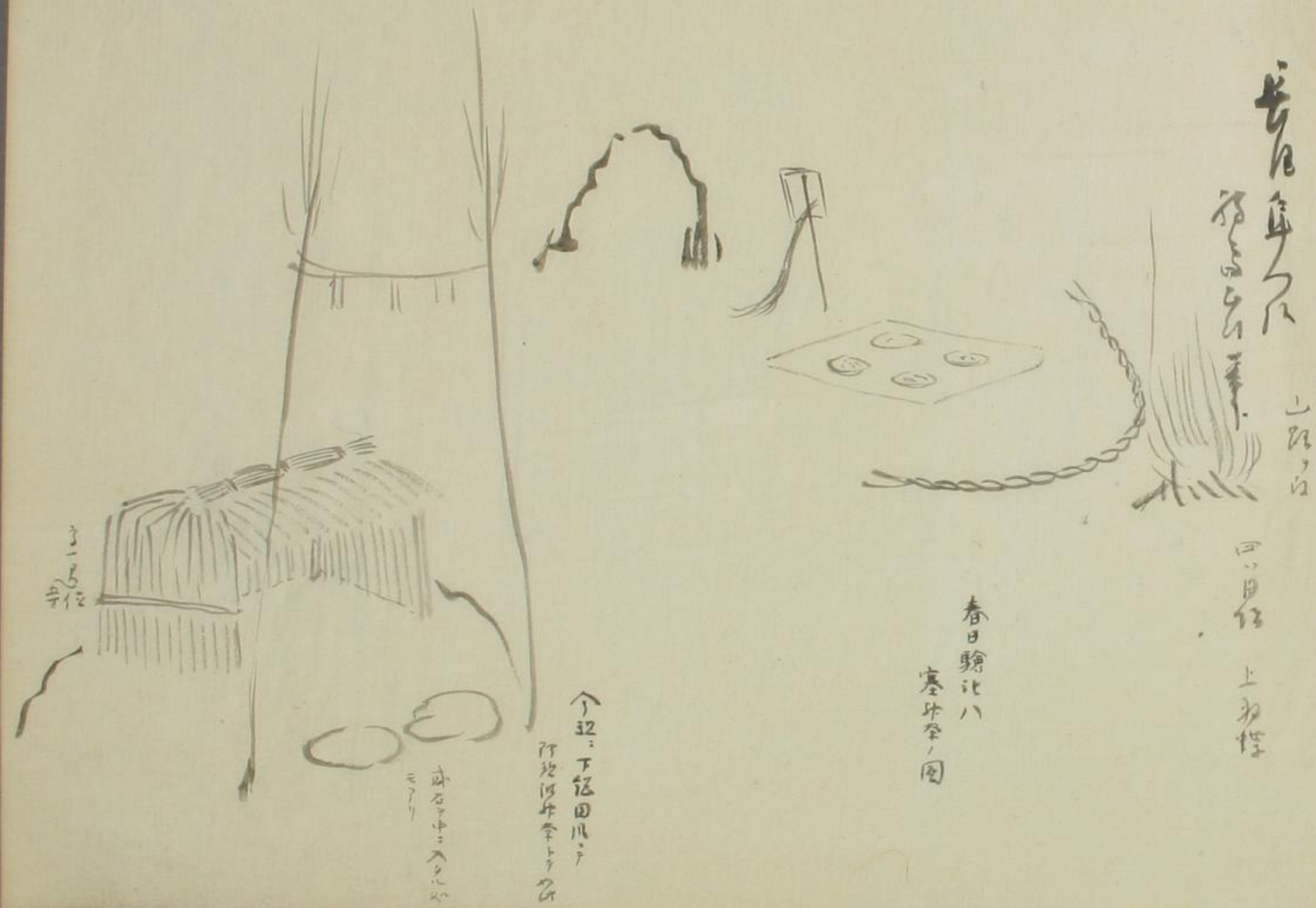


御覽
 今井屋右
 天久保人

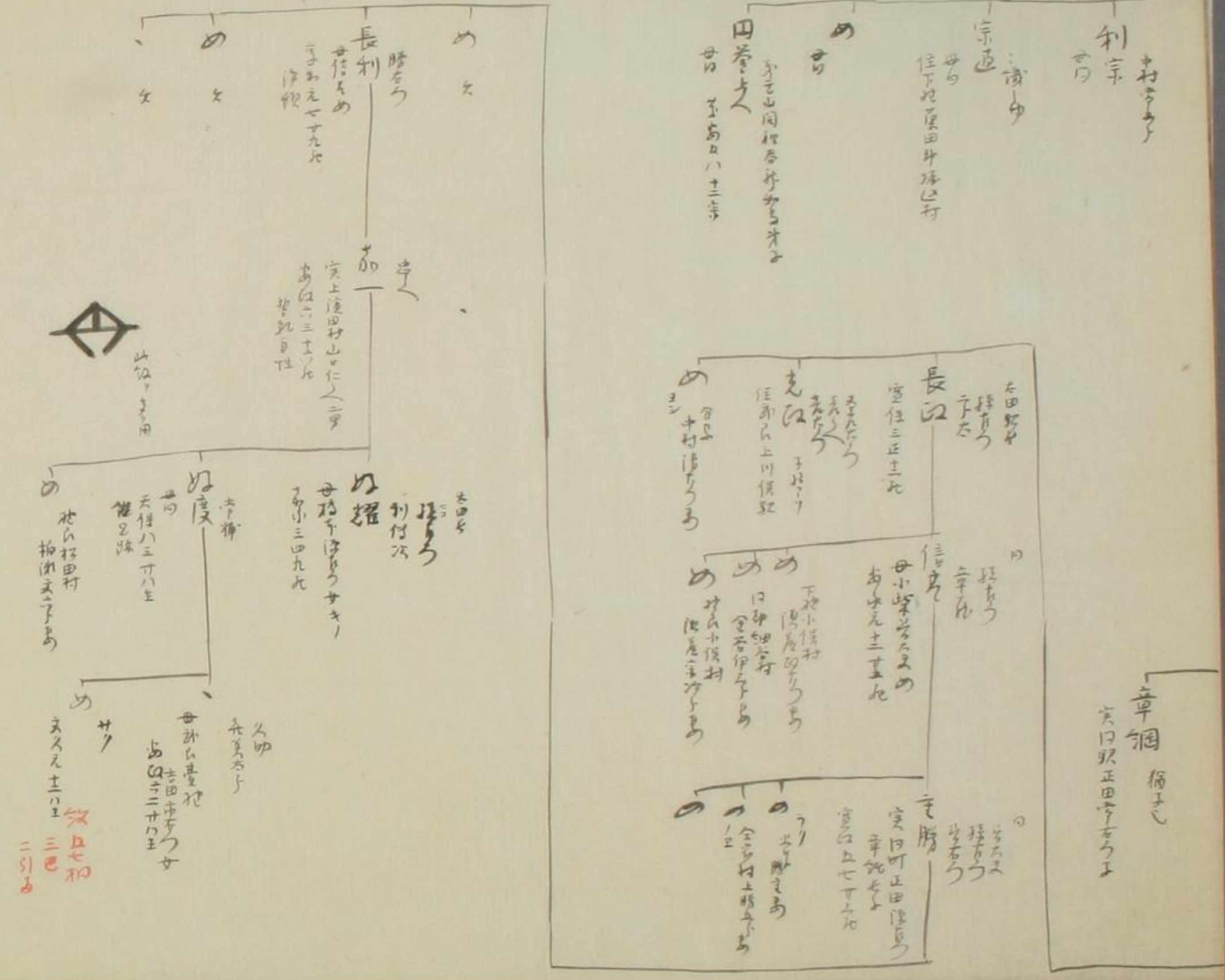


王記子... 修持... 延元元年... 宣保元年... 下地... 修持... 宣保元年... 下地... 修持...



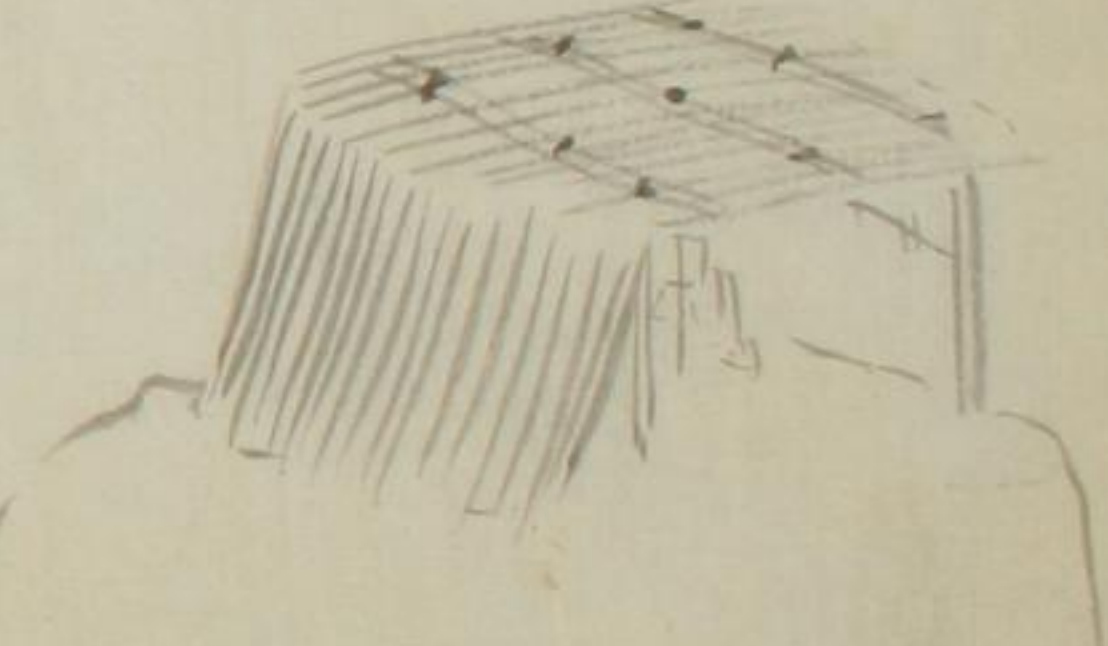
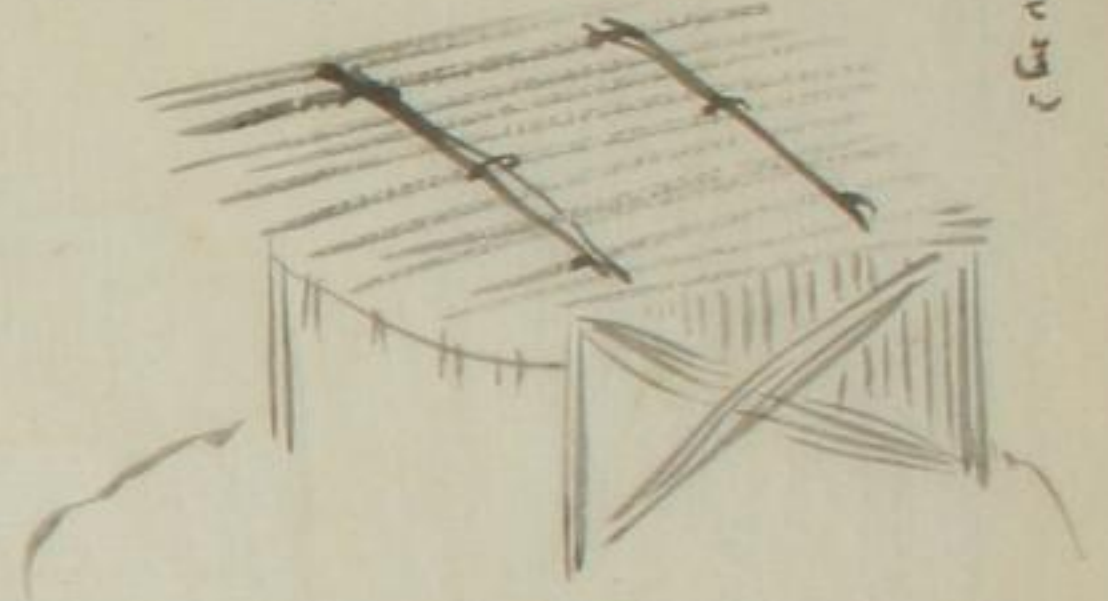


春日驛北ハ
塞外全ノ圖
下位田川
河地河井全ノ圖



辛酉 福士
天保正田寺ノ上

斗カクモ道



少竹忠白
石田
長平
忠平

何事
守平
石田
伊豆

主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ

鶴吉
長
維新
長

主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ

了百
維興
維忠
維新

主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ

十三
何事
守平
石田
伊豆

主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ
主君ノ御持ハ、御ノ

誰英考

石里

石里

藤系光江

藤系光江
明正二年十月十日
藤系光江
明正二年十月十日
藤系光江
明正二年十月十日

左近亮

藤系光江
明正二年十月十日
藤系光江
明正二年十月十日
藤系光江
明正二年十月十日

右近亮

藤系光江
明正二年十月十日
藤系光江
明正二年十月十日
藤系光江
明正二年十月十日

光江

光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日

光江

光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日

光江

光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日

光江

光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日
光江
明正二年十月十日

正信

正信
明正二年十月十日
正信
明正二年十月十日
正信
明正二年十月十日

正雅

正雅
明正二年十月十日
正雅
明正二年十月十日
正雅
明正二年十月十日

正吉

正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日

正吉

正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日

正吉

正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日

正吉

正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日
正吉
明正二年十月十日

吉進

吉進
明正二年十月十日
吉進
明正二年十月十日
吉進
明正二年十月十日

吉江

吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日

吉江

吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日

吉江

吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日

吉江

吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日
吉江
明正二年十月十日

三光

具久

妙見
遊下寺

貞吉
母吉村

の
水久次

正
母

明
母

乃下

英明
母

文化三年八月十日

山田村

義知
母

山田村

全大

山田村

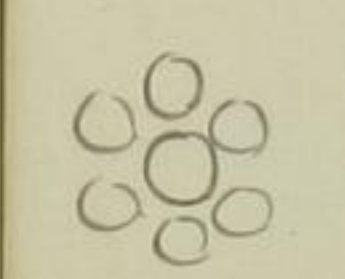
健平

母

山田村

乃下

乃下
乃下



林

三光自注

林三光

母
父

母
父

母
父

林三光

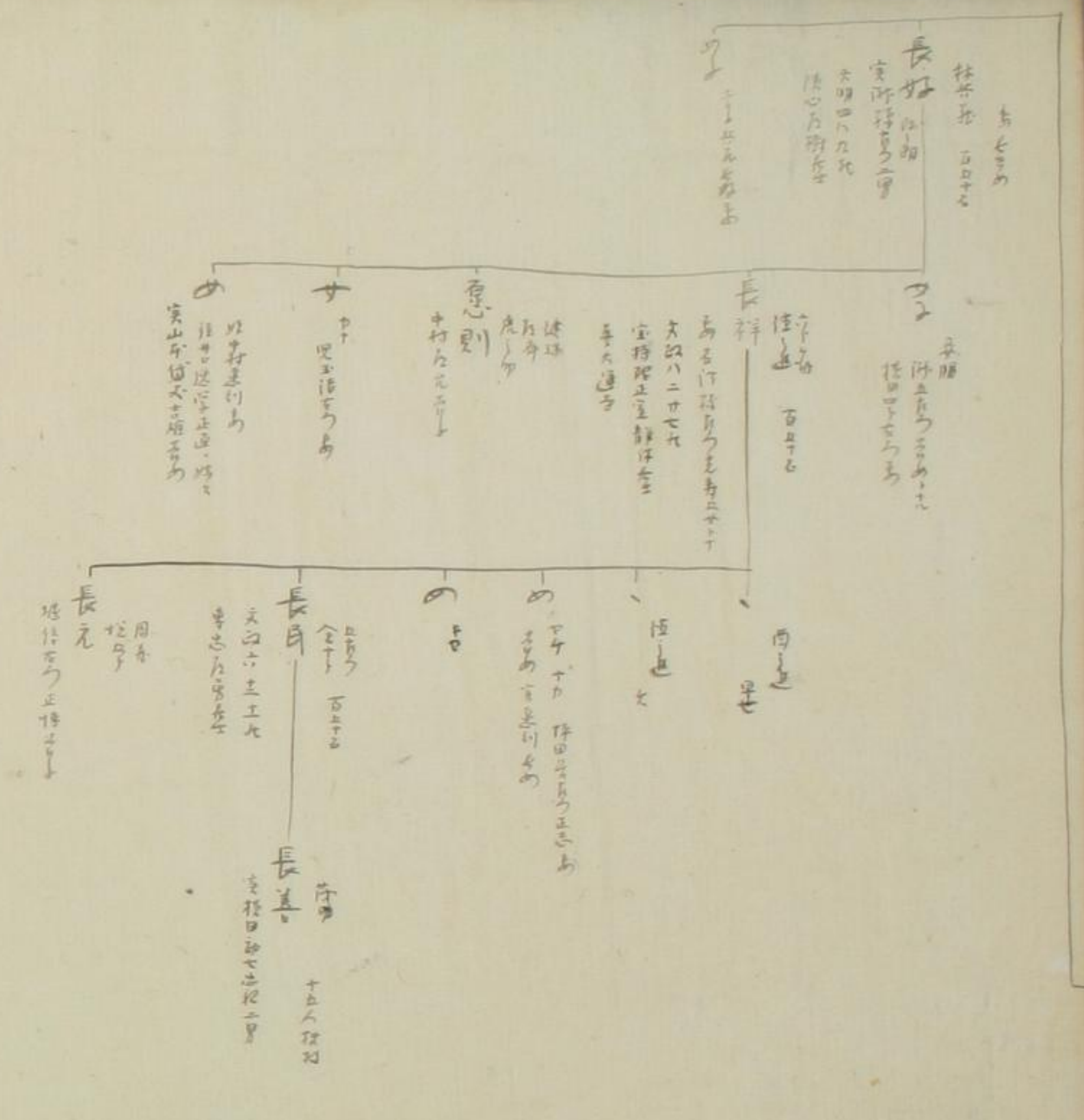
林三光

林三光

林三光

林三光

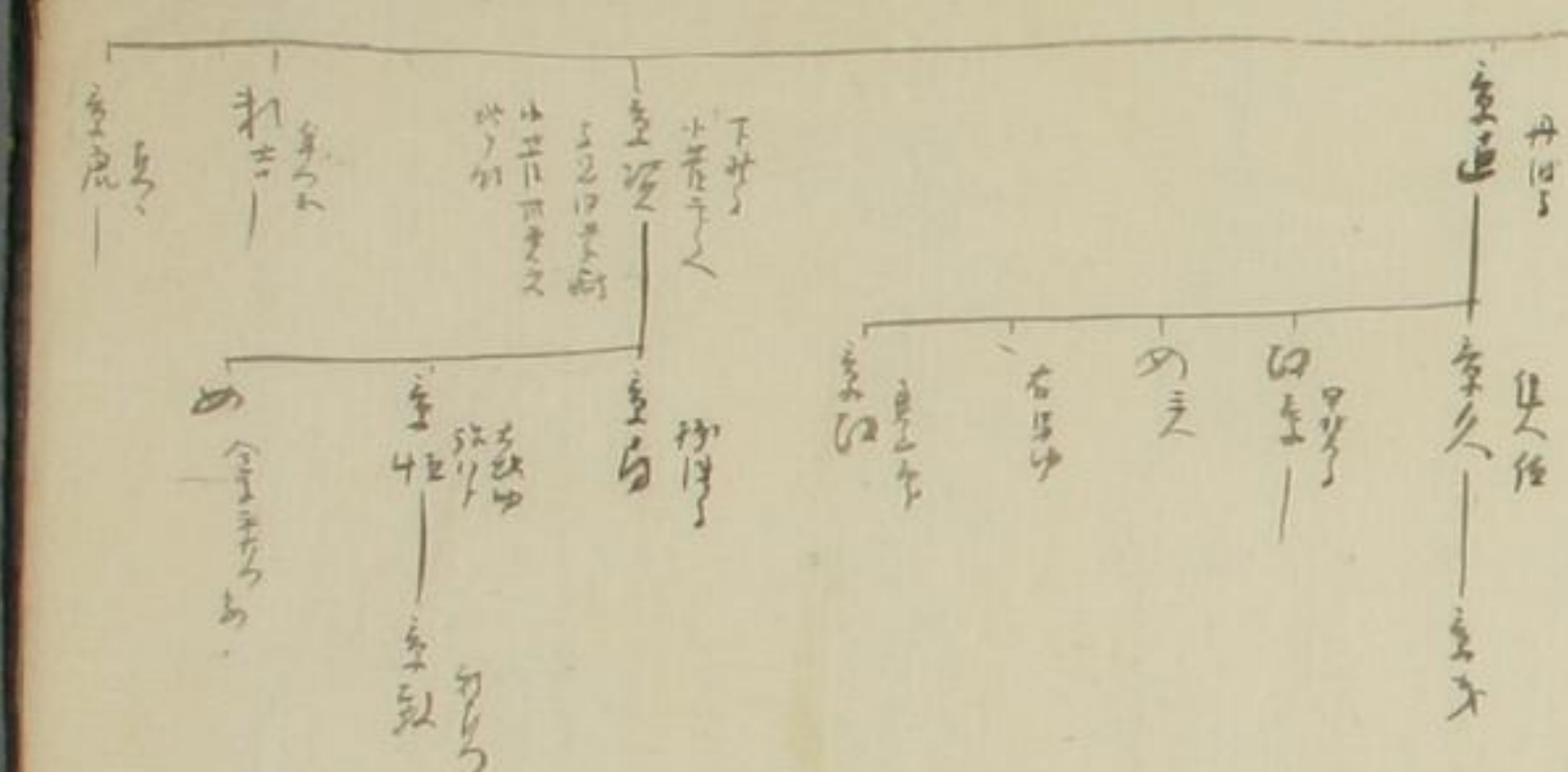
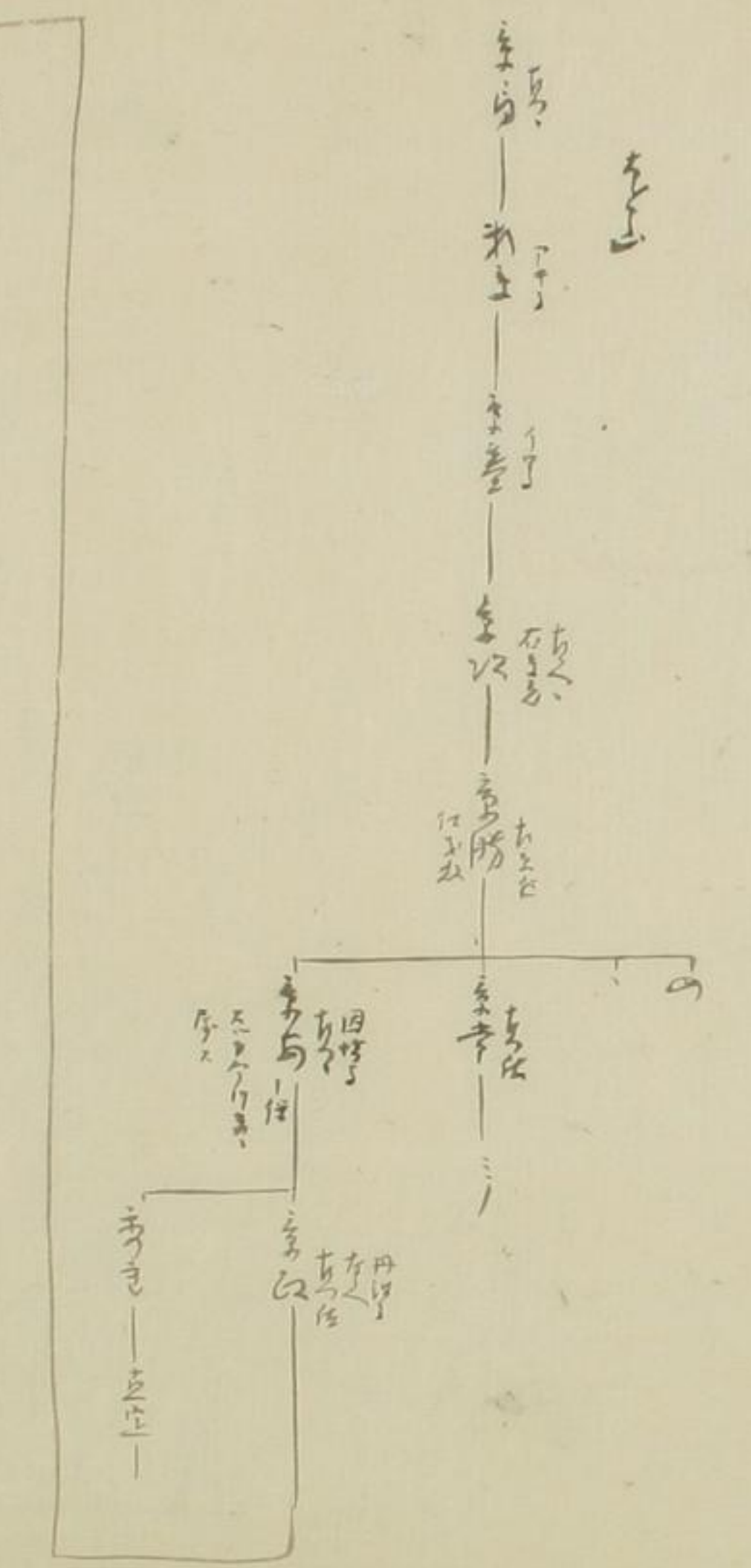
林三光



長好 (長好) 長好 (長好) 長好 (長好)
 長科 (長科) 長科 (長科) 長科 (長科)
 長身 (長身) 長身 (長身) 長身 (長身)
 長善 (長善) 長善 (長善) 長善 (長善)
 長元 (長元) 長元 (長元) 長元 (長元)

持ニテダフコレテヤム片
 柄ノ木ヲ持物シテ存ベシ
 ナスベシ

著者ヲ合スギ申
 相ノ木ヲ持物シテ存ベシ



又中入の勢
松枝人殺由

城戸三良免堂一左右

受給定之亦男子出

生之由家門之盤菜悦

入るる有る物おち坊

色今程ハおち坊

物書ハおち坊

其ハおち坊

此ハおち坊

之ハおち坊

當家生ハ祝代ハ子

多ク者持来ハ人付度

祝儀ハ君遣ハ水

秘録ハ子

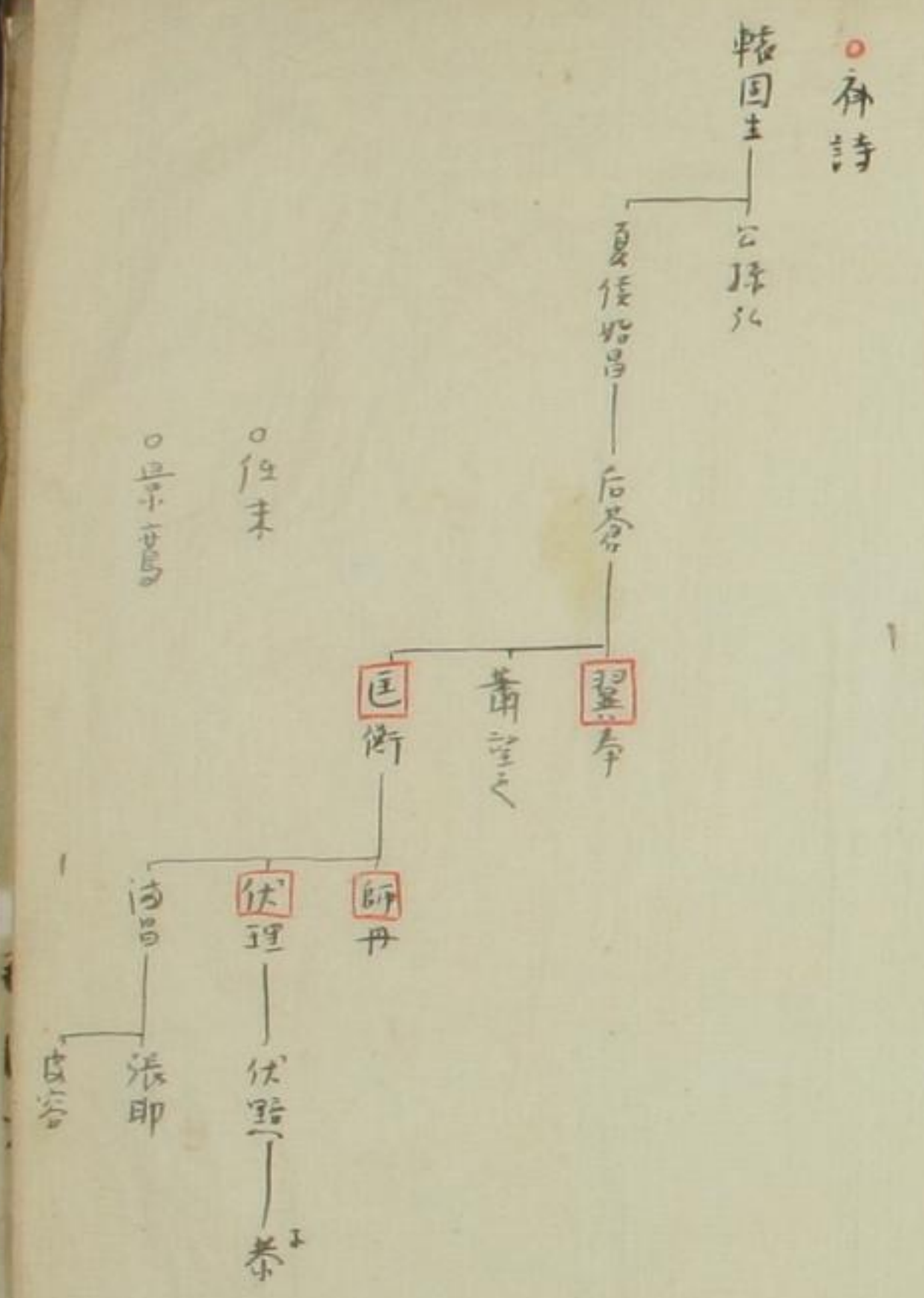
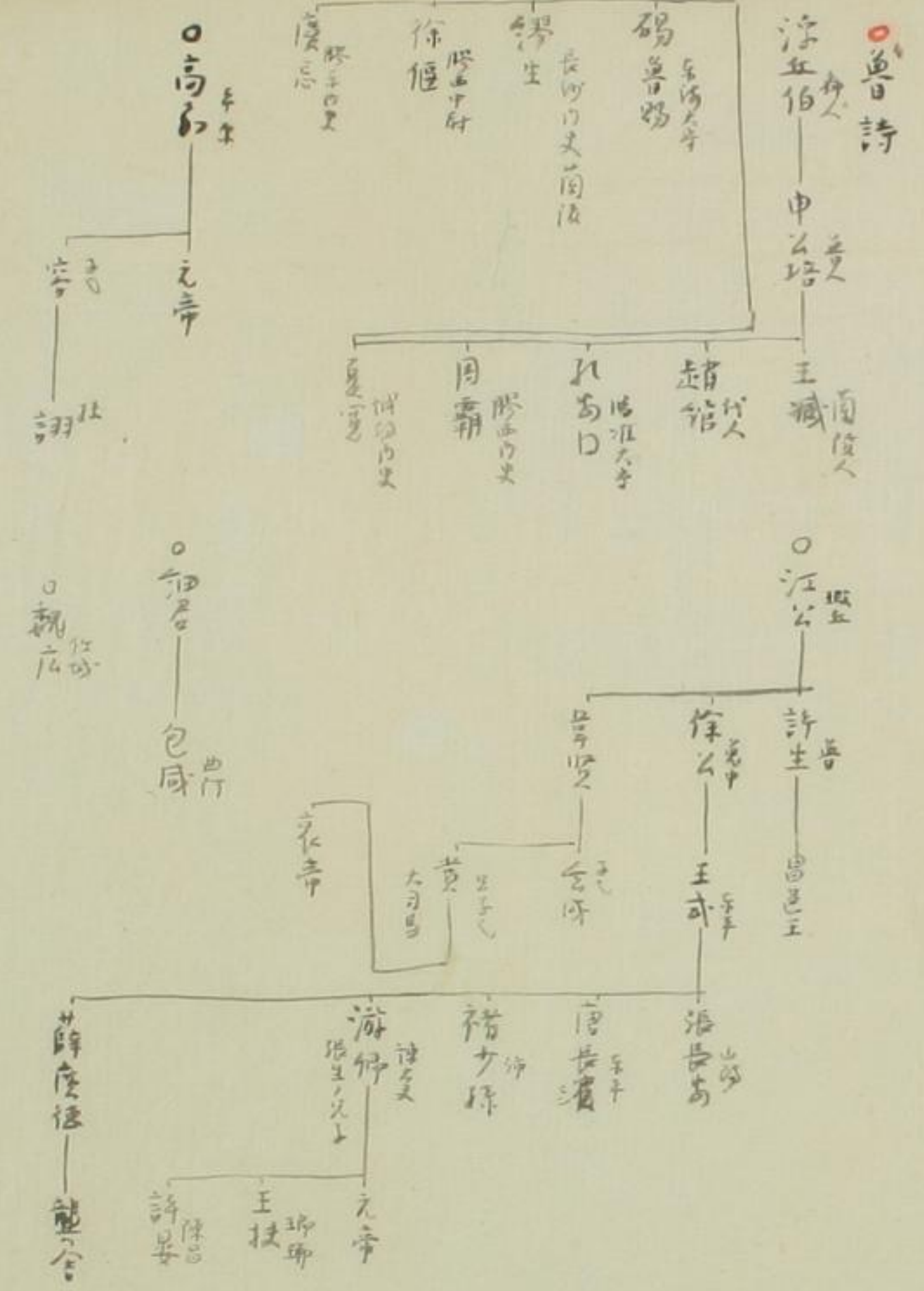
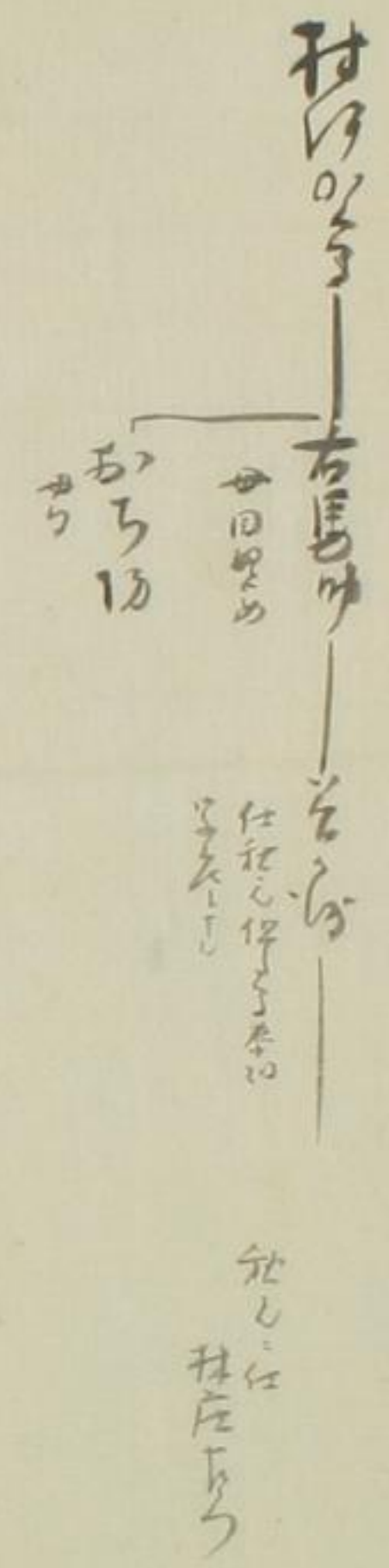
美ハ子

名ハ子

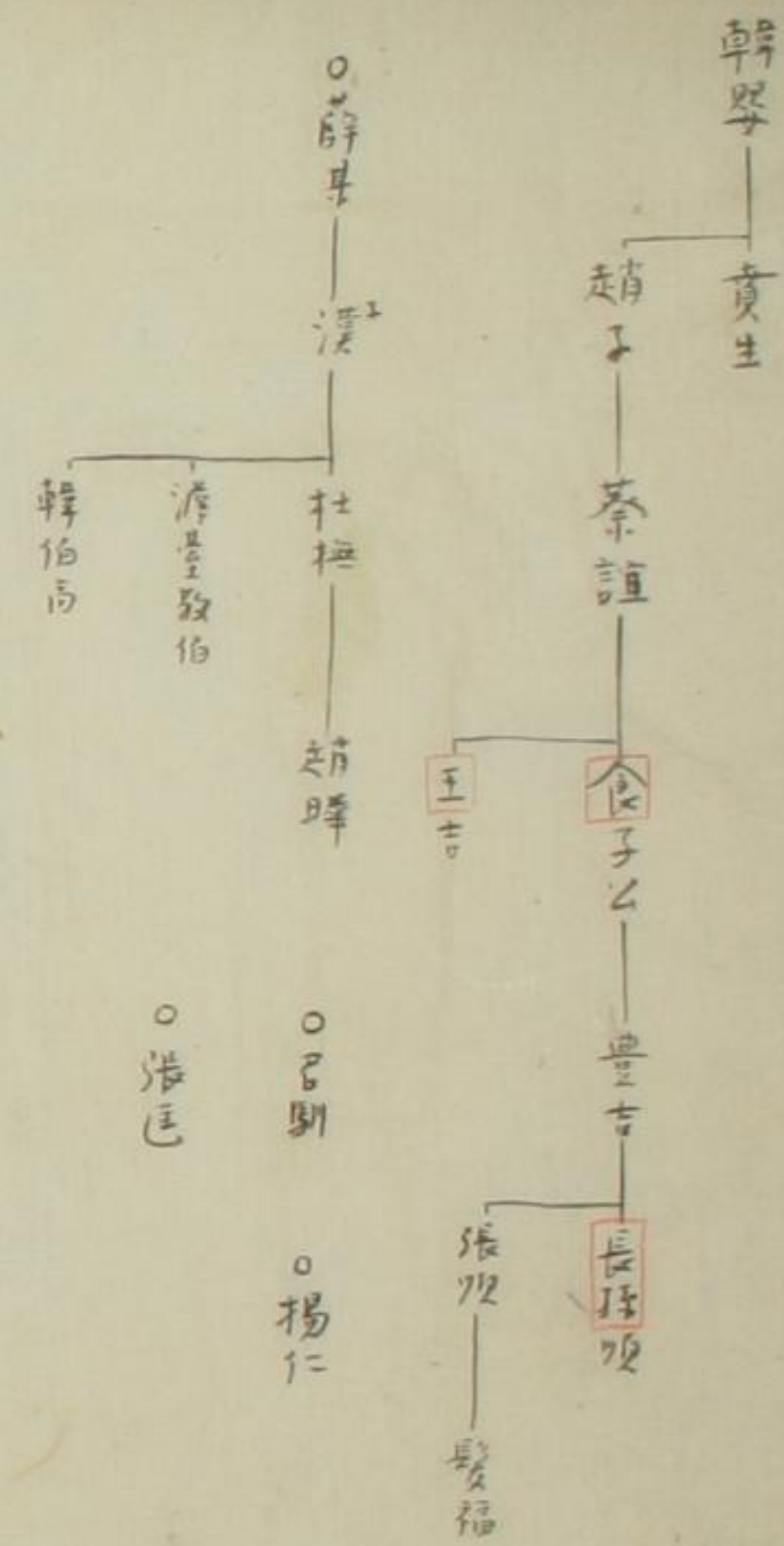
申言信法

岡の
五月二日
國體
五

林作がまゝ
うま



韓詩

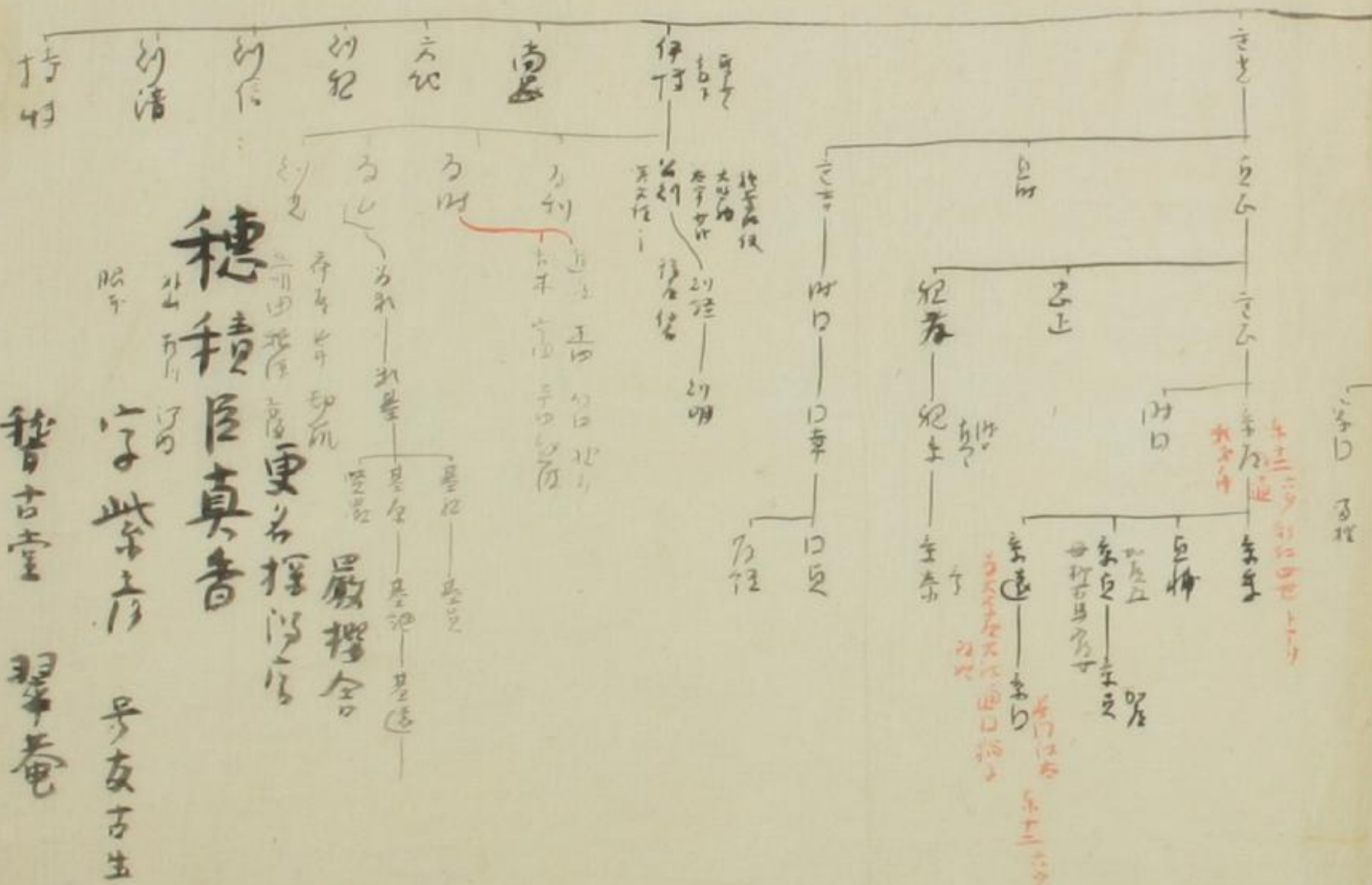
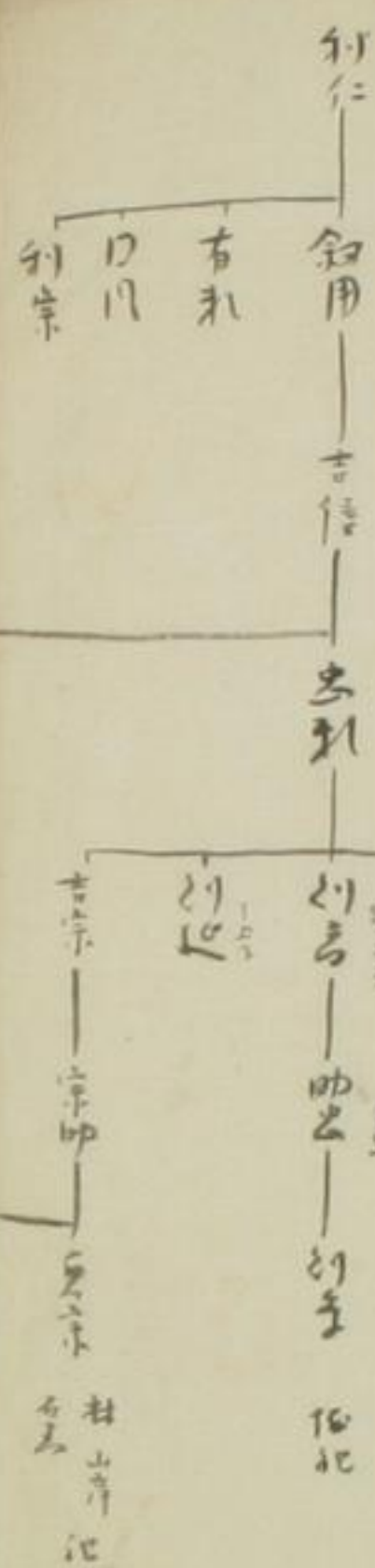


毛詩

孔子——上商——葉——葉元——孟仲子——振華子——荀以——毛子

○謝景比——衛夫——徐心 ○鄭衆 ○賈逵 ○馬融——鄭玄

呂東萊詩說



韓積真音

韓古堂 翠菴

孟子年以大成記此等語皆在孟子之時孔子方始名此等語在孟子

韓子年以大成記此等語皆在孟子之時孔子方始名此等語在孟子

那河海下

遠峯 母首

惟行

平明山 經行

保我

